

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成23年度年報

(2011)

平成24年9月

福井県環境放射能測定技術会議

はじめに

福井県環境放射能測定技術会議は、平成23年度（2011年度）の調査結果を四半期毎にとりまとめ、平成23年度第1報～第4報として、第176回～第179回福井県原子力環境安全管理協議会に報告し公表してきました。この報告書はこれらをとりまとめ、年報としたものです。

この報告書では、「平成23年度調査計画（FERC第43巻6号）」に基づく定期的な調査結果のほか、各種環境試料中の放射化学分析結果や年間降水量など四半期報告書で報告していないもの、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に対応して実施した、大気試料（浮遊じん、大気）や降下物などの臨時調査の結果を収載しました。また、発電所の運転状況や放射性廃棄物の放出管理の状況などを「5 参考資料」に示しましたのでご参照下さい。

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の県内への影響については大気試料（浮遊じん、大気）など一部の試料からヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137等が検出されましたが、環境安全上問題となるレベルに比べ、はるかに低い濃度であるとともに、チェルノブイリ事故時との比較においてもその影響は十分小さかったことを確認しています。

また、同事故を受けて、文部科学省では全国的な環境放射能水準調査の強化を行うこととなり、福井県では嶺北地方の各市町1箇所ずつ計10箇所に水準調査用モニタリングポストを整備したほか、県独自の強化対策として嶺南地方を中心に5局を増設し、平成24年4月1日より、運用を開始しました。

今後、防災指針や環境放射線モニタリング指針の見直しが行われると思われませんが、本会議では、それらも反映しつつ、一層の信頼が寄せられるよう、綿密な環境放射線(能)調査を行い、原子力発電所周辺環境の放射線安全の確保・確認に万全を期したいと考えています。

平成24年9月

福井県環境放射能測定技術会議

福井県環境放射能測定技術会議

構 成 機 関

福井県安全環境部原子力安全対策課

福井県原子力環境監視センター

福 井 県 水 産 試 験 場

日 本 原 子 力 発 電 株 式 会 社

関 西 電 力 株 式 会 社

独立行政法人日本原子力研究開発機構

目 次

1	環境放射線モニタリングの目的と調査概要	1
2	調査結果	4
2.1	調査結果の概要	4
2.1.1	周辺公衆の線量評価	6
2.1.2	変動傾向および蓄積状況の評価	10
2.2	線量評価に関連した調査	12
2.2.1	空間線量	12
2.2.2	大気・浮遊じん、大気中水分	17
2.2.3	陸水	17
2.2.4	農産物、指標植物	17
2.2.5	海産食品、指標海産生物	18
2.2.6	海水	19
2.3	変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	20
2.3.1	浮遊じん放射能の連続測定	20
2.3.2	陸土	21
2.3.3	指標植物、松葉	22
2.3.4	降下物	23
2.3.5	海水	24
2.3.6	海底土	25
2.3.7	指標海産生物	25
	(参考) 今年度のセシウム-137分析結果	26

3 添付資料

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点(概要)	27
3.1.2 調査方法(概要)	27
3.1.3 調査の分担実績	29
3.1.4 測定値の取り扱いについて	30

3.2 調査地点図表

第1図 各放射線監視テレメータシステム的主要データ収集・送信系統図	35
第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)	36
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)周辺の試料採取地点	38
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点	39
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点	40
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点	41
第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点	42
第8図 対照地区(嶺北地区)の試料採取地点	43
第1表 調査地点の詳細	44

3.3 測定法

第2表 空間線量測定法	48
第3表 浮遊じん放射能の連続測定法	49
第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法	50
第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値	51
第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法	51
第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法	51
第7表 測定器	52

3.4 測定結果

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム	53
第9表 " その2 施設者のテレメータシステム	59
第10表 積算線量測定結果	80
第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果	87
第12表 大気中のヨウ素-131分析結果	93
第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん	95
第14表 " その2 陸水	100
第15表 " その3 陸土	102
第16表 " その4 指標植物	103
第17表 " その5 松葉(2年葉)	104
第18表 " その6 農産物	105
第19表 " その7 原乳	106
第20表 " その8 降下物	107
第21表 " その9 海水	111
第22表 " その10 海底土	112
第23表 " その11 海産食品	115
第24表 " その12 指標海産生物	117

第 25 表	トリチウム分析結果	その 1	陸水	119
第 26 表	〃	その 2	大気中水分	121
第 27 表	〃	その 3	雨水	125
第 28 表	〃	その 4	海水	126
第 29 表	放射化学分析等による ⁹⁰ Sr, ¹³⁷ Cs, ²³⁹ Pu分析結果			129
第 30 表	年間降下物の ⁹⁰ Sr, ²² Na, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ²³⁹ Pu分析結果 (参考: 定期外調査)			133
第 31 表	各地の積雪量(2011 年 12 月～2012 年 3 月) [参考データ]			134

4 付

4.1	県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果	137
	各地の気象 その 1 降雨(降雪)、風速、気温	139
	各地の気象 その 2 3ヶ月毎の風向出現率	147
	空間線量率と降雨量の測定結果(2011 年 4 月～2012 年 3 月)	151
	各地の風配図	160
4.2	大気中水分、雨水(降下物)のトリチウム分析結果について	164
4.3	東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故に関連した放射能調査	166
4.4	環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果	191

5 参 考 資 料

5.1	平成 23 年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過	197
5.2	(1)各発電所の設備の概要、建設経過	204
	(2)主要設備の改造および新設工事	206
5.3	(1)原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)廃止措置作業状況	208
	(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況	209
5.4	各発電所の運転実績	210
5.5	各発電所の発電停止状況	212
5.6	各発電所の放射性廃棄物放出実績(気体廃棄物)	214
5.7	各発電所の放射性廃棄物放出実績(液体廃棄物)	219
5.8	各発電所の液体廃棄物中の核種存在比	222
5.9	各発電所の年度別放射性廃棄物放出量	226
5.10	緊急時モニタリングルートでの線量率調査	230

平成 23 年度に刊行した福井県環境放射能測定技術会議報告書の訂正	241
-----------------------------------	-----

1 環境放射線モニタリングの目的と調査概要

我が国における原子力発電所周辺の環境モニタリングを規定している「環境放射線モニタリング指針（平成20年3月、原子力安全委員会）」は、環境放射線モニタリングの基本目的を「原子力施設の周辺住民等の健康と安全を守るため、環境における原子力施設に起因する放射性物質又は放射線による周辺住民等の線量が、1年間の線量限度を十分に下回っていることを確認し、その結果を周辺住民等に提供することである」としている。さらに、「異常事態又は緊急事態が発生した場合に、速やかに対応できるモニタリング体制を整備することにある」とし、具体的には次の四項目に要約している。

- (a) 周辺住民等の線量の推定及び評価
- (b) 環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- (c) 原子力施設からの予期しない放射性物質または放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価
- (d) 異常事態または緊急事態が発生した場合における環境放射線モニタリングの実施体制の整備

各種試料等の測定の間々の目的は下記のとおりである。

- ①空間線量：線量率—連続測定による環境放射線の短期的変動の把握および体外からの放射線による外部被ばく線量の推定
：積算線量—体外からの放射線による外部被ばく積算線量の推定（3ヶ月毎）
：モニタリングカー緊急時モニタリングルートでの線量率確認
- ②大気・浮遊じん、大気中水分：空気の吸入による内部被ばくの推定
- ③陸水、農産物、海産食品：飲食物の摂取による内部被ばくの推定
- ④指標植物、指標海産生物：環境における放射性物質の変動傾向および蓄積状況の把握、ならびに農産物、海産食品の調査の補完
- ⑤陸土、海底土：環境における放射性物質の変動傾向および蓄積状況の把握
- ⑥海水：環境における放射性物質の変動傾向および蓄積状況の把握（ならびに海産食品への濃縮を通じての潜在的な内部被ばくの推定）
- ⑦降下物：放射性物質の降下量の把握、検出された核種の起源の推定

このうち①の空間線量については、平常の変動幅との比較等から必要に応じて更に詳細な調査を行って発電所寄与の有無を判断することとしている。また内部被ばくに係わる③の飲食物等については、地区別年間平均核種濃度を算出し、それをもとにまず過去の核実験等の寄与分も含めた線量を推定して安全を確認し、次いで起源の判断を加え県内の原子力発電所寄与分を推定している。④の指標植物、指標海産生物は、内部被ばくに関する線量推定の際の補完的試料として評価しているほか、上記(c)の目的にも役立てている。

各地区毎では、大別して以下のような調査を行った。

- (イ) テレメータシステム等による線量調査
- (ロ) ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による核種分析調査
- (ハ) 陸水等のトリチウム調査
- (ニ) 放射化学分析によるストロンチウム-90、プルトニウム-239(注1)等の調査

今年度の調査地点・測定の数値を第1表(p.2~p.3)に示す。

なお、本報告書では、空間放射線モニタリングにおける自然放射線のレベル、および環境試料中の放射能モニタリングにおける過去の核実験影響等の外因によるレベルをバックグラウンドレベルと表記した。

(注1) アルファ線スペクトロメトリによるプルトニウム分析では、プルトニウム-239 およびプルトニウム-240 のアルファ線を分離できないため、正確にはプルトニウム-239(+240)と表記すべきであるが、本報告書では簡略にプルトニウム-239 と表示する。

本報告書で用いる調査機関の略称名称は、以下のとおりとする。

- ①福井県原子力環境監視センター：県または福井県（記号；A）
- ②日本原子力発電株式会社：原電（記号；B）
- ③関西電力株式会社：関電（記号；C）
- ④独立行政法人日本原子力研究開発機構：原子力機構または機構（記号；D）

第1表 調査地点・測定の数

県：福井県原子力環境監視センター
 関電：関西電力株式会社

原電：日本原子力発電株式会社
 機構：独立行政法人日本原子力研究開発機構

(イ) 連続測定調査

調査項目	調査地区						合計	頻度(回/年)	
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)			
線量率(テレメータシステム)	20	7	14	16	14		71	連続	
積算線量(3ヶ月積算値)	地点数	26	14	22	26	25	10	123	4
	測定数	104	56	88	104	100	40	492	
浮遊じん(テレメータシステム)	2	2	2	2	3		11	連続	

(ロ) 核種分析調査

・定期調査

調査項目	調査地区						合計	頻度(回/年)		
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)				
大気中ヨウ素-131	地点数	1	1	1	1	1		5	12	
	測定数	24	24	24	24	24		120		
浮遊じん	地点数	5	3	3	3	5	1	20	4~12	
	測定数	52	28	28	28	44	12	192		
陸水	水道水	地点数	2	1	2	1	3	1	10	2~4
		測定数	8	8	6	6	8	4	40	
	河川水	地点数			1				1	
		測定数			2				2	
陸土	地点数	2	1	1	2	2	2	10	2~4	
	測定数	8	4	4	4	4	3	27		
指標植物(ヨモギ)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	7	
	測定数	7	7	7	7	7	7	42		
松葉(2年葉)	地点数	2	1	1	1	1	1	7	1~2	
	測定数	4	2	2	2	2	1	13		
農産物(大根葉)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1	
	測定数	1	1	1	1	1	1	6		
原乳	地点数			1			1	2	3	
	測定数			3			3	6		
降下物(雨水・ちり)	地点数	2	2	2	2	2	1	11	12	
	測定数	24	24	24	24	24	12	132		
海水	地点数	3	2	2	1	2	1	11	2~6	
	測定数	10	6	12	6	12	2	48		
海底土	地点数	7	6	8	4	7		32	1~6	
	測定数	25	15	25	12	21		98		
海産食品	魚類(近海魚)	10	6	9	6	6	3	40	1~3	
	貝類(サザエ、アワビ)	4	4	5	4	4	1	22	1~2	
	藻類(ワカメ、モズク)	4	4	5	4	4	2	23	1~2	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	6	1	2	2	6	1	18	1~8	
	測定数	24	8	16	8	20	4	80		
測定数合計		205	141	173	136	181	55	891		

(ハ) トリチウム分析調査

調査項目	調査地区						合計	頻度(回/年)	
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)			
陸水(水道水)	地点数	2	1	2	1	3	1	10	2~8
	測定数	8	8	6	6	8	4	40	
大気中水分(除湿水)	地点数	5	2	2	2	2	1	14	12
	測定数	60	24	24	24	24	12	168	
雨水(降下物)	地点数	2	2	2	2	2	1	11	4
	測定数	8	8	8	8	8	4	44	
海水(表層水)	地点数	3	2	3	2	4	1	15	2~10
	測定数	18	10	16	10	32	2	88	
測定数合計		94	50	54	48	72	22	340	

(二) 放射化学分析による⁹⁰Sr、²³⁹Pu調査

・⁹⁰Sr

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
指標海産生物 (ホンダワラ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			2	2	2	2	2	2	12	

・²³⁹Pu

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
陸土	地点数			1				1	2	1~4
	測定数			4				1	5	
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1~7
	測定数		1	7	1	1	1	1	12	
農産物(大根葉)	地点数			1					1	1
	測定数			1					1	
海底土	地点数		2	5	1	1	1		10	1~9
	測定数		2	9	1	1	1		14	
海産食品	魚類(近海魚)			6					6	1~2
	貝類(サザエ、アワビ)			4					4	1~2
	藻類(ワカメ)		1	4	1	1	1	1	9	1
指標海産生物 (ホンダワラ)	地点数		2	1	2	1	1	1	8	1~4
	測定数		2	4	2	1	1	1	11	
測定数合計			6	39	5	4	4	4	62	

(ホ) ¹³⁷Cs(アンチコインシデンス測定)

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
海底土	地点数		2	1	3	1	2		9	1
	測定数		2	1	3	1	2		9	
海産食品	藻類(ワカメ)		1	1	1	1	1	1	6	1
	貝類(サザエ)		1	1	1	1	1	1	6	1
指標海産生物 (ホンダワラ)	地点数		2	1	1	1	1		6	1
	測定数		2	1	1	1	1		6	
測定数合計			6	4	6	4	5	2	27	

(ヘ) 定期外調査

・年間降下物

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
γ線スペクトロメトリ	²² Na	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
	⁶⁰ Co	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
¹³⁷ Cs	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1	
	測定数	2	2	2	2	2	1	11		
放射化学分析	⁹⁰ Sr	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
	²³⁹ Pu	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			8	8	8	8	5	45		

※各地点における年間降下物測定試料(パウデックス樹脂)の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物集合試料として測定

2 調査結果

2.1 調査結果の概要

平成23年度計画に基づく定期調査計画に加え、臨時調査*の結果も踏まえて、今年度の調査結果を総合的に評価した。その概要は次のとおりである。

(1) 周辺公衆の線量評価

原子力発電所の運転に起因する放射線による周辺公衆の線量に関しては、線量限度（年間1ミリベクト）はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値（年間0.05ミリベクト）をはるかに下まわっていた。

① 外部被ばくに関して

- ・ 県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定では、原子力発電所からの放射性物質の放出に起因する有意な線量率上昇は認められなかった。
- ・ 年間積算線量では、各地区のいずれの地点でも自然線量と比較して有意な線量上昇は認められなかった。

② 内部被ばくに関して

- ・ 内部被ばくを評価するために核種分析を行っている大気・浮遊じん、海産食品およびその補完となる指標植物の一部の試料から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131およびセシウム-134が、また、指標海産生物の一部の試料から同事故の影響と考えられるヨウ素-131が検出された。上記の試料に加えて農産物、原乳の一部の試料からはセシウム-137が過去の核実験フォールアウト影響として検出される濃度と同程度検出された。検出されたこれらの核種は、いずれも環境安全上問題となるレベルに比べはるかに低い濃度であった。なお、セシウム-137が検出された環境試料の中で、セシウム-134が同時に検出された試料については、核実験フォールアウト影響に福島第一原子力発電所事故の影響が加わったものと考えられる。
- ・ 大気中水分および海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

(2) 変動傾向および蓄積状況の評価

- ・ 変動状況および蓄積状況を評価するために調査している陸土、指標植物、松葉、降下物、海水、海底土および指標海産生物については、平成23年2月までは過去の核実験フォールアウト影響としてセシウム-137が検出されていた。しかしながら、今年度の測定結果では、福島第一原子力発電所事故の影響として、セシウム-137の他に、指標植物、降下物の一部試料からヨウ素-131およびセシウム-134が、指標海産生物の一部試料からヨウ素-131が、陸土ならびに松葉の一部試料からセシウム-134が検出された。検出されたこれら核種の濃度はチェルノブイリ事故時のレベル以下であり、平成23年度を通して、検出頻度、検出濃度はともに減少傾向が見られた。なお、陸土、海水および海底土のセシウム-137は、過去の核実験フォールアウトの影響によるもので、今年度も特に変動は見られなかった。
- ・ 臨時調査試料については、大気・浮遊じんからヨウ素-131、セシウム-134およびセシウム-137が検出されたが、ヨウ素-131は5月以降、セシウムは10月以降検出されなくなった。また、降下物からも同様にヨウ素-131、セシウム-134およびセシウム-137が検出されたが、5月以降は3核種とも検出されなくなった。
- ・ 昨年度と同様に、雨水、海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出された。

- ・年間降下物からストロンチウム-90 が過去 3 ヶ年実績を超えて検出されており、福島第一原子力発電所事故で放出されたストロンチウム-90 の影響が及んだ可能性があるが、大部分は過去の核実験フォールアウト影響によるものであり、事故の影響はごくわずかであると考えられる。
- ・各種環境試料からプルトニウム-239 が検出されているが、昨年までと同様に、過去の核実験フォールアウト影響によるものと考えられる。

したがって、平成 23 年度の県内各原子力発電所の運転等による周辺公衆の被ばく線量は無視できるレベルである。

注 2 (p.6) に参考として、発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に相当する放射能濃度を示す。

※福島第一原子力発電所事故の対応として、定期調査以外に、大気試料（浮遊じん、大気）、降下物および陸水について事故直後の平成 23 年 3 月 14 日から平成 24 年 1 月初旬まで臨時調査を実施した。詳細は付 4.3 参照。

2.1.1 周辺公衆の線量評価

外部被ばくと内部被ばくに区分して原子力発電所ごとに周辺公衆の線量評価を行い、年間で定められている公衆の線量限度等と比較した。また、福島第一原子力発電所事故および過去の核実験の影響として検出されている核種の濃度を基に、県内原子力発電所の影響とは区別して線量評価を行った。

評価の結果、今年度の発電所の運転等による発電所周辺公衆の線量については、外部被ばくと内部被ばくを合計しても、いずれの地区とも年線量限度はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値をはるかに下回っていた。

(1) 外部被ばく

第1-1表に、今年度の空間線量測定結果から評価された発電所寄与による外部被ばくの推定線量をまとめた。県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定ならびに積算線量測定結果では、発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。また、各発電所の放射性廃棄物の放出量から計算した外部被ばく線量は0.001ミリシーベルト以下であった。したがって、発電所に起因する線量影響は無視できる程度であった。

第1-1表 実効線量（外部被ばく） (ミリシーベルト/年)

	放射線監視テレメータシステムによる調査結果	積算線量の調査結果*1	(参考) 放出量から計算した外部被ばく
敦賀発電所	—	—	0.001以下
ふげんもんじゅ	—	—	0.001以下
美浜発電所	—	—	0.001以下
大飯発電所	—	—	0.001以下
高浜発電所	—	—	0.001以下
参考：過去の核実験影響等	—	—	

(注) —は有意な影響なし

*1：検出限界はほぼ0.05ミリシーベルト/年

(注2) 成人の預託実効線量が0.05ミリシーベルトとなる大気および食品中の核種濃度

(単位：大気 (mBq/m³)、その他 (Bq/kg 生))

	大気	魚類	無脊椎動物	藻類	葉菜
¹³¹ I	410	43	420	210	170
¹³⁴ Cs	300	36	360	180	140
¹³⁷ Cs	150	53	520	260	210
³ H		16,000	160,000	81,000	32,000
⁹⁰ Sr		24	240	120	98
²³⁹ Pu		2.7	27	14	11
1日あたりの摂取量	22.2 m ³	200 g	20 g	40 g	100 g

1日当たり最下段の量を1年間摂取し続けるとした場合の濃度。トリチウム (³H) 以外の核種において葉菜の除染係数を0.5とした。海藻や葉菜の保存後の放射能の減衰は考慮されていない。トリチウムは有機結合型トリチウムとした場合の値

(2) 内部被ばく

内部被ばくを評価する試料から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134 およびセシウム-137 が、また、トリチウムや過去の核実験の寄与と考えられるセシウム-137 などが検出されていることより、例年と同様、各種試料中の年間平均濃度をもとに内部被ばくに関する預託実効線量の計算を行った。計算に当たっての具体的事項は注3に示した。

内部被ばくに関する預託実効線量の計算結果を第1-2表に、計算に用いた試料毎の平均値を第2表から第4表に示す。評価の結果、福島第一原子力発電所事故および県内発電所の運転に起因する内部被ばくは無視できる程度であった。

第1-2表 検出値から計算した預託実効線量(内部被ばく) (ミリシーベルト)

	内部被ばくの預託実効線量*1				
	呼 吸	飲 料 水	葉 菜	牛 乳	海 産 物
敦 賀 発 電 所 ふ げ ん	0.001以下*2	—	—	—	0.001以下*4
も ん じ ゆ	0.001以下*2	—	—	—	—
美 浜 発 電 所	0.001以下*2	—	—	—	0.001以下*4
大 飯 発 電 所	0.001以下*2	—	—	—	—
高 浜 発 電 所	0.001以下*2	—	—	—	0.001以下*4
参考：過去の核実験影響等*3	0.001以下	0.001以下*2	0.001以下	0.001以下	0.001以下

*1：1年間の摂取に基づく、摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量。

計算の基礎として指標植物(ヨモギ)および指標海産生物(ホンダワラ)を含む。付4.4参照。

*2：各発電所近傍で観測した大気中水分等のトリチウムによるもの。付4.2参照。

*3：福島第一原子力発電所事故影響のヨウ素-131、セシウム-137、セシウム-134 および過去の核実験影響のセシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウムによるもの。

*4：敦賀・ふげん海域、美浜海域および高浜海域で海水中のトリチウム濃度の年平均値が評価対象である2.0Bq/lを超えたことによる(第3表参照)。

(注3) 通常食用とはしない指標生物のヨモギおよびホンダワラを食品と同等に摂取するものとして取扱い、地区別の年平均核種濃度の計算に加えた。年平均値の算定には検出値のあるものだけを用いたので、実際の食品レベルよりは高くなっており、安全側に見積られている。線量計算は原子力安全委員会の「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(以下、評価指針という)」に従い、上記の年平均核種濃度の食品等を、成人で1日当たり葉菜100g、牛乳200ml、魚200g、無脊椎動物20g、海藻40gずつ、呼吸率を22.2m³/日として1年間摂取し続けるとして計算を行った。

飲料水の摂取量はICRP Publ.23により2.65l/日とした。

ゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、目的核種(添付資料第4表(p.50)参照)のうち、ヨウ素-131およびセシウム-137が、また、目的核種以外にもセシウム-134が検出された。ヨウ素-131が検出された試料ならびにセシウム-134とセシウム-137が同時に検出された試料は福島第一発電所事故の影響を受けていると考えられるが、いずれも過去のチェルノブイリ事故のレベル以下であった(第2表)。

第2表 検出された目的核種等の試料毎の平均値

	試料	単位	核種	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	大気中ヨウ素	mBq/m ³	粒子状I-131	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	/
			ガス状I-131	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	/
	浮遊じん	mBq/m ³	I-131	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3
			Cs-134	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
			Cs-137	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.1
	陸水(飲料水)	mBq/l	—	—	—	—	—	—	—
	指標植物(ヨモギ)	Bq/kg生	I-131	0.3	—	—	—	—	0.3
			Cs-134	0.4	0.2	0.3	0.3	0.5	0.7
			Cs-137	0.3	0.3	0.3	0.4	0.6	0.3
	農産物	〃	Cs-137	0.0	—	—	—	—	—
原乳	Bq/l	Cs-137	/	/	—	/	/	0.1	
海洋	海産食品(魚類)	Bq/kg生	Cs-134	0.4	—	—	—	—	—
			Cs-137	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	海産食品(貝類)	〃	Cs-137	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	海産食品(藻類)	〃	I-131	0.2	0.3	0.3	0.5	—	0.2
			Cs-134	0.1	0.1	—	0.0	—	—
				Cs-137	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0
指標海産生物	〃	I-131	0.5	5.1	0.6	1.0	0.7	0.4	
		Cs-137	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	—	

- (注) ①—は検出されなかったことを示す。
 ②/は調査対象外であることを示す。
 ③平均値は検出されたもののみから計算した。0.0は0.05未満であることを示す。
 (①～③について、以下の第3表～第7表まで同様)
 ④Cs-137はアンチコインシデンスによる測定結果を含む。

各地区の陸水(飲料水)のトリチウムからは、いずれも発電所の影響は観測されなかった。

大気中水分および海水から、発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、いずれも環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった(第3表)。参考として、成人の預託実効線量が0.05ミリシーベルトになるトリチウム濃度を脚注4に示した。

第3表 トリチウム測定結果(平均値)単位:陸水、海水 Bq/l、大気中水分 Bq/m³

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸水(飲料水)	1.0	0.7	1.2	0.8	0.7	0.6
大気中水分	0.047	0.024	0.029	0.049	0.14	0.0076
海水	6.8	1.0	3.4	1.1	2.3	—

- (注) 大気中水分のトリチウム濃度については、検出された水分あたりの平均濃度(Bq/l)を年間平均気温、年間平均相対湿度を基に大気中濃度(Bq/m³)に換算した。

ストロンチウム-90 とプルトニウム-239 は、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比（参考資料 5.7～5.8(p. 219～p. 224)参照）から過去の核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度はこれまでと同程度であった（第 4 表）。

第 4 表 Sr-90, Pu-239 の測定結果（全地区平均値） 単位：Bq/kg 生

核種	指標植物	大根葉	魚類	貝類	藻類	指標海産生物
Sr-90	0.19	/	/	/	/	0.045
Pu-239	0.00056	—	—	0.038	0.0022	0.014

(注 4) ①成人の預託実効線量 0.05 ミシーベルトになるトリチウム濃度

飲料水	大気中水分
2,900 Bq/l	340 Bq/m ³

②トリチウムが海水から海産物（魚貝藻類）へ移行し、それを成人が年間摂取した場合に預託実効線量が 0.05mSv となる海水中濃度は約 12,000Bq/l である。ただし、有機結合型トリチウムとし、実効線量係数 4.2×10^{-8} mSv/Bq を用いた。

2.1.2 変動傾向および蓄積状況の評価

変動傾向および蓄積状況を把握するために浮遊じん放射能の連続測定、核種分析、トリチウム、放射化学分析の測定結果について考察した。核種分析結果において福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134が検出されたが、その濃度はチェルノブイリ事故のレベル以下であった。

(1) 浮遊じん放射能の連続測定

大気中の発電所由来の人工放射性核種を連続的に監視する目的で行っている浮遊じん連続測定の結果では、その指標となるベータ/アルファ放射能濃度比において、発電所の運転に起因する変動は従来と同様に観測されなかった（添付資料第11表(p.87～p.92)参照）。

(2) 核種分析

平成23年3月11日に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所事故以前の調査では、過去の核実験フォールアウト影響として、セシウム-137のみが陸土、指標植物、松葉、降下物、海水、海底土および指標海産生物から検出されていた。しかしながら、事故後はヨウ素-131が指標植物、降下物および指標海産生物から、また、セシウム-137が検出された陸上試料からはセシウム-134が同時に検出された（第5表）。

なお、事故後、ヨウ素-131は2ヶ月で不検出となり、セシウム-134、セシウム-137の検出頻度、検出濃度は減少傾向が見られた。

第5表 検出された目的核種等の試料毎の平均値

	試料	単位	核種	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	陸土	Bq/kg乾土	Cs-134	—	—	—	0.7	0.5	0.3
			Cs-137	15	1.6	4.1	35	5.4	48
	指標植物 (ヨモギ)	Bq/kg生	I-131	0.3	—	—	—	—	0.3
			Cs-134	0.4	0.2	0.3	0.3	0.5	0.7
			Cs-137	0.3	0.3	0.3	0.4	0.6	0.3
	松葉	Bq/kg生	Cs-134	0.7	0.9	0.8	1.2	1.5	0.8
			Cs-137	0.8	1.1	0.9	1.1	1.8	1.5
	降下物	Bq/m ²	I-131	11	8.0	8.5	8.5	9.8	8.8
			Cs-134	3.7	4.1	5.9	7.1	8.1	3.9
			Cs-137	3.8	3.4	6.2	7.4	8.4	3.2
海洋	海水	mBq/ℓ	Cs-137	1.8	1.7	1.7	2.0	2.2	2.0
	海底土	Bq/kg乾土	Cs-137	2.1	—	5.2	1.5	1.0	/
	指標海産生物	Bq/kg生	I-131	0.5	5.1	0.6	1.0	0.7	0.4
			Cs-137	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	—

(3) トリチウム

第6表にトリチウム測定結果のまとめを示す。ここに示す平均値は各地区で検出された値から計算した。

平成22年度まで雨水および海水から、発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されており、今年度も同様に検出された。

第6表 トリチウム測定結果（平均値）

単位：Bq/l

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
雨水	2.8	1.1	1.8	2.9	3.7	0.8
海水	6.8	1.0	3.4	1.1	2.3	—

(4) 放射化学分析

放射化学分析の結果の概要を第7表に示す。ストロンチウム-90とプルトニウム-239が、各種環境試料から検出されている。

ストロンチウム-90については、指標植物、指標海産生物の結果は過去3ヶ年実績の範囲内であったが、年間降下物の結果は3地点で過去3ヶ年実績を超えて検出された。今年度の年間降下物から検出されたストロンチウム-90は、過去の核実験フォールアウト影響に福島第一原子力発電所事故影響が加わった可能性があるが、事故影響はごくわずかであったと考えられる。

プルトニウム-239については、昨年までと同様に、過去の核実験フォールアウト影響によるものと考えられる。

第7表 Sr-90, Pu-239の測定結果（全地区平均値）

核種	陸土 Bq/kg乾土	指標植物 Bq/kg生	降下物 Bq/m ² ・年	海底土 Bq/kg乾土	指標海産生物 Bq/kg生
Sr-90	/	0.19	0.24	/	0.045
Pu-239	1.0	0.00056	0.0070	0.46	0.014

(注) 陸土では、勝山市池ヶ原（奥越高原牧場）の結果を含めて計算した。

以下に、線量評価に関連した調査、変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査について、調査試料毎に詳細に述べる。

2.2 線量評価に関連した調査

2.2.1 空間線量

(1) 線量率連続測定

第1表と第1図に、今年度のテレメータシステムによる線量率の連続測定結果の概要を示す。線量率の短期的変動の評価として第1表に示したように、「平均値+標準偏差(σ)の3倍」(測定値の取り扱い(1)(p.30)参照)を超えたものについて原因の調査を行っている。今年度の「平均値+3 σ 」は、春から秋にかけてはほぼ平均値+11.0nGy/hであり、冬期はおよそ平均値+18.9nGy/hであった。降雨量の多かった7月および12月、積雪のあった1月および2月に3 σ が大きくなる傾向が見られた。「平均値+3 σ 」を超える線量率が各観測局で年間124~223時間観測されているが、敦賀地区、高浜地区において静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇による影響が1~5時間認められた以外は、いずれも降雨、降雪によるものであり、原子力発電所からの放射性物質放出に起因する線量率上昇は観測されなかった。

第1表 テレメータシステムによる線量率連続測定結果の概要 線量率単位:nGy/h

地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数 ^{*1}			地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数 ^{*1}		
				降雨	降雨以外 ^{*2}	発電所					降雨	降雨以外 ^{*2}	発電所
敦賀	敦賀A	59.0	100.2	158	5	0	美浜	新庄C	74.5	107.9	194	0	0
	浦底A	74.3	116.6	182	0	0		郷市C	37.1	77.6	206	0	0
	立石A	69.6	100.5	181	1	0		早瀬C	54.5	99.9	206	0	0
	河野A	47.6	94.5	200	0	0		日向C	42.0	85.0	222	0	0
	ふげん北D	61.4	107.0	193	0	0		三方C	31.8	68.4	220	0	0
	立石B	88.6	106.3	121	3	0		小浜A	49.0	87.5	195	0	0
	立石山頂B	75.6	123.0	185	0	0		日角浜A	44.8	105.5	198	0	0
	ふげん西D	38.6	95.3	215	0	0		宮留A	37.2	81.5	201	0	0
	猪ヶ池B	79.8	128.7	189	0	0		阿納尻A	32.2	81.0	188	0	0
	浦底B	74.6	113.2	192	0	0		長井A	37.6	107.0	198	0	0
	水試裏B	77.2	118.8	196	0	0	宮留C	40.2	95.0	213	0	0	
	色ヶ浜B	79.7	115.4	201	0	0	日角浜C	38.0	111.5	207	0	0	
	沓D	54.6	98.4	171	0	0	大飯	本郷C	43.0	102.8	200	0	0
	赤崎D	49.6	91.7	188	0	0		加斗C	46.6	99.7	192	0	0
	五幡B	47.6	89.4	199	0	0		小浜C	47.2	95.6	185	0	0
	阿曾D	48.0	93.7	192	0	0		西津C	36.4	93.6	193	0	0
	杉津B	50.8	103.4	200	0	0		堅海C	39.8	89.5	199	0	0
	甲楽城B	44.7	94.2	192	0	0		川上C	48.6	163.2	206	0	0
	今庄B	39.8	83.7	178	0	0		鹿野C	42.2	134.6	195	0	0
	越前厨D	39.6	83.8	223	0	0		名田庄C	44.2	102.0	188	0	0
白木A	79.1	127.8	190	0	0	上中C		36.5	84.9	192	0	0	
白木峠A	75.7	130.6	149	0	0	小黒飯A		40.6	121.5	185	0	0	
松ヶ崎D	61.2	110.9	201	0	0	音海A	44.9	142.4	182	0	0		
白木ID	65.4	106.0	170	0	0	神野浦A	30.1	128.9	172	0	0		
白木IID	38.1	94.4	197	0	0	山中A	28.6	144.2	183	0	0		
白木IID	53.6	103.3	178	0	0	音海C	44.3	125.2	192	0	0		
白木IVD	44.8	92.2	186	0	0	田ノ浦C	38.9	145.4	187	0	0		
美浜	丹生A	61.2	100.4	205	0	0	高浜	小黒飯C	37.0	139.0	187	1	0
	竹波A	72.4	111.8	195	0	0	神野浦C	29.6	141.3	182	0	0	
	坂尻A	58.0	122.0	167	0	0	日引C	35.9	115.9	191	0	0	
	奥浦C	60.6	109.4	202	0	0	青郷C	39.6	141.0	182	0	0	
	丹生C	52.7	89.3	200	0	0	高浜C	36.7	100.1	191	0	0	
	丹生寮C	49.1	93.6	206	0	0	和田C	37.6	95.3	196	0	0	
	竹波C	74.5	107.9	194	0	0	田井C	43.4	117.9	202	0	0	
	菅浜C	37.1	77.6	206	0	0	夕潮台C	30.6	83.2	192	0	0	
	佐田C	54.5	99.9	206	0	0							

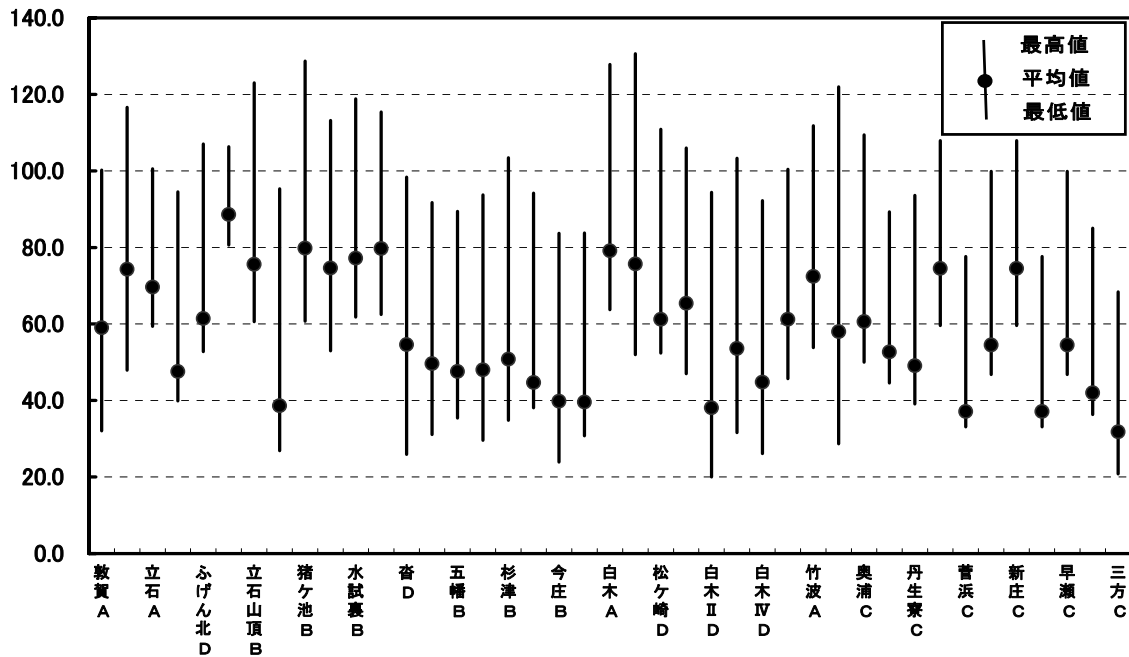
(注) 表中に示した結果は1時間値を基に算出した。降雨には降雪も含まれる。

*1: 月に算出した数の和である。Mは月平均値、 σ は月間標準偏差である。

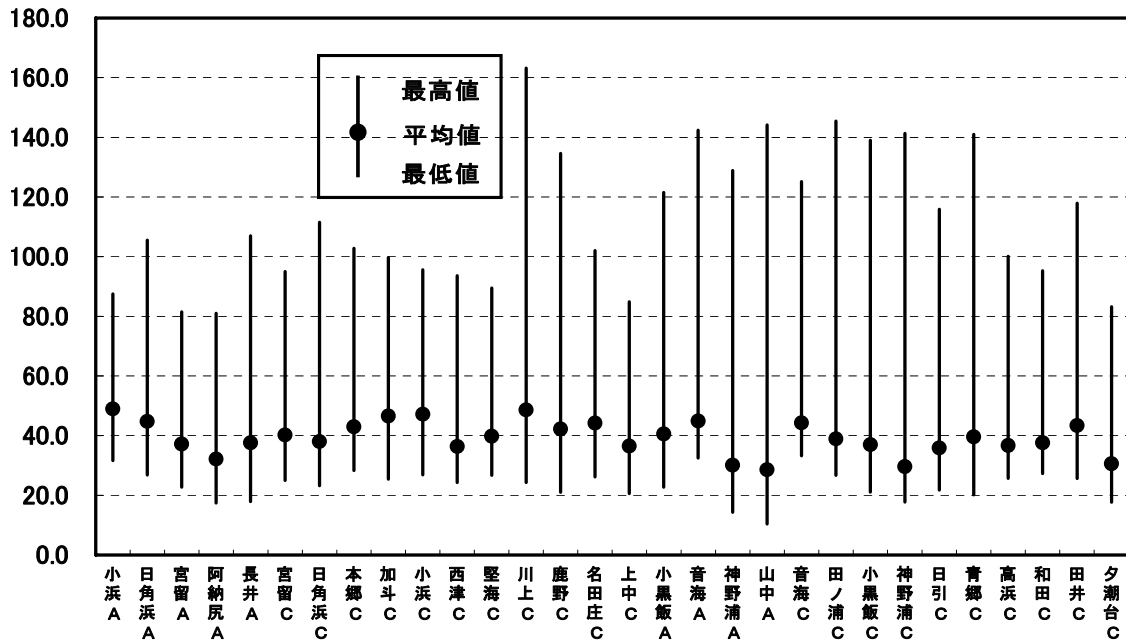
*2: 降雨以外の欄は、静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇など自然現象による。

図1(1~2)に、各測定地点の1時間値を基に算出した年間の平均値、最高値、最低値を示す。

第1図(1) 空間線量率連続測定結果 (敦賀、白木、美浜地区)



第1図(2) 空間線量率連続測定結果 (大飯、高浜地区)



(2) 積算線量

熱ルミネッセンス線量計（TLD）、電子線量計および蛍光ガラス線量計を用いた3ヶ月毎の積算線量については、すでに四半期毎に報告したとおり、発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。以下に年間積算線量について述べる。

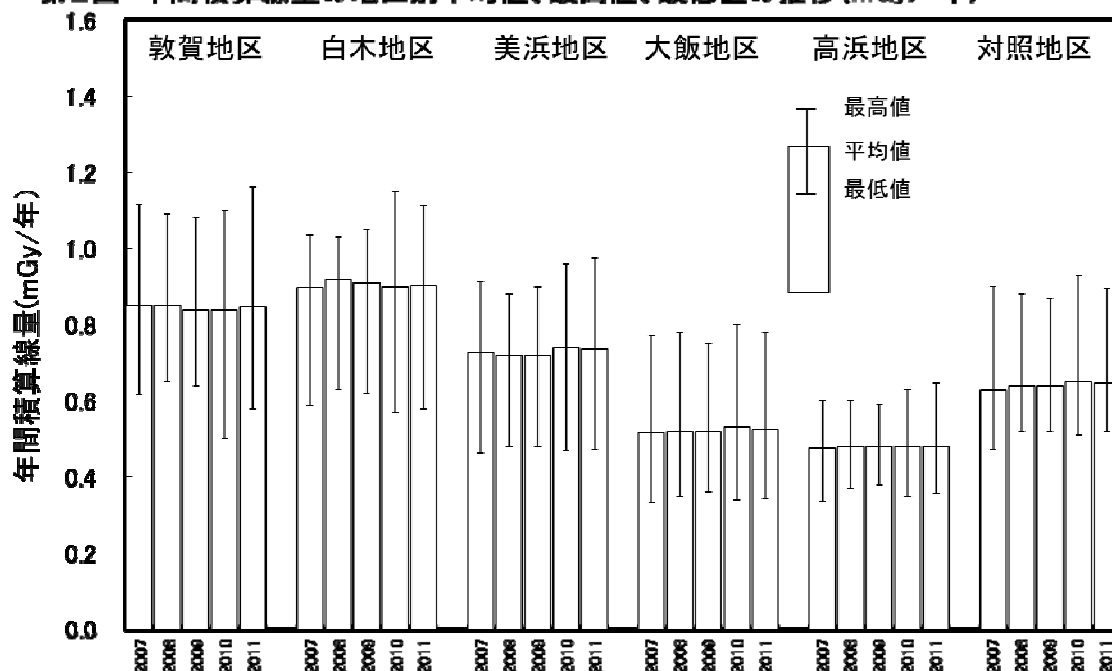
第2表に今年度の年間積算線量の各地区の平均値、最高値、最低値を、第2図に地区別の平均値、最高値、最低値の5年間の推移を、それぞれ示す。年間積算線量は3ヶ月値の和である。

第2表 今年度の各地区の年間積算線量

単位：mGy/年

	敦賀地区	白木地区	美浜地区	大飯地区	高浜地区	対照地区
平均値	0.85	0.90	0.74	0.52	0.48	0.65
最高値	1.16	1.11	0.97	0.78	0.65	0.90
最低値	0.58	0.58	0.47	0.34	0.36	0.52

第2図 年間積算線量の地区別平均値、最高値、最低値の推移(mGy/年)

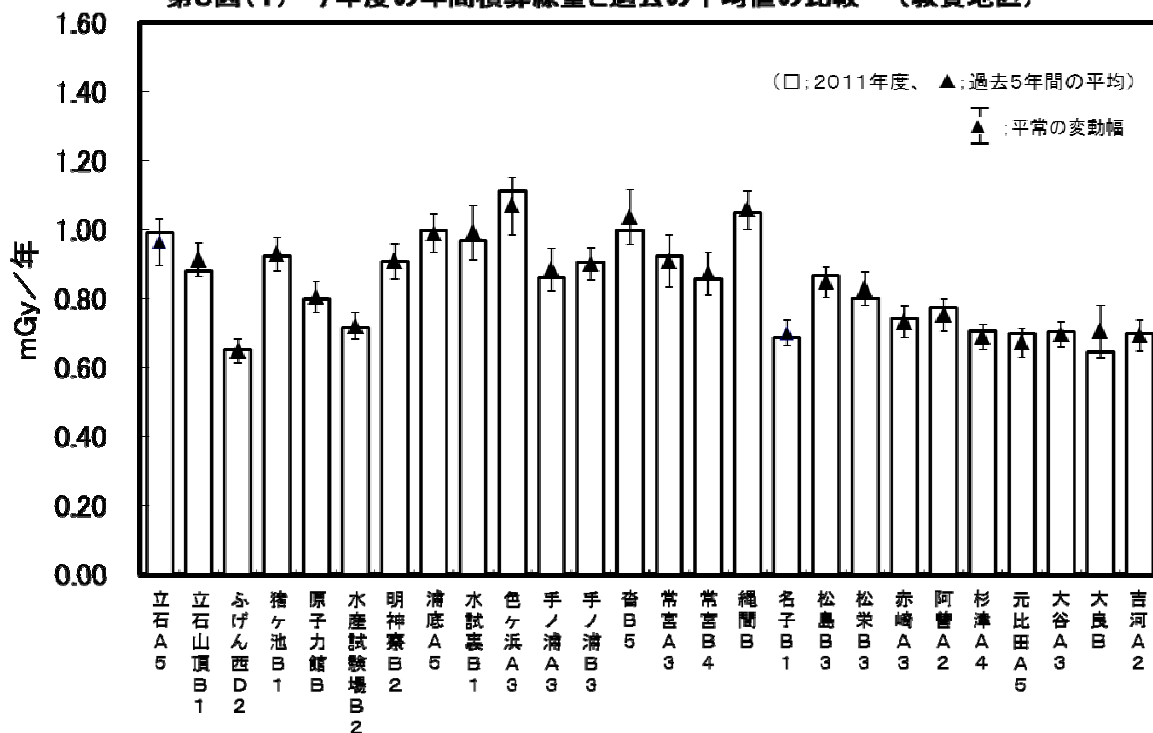


地区および地点により大きな差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島先端部の花崗岩地帯は、第9表の陸土の測定結果(p. 21)に示すとおり、カリウム-40、トリウム系列核種、ウラン系列核種が高濃度であるため線量が高くなっている。

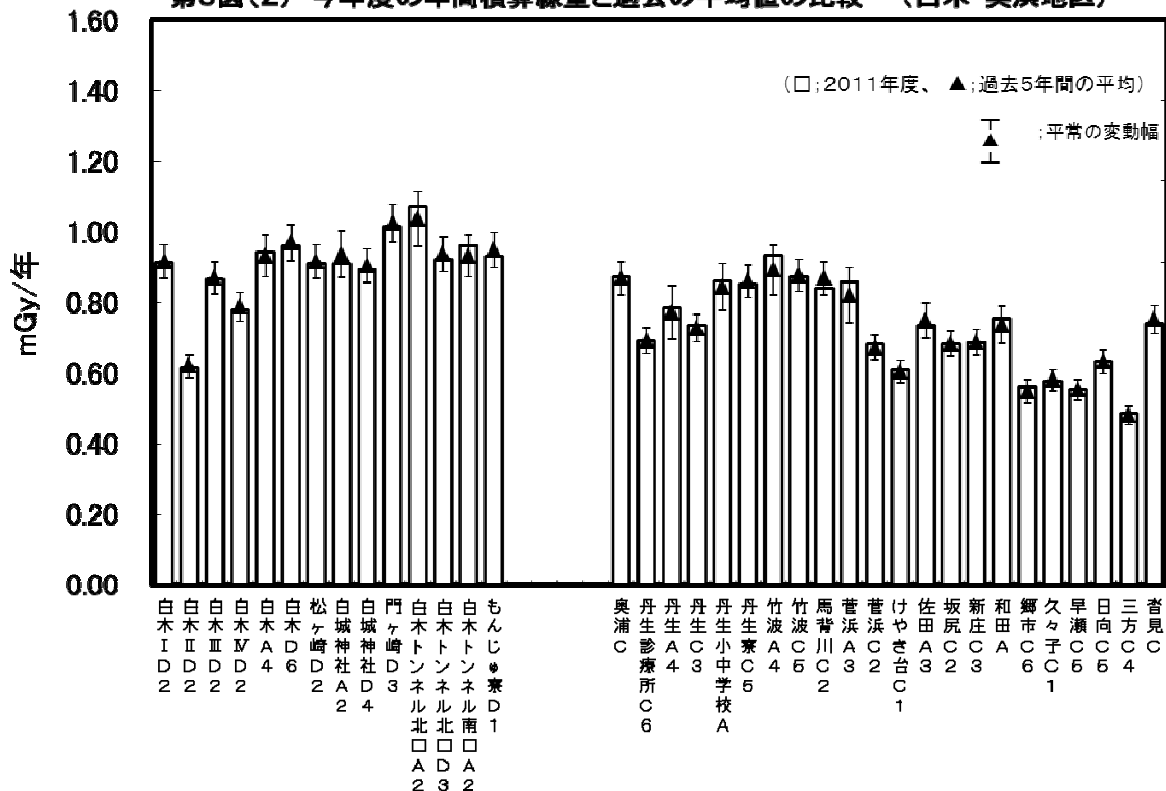
第3図(1~4)に地点毎の今年度の年間積算線量と過去(5ケ年)の平均値およびその平常の変動幅(注6)との比較を示す。今年度の測定値は、いずれの地点でも平常の変動範囲内であった。

(注6) 積算線量の平常の変動幅については、基本的に〔標準偏差(σ)の3倍〕の考え方に従って、各地点の過去5ケ年の測定結果の変動から求めている。「測定値の取扱い(2)(p. 30)」参照。

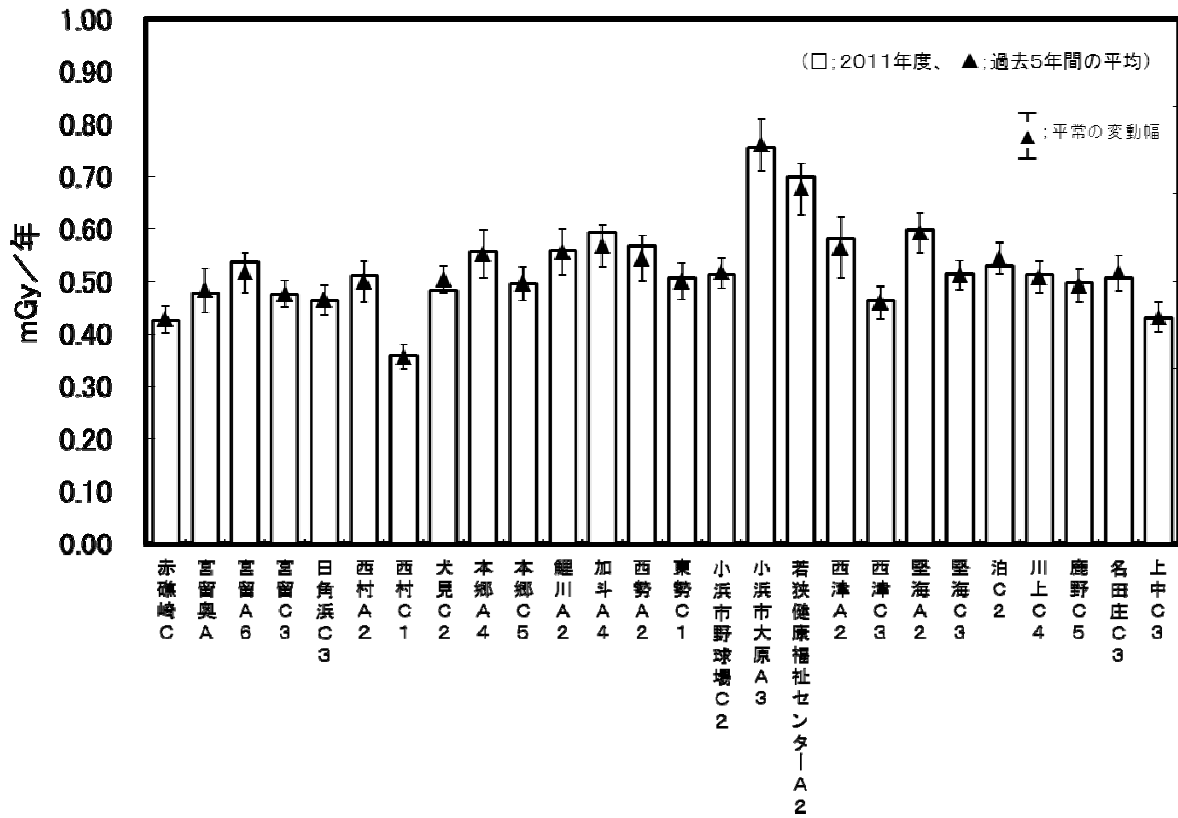
第3図(1) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (敦賀地区)



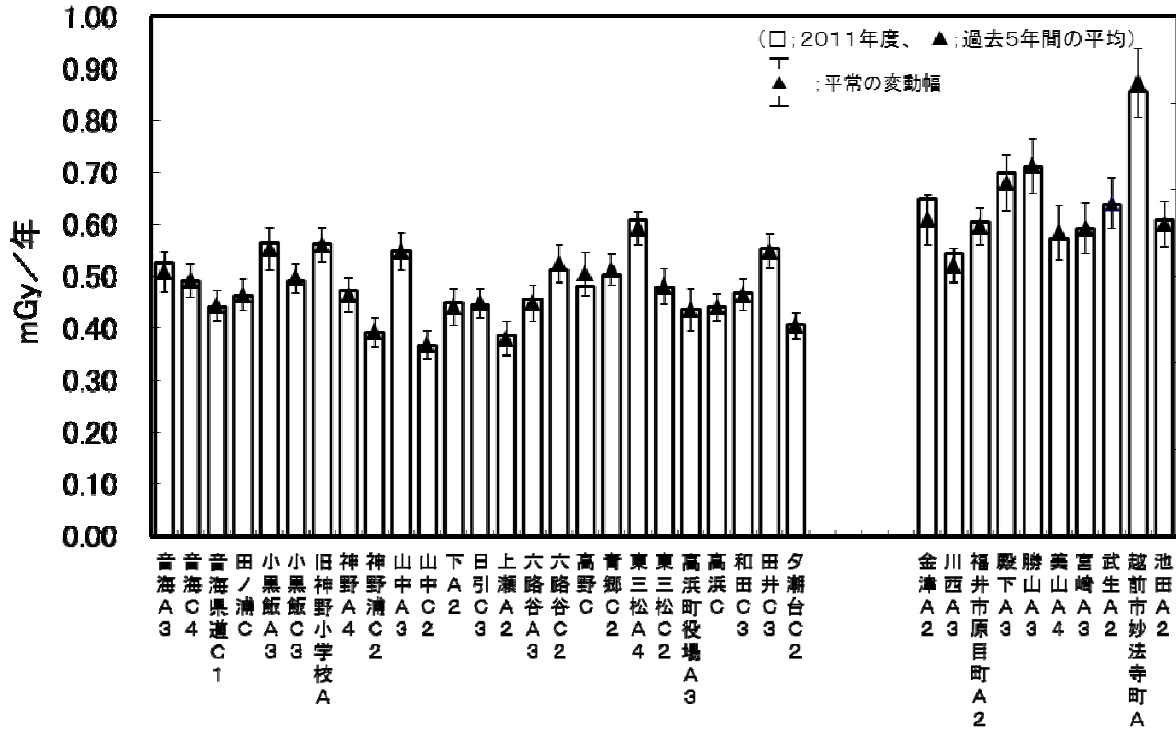
第3図(2) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (白木・美浜地区)



第3図(3) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (大阪地区)



第3図(4) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (高浜・対照地区)



2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分

第3表に今年度の大気・浮遊じん、大気中水分の調査結果の概要を示す。大気・浮遊じんはゲルマニウム半導体検出器による核種分析を、大気中水分はトリチウム分析をそれぞれ行っている。大気・浮遊じんの調査結果では、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-137 およびセシウム-134 が検出されたが、チェルノブイリ事故のレベル以下であった。また、対照地区を除く各地区の大気中水分に、発電所寄与のトリチウムが検出されたが、すでに述べたように(p. 8)、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第3表 大気中核種の地区別濃度範囲

核種分析：mBq/m³、³H：Bq/m³

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	³ H
敦賀	—	—	—	—	ND～0.2	ND～0.8	ND～0.7	0.0090 ～ 0.31
白木	—	—	—	—	ND～0.2	ND～0.7	ND～0.7	0.0083 ～ 0.055
美浜	—	—	—	—	ND～0.2	ND～0.8	ND～0.7	0.010 ～ 0.045
大飯	—	—	—	—	ND～0.2	ND～0.5	ND～0.4	0.015 ～ 0.14
高浜	—	—	—	—	ND～0.2	ND～0.5	ND～0.4	0.015 ～ 0.49
対照	—	—	—	—	ND～0.3	ND～0.1	ND～0.2	ND ～ 0.015

(注) —は検出例が1例もないもの、NDは検出限界値未満を示す(以下の第4表～第7表まで同様)。ヨウ素-131濃度については、大気中ヨウ素および浮遊じんを対象としている。トリチウム濃度については、月平均気温、月平均相対湿度をもとに算出した(付4.2参照)。実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する大気中トリチウム濃度は340Bq/m³である。

2.2.3 陸水

第4表に今年度の陸水(飲料水)の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、各地区とも発電所に起因する核種は検出されなかった。トリチウムからは発電所の影響は観測されず、環境安全上の問題はなかった。

第4表 飲料水の地区別核種濃度範囲

核種分析：mBq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	0.6～1.1
白木	—	—	—	—	—	ND～1.5
美浜	—	—	—	—	—	0.8～1.4
大飯	—	—	—	—	—	ND～1.0
高浜	—	—	—	—	—	ND～1.0
対照	—	—	—	—	—	ND～0.6

(注)実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する飲料水のトリチウム濃度は2,900 Bq/lである。

2.2.4 農産物、指標植物

指標植物(ヨモギ)は通常食用とはしないが、農産物が入手困難な季節でも各発電所近傍で採取が可能なおよび形状も比較的葉菜に近く、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。第5表に農産物、指標植物の今年度の調査結果の概要を示す。指標植物からはセシウム-137のほかに、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131およびセシウム-134が検出されたが、チェルノブイリ事故のレベル以下であった。

一方、放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、

過去の核実験のフォールアウト影響によるものと考えられ、環境安全上問題はなかった。

第5表 葉菜、指標植物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	—	—	—	—	ND～0.3	ND～0.6	ND～0.5	0.19	—
白木	—	—	—	—	—	ND～0.7	ND～0.2	0.070	ND～0.00086
美浜	—	—	—	—	—	ND～0.6	ND～0.3	0.19	—
大飯	—	—	—	—	—	ND～0.6	ND～0.6	0.12	—
高浜	—	—	—	—	—	ND～1.4	ND～1.2	0.39	0.00037
対照	—	—	—	—	ND～0.3	ND～0.7	ND～0.7	0.17	—

(注) ⁹⁰Sr、²³⁹Puは放射化学分析の結果

2.2.5 海産食品、指標海産生物

指標海産生物(ホンダワラ)は通常食用とはしないが、食用魚貝藻類が入手困難な季節でも各発電所近傍の定点で採取が可能なこと、および生態が食品と似ていて濃縮係数も比較的高いと考えられ、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。

第6表に今年度の海産食品(近海魚、サザエ、アワビ、ワカメ、モズク等)、指標海産生物の測定結果の概要を示す。今年度の調査結果では、一部の試料から核種分析でセシウム-137が検出されたほか、福島第一原子力発電所事故影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134が検出されたが、チェルノブイリ事故のレベル以下であった。

一方、放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、過去の核実験のフォールアウト影響によるものと考えられ、環境安全上問題はなかった。

第6表 海産食品、指標海産生物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	種類	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	魚	—	—	—	—	/	ND～0.8	ND～0.5	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	—	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.9	ND～0.1	ND～0.0	0.038	0.0012～0.010
白木	魚	—	—	—	—	/	0.0～0.2	—	/	—
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	—	/	0.035～0.043
	藻	—	—	—	—	ND～5.1	ND～0.1	ND～0.1	0.029	0.0023～0.021
美浜	魚	—	—	—	—	/	ND～0.1	—	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.1	—	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.8	ND～0.2	—	0.042	0.0013～0.050
大飯	魚	—	—	—	—	/	ND～0.1	—	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	—	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～1.0	ND～0.1	ND～0.0	0.033	0.0018～0.011
高浜	魚	—	—	—	—	/	0.0～0.1	—	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.1	—	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～1.0	ND～0.1	—	0.078	0.0024～0.013
対照	魚	—	—	—	—	/	0.1～0.2	—	/	/
	貝	—	—	—	—	/	0.0	—	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.4	ND～0.0	—	0.049	0.0027～0.0077

- ① 0.0は0.05未満を示す。/は調査対象外であることを示す。
- ② 指標海産生物のホンダワラは、藻類に含めた。
- ③ ¹³⁷Csはアンチコインシデンスによる測定結果を含む。
- ④ ⁹⁰Srと²³⁹Puは放射化学分析により求めた。

2.2.6 海水

第7表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、検出されたのはセシウム-137 とトリチウムであった。

セシウム-137の平均濃度は各地区とも2mBq/l程度で昨年度までと同様の値であり、対照地区の福井とも同レベルであることから過去の核実験影響とみなすことができる。

トリチウムについては、今年度、発電所寄与と考えられる値が検出されたのは敦賀地区、美浜地区、大飯地区および高浜地区で合わせて17例あった(第28表(p.126～128)参照)。これらはいずれも発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うものであり、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第7表 海水の地区別核種濃度範囲

核種分析：mBq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	³ H (注)
敦賀	—	—	—	ND ～ 2.2	ND ～ 50
白木	—	—	—	1.1 ～ 2.2	ND ～ 1.3
美浜	—	—	—	ND ～ 2.0	ND ～ 11
大飯	—	—	—	ND ～ 2.5	ND ～ 2.1
高浜	—	—	—	ND ～ 3.1	ND ～ 11
対照	—	—	—	1.5 ～ 2.5	—

(注；9ページの(注4)参照)

2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定

第8表に年間の測定結果の概要を示す。各地点の今年度の放射能濃度測定値はいずれも天然放射能（空気中のラドン娘核種濃度）のレベルであった。発電所由来の人工放射性核種を監視する指標としているベータ/アルファ放射能濃度比では、「平均値（M）+標準偏差（ σ ）の3倍」を超えるものが、各観測局で2例～12例観測されている。いずれも「平均値（M）+標準偏差（ σ ）の3倍」をわずかに超えたもの、もしくは濃度が低い時に観測されたものであることから、すべて天然放射能の変動によるものと考えられる。

なお、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析結果において、福島第一発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134等の人工放射性核種が検出されたが、その濃度は天然放射能レベルに比べて十分低かった。

第8表 浮遊じんの連続測定結果の概要

単位：Bq/m³

地区	観測局	ベータ（ β ） 放射能濃度		アルファ（ α ） 放射能濃度		β/α 放射能 濃度比（%）		β/α 比の M+3 σ を 超えた数
		年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	
敦賀	浦底A	3.5	30.6	6.6	56.2	53	67	2
	立石A	3.0	18.3	5.7	31.3	53	68	3
白木	白木A	3.3	30.6	6.2	55.1	54	68	10
	白木峠A	2.4	10.9	4.5	19.5	53	75	12
美浜	丹生A	3.0	15.4	5.2	26.2	57	74	8
	竹波A	3.7	31.9	7.2	60.9	52	66	9
大飯	日角浜A	3.3	14.9	6.4	31.7	52	68	7
	宮留A	3.2	14.0	6.0	28.6	53	71	12
高浜	小黒飯A	2.3	7.6	4.4	15.5	51	67	8
	音海A	2.5	8.2	4.9	16.8	52	67	8
	神野浦A	2.3	8.1	4.4	17.1	53	68	10

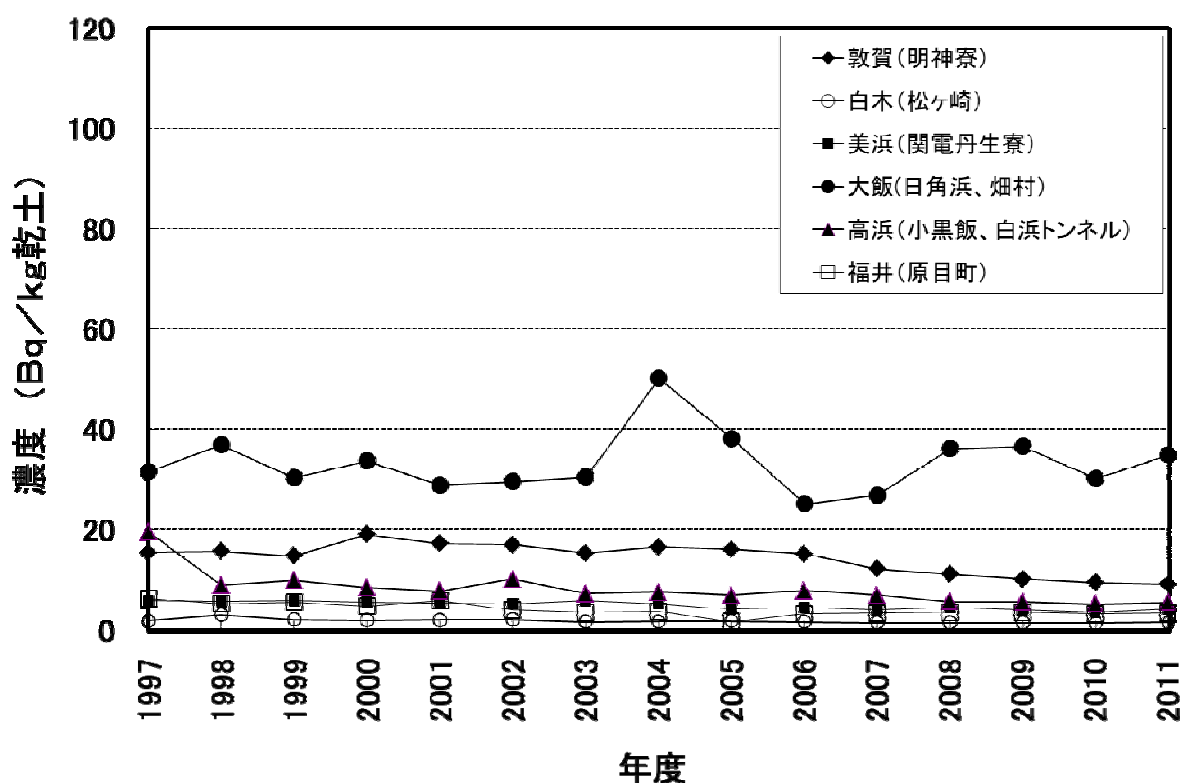
2.3.2 陸 土

今年度の調査結果では、一部の試料から過去の核実験影響のセシウム-137に加え、福島第一原子力発電所事故影響と考えられるセシウム-134が検出されたが、チェルノブイリ事故のレベル以下であった。

第4図に各地区の陸土のセシウム-137濃度（年間平均値、以下のグラフでも同様）の推移を示す。検出されたセシウム-137の大部分が過去の核実験フォールアウト影響が蓄積したものであり、今年度も特に大きな変動は見られなかった。また、第9表に示すように、陸土にはかなり高い濃度の天然放射性核種が含まれて自然の放射線源となっており、空間線量の測定値の大部分はこれらの寄与によるものである。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析によるプルトニウムの分析を白木地区および対照地区の陸土について行っている（添付資料第29表その3(p.131)参照）。今年度の結果は昨年度までと同程度であった。

第4図 陸土のセシウム-137濃度の推移



第9表 陸土中の天然放射性核種の平均濃度

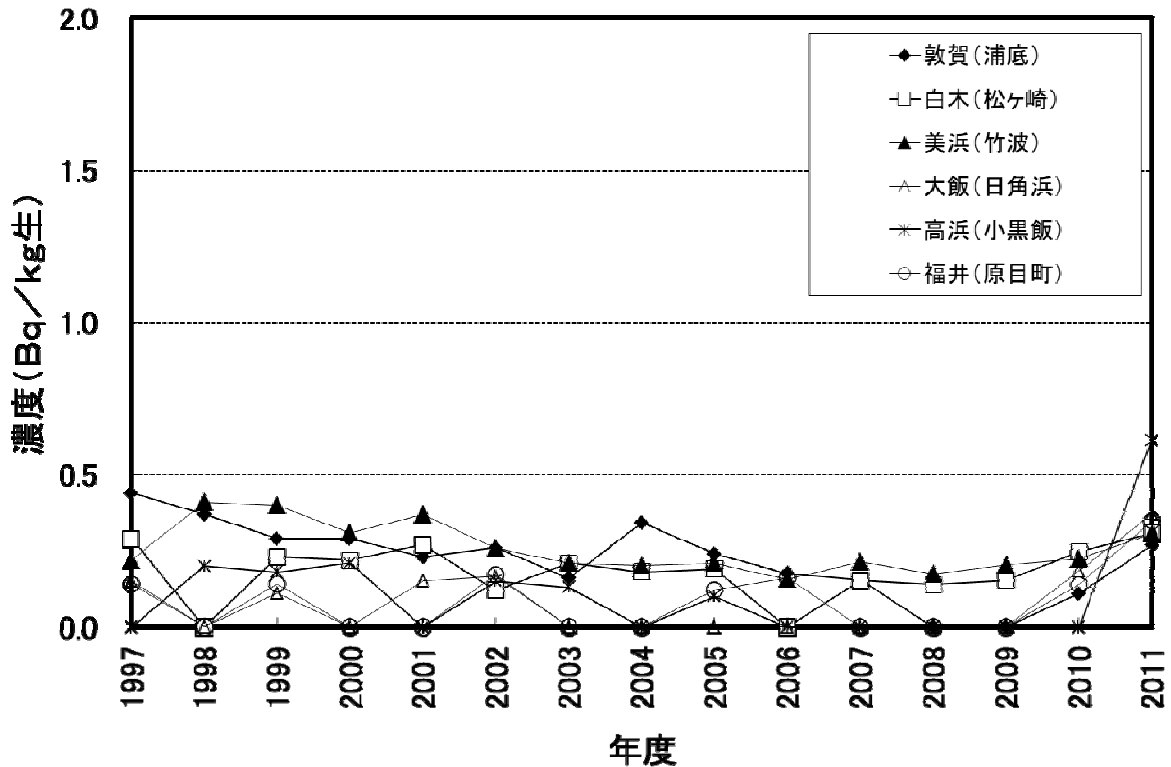
単位：Bq/kg 乾土

地区	地 点	カリウム-40	トリウム系列	ウラン系列
敦 賀	浦底・敦賀発電所北端	1 1 0 0	7 9	4 6
白 木	白木（松ヶ崎）	1 2 0 0	1 0 0	4 7
美 浜	丹生（関電丹生寮敷地内）	1 2 0 0	9 1	4 9
大 飯	日角浜・畑村	3 2 0	2 2	2 0
高 浜	小黒飯(旧道脇・白浜トンネル上)	6 1 0	4 0	2 5
対 照	福井市原目町	5 4 0	2 4	1 8

2. 3. 3 指標植物、松葉

第5図に各地点における指標植物のセシウム-137濃度の推移を示す。一部増加傾向の検出値があり、これは過去の核実験フォールアウト影響に加え、福島第一原子力発電所事故の影響が加わっていると考えられる。今年度の指標植物では一部の試料から、セシウム-137のほかにも、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131およびセシウム-134が検出された。また松葉からも同様に福島第一原子力発電所事故影響と考えられるセシウム-134ならびにセシウム-137が検出された。その検出濃度は指標植物、松葉ともチェルノブイリ事故のレベル以下であった。

第5図 指標植物のセシウム-137濃度の推移



(注) 上記の図は、検出値があるものだけの平均値
測定値がND(検出限界値未満)の場合、図では0のところに表示されている。
(第7図においても同様である)

2. 3. 4 降 下 物

今年度の毎月の調査結果では、全ての地区において一部の試料から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134 およびセシウム-137 が検出されたが、過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。セシウム-137 に関しては、過去にも大気圏内核実験等の影響で降下物から検出された実績があるが、今年度はヨウ素-131 とセシウム-134 も同時に検出されていること、および浮遊じんからも同様に検出されていることから事故の影響と判断される。

地点毎に月間試料を合わせ、年間集合試料として改めて測定しているが、全ての地区の試料から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134 およびセシウム-137 が検出された。4月、5月に降下したものが大部分を占め、従来の大気圏内核実験等の影響に、福島第一原子力発電所事故影響が加わっていると考えられる。今年度の各地区のセシウム-137 の年間降下量は $10\sim 36\text{Bq}/\text{m}^2\cdot\text{年}$ (添付資料第 30 表 (p. 133) 参照) と、事故の影響により、過去 3 ヶ年実績を超過したが、過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。

天然放射性核種のベリリウム-7 は、例年の傾向どおり秋から冬にかけて降下量が増加しており、最大で、 $1400\text{ Bq}/\text{m}^2\cdot\text{月}$ (添付資料第 20 表 (p. 107~p. 110) 参照) の降下量が観測されている。ナトリウム-22 は宇宙線によるもので、 $0.32\sim 0.57$ (平均 0.41) $\text{Bq}/\text{m}^2\cdot\text{年}$ (添付資料第 30 表 (p. 133) 参照) 観測されており、ベリリウム-7 の約 $1/10,000$ 程度の降下が見られる。今年度のベリリウム-7 の年間降下量の全地区の平均値は、約 $3,700\text{Bq}/\text{m}^2\cdot\text{年}$ である。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、雨水のトリチウム濃度、および年間集合試料を用いた放射化学分析による各地区のストロンチウム-90 とプルトニウム-239 の年間降下量を求めている (添付資料第 30 表 (p. 133) 参照)。

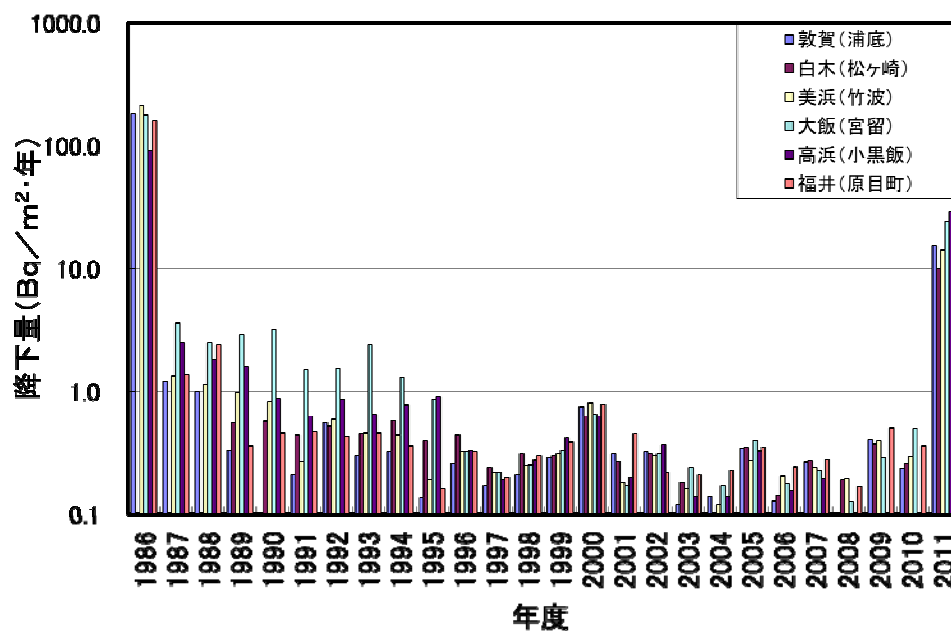
雨水のトリチウム濃度は、過去の実績とほぼ同程度の値が検出されたが、発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うものであった。

また、ストロンチウム-90 については、平成 22 年度の調査まで過去の核実験フォールアウト影響として検出されていたが、今年度は一部の試料で過去 3 ヶ年実績を超えて検出された。福島第一原子力発電所事故により放出されたストロンチウム-90 は $1.4\times 10^{14}\text{Bq}$ 、放射性セシウム (セシウム 134+セシウム 137) は $3.3\times 10^{16}\text{Bq}^{\ast 1}$ であり、事故により放出されたストロンチウム-90 は放射性セシウム放出量の 0.4%に当たる。このことから、年間降下物で検出されたストロンチウム-90 についても事故の影響が及んだ可能性がある。しかしながら、過去 3 ヶ年実績から判断すると、過去の核実験フォールアウト影響が大部分であり、事故の影響はごくわずかであった。なお、検出された濃度はチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。

プルトニウム-239 が昨年までと同様に検出されたが、全ての試料においてプルトニウム-238 は検出限界未満であるか、プルトニウム-238/プルトニウム-239 比が $1.5\sim 3.3\%$ の範囲であったことから、検出されたプルトニウムは昨年までと同様に、過去の核実験フォールアウト影響によるものと考えられる。

*1: 「東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に係る 1 号機、2 号機及び 3 号機の炉心の状態に関する評価について」 (平成 23 年 6 月 6 日経産省公表)、 「放射性物質放出量データ一部誤りについて」 (平成 23 年 10 月 20 日経産省公表)

第6図 セシウム-137の年間降下量の推移

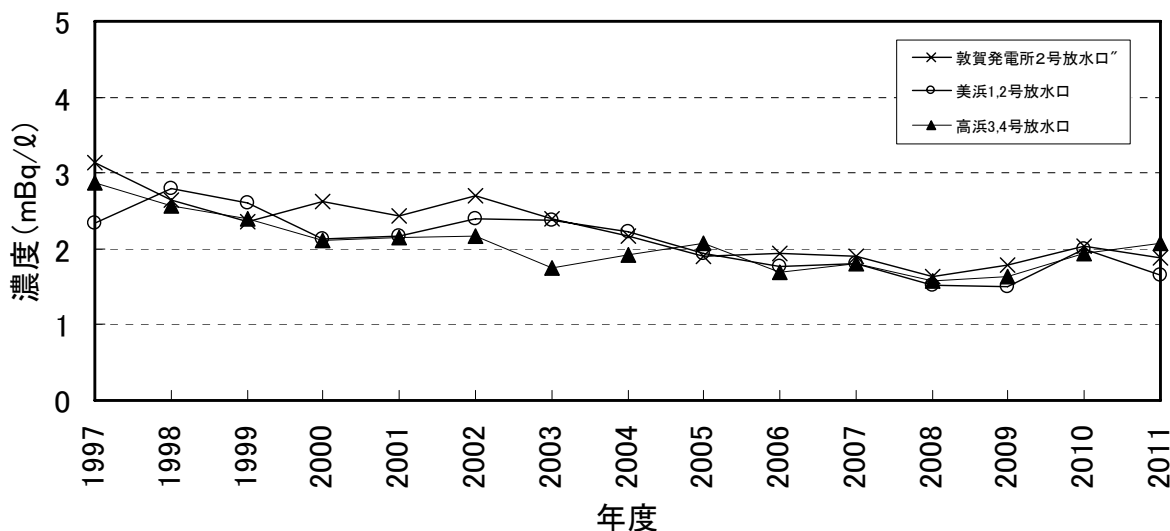


備考) 2006年度の測定結果については、各地区で試料の一部に欠損があったことから、参考値とする。
 2009年度の高浜地区の測定結果については、年間集合試料が作成できなかったため欠測とした。

2.3.5 海水

第7図に敦賀2号放水口、美浜発電所1,2号放水口、高浜3,4号放水口における海水のセシウム-137濃度の推移を示す。セシウム-137は過去の核実験フォールアウトの影響であり、各地点とも今年度の測定結果は従来と同程度であった。この図に示した地点以外の各地区の海水からもセシウム-137が検出されているが、従来と同程度であり、環境安全上問題となるレベルに比べ、はるかに低い濃度である。

第7図 海水のセシウム-137濃度の推移



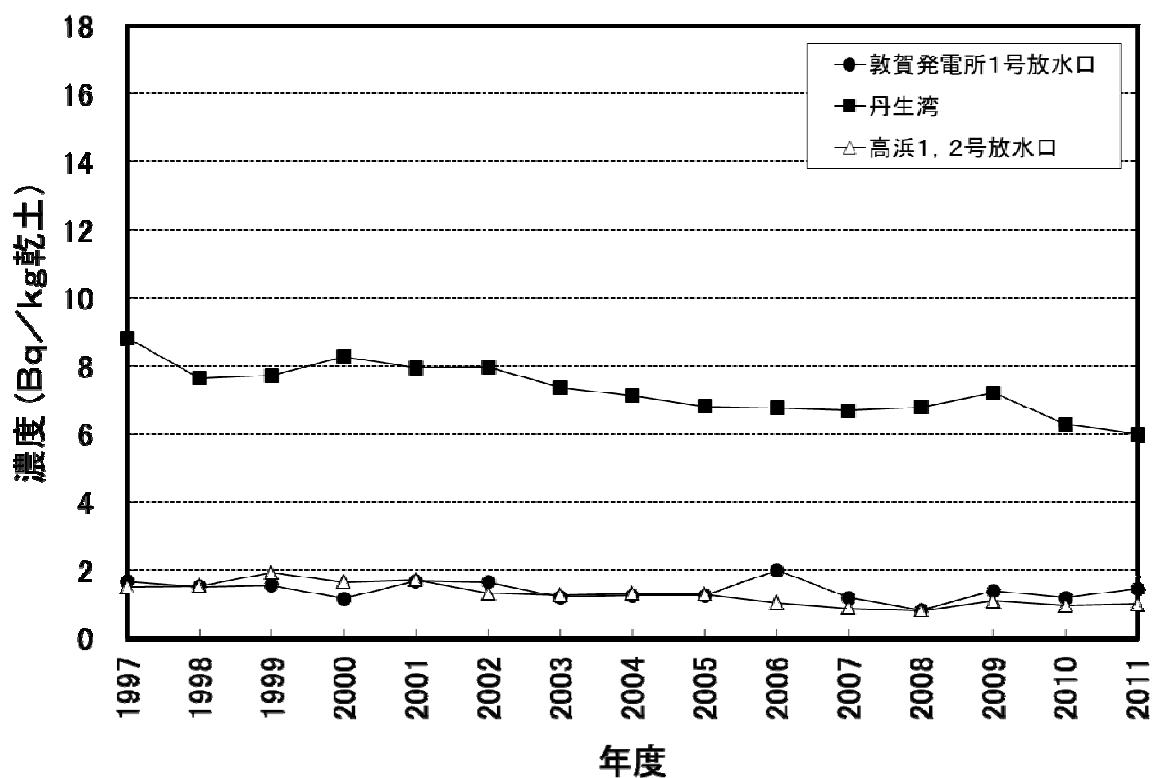
2.3.6 海底土

今年度の調査では、コバルト-60等の発電所に起因する核種はいずれの地区からも検出されなかった。

第8図に浦底湾（敦賀発電所1号放水口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のセシウム-137濃度の推移を示す。セシウム-137は過去の核実験由来であり、各地点とも今年度の測定結果は従来と同程度であった。この図に示した地点以外の各地区の海底土からもセシウム-137が検出されているが、底質が有機質に富んだ腐敗泥のところの濃度が高く、砂質のところは低くなっており、いずれも発電所稼動前の調査と同様の傾向を示している。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析により海底土についてプルトニウム-238、プルトニウム-239の濃度を求めている（添付資料第29表その4(p.132)参照）。今年度の結果は、プルトニウム-238、プルトニウム-239とも昨年度までと同程度であった。

第8図 海底土のセシウム-137濃度の推移



2.3.6 指標海産生物

指標海産生物の調査結果は、海産物についての預託実効線量の評価の際にも役立てているため、既に2.2.5海産食品、指標海産生物で取扱ったが、発電所に起因する核種の変動傾向を把握するため、改めて今年度の指標海産生物の調査結果について述べる。

今年度のホンダワラの調査の結果では、一部の試料から福島第一原子力発電所事故影響と考えられるヨウ素-131も検出されたがチェルノブイリ事故のレベル以下であった。また、セシウム-137については、いずれの地区でも従来と同程度の極めて低い濃度であり、過去の核実験影響のレベルであった。

(参考) 今年度のセシウム-137 分析結果

環境モニタリングの目的のひとつに「環境における放射性物質の蓄積状況の把握」を掲げていることから、環境で最も多く検出されているセシウム-137 について、試料区分毎の今年度の結果と過去3ヶ年検出実績の比較をまとめたものを以下に示す。

今年度は、浮遊じん、陸土、指標植物、松葉、降下物および海産食品（魚類）の一部に福島第一原子力発電所事故影響が現れたが、検出濃度ならびに検出頻度は減少傾向にある。また、対照地区も含め各地区でほぼ同一水準であるという結果は、「今年度の値はいずれも過去に行われた核実験フォールアウト影響に福島第一原子力発電所事故影響が加わった」というこれまでの評価を裏づけるものであり、県内原子力発電所に起因するものは認められなかった。

今年度のセシウム-137 分析結果

単位：浮遊じん (mBq/m³)、降下物 (Bq/m²)、陸水・海水 (mBq/l)、その他 (Bq/kg)

試料	敦 賀		白 木		美 浜	
	11 年度	08～10 年度	11 年度	08～10 年度	11 年度	08～10 年度
浮遊じん	ND～0.8	ND～0.1	ND～0.7	ND～0.0	ND～0.8	ND～0.0
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	7.5～22	8.3～28	1.4～1.7	0.8～2.2	2.9～5.4	2.5～6.2
原乳	/	/	/	/	—	—
指標植物	ND～0.6	ND～0.1	ND～0.7	ND～0.3	ND～0.6	ND～0.4
松葉	0.4～1.3	—	0.6～1.5	—	0.6～1.3	—
農産物	0.0	ND～0.0	—	ND～0.0	—	ND～0.0
降下物	ND～14	ND～0.3	ND～9.8	—	ND～15	ND～0.3
海水	ND～2.2	ND～2.4	1.1～2.2	ND～2.1	ND～2.0	ND～2.6
海底土	ND～3.3	ND～3.5	—	—	ND～9.7	ND～8.8
海産食品（魚類）	ND～0.8	ND～0.2	0.0～0.2	0.0～0.3	0.0～0.1	0.0～0.1
〃（貝類）	—	ND～0.0	—	ND～0.0	ND～0.1	ND～0.0
〃（藻類）	ND～0.1	—	ND～0.1	—	—	—
指標海産生物	—	ND～0.1	—	—	ND～0.2	ND～0.1

試料	大 飯		高 浜		対 照	
	11 年度	08～10 年度	11 年度	08～10 年度	11 年度	08～10 年度
浮遊じん	ND～0.5	ND～0.0	ND～0.5	—	ND～0.1	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	2.4～69	2.0～89	3.6～6.6	4.2～9.0	3.0～140	2.6～150
原乳	/	/	/	/	ND～0.1	—
指標植物	ND～0.6	ND～0.2	ND～1.4	—	ND～0.7	ND～0.1
松葉	0.7～1.5	—	1.1～2.4	—	1.5	ND～0.6
農産物	—	—	—	—	—	—
降下物	ND～24	ND～0.3	ND～36	ND～0.1	ND～23	ND～0.3
海水	ND～2.5	ND～2.0	ND～3.1	ND～2.5	1.5～2.5	ND～1.8
海底土	ND～3.8	ND～4.3	ND～1.9	ND～3.9	/	/
海産食品（魚類）	ND～0.1	0.0～0.2	0.0～0.1	0.0～0.2	0.1～0.2	0.1～0.3
〃（貝類）	ND～0.0	ND～0.0	ND～0.1	ND～0.0	—	—
〃（藻類）	ND～0.0	—	—	—	—	—
指標海産生物	—	ND～0.0	ND～0.1	ND～0.3	—	—

(注) —またはNDは「検出されず」を、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を示す。

08～10年度の欄で、—と記したものは検出実績が1例もないものである。/は調査対象外を示す。

3 添付資料

3.1 調査方法

3.2 調査地点図表

第1図～第8図 調査地点図

第1表 調査地点の詳細

3.3 測定法

第2表～第7表 測定法、測定器

3.4 測定結果

第8表～第10表 空間線量測定結果

第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

第13表～第24表 核種分析結果

第25表～第28表 トリチウム分析結果

第29表 放射化学分析等による ^{90}Sr , ^{137}Cs ,
 ^{239}Pu 分析結果

第30表 年間降下物の ^{90}Sr , ^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{239}Pu
分析結果 [参考：定期外調査]

第31表 各地の積雪量 (2011年12月～2012年3月)
[参考データ]

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点（概要）

調査地点はおおむね以下のとおりである。

①調査対象地区：（調査地区）敦賀、白木、美浜、大飯、高浜
（対照地区）福井市等嶺北地方

②陸上試料採取地点：ほぼ主風向下の各発電所から約1～2kmの集落近傍の定点

③海洋試料採取地点：各放水口および放水口沖約1kmの定点

調査の分担実績を3.1.3 (p.29)に示す。また、調査地点図を第1図～第8図 (p.35～p.43)に、調査地点の詳細を第1表 (p.44～p.47)にそれぞれ示す。

3.1.2 調査方法（概要）

空間線量測定法、浮遊じん放射能の連続測定法、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法および各種試料の対象核種と検出目標値、各機関で用いている測定器を第2表～第7表 (p.48～p.52)に示す。

核種濃度の測定は大部分がゲルマニウム半導体検出器による核種分析である。ゲルマニウム検出器による核種分析の目的核種はマンガン-54(^{54}Mn)、コバルト-58(^{58}Co)、コバルト-60(^{60}Co)、セシウム-137(^{137}Cs)およびヨウ素-131(^{131}I)である。その他に、ナトリウム-22(^{22}Na)も平成7年度より対象核種としている。

ヨウ素-131を対象とする試料については、試料の前処理および測定までに要する日数に特に留意した。また、セシウム-137は、一部の試料についてゲルマニウム検出器を用いたアンチコインシデンス測定も行っている。

ゲルマニウム半導体検出器による核種分析では、ガンマ線を放出する他の核種も同時に分析できるので、起源の判断や自然放射線の寄与などの参考とするため、ルテニウム-106

(^{106}Ru)、セリウム-144(^{144}Ce)、カリウム-40(^{40}K)、ベリリウム-7 (^7Be)、トリウム系列、ウラン系列等の核種の濃度も測定結果に併記した。

以上のほかに、ストロンチウム-90(^{90}Sr)、プルトニウム-238(^{238}Pu)、プルトニウム-239(^{239}Pu)の放射化学分析およびトリチウム(^3H)分析を行っている。

前処理法および分析測定法は、以下に列挙する方法に準拠した。

なお、測定結果の評価等に関する取扱いは「3.1.4 測定値の取扱い (p.30～p.34)」に一括して記載した。

<前処理法>

(1)降下物

- ・月間降下物（水盤法）の前処理法

（昭和58年3月：福井県環境放射能測定技術会議 資料）

<分析測定法>

(1)線量率連続測定

- ・連続モニタによる環境 γ 線測定法

（平成8年3月1訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ）

(2)積算線量

- ・ TLD測定マニュアル*¹
(昭和 55 年 1 月：福井県環境放射能測定技術会議)
(平成 6 年 3 月：一部改訂*²)
(平成 8 年 3 月：一部改訂*²)
- ・ 熱ルミネセンス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成 2 年 2 月 1 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成 14 年 7 月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計測定マニュアル
(平成 19 年 2 月：福井県環境放射能測定技術会議)

(3)ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法

- ・ Ge(Li)検出器による環境試料の核種分析法
(昭和 50 年 8 月：福井県衛生研究所 調査研究報告)
- ・ ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリ
(平成 4 年 8 月 3 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(4)トリチウム

- ・ トリチウム分析法
(平成 14 年 7 月 2 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ トリチウム迅速分析法*³
(平成 9 年 12 月：福井県環境放射能測定技術会議)

(5)ストロンチウム-90

- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和 55 年 1 月：福井県環境放射能測定技術会議)
(昭和 60 年 3 月：一部改訂)
- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和 58 年 12 月 3 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(6)プルトニウム

- ・ プルトニウム・アメリシウム逐次分析法
(平成 2 年 11 月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(*1)昭和 60 年度から TLD 測定マニュアルの p.9 第 1 表(棄却限界表)として ASTM:E178-80 を用いている。

(*2)平成 6 年度より 3 ヶ月平均値の標準偏差の算出を、従来の一次回帰から求める方法から個々の測定地点より求める方法に改訂した。さらに、平成 8 年度より基本的に全地点の平均的な相対標準偏差 3.5%を用いる方法に改訂した。

(*3)試料調整から 3 時間以内で 74 Bq/l(当時の公衆の年実効線量当量限度 1 ミシーベルトの 1000 分の 1 に相当する濃度)を確認できる方法である。

3. 1. 3 調査の分担実績

区分	定期調査（分布調査等を含む）												放射化学分析等 県, 原子力機構	
	県						原電	原子力機構			関電			各地区
調査機関	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜		
調査項目	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜		
線量率(年間連続)	4	2	3	5	4		10	6	5	11	11	10		
積算線量	11(44)	4(16)	6(24)	11(44)	10(40)	10(40)	14(56)	1(4)	10(40)	16(64)	15(60)	15(60)		
浮遊じん(年間連続)	2	2	2	2	3									
<核種分析>														
大気中ヨウ素-131	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)									
浮遊じん	2(16)	2(16)	2(16)	2(16)	3(20)	1(12)	3(36)		1(12)	1(12)	1(12)	2(24)		
陸水	飲料水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
	河川水									1(2)				
陸土	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	2(3)	1(2)	1(4)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	(5)	
指標植物	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)							(18)	
松葉						1(1)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)		
農産物	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)							(1)	
原乳			1(3)			1(3)								
降下物	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		
海水	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	2(8)	1(4)	2(8)		
海底土	6(7)	5(7)	7(9)	3(4)	7(9)		3(10)	2(8)	2(8)	4(16)	2(8)	3(12)	(23)	
海産食品	魚類	(8)	(4)	(5)	(4)	(4)	(3)	(1)	(1)	(2)	(4)	(2)	(2)	(6)
	貝類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)	(10)
	藻類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)	(15)
指標海産生物	ホンダワラ	4(10)	1(4)	2(8)	1(4)	3(8)	1(4)	5(10)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(12)	(23)
核種分析合計														
	(89)	(77)	(89)	(74)	(89)	(55)	(83)	(21)	(52)	(72)	(50)	(80)	(101)	
<トリチウム>														
陸水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
大気中水分	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	2(24)	2(24)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		
月間雨水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		
海水	3(6)	2(4)	3(6)	2(4)	3(6)	1(2)	3(6)	3(6)	2(6)	3(10)	2(6)	4(26)		
トリチウム合計	(26)	(24)	(26)	(24)	(26)	(22)	(38)	(30)	(26)	(28)	(24)	(46)		
放射能調査 合計														
	(115)	(101)	(115)	(98)	(115)	(77)	(121)	(51)	(78)	(100)	(74)	(126)	(101)	

(注) 調査地点数を示す。()内は年間試料数である。

3. 1. 4 測定値の取り扱いについて

(1) テレメータシステムによる線量率連続測定結果

- ① 空間線量率は空気吸収線量率とし、テレメータシステムにより収集された 10 分値等をもとに計算された 1 時間値を、nGy/h で報告する。
- ② 測定値は小数点以下第 1 位までとし、第 2 位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、各月の $M+3\sigma$ を超えたデータについては、降雨等の気象状況、近接局の結果、放射線のエネルギー情報等を調査し、変動原因を報告する。
なお、原子力施設からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。
- ④ 変動原因の報告において「降雨」とする条件は基本的に以下の場合とし、気象観測装置の設置状況等考慮して総合的に判断する。
 - (a) 雨量計 (0.5mm 以上) の指示値があった場合、指示開始 1 時間前から指示終了後 2 時間までを「降雨あり」とする。
 - (b) 感雨計の指示があった場合、指示開始から指示終了後 1 時間までを「降雨あり」とする。
 - (c) 空間線量率測定地点で気象観測をおこなっていない地点では、近接局の雨量計または感雨計の指示値により「降雨あり/なし」を判断する。

(2) 積算線量測定結果

- ① 積算線量は空気吸収線量を、mGy/92 日 単位で報告する。
- ② 測定値は、小数点以下第 3 位まで表示し、第 4 位を四捨五入する。
- ③ 地点毎の過去 5 ケ年の平均値 (M) を求め、平常の変動幅 ($M-3 \times C.V. \times M$) \sim ($M+3 \times C.V. \times M$) の範囲を超えた場合は、周辺環境等の変化等の原因の調査を行う。評価に用いる相対標準偏差 (C.V.) は、過去の平均的な値である 3.5%とする。ただし、自然放射線の変動等でこの平均的な変動範囲を上回る固有の変動幅がある地点については、地点毎に求めた過去 5 ケ年の標準偏差 (σ) を用いる。周辺環境等の変化により過去の蓄積データが 2 年に満たない地点の相対標準偏差 (C.V.) は、3.5%とする。
- ④ 表-1 に今年度の平常の変動幅を示す。基本的には 2006 年度から 2010 年度までの 5 年間で計算し、地点変更があった場合は、現在と同じ状況となった後のデータで計算している。
 - ・ 原子力機構 (D) は、2007 年度より蛍光ガラス線量計を採用しているが、2006 年度までの事前測定値を含め計算している。
- ⑤ 年間積算値の平常の変動幅については、経験的にも 3 ヶ月値から求めた平常の変動幅の 2 倍であることが知られている。平成 2 年度以降これを採用している。

表－1 積算線量における平常の変動幅（平成23年度用）

※ 2年未満の期間では、評価用 $\sigma = 3.5\%$ 固定

<敦賀地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
A	立石A5(八坂神社)	0.241	0.01105	4.59	4.59	0.208	0.274	20
B	立石山頂B1(山頂付近)	0.228	0.00826	3.63	3.63	0.203	0.252	20
D	ふげん西D2(西敷地境界付近)	0.162	0.00394	2.44	3.50	0.145	0.178	20
B	猪ヶ池B1(敦賀原子力館下)	0.232	0.00559	2.41	3.50	0.208	0.256	20
B	原子力館B(原子力館敷地)	0.201	0.00761	3.78	3.78	0.178	0.224	20
B	水産試験場B2(水試)	0.180	0.00275	1.53	3.50	0.161	0.199	20
B	明神寮B2(明神寮)	0.227	0.00853	3.75	3.75	0.202	0.253	20
A	浦底A5(剣神社)	0.247	0.00924	3.73	3.73	0.220	0.275	20
B	水試裏B1(水産試験場裏)	0.248	0.01316	5.30	5.30	0.209	0.288	20
A	色ヶ浜A3(本隆寺)	0.267	0.01385	5.19	5.19	0.225	0.308	20
A	手ノ浦A3(舟幸寺)	0.221	0.01009	4.57	4.57	0.190	0.251	20
B	手ノ浦B3(舟幸寺)	0.225	0.00559	2.49	3.50	0.201	0.248	20
B	沓B5(常福寺)	0.259	0.01325	5.11	5.11	0.219	0.299	20
A	常宮A3(常宮小学校)	0.227	0.01276	5.63	5.63	0.189	0.265	20
B	常宮B4(常宮神社)	0.218	0.01020	4.68	4.68	0.188	0.249	8
B	縄間B(宗清寺)	0.264	0.00914	3.47	3.50	0.236	0.291	20
B	名子B1(名子バス停)	0.175	0.00427	2.44	3.50	0.157	0.194	20
B	松島B3(原電松島寮)	0.212	0.00544	2.57	3.50	0.190	0.234	20
B	松栄B3(敦賀合同庁舎)	0.207	0.00806	3.90	3.90	0.183	0.231	20
A	赤崎A3(赤崎小グラウンド)	0.183	0.00757	4.14	4.14	0.160	0.206	20
A	阿曾A2(ふれあい会館)	0.188	0.00774	4.12	4.12	0.165	0.211	20
A	杉津A4(東浦小中学校)	0.172	0.00551	3.21	3.50	0.154	0.190	20
A	元比田A5(集落掲示板横)	0.168	0.00703	4.20	4.20	0.146	0.189	20
A	大谷A3(八幡神社)	0.174	0.00604	3.46	3.50	0.156	0.193	20
B	大良B(大良集会所)	0.176	0.01277	7.27	7.27	0.137	0.214	20
A	吉河A2(原子力センター)	0.173	0.00744	4.29	4.29	0.151	0.196	20

<白木地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
D	白木ⅠD2(北東敷地境界)	0.229	0.00521	2.28	3.50	0.205	0.253	20
D	白木ⅡD2(東南東敷地境界)	0.155	0.00515	3.32	3.50	0.139	0.171	20
D	白木ⅢD2(南南東敷地境界)	0.217	0.00545	2.52	3.50	0.194	0.239	20
D	白木ⅣD2(南西敷地境界)	0.197	0.00462	2.35	3.50	0.176	0.217	20
A	白木A4(県白木観測局)	0.233	0.00992	4.26	4.26	0.203	0.263	20
D	白木D6(松原小学校白木分校跡)	0.242	0.00510	2.11	3.50	0.217	0.267	20
D	松ヶ崎D2(機構モニターション)	0.229	0.00475	2.07	3.50	0.205	0.253	20
A	白城神社A2(神社鳥居横)	0.234	0.01101	4.71	4.71	0.201	0.267	20
D	白城神社D4(神社鳥居横)	0.226	0.00490	2.17	3.50	0.203	0.250	20
D	門ヶ崎D3	0.256	0.00622	2.43	3.50	0.229	0.282	20
A	白木トンネル北口A2	0.259	0.01306	5.04	5.04	0.220	0.298	20
D	白木トンネル北口D3	0.234	0.00659	2.82	3.50	0.209	0.258	20
A	白木トンネル南口A2 (溪流水貯水池横)	0.233	0.00976	4.20	4.20	0.203	0.262	20
D	もんじゅ寮D1(もんじゅ寮前)	0.237	0.00722	3.04	3.50	0.212	0.262	20

< 美浜地区 >

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
C	奥浦C(奥浦公園奥)	0.217	0.00385	1.77	3.50	0.194	0.240	20
C	丹生診療所C6(丹生診療所)	0.173	0.00589	3.41	3.50	0.155	0.191	20
A	丹生A4(中村旅館)	0.193	0.01257	6.51	6.51	0.155	0.231	20
C	丹生C3(丹生漁港)	0.182	0.00514	2.83	3.50	0.163	0.201	20
A	丹生小中学校A	0.211	0.01107	5.25	5.25	0.178	0.244	20
C	丹生素C5(関電丹生素)	0.215	0.00488	2.27	3.50	0.192	0.237	20
A	竹波A4(県テレメ観測局)	0.223	0.01164	5.23	5.23	0.188	0.257	20
C	竹波C5(高那弥神社)	0.219	0.00586	2.68	3.50	0.196	0.242	20
C	馬背川C2(ポンプ場)	0.217	0.00630	2.89	3.50	0.195	0.240	20
A	菅浜A3(旧菅浜保育所)	0.205	0.01291	6.30	6.30	0.166	0.244	20
C	菅浜C2(民宿藤田横)	0.168	0.00465	2.76	3.50	0.151	0.186	20
C	けやき台C1(けやき台ハイツ)	0.151	0.00468	3.10	3.50	0.135	0.167	20
A	佐田A3(あおなみ保育園)	0.187	0.00815	4.35	4.35	0.163	0.212	8
C	坂尻C2(三谷商店前)	0.171	0.00432	2.52	3.50	0.153	0.189	20
C	新庄C3(日吉神社)	0.172	0.00420	2.44	3.50	0.154	0.190	20
A	和田A(ふる里交流センター)	0.184	0.00871	4.73	4.73	0.158	0.210	20
C	郷市C6(美浜町役場)	0.137	0.00545	3.97	3.97	0.121	0.153	20
C	久々子C1(県園芸試験場)	0.145	0.00417	2.88	3.50	0.130	0.160	20
C	早瀬C5(水無月神社)	0.138	0.00395	2.87	3.50	0.123	0.152	20
C	日向C5(日向漁業センター)	0.158	0.00448	2.84	3.50	0.141	0.175	20
C	三方C4(若狭町役場三方庁舎)	0.120	0.00376	3.13	3.50	0.108	0.133	20
C	沓見C(原子力発電訓練センター)	0.188	0.00522	2.78	3.50	0.168	0.207	20

< 大飯地区 >

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
C	赤礁崎C(関電あかぐり崎クラブ)	0.107	0.00422	3.96	3.96	0.094	0.119	20
A	宮留奥A(あかぐり海釣公園)	0.121	0.00698	5.76	5.76	0.100	0.142	20
A	宮留A6(県テレメ観測局)	0.129	0.00636	4.92	4.92	0.110	0.148	20
C	宮留C3(エルパーク大飯下三叉路)	0.119	0.00427	3.59	3.59	0.106	0.132	20
C	日角浜C3(大島公民館)	0.116	0.00461	3.97	3.97	0.102	0.130	20
A	西村A2(常禅寺)	0.125	0.00646	5.15	5.15	0.106	0.145	20
C	西村C1(西村トンネル南口県道脇)	0.089	0.00390	4.39	4.39	0.077	0.101	20
C	犬見C2(集落手前道端)	0.126	0.00440	3.48	3.50	0.113	0.140	20
A	本郷A4 (町営住宅サンハイムうらら)	0.138	0.00759	5.51	5.51	0.115	0.161	20
C	本郷C5(おおい町役場)	0.124	0.00549	4.42	4.42	0.108	0.141	20
A	鯉川A2(牛尾神社)	0.139	0.00723	5.19	5.19	0.118	0.161	20
A	加斗A4(加斗小学校)	0.142	0.00656	4.62	4.62	0.122	0.162	20
A	西勢A2 (民宿つどい前ゲートボール場)	0.136	0.00720	5.29	5.29	0.115	0.158	20
C	東勢C1(旧道脇)	0.125	0.00575	4.59	4.59	0.108	0.143	20
C	小浜市野球場C2 (小浜市営野球場)	0.129	0.00477	3.70	3.70	0.114	0.143	20
A	小浜市大原A3(栖雲寺)	0.190	0.00834	4.39	4.39	0.165	0.215	20
A	若狭健康福祉センターA2	0.169	0.00823	4.86	4.86	0.145	0.194	20
A	西津A2(水産高校)	0.141	0.00962	6.84	6.84	0.112	0.169	20
C	西津C3(小浜漁協西津支所)	0.115	0.00514	4.46	4.46	0.100	0.131	20
A	堅海A2(旧堅海小学校)	0.148	0.00642	4.34	4.34	0.129	0.167	20
C	堅海C3(県栽培漁業センター)	0.128	0.00468	3.66	3.66	0.114	0.142	20
C	泊C2(大谷旅館前)	0.136	0.00505	3.71	3.71	0.121	0.151	20
C	川上C4(川上公民館)	0.127	0.00506	3.97	3.97	0.112	0.143	20
C	鹿野C5(佐分利小学校)	0.123	0.00521	4.23	4.23	0.108	0.139	20
C	名田庄C3(名田庄観光館)	0.129	0.00550	4.28	4.28	0.112	0.145	20
C	上中C3(上中体育館)	0.108	0.00472	4.39	4.39	0.093	0.122	20

<高浜地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
A	音海A3(児玉旅館)	0.127	0.00717	5.64	5.64	0.106	0.149	20
C	音海C4(音海漁港奥)	0.123	0.00533	4.32	4.32	0.107	0.139	20
C	音海県道C1 (日本海港湾圏保稅上屋入口門付近)	0.111	0.00490	4.40	4.40	0.097	0.126	20
C	田ノ浦C (南東敷地境界)	0.116	0.00487	4.18	4.18	0.102	0.131	20
A	小黒飯A3(寿奎寺裏旧道脇)	0.138	0.00676	4.91	4.91	0.117	0.158	20
C	小黒飯C3(白浜トンネル北口)	0.124	0.00462	3.73	3.73	0.110	0.137	20
A	旧神野小学校A	0.140	0.00553	3.95	3.95	0.124	0.157	20
A	神野A4(桃源寺)	0.116	0.00533	4.59	4.59	0.100	0.132	20
C	神野浦C2(関電モータポスト)	0.098	0.00467	4.75	4.75	0.084	0.112	20
A	山中A3(県テレメ観測局)	0.137	0.00583	4.24	4.24	0.120	0.155	20
C	山中C2(JA若狭内浦出張所)	0.092	0.00451	4.92	4.92	0.078	0.105	20
A	下A2(産霊神社)	0.110	0.00593	5.38	5.38	0.093	0.128	20
C	日引C3(旧日引小学校)	0.112	0.00477	4.27	4.27	0.098	0.126	20
A	上瀬A2(山神社)	0.095	0.00555	5.85	5.85	0.078	0.111	20
A	六路谷A3(ふれあい会館)	0.112	0.00572	5.11	5.11	0.095	0.129	20
C	六路谷C2(杉森神社横)	0.131	0.00609	4.66	4.66	0.112	0.149	20
C	高野C(旧青郷小学校高野分校)	0.126	0.00680	5.38	5.38	0.106	0.147	20
C	青郷C2(青郷小学校)	0.128	0.00496	3.88	3.88	0.113	0.142	20
A	東三松A4(東三松グラウンド)	0.148	0.00535	3.62	3.62	0.132	0.164	20
C	東三松C2(民宿萩の家)	0.120	0.00559	4.66	4.66	0.103	0.137	20
A	高浜町役場A3(高浜町役場前庭)	0.109	0.00673	6.16	6.16	0.089	0.129	20
C	高浜C(高浜小学校)	0.110	0.00424	3.87	3.87	0.097	0.122	20
C	和田C3(和田小学校)	0.116	0.00492	4.23	4.23	0.101	0.131	20
C	田井C3(田井コミュニティーセンター)	0.137	0.00555	4.04	4.04	0.121	0.154	20
C	夕潮台C2(夕潮台公園)	0.101	0.00438	4.32	4.32	0.088	0.115	20

<対照地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
A	金津A2(坂井健康福祉センター)	0.152	0.00789	5.19	5.19	0.128	0.176	20
A	川西A3(川西中学校)	0.130	0.00554	4.26	4.26	0.114	0.147	20
A	福井市原目町A2 (福井分析管理室)	0.149	0.00588	3.94	3.94	0.131	0.167	20
A	殿下A3(殿下小学校)	0.170	0.00885	5.20	5.20	0.144	0.197	20
A	勝山A3(奥越土木事務所(勝山))	0.178	0.00878	4.92	4.92	0.152	0.205	9
A	美山A4(美山児童館)	0.146	0.00874	5.98	5.98	0.120	0.172	20
A	宮崎A3(宮崎中学校)	0.148	0.00818	5.54	5.54	0.123	0.172	20
A	武生A2(丹南土木事務所)	0.160	0.00811	5.08	5.08	0.135	0.184	20
A	越前市妙法寺町A(白山神社)	0.218	0.01088	4.98	4.98	0.186	0.251	20
A	池田A2(池田町役場)	0.150	0.00733	4.90	4.90	0.128	0.171	20

(3) テレメータシステムによる浮遊じん放射能の連続測定

① 浮遊じん放射能濃度はラドン娘核種に等価で各娘核種 (R a A ~ R a C') の比を1と仮定した放射能濃度で、測定サイクルである3時間値を測定値(報告値)とする。

単位は、ベータ(β)放射能濃度およびアルファ(α)放射能濃度は、Bq/m³とし、 β/α 放射能濃度比は%とする。

② 測定値は小数点以下第1位まで、放射能濃度比は整数とし、いずれもその次の位を四捨五入する。

③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、濃度比が各月のM+3 σ を超え β 放射能濃度が高いデータについては、近接局の結果、空間線量率等を調査し、変動原因を報告する。なお、原子力施設等からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。

参考：浮遊じん放射能が天然放射性核種の場合、放射能濃度は通常0.1~数10Bq/m³程度変化するが、 β/α 放射能濃度比はほぼ一定である。一方、主に β 線放出核種である発電所由来の人工放射性核種がこれに加わった場合、 β/α 放射能濃度比は高くなる特徴を持っている。

テレメータシステムによる浮遊じん放射能測定は、環境の空気を吸引しながら同時に測定を行い、10分周期でリアルタイムデータが収集され、システムによる自動チェックが行われている。さらに職員によって、異常の有無を日常業務で詳細に確認している。

(4) ゲルマニウム検出器による核種分析結果

- ① 試料区分毎の報告単位は、核種分析結果の各表に示されている。
- ② 測定値は原則として、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ 放射能濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、過去の核実験影響および発電所寄与について検討する。
- ④ 各種環境試料中の放射性核種濃度については、試料の種類によっても、また核種や環境条件によっても異なるため、関連する核種（例えばセシウム-137の場合はセシウム-134）の有無等も考慮し、起源を判断する。

(5) トリチウム分析結果

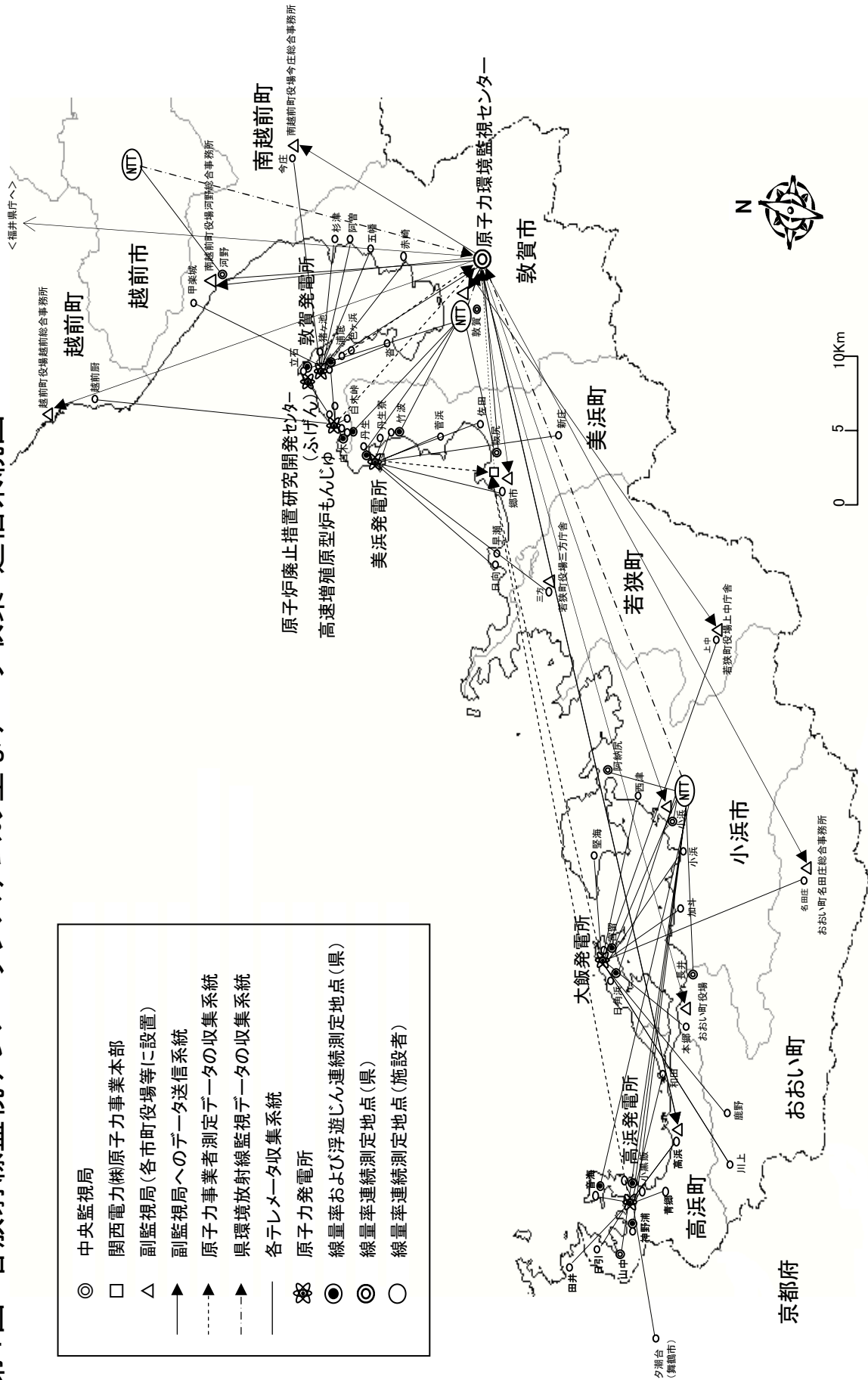
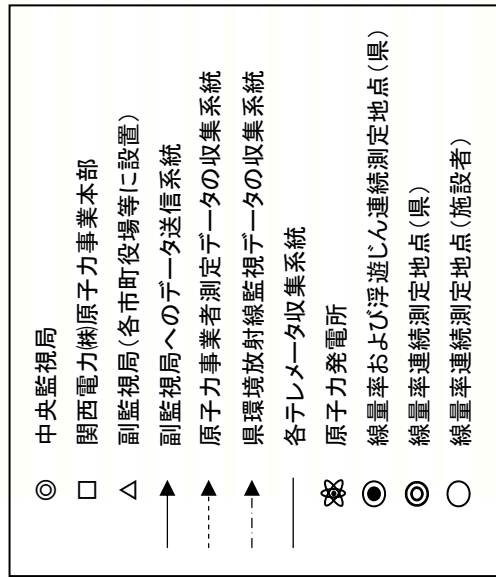
- ① 試料区分毎の報告単位は、 Bq/l で報告する。
- ② 測定値は、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ トリチウム濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、発電所寄与について検討する。
- ④ 今年度から調査を開始する放水口周辺海域の混合試料（コンポジット試料）についてはデータが蓄積されるまでの3ヶ年は、暫定的に発電所放水口における過去3ヶ年実績（放水口が複数ある場合は、過去3ヶ年最大値を比較し、低い方の値を用いる。）を超えた場合に発電所寄与について検討する。なお、コンポジット試料に関する検討を行う際には、混合前の個別地点試料の調査もあわせて実施する。

(6) 放射化学分析による ^{90}Sr 、 $^{239(+240)}\text{Pu}$ 、 ^{238}Pu 分析結果

放射能濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。試料区分毎の報告単位は、第29表～第30表（p. 129～p. 133）の各表に示されている。測定値は原則として有効数字2桁とする。

3.2 調査地点図表

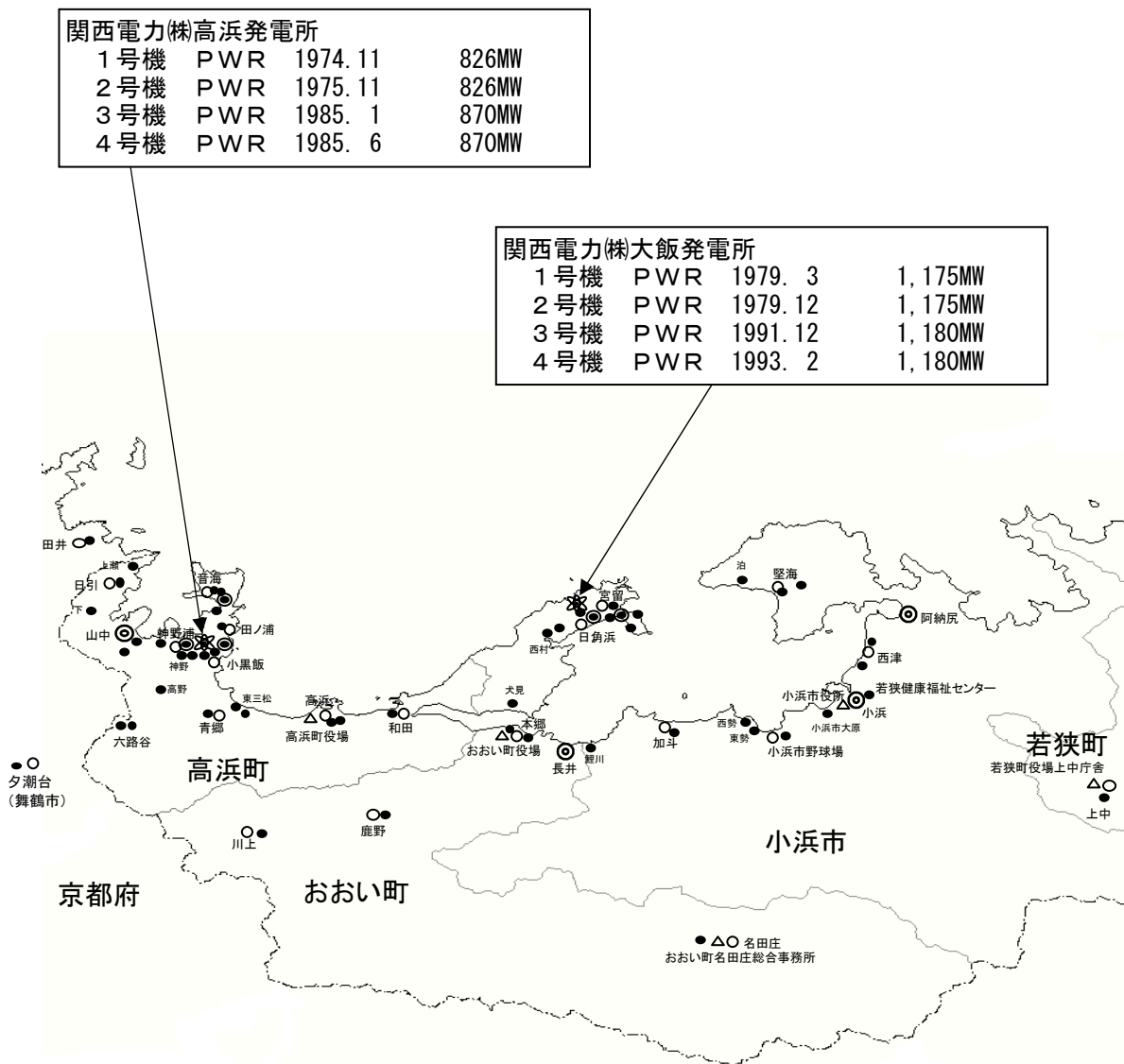
第1図 各放射線監視テレメータシステムの主なデータ収集・送信系統図

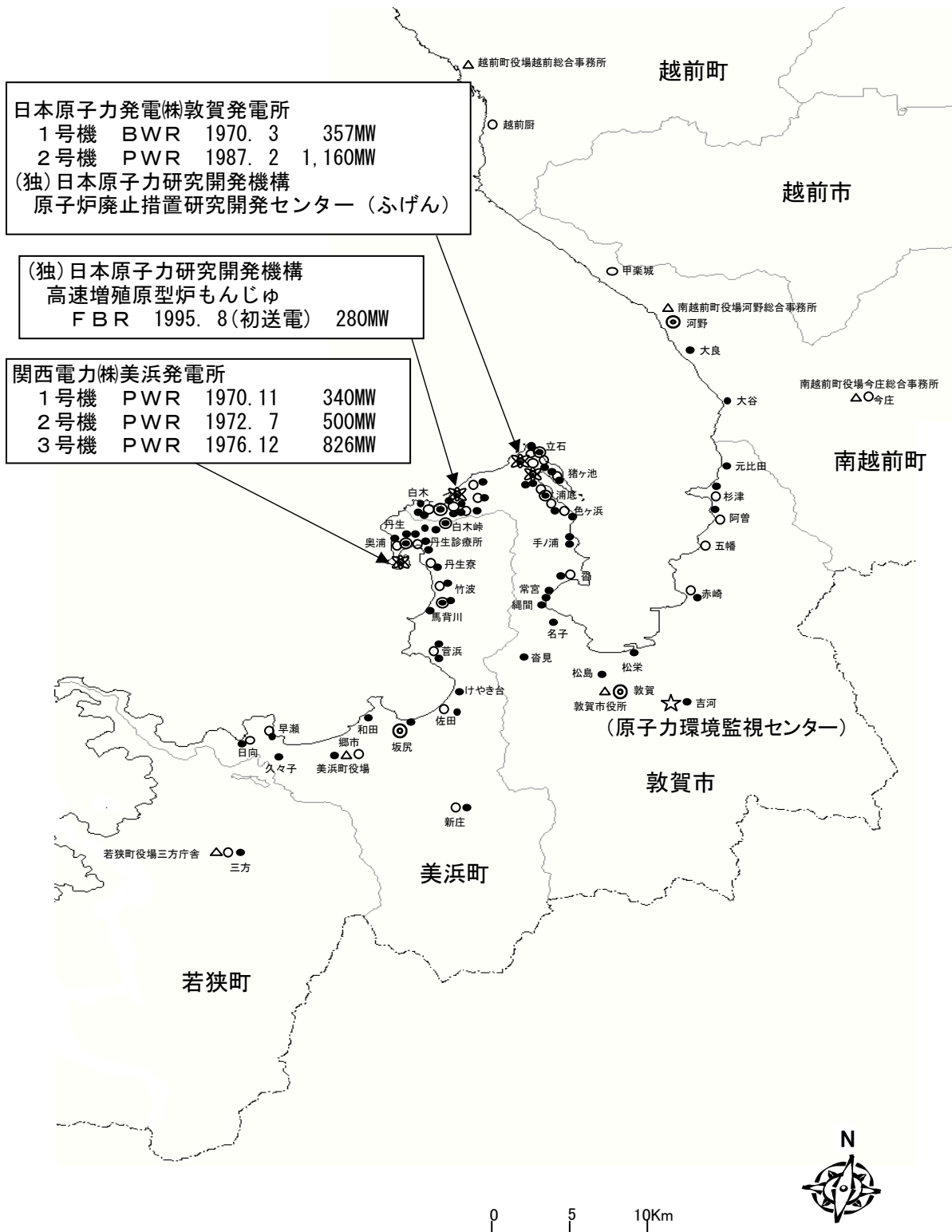


第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)

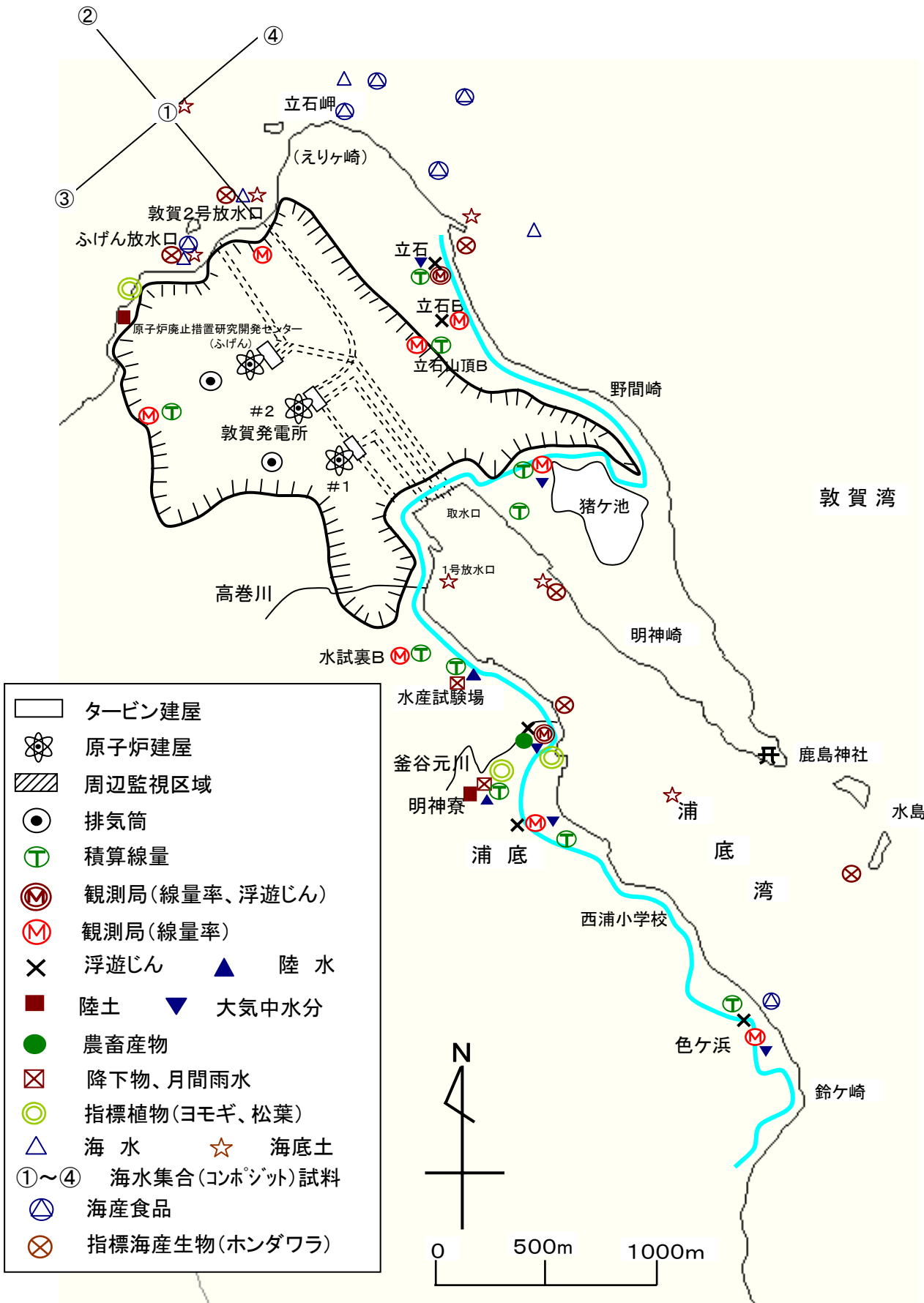
☼	原子力発電所	◎	線量率連続測定地点(県)
●	線量率および浮遊じん連続測定地点(県)	○	線量率連続測定地点(施設者)
○	線量率連続測定地点(施設者)	☆	県テレメータ中央監視局
●	積算線量測定地点(県・施設者)	△	副監視局

線量率(県、施設者)および浮遊じん(県)連続測定の結果は、「環境放射線監視テレメータシステム」により、原子力環境監視センターに一括収集・表示するとともに、12箇所の副監視局(県庁および市町役場等に設置)にも表示している。

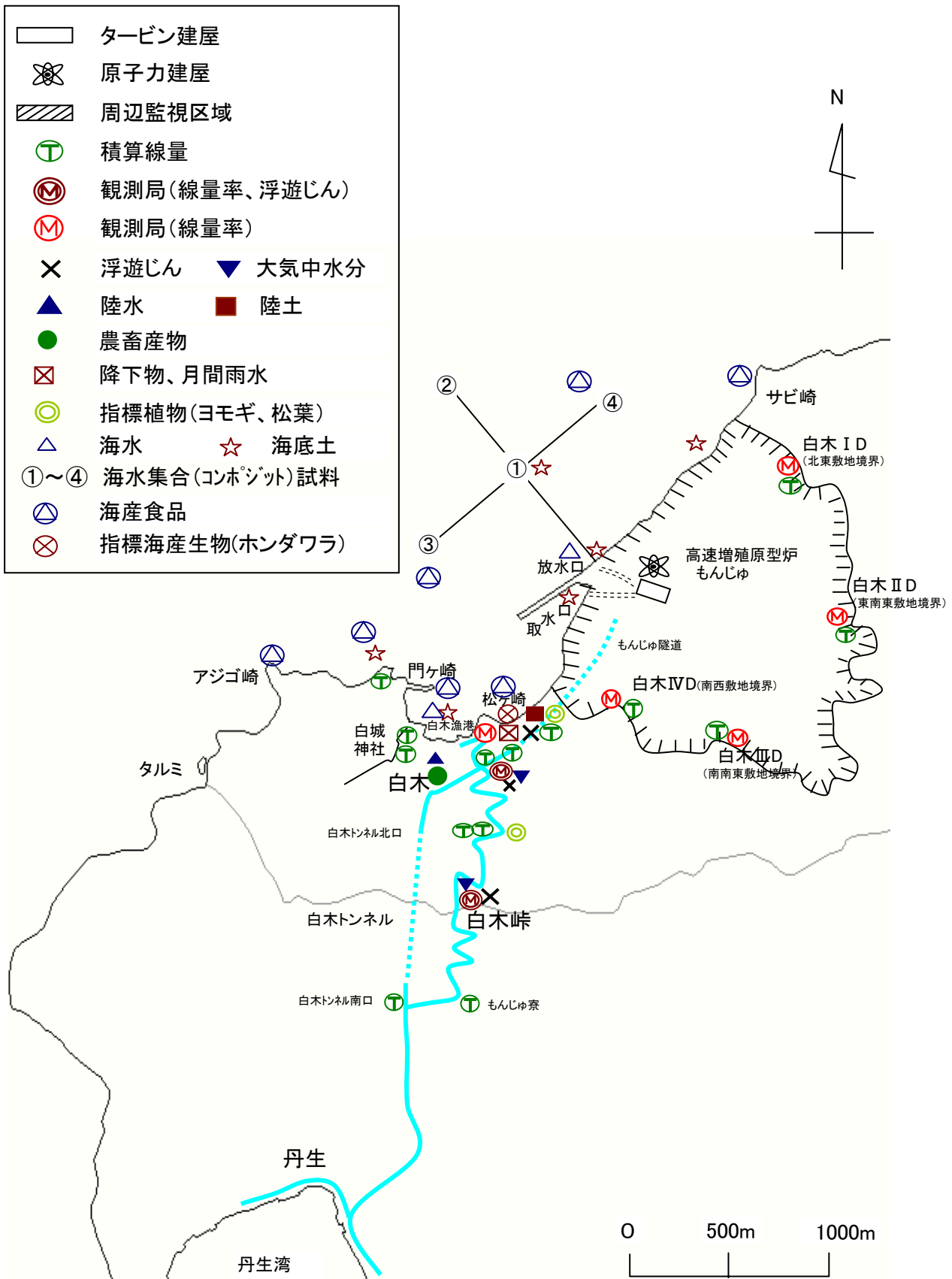




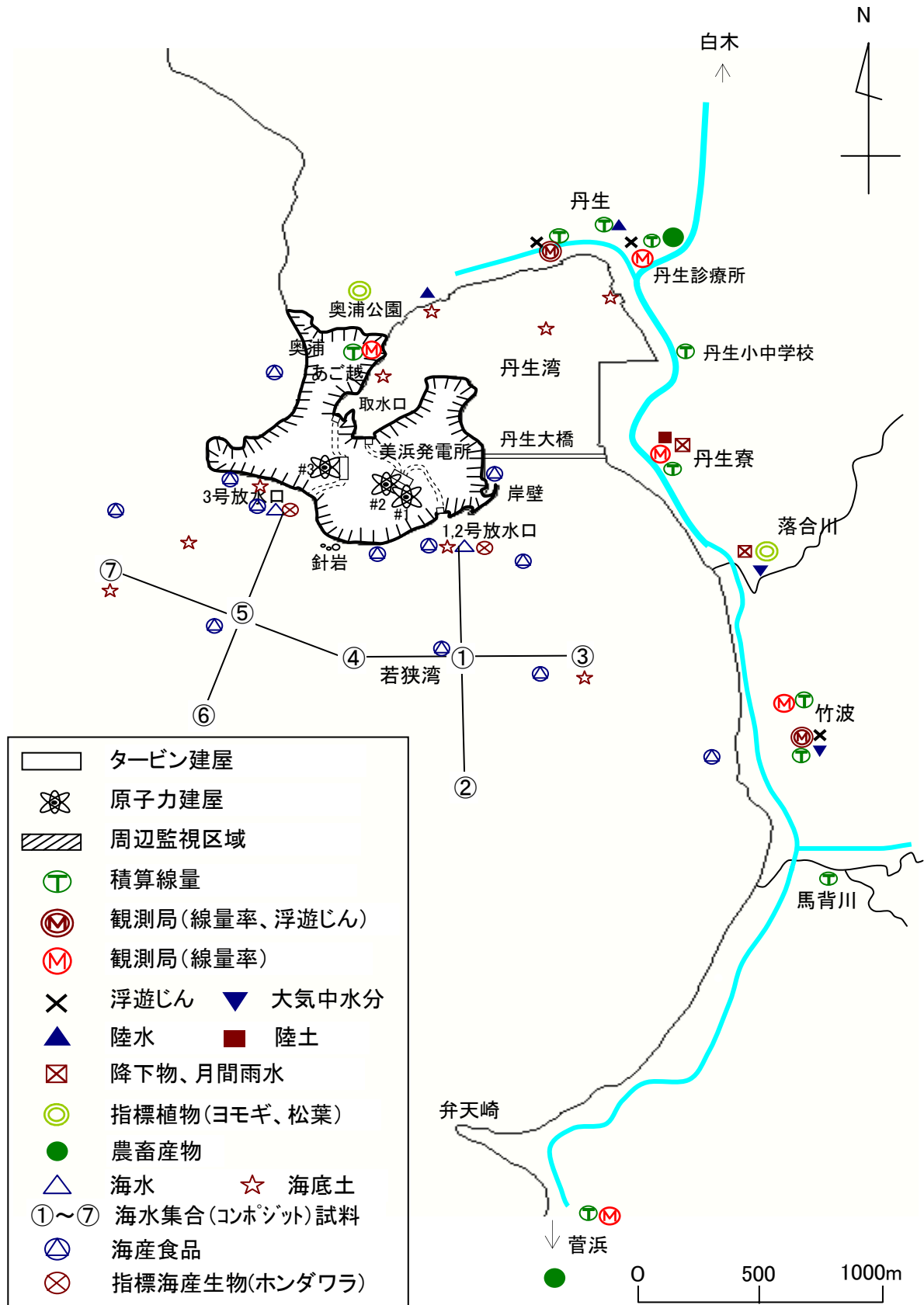
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)周辺の試料採取地点



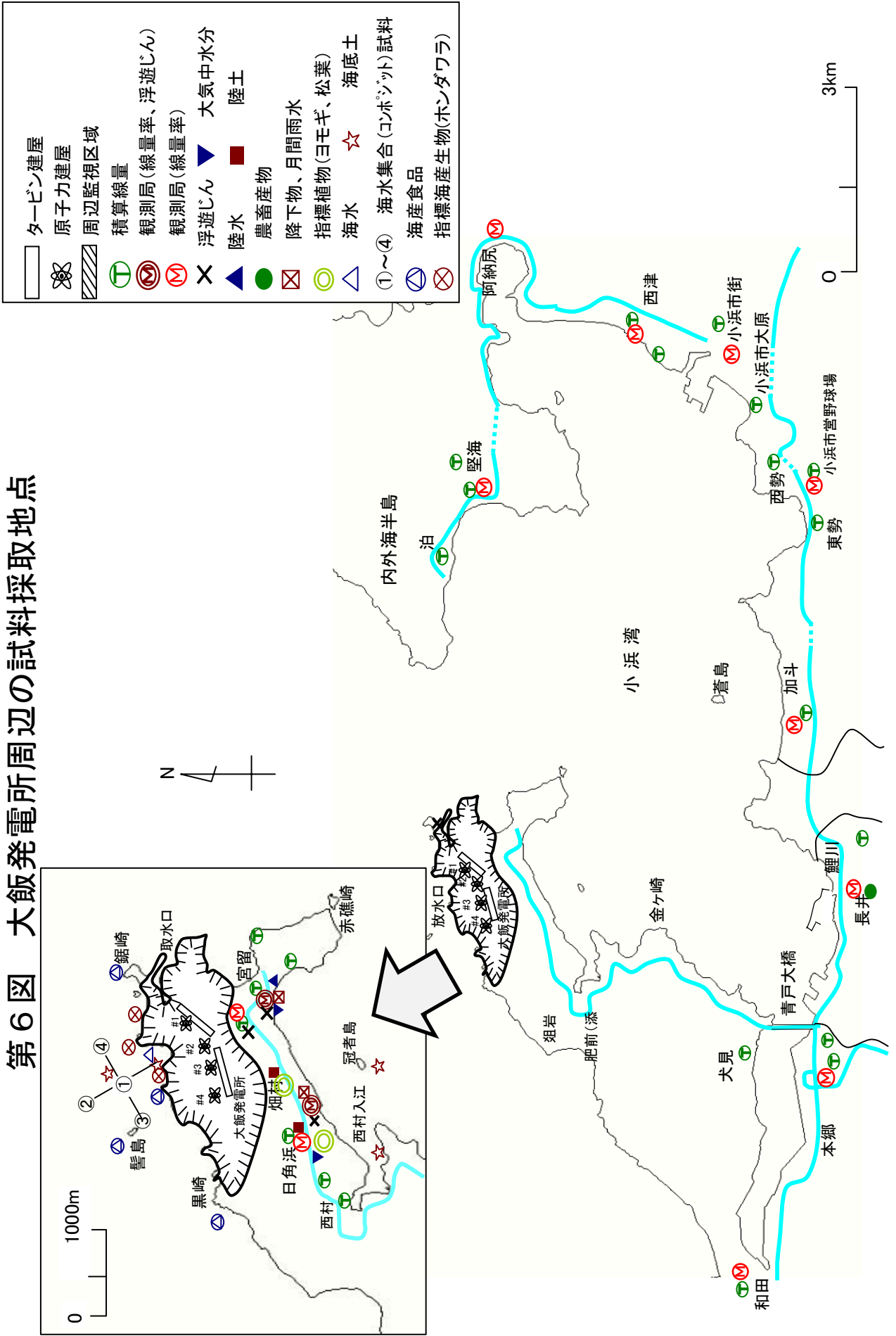
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点



第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点



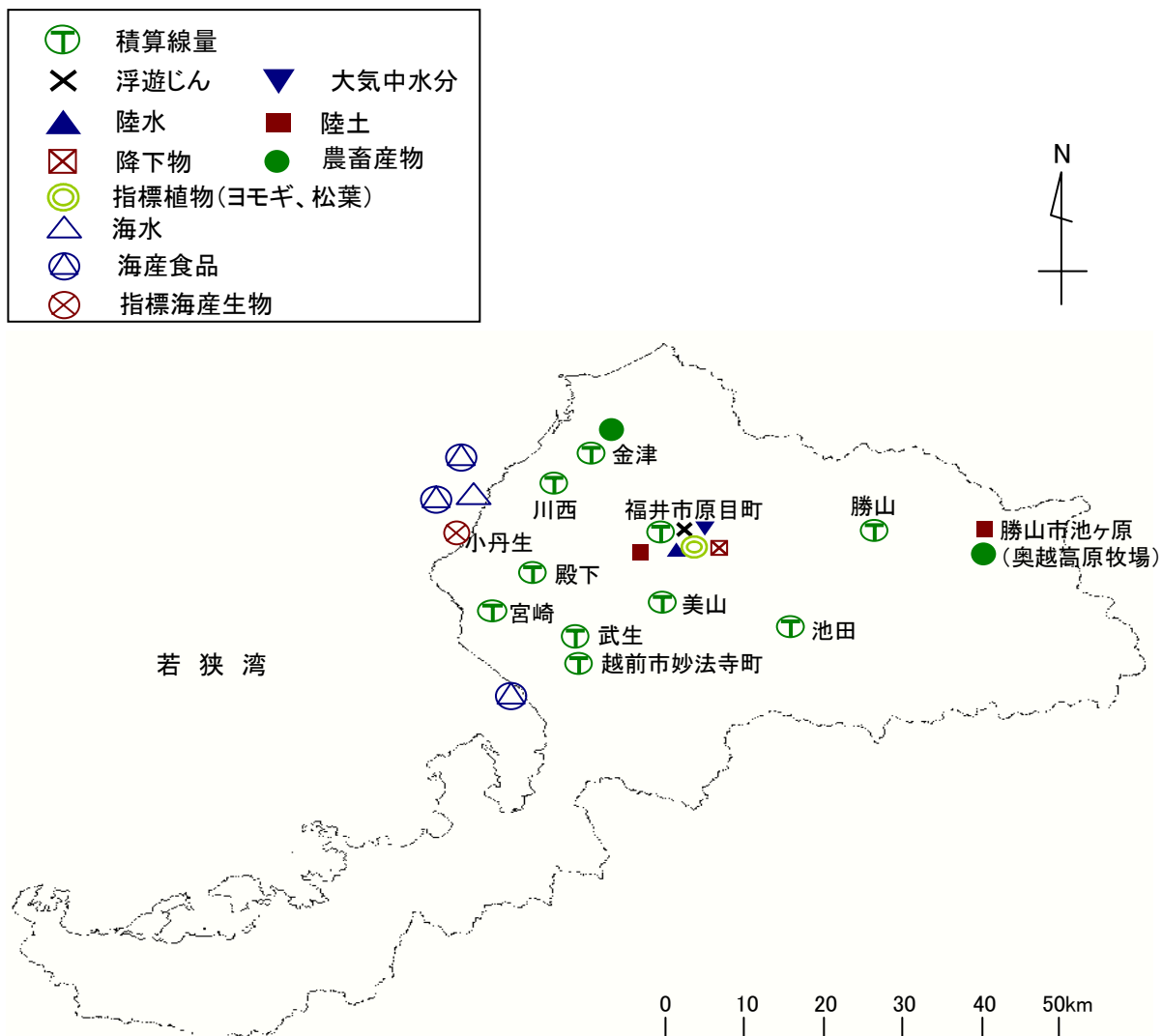
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点



第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点



第8図 対照地区（嶺北地区）の試料採取地点



第1表 調査地点の詳細 その1 線量率連続測定

敦賀地区	敦賀 A	(福井県敦賀合同庁舎)	(1)	大飯地区	小浜 A	(小浜市役所)	(1)
	浦底 A ☆	(明神寮下県道脇)	(2)		日角浜 A ☆	(大島小学校)	(2)
	立石 A ☆	(八坂神社)	(3)		宮留 A ☆	(宮留バス停)	(3)
	河野 A	(南越前町河野総合事務所)	(4)		阿納尻 A	(内外海小学校)	(4)
	ふげん北 D	(北敷地境界付近)	(5)		長井 A	(地区ゲートボール場横)	(5)
	立石 B	(集落入口県道脇)	(6)		宮留 C	(エルパーク大飯下三叉路)	(6)
	立石山頂 B	(山頂付近)	(7)		日角浜 C	(大島公民館)	(7)
	ふげん西 D	(西敷地境界付近)	(8)		本郷 C	(おおい町役場)	(8)
	猪ヶ池 B	(敦賀原子力館下)	(9)		加斗 C	(加斗小学校)	(9)
	浦底 B	(県道脇・剣神社西)	(10)		小浜 C	(小浜市宮野球場)	(10)
	水試裏 B	(水産試験場裏)	(11)		西津 C	(小浜漁協西津支所)	(11)
	色ヶ浜 B	(白山神社)	(12)		堅海 C	(県栽培漁業センター)	(12)
	沓 D	(ひがし旅館駐車場横)	(13)		川上 C	(川上公民館)	(13)
	赤崎 D	(赤崎区民センター)	(14)		鹿野 C	(佐分利小学校)	(14)
	五幡 B	(東浦公民館)	(15)		名田庄 C	(名田庄観光館)	(15)
	阿曾 D	(東浦体育館)	(16)		上中 C	(上中体育館)	(16)
	杉津 B	(東浦小中学校下国道脇)	(17)				
	甲楽城 B	(河野小学校前)	(18)				
	今庄 B	(南越前町今庄総合事務所前国道脇)	(19)				
	越前厨 D	(城崎小学校脇)	(20)				
白木地区	白木 A ☆	(白木公民館東県道脇)	(1)	高浜地区	小黒飯 A ☆	(集落北県道脇)	(1)
	白木峠 A ☆	(旧道市町境)	(2)		音海 A ☆	(洞昌禅寺横広場東脇)	(2)
	松ヶ崎 D	(松ヶ崎)	(3)		神野浦 A ☆	(気比神社)	(3)
	白木Ⅰ D	(北東敷地境界)	(4)		山中 A	(内浦小中学校)	(4)
	白木Ⅱ D	(東南東敷地境界)	(5)		音海 C	(音海漁港奥)	(5)
	白木Ⅲ D	(南南東敷地境界)	(6)		田ノ浦 C	(南東敷地境界)	(6)
	白木Ⅳ D	(南西敷地境界)	(7)		小黒飯 C	(白浜トンネル北口)	(7)
美浜地区	丹生 A ☆	(丹生バス停)	(1)		神野浦 C	(集落南西道路脇)	(8)
	竹波 A ☆	(竹波集落センター)	(2)		日引 C	(旧日引小学校)	(9)
	坂尻 A	(坂尻神社東側出口南)	(3)		青郷 C	(青郷小学校)	(10)
	奥浦 C	(奥浦公園奥)	(4)		高浜 C	(高浜小学校)	(11)
	丹生 C	(丹生診療所)	(5)		和田 C	(和田小学校)	(12)
	丹生寮 C	(関電丹生寮)	(6)		田井 C	(田井コミュニティセンター)	(13)
	竹波 C	(高那弥神社)	(7)		夕潮台 C	(夕潮台公園)	(14)
	菅浜 C	(農業構造改善センター)	(8)				
	佐田 C	(美浜東小学校)	(9)				
	新庄 C	(日吉神社)	(10)				
	郷市 C	(美浜町役場)	(11)				
	早瀬 C	(水無月神社)	(12)				
	日向 C	(日向漁業センター)	(13)				
	三方 C	(若狭町役場三方庁舎)	(14)				

☆印の地点では、浮遊じん放射能の連続測定を行っている。

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点

敦賀地区	立石 A 5 (八坂神社)	(1)	美浜地区	奥浦 C (奥浦公園奥)	(1)	
	立石山頂 B 1 (原電モニタリングポスト)	(2)		丹生診療所 C 6 (丹生診療所)	(2)	
	ふげん西 D 2 (西敷地境界付近)	(3)		丹生 A 4 (中村旅館)	(3)	
	猪ヶ池 B 1 (原電モニタリングポスト)	(4)		丹生 C 3 (丹生漁港)	(4)	
	原子力館 B (敦賀原子力館敷地)	(5)		丹生小中学校A	(5)	
	水産試験場 B 2 (水産試験場)	(6)		丹生寮 C 5 (関電丹生寮)	(6)	
	明神寮 B 2 (明神寮)	(7)		竹波 A 4 (県テレメ観測局)	(7)	
	浦底 A 5 (剣神社)	(8)		竹波 C 5 (高那弥神社)	(8)	
	水試裏 B 1 (原電モニタリングポスト)	(9)		馬背川 C 2 (ポンプ場)	(9)	
	色ヶ浜 A 3 (本隆寺)	(10)		菅浜 A 3 (旧菅浜保育所)	(10)	
	手ノ浦 A 3 (舟幸寺)	(11)		菅浜 C 2 (民宿藤田横)	(11)	
	手ノ浦 B 3 (舟幸寺)	(12)		けやき台 C 1 (けやき台ハイツ)	(12)	
	沓 B 5 (常福寺)	(13)		佐田 A 3 (あおなみ保育園)	(13)	
	常宮 A 3 (常宮小学校)	(14)		坂尻 C 2 (三谷商店前)	(14)	
	常宮 B 4 (常宮神社)	(15)		新庄 C 3 (日吉神社)	(15)	
	縄間 B (宗清寺)	(16)		和田 A (ふる里交流センター)	(16)	
	名子 B 1 (名子バス停)	(17)		郷市 C 6 (美浜町役場)	(17)	
	松島 B 3 (原電松島寮)	(18)		久々子 C 1 (県園芸試験場)	(18)	
	松栄 B 3 (敦賀地方合同庁舎)	(19)		早瀬 C 5 (水無月神社)	(19)	
	赤崎 A 3 (赤崎小学校グラウンド)	(20)		日向 C 5 (日向漁業センター)	(20)	
	阿曾 A 2 (ふれあい会館)	(21)		三方 C 4 (若狭町役場三方庁舎)	(21)	
	杉津 A 4 (東浦小中学校)	(22)		沓見 C (原子力発電訓練センター)	(22)	
	元比田 A 5 (集落掲示板横)	(23)				
	大谷 A 3 (八幡神社)	(24)		大飯地区	赤礁崎 C (関電あかぐり崎クラブ)	(1)
	大良 B (大良集会所)	(25)			宮留奥 A (あかぐり海釣り公園)	(2)
	大吉河 A 2 (原子力センター)	(26)			宮留 A 6 (県テレメ観測局)	(3)
		宮留 C 3 (エルパーク大飯下三叉路)	(4)			
		日角浜 C 3 (大島公民館)	(5)			
		西村 A 2 (常禅寺)	(6)			
		西村 C 1 (西村トシユ南口県道脇)	(7)			
		犬見 C 2 (集落手前道端)	(8)			
		本郷 A 4 (町営住宅サンハイムうらら)	(9)			
		本郷 C 5 (おおい町役場)	(10)			
		鯉川 A 2 (牛尾神社)	(11)			
		加斗 A 4 (加斗小学校)	(12)			
		西勢 A 2 (民宿つどい前ゲートボール場)	(13)			
		東勢 C 1 (旧道脇)	(14)			
白木地区			小浜市野球場 C 2 (小浜市営野球場)	(15)		
	白木 I D 2 (北東敷地境界)	(1)	小浜市大原 A 3 (栖雲寺)	(16)		
	白木 II D 2 (東南東敷地境界)	(2)	若狭健康福祉センター A 2	(17)		
	白木 III D 2 (南南東敷地境界)	(3)	西津 A 2 (水産高校)	(18)		
	白木 IV D 2 (南西敷地境界)	(4)	西津 C 3 (小浜漁協西津支所)	(19)		
	白木 A 4 (県テレメ観測局)	(5)	堅海 A 2 (旧堅海小学校)	(20)		
	白木 D 6 (白木公民館東県道脇)	(6)	堅海 C 3 (県栽培漁業センター)	(21)		
	松ヶ崎 D 2 (機構モニタリングステーション)	(7)	泊 C 2 (大谷旅館前)	(22)		
	白城神社 A 2 (神社鳥居横)	(8)	川上 C 4 (川上公民館)	(23)		
	白城神社 D 4 ()	(9)	鹿野 C 5 (佐分利小学校)	(24)		
	門ヶ崎 D 3	(10)	名田庄 C 3 (名田庄観光館)	(25)		
	白木トシユ北口 A 2	(11)	上中 C 3 (上中体育館)	(26)		
	白木トシユ北口 D 3	(12)				
	白木トシユ南口 A 2 (渓流水貯水池横)	(13)				
もんじゅ寮 D 1 (もんじゅ寮前)	(14)					

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点(つづき)

高 浜 地 区	音 海 A 3 (児玉旅館)	(1)	対 照 地 区	金 津 A 2 (坂井健康福祉センター)	(1)
	音 海 C 4 (音海漁港奥)	(2)		川 西 A 3 (川西中学校)	(2)
	音海県道 C 1 (日本海港湾(株)保税上屋入口門付近)	(3)		福井市原目町A 2 (福井分析管理室)	(3)
	田 ノ 浦 C (南東敷地境界)	(4)		殿 下 A 3 (殿下小学校)	(4)
	小 黒 飯 A 3 (寿奎寺裏旧道脇)	(5)		勝 山 A 3 (奥越土木(勝山))	(5)
	小 黒 飯 C 3 (白浜トンネル北口)	(6)		美 山 A 4 (美山児童館)	(6)
	旧神野小学校A	(7)		宮 崎 A 3 (宮崎中学校)	(7)
	神 野 A 4 (桃源寺)	(8)		武 生 A 2 (丹南土木事務所)	(8)
	神 野 浦 C 2 (関電モニタポスト)	(9)		越前市妙法寺町A (白山神社)	(9)
	山 中 A 3 (県テレメ観測局)	(10)		池 田 A 2 (池田町役場)	(10)
	山 中 C 2 (JA若狭内浦出張所)	(11)			
	下 A 2 (産霊神社)	(12)			
	日 引 C 3 (旧日引小学校)	(13)			
	上 瀬 A 2 (山神神社)	(14)			
	六 路 谷 A 3 (ふれあい会館)	(15)			
	六 路 谷 C 2 (杉森神社横)	(16)			
	高 野 C (旧青郷小学校高野分校)	(17)			
	青 郷 C 2 (青郷小学校)	(18)			
	東 三 松 A 4 (東三松グランド)	(19)			
	東 三 松 C 2 (民宿萩の家)	(20)			
	高浜町役場 A 3 (高浜町役場前庭)	(21)			
	高 浜 C (高浜小学校)	(22)			
	和 田 C 3 (和田小学校)	(23)			
	田 井 C 3 (田井コミュニティーセンター)	(24)			
	夕 潮 台 C 2 (夕潮台公園)	(25)			

第1表 (調査地点の詳細 つづき) その3 陸上試料採取地点(定点)

項目	地区	採取地点	
大 ヨ 気 ウ 中 素 131	敦賀	浦底A (県テレメ観測局)	
		白木A //	
		竹波A //	
		大飯留A //	
		高浜小黒飯A //	
浮 遊 じ ん	敦賀	立石A (県テレメ観測局) *	
		立石B (原電モニタリングステーション)	
		浦底A (県テレメ観測局)	
		浦底B (原電モニタリングステーション)	
		色ヶ浜B //	
		白木	白木A (県テレメ観測局)
			白木峠A (県テレメ観測局) *
			松ヶ崎D (機構モニタリングステーション)
			美浜丹生A (県テレメ観測局) *
		大飯	丹生 (関電モータースト横)
	竹波A (県テレメ観測局)		
	宮留A (県テレメ観測局)		
	宮留 (関電モータースト横)		
	日角浜A (県テレメ観測局) *		
	高浜音海A (県テレメ観測局) *		
	高浜	音海 (関電モータースト横)	
		小黒飯A (県テレメ観測局)	
		小黒飯 (関電モータースト横)	
		神野浦A (県テレメ観測局) *	
	対照	原目町 (福井分析管理室)	
陸 水	敦賀	浦底 (水試蛇口)	
		〃 (明神寮蛇口)	
		白木白木 (民家蛇口)	
		美浜丹生 (民家蛇口)	
		〃 (民家蛇口)	
	大飯	竹波 (漁協飼料保管解凍施設横)	
		宮留 (民家蛇口)	
		高浜小黒飯 (民家蛇口)	
		音海 (民家蛇口)	
		対照原目町 (福井分析管理室蛇口)	
大 気 中 水 分	敦賀	立石A (県テレメ観測局)	
		猪ヶ池B (原電モニタリングポスト)	
		浦底A (県テレメ観測局)	
		浦底B (原電モニタリングステーション)	
		色ヶ浜B (原電モニタリングステーション)	
	白木	白木A (県テレメ観測局)	
		白木峠A (県テレメ観測局)	
		美浜	竹波A (県テレメ観測局)
			竹波 (落合川取水場)
		大飯	宮留A (県テレメ観測局)
	日角浜 (関電モータースト横)		
	高浜	小黒飯A (県テレメ観測局)	
		神野浦 (関電モータースト横)	
	対照	原目町 (福井分析管理室)	

項目	地区	採取地点
陸 土	敦賀	浦底 (明神寮)
		敦賀発電所北端周辺
		白木松ヶ崎 (機構モニタリングステーション)
		美浜丹生 (関電丹生寮)
		大飯日角浜 (島山神社)
高浜	畑村 (県道脇)	
	小黒飯 (旧道脇)	
	〃 (白浜トンネル上)	
対照	福井市原目町 (衛環研) 勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)	
指 標 植 物	敦賀	浦底 (明神寮下県道脇)
		白木白木 (松ヶ崎付近)
		美浜竹波 (落合川取水場付近)
		大飯日角浜 (島山神社付近)
		高浜小黒飯 (旧道脇)
		対照福井市原目町 (福井分析管理室付近)
松 葉	敦賀	浦底 (明神寮)
		敦賀発電所北端周辺
		白木白木トンネル北口付近
		美浜丹生 (奥浦公園入口付近)
		大飯畑村 (県道脇)
		高浜小黒飯 (白浜トンネル上)
		対照福井市寮町 (県農試)
農 畜 産 物	敦賀	浦底
		白木白木
		美浜丹生
		大飯長井
		高浜神野
		対照あわら市
		美浜安江
対照勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)		
降 下 物	敦賀	浦底 (水試屋上)
		〃 (明神寮)
		白木松ヶ崎 (機構モニタリングステーション)
		美浜竹波 (落合川取水場)
		大飯丹生 (関電丹生寮)
		宮留 (県テレメ観測局)
		日角浜 (ヴィラ大島)
高浜小黒飯 (県テレメ観測局)		
小和田 (小和田ポンプ所)		
対照	原目町 (福井分析管理室)	

(注1) 浮遊じん採取地点のうちで、*の地点は3ヶ月間の集合試料を分析。

(注2) 機関を示すアルファベットを使用している採取地点では、線量率観測局舎内で試料を採取している。

(注3) 海洋試料の詳細な採取地点は図3～図8の採取地点図と各測定結果の採取地点欄に示されている。

第2表 空間線量測定法

積算線量	県 関電	各地点に3本(6素子)の熱ルミネッセンス線量計(TLD)を配備し3ヶ月毎の積算線量を測定	TLDの校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
	原電	各地点に1台の電子線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	電子式線量計の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
	原子力 機構	各地点に4個の蛍光ガラス線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	蛍光ガラス線量計の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
線量率 (連続測定)	県	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約2.8mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②約14ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra の3.7MBq等の線源を用い垂直方向1mで照射して実施。 電離箱については ^{226}Ra 3.7MBqを用い、感度確認を実施。
	原電	軽量気泡コンクリート(屋根は鉄筋コンクリート)製固定観測局屋上の地上高約4.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra の3.7MBq等の密封線源を用い垂直方向1mで実施。
	関電 美浜	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.2mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	
	関電 大飯 高浜	軽量気泡コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.4m(高浜は約3.5m)に設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ(高浜は14ℓ)球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	
	原子力 機構	鉄筋コンクリート製固定観測局で地上高約3.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2" (ふげん西D、ふげん北Dは3"球形) NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra 3.7MBqの線源を用い垂直方向1mで実施。
線量率 (モータリングカー)	県	車:ワンボックス 検出器:2"φ×2" NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.7m)	
	原電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2" NaI(Tl) 検出器位置:窓際(地上高1.5m)	
	関電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2" NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高3.5m)	
	原子力 機構	車:マイクロバス 検出器:2"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)	車:マイクロバス 検出器:3"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)

第3表 浮遊じん放射能の連続測定法

浮遊じん (連続測定)	県 HE-40T長尺ろ紙(90m)を用い毎分約100ℓで3時間吸引し、ろ紙をステップ送りする。吸引中、ろ紙に吸着した放射能のアルファ(α)線およびベータ(β)線をZnS塗布プラスチックシンチレーション検出器(有効径50mmφ、0.5mm厚)を用いて波形弁別方式により同時測定し、それぞれの計数值より平衡仮定した3時間平均濃度を求め、β/α放射能濃度比を求める。(平成9年度機器更新、平成10年度より新装置)	校正は測定装置集塵面と同一形状の標準線源(U ₃ O ₈ 、 ²⁴¹ Am、 ³⁶ Cl)により実施。
----------------	--	---

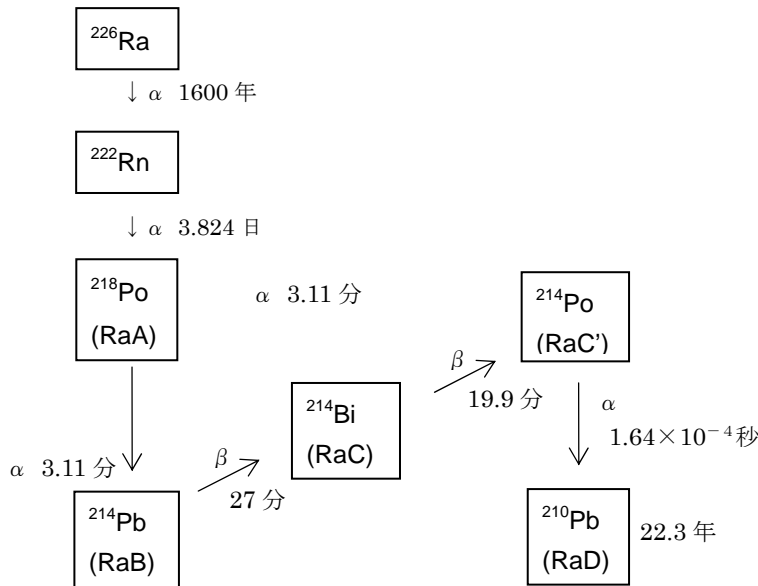


図1 ラドン(Rn)娘核種崩壊系列

浮遊じん放射能の連続測定において算出している放射能濃度は、ラドンの娘核種RaA、RaB、RaC、RaC'、それぞれの比が1 : 1 : 1 : 1と仮定して計算されるラドン娘核種あたりの平衡仮定濃度である。

$$Q = \frac{\lambda \cdot C \times 10^3}{\varepsilon \cdot \zeta \cdot \eta \cdot q \cdot F(S, T) \cdot \kappa} \dots\dots (1)$$

- Q : ラドン娘核種濃度 (Bq/m³)、λ : RaA の崩壊定数(sec⁻¹)
- C : 測定時間中の正味の計数值、ε : 計数効率、ζ : 発現効率
- η : 捕集効率、q : 捕集流量 (ℓ・sec⁻¹)、κ : 補正係数
- F(S, T) : Batemannの式の解(sec)
- S : 捕集開始から現在までの時間(sec)、T : 計数開始から現在までの時間(sec)

平衡仮定濃度Qは、α計数值、β計数值からそれぞれ求められ(Q_A、Q_Bとする)、Q_Aに対するQ_Bの比率(Q_B/Q_A=R_{BA})をモニタリングの指標としている。通常では、ほとんどがラドン娘核種による計数值であるため、R_{BA}はほぼ一定であるが、発電所の寄与があった場合、放出される核種はほとんどがβ線放出核種であり、β計数值が増えるため、R_{BA}が上昇する。

空気中のガス状ヨウ素-131に対しては、ろ紙を通過した空気を50℃に加温し、毎分20ℓでCHC-50 (TEDA添着活性炭)に通して捕集し、ゲルマニウム測定器でバッチ測定している。

第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法

区分	試料	測定試料形態		測定用試料量		目的核種	参考核種	天然核種		
陸上モニタリング	大気中ヨウ素	県	活性炭カートリッジ CHC-50 (TEDA 添着炭)	約 400m ³ (連続採取)		¹³¹ I (ガス状)				
	浮遊じん	県	ろ紙 (HE-40T)	約 4000m ³ (連続採取)		²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be		
			ろ紙 (GB-100R)	約 1000m ³ (1日採取)						
	陸水	原電・関電・機構	ろ紙 (HE-40T)	約 2000m ³ (連続採取)						
			直接(マリネリカー)	2ℓ						
	陸土	原電・関電・機構	樹脂吸着	10ℓ		⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs				
			乾燥ふるい、2mm 以下 (0~5cm で採取)	乾土	300 g 程度				⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	⁷ Be, ⁴⁰ K, Th-, U-系 列
	農産物	乾燥物 (粉砕)	生	500 g 程度		²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs			¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁰ Ba	⁷ Be, ⁴⁰ K
	原乳	直接(マリネリカー)	2ℓ							
	植物	乾燥物 (粉砕)	生	400 g 程度						
降下物	樹脂吸着	県・原電・関電・機構	約 0.2m ² 以上	約 0.2m ²						
			約 0.5m ²	約 0.5m ²						
海洋モニタリング	海水	MnO ₂ 法、AMP 法		20ℓ		⁵⁹ Fe, ¹³⁴ Cs				
	海底土	乾燥ふるい、2mm 以下 (主にエコマパージ採泥器で採取)		乾土	300 g 程度	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	⁷ Be, ⁴⁰ K, Th-, U-系 列			
	海産食品	魚類	灰化物		生	1kg 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce		
		貝類	灰化物		生 (除殻)	200 g 程度				
		藻類	乾燥物 (粉砕)		生	500g 程度				
	指標海産生物	乾燥物 (粉砕)		ホタテ (生)	1kg 程度		²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁰ Ba		

(注) 計測時間は 500分以上。試料採取から測定までの期間は、¹³¹Iを対象とする試料は10日以内、¹³¹Iを対象としない試料は30日以内を目標とする。測定容器は各機関ともプラスチック製タッパーウェア V-1 (直径60mm、高さ30mm)、V-2 (同80mm、40mm)、V-3 (同95mm、50mm)、マリネリ容器(2ℓ)を使用する。

第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値

試料	^{22}Na	^{54}Mn	^{58}Co	^{60}Co	^{137}Cs	^{131}I	表示単位	
陸上	大気	/	/	/	/	0.2	mBq/m ³	
	浮遊じん	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08		
	陸水	/	100	100	100	100	mBq/l	
	陸土	/	2	2	1.5	1.5	Bq/kg 乾土	
	農産物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	Bq/kg 生
	指標植物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	〃
	松葉	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2	〃
降下物	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	Bq/m ²	
海洋	海水	/	8	8	8	8	mBq/l	
	海底土	/	2	2	2	2	Bq/kg 乾土	
	魚類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	Bq/kg 生	
	貝類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	〃	
	藻類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	〃
	指標海産生物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	〃

(注) 「/」は対象外。

第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法

分析試料	採取方法	測定試料	測定
蛇口水	蛇口より直接採取	採取時試料	蒸留後、試料水 40ml 「50ml」に乳化シンチレーター 60ml 「50ml」を加え、冷暗所に放置。 500分(50分×10回)測定。 検出限界値 0.5~1 Bq/l。 (注) 「」内は原子力機構が採用
大気中水分	除湿機による	月間試料	
雨水	トリチウム用 雨水採取器	3ヶ月間の月別 加重平均混合試料	
海水	船から直接採取	採取時試料	

第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法

区分	種類	分析試料量	
		ストロンチウム-90 (県)	プルトニウム (県、機構)
海底土	/	/	県: 20g乾土、機構: 20g乾土
陸土	/	/	県: 20g乾土、機構: 50g乾土
降下物	/	樹脂灰化物全量 県: 樹脂灰化物全量	
指標植物	ヨモギ	生500~1,000g(灰10~20g)	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
農産物	大根葉	/	県: 生、約1,000g(灰、約10g)
海産食品	魚類(マグロ、ハマチ等)	/	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
	貝類(サザエ、アサリ)		機構: 生500~1,500g(灰20g)
	藻類(ワカメ等)		
指標海産生物	ホンダワラ	生200~300g(灰10~20g)	県: 生200~400g(灰10~20g)
測定条件等		[目的核種]Sr-90 [分離法]エタノール・エーテル法 [測定時間]80,000秒以上	[目的核種]Pu-239(+240)、238 [分離法]県、機構: 陰イオン交換法 [測定時間]県: 80,000秒以上 (通常200,000秒) 機構: 80,000秒

第7表 測定器

(平成24年3月31日現在)

	県	原 電	関 電	原子力機構
積算線量	パナソニックUD-5160P UD-200S	富士電機 NSD3	パナソニック UD-512P UD-5120PGL UD-200S	旭テクノガラス FGD-202 FGD-202S SC-1
線量率 (連続測定)	東芝電力放射線 テクノサービス 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 東芝電力放射線 テクノサービス 約140 球形電離箱 Arガス 4気圧 〔NaI(Tl) A0 2mmカバーおよびFRP 2mm遮熱 ケース付、検出 部へ定温送風〕 〔電離箱 CFRP 1mmカバー付、 検出部へ定温送 風〕	富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.50 球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも A0 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	【美浜地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.50 球形電離箱 Arガス 約780kPa 〔両検出器とも A0 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	【敦賀、白木地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 (ふげん西D、ふげん 北Dは3"型) 富士; 14.50 球形 電離箱Arガス 8気圧 〔両検出器とも A0 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕
			【大飯地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.50 球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも A11mmカバーつき、検 出部へ定温送風〕	【高浜地区】 アロカ 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 アロカ 140 球形電離箱 N ₂ +Arガス 4気圧 〔両検出器とも AAS3mmカバーつき、検 出部へ定温送風〕
浮遊じんの 放射能 (連続測定)	富士電機 検出器2"φ プラスチックシンチレタ、 ZnS(Ag)シンチレタ塗布			
トリチウム	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5, LSC-LB3
ガンマ線 スペクトロ メトリー	オルテック GEM50-83-S HPGe55% キャンベラ GC4518 HPGe56% キャンベラ GC5019 HPGe57% キャンベラ GX-4519 γ-XHPGe59% キャンベラ GC4019/S HPGe43% キャンベラ製 波高分析器 5台	オルテック GEM-30195 HPGe 35% オルテック GEM-30195 HPGe 31% オルテック GEM-30195 HPGe 35% セイコーEG&G 7700シリーズ 波高分析器 1台	オルテック GEM30-70 HPGe34% オルテック GEM30-70-S HPGe35% プリンストンカウンマテック IGC30185SD HPGe34% オルテック GEM30-70 HPGe34% オルテック GEM30-70 HPGe35% オルテック GEM30-70 HPGe34% セイコーEG&G 7600 波高分析器 3台	オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe32% オルテック GEM-45190 HPGe51% セイコーEG&G 7700シリーズ 波高分析器 2台
ストロンチウム	富士電機ビコバータ1インチ			
アルファ 放射能 (プルトニウム 239+240)	オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BU020-045-AS セイコーEG&G MCA7700			オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BR-SNA-450-100 セイコーEG&G MCA7600

3. 4測定結果

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	敦賀A	4月	74.2	55.6	58.6	2.6	20	20	0	53.7
		5月	84.5	56.4	60.3	4.3	23	23	0	
		6月	79.4	56.9	60.4	2.5	12	7	5	
		7月	100.2	55.5	59.7	4.6	16	16	0	
		8月	82.4	55.8	59.3	3.1	14	14	0	
		9月	78.7	55.6	59.0	3.0	16	16	0	
		10月	78.6	55.3	58.7	2.9	19	19	0	
		11月	85.3	55.7	59.8	3.8	21	21	0	
		12月	83.3	39.7	59.1	7.0	3	3	0	
		1月	82.1	40.2	58.1	6.8	3	3	0	
		2月	79.1	32.1	53.7	8.8	0	0	0	
		3月	89.2	56.1	60.7	4.9	17	17	0	
		年間	100.2	32.1	59.0	5.2	163	158	5	
浦底A	浦底A	4月	91.6	71.2	74.9	2.7	19	19	0	66.6
		5月	107.2	70.7	75.4	4.9	25	25	0	
		6月	108.9	71.6	75.2	2.5	6	6	0	
		7月	116.6	71.8	75.5	4.7	19	19	0	
		8月	109.3	71.6	75.5	3.7	18	18	0	
		9月	102.4	70.0	74.3	3.1	17	17	0	
		10月	93.2	71.0	73.7	2.5	20	20	0	
		11月	106.9	71.1	74.3	3.5	19	19	0	
		12月	106.7	61.0	74.8	6.9	14	14	0	
		1月	115.2	54.8	72.5	7.3	8	8	0	
		2月	110.1	47.9	69.5	8.6	3	3	0	
		3月	115.1	71.1	75.4	5.8	14	14	0	
		年間	116.6	47.9	74.3	5.3	182	182	0	
立石A	立石A	4月	80.1	66.5	69.1	2.0	19	19	0	62.8
		5月	90.2	67.1	70.0	2.6	19	19	0	
		6月	84.7	67.9	70.8	1.5	6	5	1	
		7月	96.2	67.3	70.7	2.8	15	15	0	
		8月	93.1	67.9	70.9	2.2	12	12	0	
		9月	82.7	66.4	69.0	1.6	14	14	0	
		10月	77.7	66.6	69.1	1.3	18	18	0	
		11月	80.6	66.5	69.4	1.8	20	20	0	
		12月	89.1	64.5	69.9	4.0	14	14	0	
		1月	92.8	63.3	68.5	4.0	18	18	0	
		2月	98.9	59.4	68.0	4.5	14	14	0	
		3月	100.5	65.7	69.5	3.8	13	13	0	
		年間	100.5	59.4	69.6	3.0	182	181	1	

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
敦賀	河野A	4月	60.8	45.3	47.7	2.1	21	21	0	43.4
		5月	84.5	45.8	48.3	3.4	19	19	0	
		6月	61.2	46.3	48.1	1.5	13	13	0	
		7月	94.5	44.9	48.6	4.4	16	16	0	
		8月	70.8	44.3	46.9	2.9	21	21	0	
		9月	60.7	44.0	46.2	1.7	18	18	0	
		10月	61.0	44.2	46.1	1.8	19	19	0	
		11月	63.8	44.5	46.8	2.5	22	22	0	
		12月	79.2	44.2	48.9	4.3	11	11	0	
		1月	69.3	43.7	48.1	3.8	14	14	0	
		2月	88.7	39.9	47.4	4.5	16	16	0	
		3月	81.6	44.5	47.7	4.1	10	10	0	
		年間	94.5	39.9	47.6	3.4	200	200	0	
白木	白木A	4月	98.0	75.0	78.5	3.2	20	20	0	72.0
		5月	124.5	73.8	79.2	5.9	19	19	0	
		6月	111.1	74.9	78.4	2.7	8	8	0	
		7月	118.7	76.0	79.4	4.4	21	21	0	
		8月	124.7	76.1	80.5	4.4	14	14	0	
		9月	101.5	73.9	78.3	2.8	14	14	0	
		10月	98.1	74.3	77.1	2.6	21	21	0	
		11月	103.6	74.1	78.7	3.8	19	19	0	
		12月	127.8	73.9	81.0	6.4	12	12	0	
		1月	104.2	66.8	79.3	5.4	15	15	0	
		2月	120.4	63.7	78.3	6.8	14	14	0	
		3月	125.1	76.4	81.0	5.7	13	13	0	
		年間	127.8	63.7	79.1	4.9	190	190	0	
		白木	白木峠A	4月	89.1	68.5	71.6	2.8	22	
5月	116.3			67.4	72.3	5.1	16	16	0	
6月	99.8			68.0	71.8	2.3	9	9	0	
7月	104.6			69.2	73.0	3.9	19	19	0	
8月	117.2			69.2	73.7	4.5	13	13	0	
9月	95.5			68.2	71.9	2.7	13	13	0	
10月	98.9			69.5	77.5	4.7	4	4	0	
11月	102.7			77.3	80.5	3.3	21	21	0	
12月	130.6			66.6	81.4	6.7	10	10	0	
1月	106.6			57.4	79.6	8.0	3	3	0	
2月	122.1			52.0	73.3	9.7	4	4	0	
3月	125.7			77.2	81.7	5.6	15	15	0	
年間	130.6			52.0	75.7	6.7	149	149	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	丹生A	4月	76.7	56.9	60.0	2.9	24	24	0	54.3
		5月	100.0	58.5	61.9	4.9	19	19	0	
		6月	88.5	58.6	62.3	2.3	10	10	0	
		7月	100.4	58.1	63.4	4.5	19	19	0	
		8月	96.0	58.4	61.3	3.7	20	20	0	
		9月	79.7	57.7	61.0	2.5	16	16	0	
		10月	79.3	57.9	60.5	2.5	22	22	0	
		11月	83.9	57.6	60.7	3.1	18	18	0	
		12月	96.5	55.0	61.9	5.6	15	15	0	
		1月	85.5	48.9	60.2	5.3	14	14	0	
		2月	96.7	45.7	59.4	6.7	16	16	0	
		3月	100.2	56.6	61.1	5.4	13	13	0	
		年間	100.4	45.7	61.2	4.5	205	205	0	
		竹波A	竹波A	4月	90.5	68.5	71.9	3.0	23	
5月	109.0			68.4	73.0	5.1	20	20	0	
6月	103.3			69.0	72.8	2.5	8	8	0	
7月	109.4			69.5	73.9	4.3	17	17	0	
8月	108.4			67.6	73.2	4.0	16	16	0	
9月	97.8			68.1	71.9	2.8	16	16	0	
10月	90.2			68.4	71.0	2.7	21	21	0	
11月	97.1			67.9	71.6	3.5	22	22	0	
12月	105.4			66.4	74.0	6.1	17	17	0	
1月	97.2			59.8	71.9	5.9	14	14	0	
2月	106.6			53.8	70.1	7.0	8	8	0	
3月	111.8			68.4	73.3	5.5	13	13	0	
年間	111.8			53.8	72.4	4.7	195	195	0	
坂尻A	坂尻A			4月	73.2	52.1	55.0	2.8	25	25
		5月	83.7	51.2	55.5	4.7	22	22	0	
		6月	86.5	51.6	54.6	2.7	9	9	0	
		7月	83.7	52.5	55.4	3.4	17	17	0	
		8月	92.6	52.7	56.2	3.5	16	16	0	
		9月	84.9	51.7	55.3	3.3	14	14	0	
		10月	81.7	52.6	59.9	4.2	10	10	0	
		11月	96.9	59.5	62.5	4.0	19	19	0	
		12月	122.0	43.3	63.8	9.1	8	8	0	
		1月	103.5	32.0	62.3	9.6	8	8	0	
		2月	86.8	28.7	51.5	11.0	1	1	0	
		3月	101.9	58.9	63.6	5.8	19	19	0	
		年間	122.0	28.7	58.0	7.3	167	167	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜A	4月	62.3	45.4	48.4	2.4	22	22	0	43.0
		5月	71.4	46.1	49.0	3.7	23	23	0	
		6月	74.6	46.4	49.3	2.5	9	9	0	
		7月	86.3	46.1	50.1	3.5	22	22	0	
		8月	72.2	46.1	49.2	2.9	16	16	0	
		9月	68.7	46.2	49.2	2.6	17	17	0	
		10月	64.3	46.1	48.6	2.1	20	20	0	
		11月	80.5	45.7	48.7	3.0	11	11	0	
		12月	87.5	39.7	50.0	6.2	16	16	0	
		1月	81.3	35.7	48.9	6.0	16	16	0	
		2月	84.6	31.6	46.6	6.3	7	7	0	
		3月	80.8	45.6	49.7	4.2	16	16	0	
		年間	87.5	31.6	49.0	4.1	195	195	0	
		大飯	日角浜A	4月	65.1	41.4	44.4	3.0	23	
5月	82.0			42.2	45.8	5.6	20	20	0	
6月	72.1			42.7	45.1	2.6	12	12	0	
7月	87.8			41.8	45.6	4.0	20	20	0	
8月	69.7			42.3	44.9	3.1	21	21	0	
9月	68.7			41.9	44.9	2.9	19	19	0	
10月	69.0			41.9	44.4	2.3	17	17	0	
11月	105.5			41.6	44.5	4.0	9	9	0	
12月	77.9			35.8	45.8	6.0	20	20	0	
1月	83.8			33.1	44.6	6.1	13	13	0	
2月	78.2			26.8	42.5	7.0	10	10	0	
3月	76.9			41.0	45.4	4.9	14	14	0	
年間	105.5			26.8	44.8	4.6	198	198	0	
大飯	宮留A			4月	55.3	33.3	36.0	2.9	22	22
		5月	76.6	34.1	37.6	5.5	20	20	0	
		6月	62.4	34.5	37.0	2.5	12	12	0	
		7月	78.6	34.1	37.5	4.0	19	19	0	
		8月	60.4	34.0	36.8	3.1	20	20	0	
		9月	58.3	33.9	36.8	2.8	19	19	0	
		10月	53.4	34.3	36.7	2.1	18	18	0	
		11月	81.5	34.3	37.1	3.6	11	11	0	
		12月	70.6	31.7	38.9	6.0	18	18	0	
		1月	74.9	26.4	37.7	5.8	15	15	0	
		2月	70.4	22.7	36.0	6.4	13	13	0	
		3月	69.4	34.1	38.0	4.8	15	15	0	
		年間	81.5	22.7	37.2	4.4	201	201	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	阿納尻A	4月	44.9	29.1	31.8	2.4	26	26	0	30.2
		5月	63.5	29.4	32.6	4.9	22	22	0	
		6月	54.9	29.3	31.8	2.3	10	10	0	
		7月	66.7	29.3	32.0	3.3	21	21	0	
		8月	58.9	29.2	31.8	2.8	14	14	0	
		9月	53.4	29.2	31.9	2.9	17	17	0	
		10月	47.2	29.2	31.5	2.1	19	19	0	
		11月	60.0	29.4	32.1	3.1	15	15	0	
		12月	81.0	26.2	34.5	6.7	17	17	0	
		1月	68.1	19.4	33.3	6.6	12	12	0	
		2月	53.1	17.4	29.6	5.7	4	4	0	
		3月	67.6	29.3	33.2	4.9	11	11	0	
		年間	81.0	17.4	32.2	4.5	188	188	0	
		長井A	4月	54.6	33.7	36.8	2.9	24	24	
	5月		72.1	34.1	38.3	5.4	24	24	0	
	6月		64.4	34.6	37.5	2.9	12	12	0	
	7月		68.1	34.9	37.8	3.1	18	18	0	
	8月		68.7	35.1	37.7	3.5	21	21	0	
	9月		69.2	34.3	37.8	4.0	20	20	0	
	10月		65.5	34.3	36.9	2.8	17	17	0	
	11月		94.7	34.5	37.2	4.8	12	12	0	
	12月		107.0	29.4	39.9	8.3	14	14	0	
	1月		98.6	21.9	38.5	8.9	14	14	0	
2月	84.7		17.9	33.6	7.6	6	6	0		
3月	75.7		34.2	38.5	5.7	16	16	0		
年間	107.0	17.9	37.6	5.6	198	198	0			
高浜	小黒飯A	4月	59.7	38.8	41.1	2.7	24	24	0	37.4
		5月	82.1	37.7	41.6	4.9	20	20	0	
		6月	64.5	37.4	39.5	2.3	11	11	0	
		7月	64.3	36.5	38.8	2.8	21	21	0	
		8月	67.2	38.6	40.7	2.7	19	19	0	
		9月	87.5	37.1	40.2	3.8	11	11	0	
		10月	60.0	36.2	38.6	2.1	18	18	0	
		11月	98.7	38.3	40.9	5.0	12	12	0	
		12月	97.1	31.9	42.4	6.6	12	12	0	
		1月	121.5	26.8	41.8	9.1	15	15	0	
		2月	83.3	22.7	39.0	6.9	8	8	0	
		3月	72.2	38.5	42.3	4.7	14	14	0	
		年間	121.5	22.7	40.6	5.1	185	185	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
高浜	音海A	4月	64.2	41.4	44.3	3.1	26	26	0	40.3
		5月	93.1	41.5	45.3	5.5	21	21	0	
		6月	72.2	42.1	44.1	2.6	10	10	0	
		7月	72.6	42.4	44.3	3.0	20	20	0	
		8月	72.5	42.3	44.9	3.0	18	18	0	
		9月	116.8	41.7	44.8	5.4	12	12	0	
		10月	72.6	41.5	43.7	2.5	17	17	0	
		11月	142.4	41.2	44.2	6.1	8	8	0	
		12月	120.6	41.4	47.1	7.1	10	10	0	
		1月	110.1	33.4	46.0	8.5	17	17	0	
		2月	93.5	32.5	44.1	5.8	11	11	0	
		3月	77.3	42.0	46.1	5.2	13	13	0	
		年間	142.4	32.5	44.9	5.3	182	182	0	
神野浦A	神野浦A	4月	50.1	27.5	29.7	3.0	20	20	0	27.5
		5月	70.6	27.4	30.6	5.0	17	17	0	
		6月	48.9	27.8	29.4	1.8	9	9	0	
		7月	51.8	27.8	29.6	2.4	20	20	0	
		8月	51.0	27.7	29.9	2.2	18	18	0	
		9月	78.0	26.8	30.0	3.8	11	11	0	
		10月	52.6	27.1	29.3	2.0	16	16	0	
		11月	82.5	27.4	29.7	4.1	11	11	0	
		12月	102.7	23.2	32.5	7.6	9	9	0	
		1月	128.9	18.5	32.4	11.2	14	14	0	
		2月	71.6	14.3	26.5	7.6	11	11	0	
		3月	64.3	27.8	31.7	5.3	16	16	0	
		年間	128.9	14.3	30.1	5.6	172	172	0	
山中A	山中A	4月	47.4	26.8	29.1	3.0	24	24	0	26.7
		5月	73.5	26.8	30.3	5.9	21	21	0	
		6月	53.7	27.3	29.2	2.4	12	12	0	
		7月	61.3	26.7	29.4	3.5	18	18	0	
		8月	55.9	26.8	29.0	2.8	21	21	0	
		9月	73.1	26.7	29.4	4.8	14	14	0	
		10月	57.2	26.2	28.6	2.6	18	18	0	
		11月	85.6	26.4	29.7	5.7	13	13	0	
		12月	93.5	14.5	29.9	8.4	9	9	0	
		1月	144.2	11.7	27.6	10.3	12	12	0	
		2月	59.5	10.4	19.9	6.9	6	6	0	
		3月	60.3	24.0	30.3	5.4	15	15	0	
		年間	144.2	10.4	28.6	6.3	183	183	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ふげん北D	4月	74.4	57.1	59.9	2.4	21	21	0	60.5
		5月	97.3	56.2	60.4	4.6	20	20	0	
		6月	91.2	55.6	60.1	2.6	8	8	0	
		7月	102.3	56.5	61.7	3.9	18	18	0	
		8月	101.2	58.9	63.7	3.9	16	16	0	
		9月	91.3	58.4	61.9	2.6	13	13	0	
		10月	79.1	58.0	61.9	2.4	18	18	0	
		11月	78.8	57.8	61.1	3.0	20	20	0	
		12月	89.0	57.8	63.1	5.6	14	14	0	
		1月	97.9	53.9	61.7	5.4	16	16	0	
		2月	104.8	52.8	60.1	5.3	17	17	0	
		3月	107.0	56.9	61.4	5.4	12	12	0	
		年間	107.0	52.8	61.4	4.3	193	193	0	
立石B	立石B	4月	94.6	85.2	87.9	1.3	12	12	0	90.1
		5月	101.4	85.2	89.5	2.2	11	11	0	
		6月	99.1	84.8	88.9	1.6	7	4	3	
		7月	101.9	84.4	89.3	1.8	12	12	0	
		8月	104.1	87.1	90.7	1.9	10	10	0	
		9月	99.7	86.0	89.9	1.8	6	6	0	
		10月	97.1	87.0	90.9	1.8	2	2	0	
		11月	96.4	84.8	88.4	1.7	6	6	0	
		12月	99.3	84.6	87.8	2.4	14	14	0	
		1月	106.3	83.4	86.8	2.7	14	14	0	
		2月	103.4	80.6	86.1	2.8	16	16	0	
		3月	104.0	84.0	86.8	2.3	14	14	0	
		年間	106.3	80.6	88.6	2.5	124	121	3	
立石山頂B	立石山頂B	4月	93.0	71.6	75.6	2.9	19	19	0	78.9
		5月	115.2	70.8	75.8	5.3	25	25	0	
		6月	111.7	71.4	75.6	2.9	9	9	0	
		7月	123.0	71.7	77.5	4.4	18	18	0	
		8月	112.9	73.7	79.7	4.0	12	12	0	
		9月	108.7	73.2	77.4	3.1	16	16	0	
		10月	94.2	74.2	77.9	2.6	18	18	0	
		11月	95.7	65.3	74.7	4.6	11	11	0	
		12月	98.3	68.1	74.5	4.5	16	16	0	
		1月	101.9	63.3	72.9	4.9	14	14	0	
		2月	105.1	60.6	71.0	5.6	16	16	0	
		3月	118.4	69.8	73.7	4.8	11	11	0	
		年間	123.0	60.6	75.6	4.8	185	185	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ふげん西D	4月	58.9	34.6	37.6	3.4	21	21	0	38.5
		5月	86.6	34.1	39.1	6.8	24	24	0	
		6月	80.0	34.7	38.1	3.1	8	8	0	
		7月	92.3	35.8	39.4	5.0	20	20	0	
		8月	89.8	37.0	40.8	5.1	17	17	0	
		9月	75.8	36.0	39.4	3.4	20	20	0	
		10月	60.8	36.2	38.9	2.9	21	21	0	
		11月	60.4	35.1	38.4	3.5	23	23	0	
		12月	76.9	33.1	39.7	6.3	15	15	0	
		1月	69.1	28.9	37.8	5.9	18	18	0	
		2月	84.1	26.9	35.9	6.4	14	14	0	
		3月	95.3	34.4	38.6	6.4	14	14	0	
		年間	95.3	26.9	38.6	5.2	215	215	0	
猪ヶ池	猪ヶ池B	4月	98.4	74.7	78.7	3.2	18	18	0	80.3
		5月	122.2	73.5	79.5	5.5	26	26	0	
		6月	118.4	74.6	79.5	3.0	7	7	0	
		7月	123.5	75.0	81.4	4.6	20	20	0	
		8月	121.8	77.5	83.6	4.4	15	15	0	
		9月	113.4	75.9	81.4	3.6	16	16	0	
		10月	103.3	76.2	80.8	3.1	20	20	0	
		11月	104.2	73.5	78.5	3.8	18	18	0	
		12月	110.9	70.7	80.1	6.8	11	11	0	
		1月	116.9	66.5	78.4	6.8	16	16	0	
		2月	123.7	60.7	75.2	7.4	11	11	0	
		3月	128.7	74.5	79.7	6.4	11	11	0	
		年間	128.7	60.7	79.8	5.5	189	189	0	
浦底	浦底B	4月	91.0	71.1	74.2	2.8	21	21	0	78.2
		5月	108.8	71.0	75.4	5.5	25	25	0	
		6月	108.8	71.4	74.3	2.6	9	9	0	
		7月	110.9	71.8	75.2	4.2	20	20	0	
		8月	112.9	72.3	76.6	3.8	19	19	0	
		9月	108.0	71.7	75.4	3.7	16	16	0	
		10月	95.4	72.3	75.0	2.7	21	21	0	
		11月	92.4	71.8	75.1	3.1	19	19	0	
		12月	106.8	64.9	76.9	7.5	13	13	0	
		1月	111.3	58.6	73.7	7.7	13	13	0	
		2月	104.8	53.0	67.1	7.2	4	4	0	
		3月	113.2	71.4	75.3	5.6	12	12	0	
		年間	113.2	53.0	74.6	5.6	192	192	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	水試裏B	4月	95.8	71.3	74.8	3.0	23	23	0	79.7
		5月	110.7	70.4	75.2	5.0	26	26	0	
		6月	104.5	71.6	75.2	2.5	6	6	0	
		7月	105.8	72.0	77.1	3.5	19	19	0	
		8月	117.5	75.4	81.5	3.8	14	14	0	
		9月	109.5	74.2	78.9	3.3	15	15	0	
		10月	95.8	74.3	78.1	2.7	21	21	0	
		11月	97.8	71.5	76.1	3.2	19	19	0	
		12月	105.9	69.3	78.8	6.3	12	12	0	
		1月	111.3	66.3	77.2	6.0	15	15	0	
		2月	115.0	61.8	74.7	6.4	15	15	0	
		3月	118.8	73.5	77.9	5.8	11	11	0	
		年間	118.8	61.8	77.2	4.9	196	196	0	
		色ヶ浜B	色ヶ浜B	4月	92.3	75.5	78.3	2.4	23	
5月	104.5			75.3	79.1	4.3	27	27	0	
6月	104.2			75.2	78.4	2.2	9	9	0	
7月	115.4			76.2	79.2	4.0	17	17	0	
8月	111.2			77.0	80.3	3.3	19	19	0	
9月	103.8			76.8	79.8	2.9	15	15	0	
10月	96.9			77.2	79.8	2.5	22	22	0	
11月	97.8			76.8	79.9	2.9	22	22	0	
12月	112.6			73.0	82.3	6.7	14	14	0	
1月	112.0			67.7	80.5	6.7	14	14	0	
2月	105.1			62.5	76.0	6.8	5	5	0	
3月	114.2			77.0	81.9	5.0	14	14	0	
年間	115.4			62.5	79.7	4.7	201	201	0	
沓D	沓D			4月	70.8	51.7	55.4	2.9	20	20
		5月	89.2	50.1	55.9	4.4	17	17	0	
		6月	82.8	51.2	55.4	2.6	12	12	0	
		7月	94.7	52.0	56.5	4.5	17	17	0	
		8月	95.5	53.2	57.6	3.7	15	15	0	
		9月	77.9	51.1	56.1	3.0	18	18	0	
		10月	82.2	52.4	56.1	3.2	19	19	0	
		11月	81.7	51.3	55.8	4.1	19	19	0	
		12月	98.4	37.4	56.0	9.1	11	11	0	
		1月	90.1	32.0	53.8	9.1	6	6	0	
		2月	76.1	25.9	41.5	9.1	4	4	0	
		3月	94.7	50.3	55.7	5.9	13	13	0	
		年間	98.4	25.9	54.6	6.9	171	171	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	赤崎D	4月	64.4	47.6	49.7	2.5	21	21	0	50.2
		5月	80.2	47.1	50.4	4.1	23	23	0	
		6月	70.2	47.8	49.6	2.0	13	13	0	
		7月	85.8	47.6	50.0	4.0	18	18	0	
		8月	90.1	48.1	50.5	3.1	15	15	0	
		9月	73.3	47.9	50.2	2.7	18	18	0	
		10月	66.8	47.9	50.0	2.5	22	22	0	
		11月	71.8	47.3	50.2	3.5	24	24	0	
		12月	81.1	39.6	51.4	6.5	8	8	0	
		1月	78.7	33.0	49.6	6.9	7	7	0	
		2月	77.2	31.1	43.6	6.6	7	7	0	
		3月	91.7	46.9	50.7	5.1	12	12	0	
		年間	91.7	31.1	49.6	4.8	188	188	0	
五幡	B	4月	64.0	44.1	46.6	2.9	22	22	0	47.3
		5月	71.8	43.9	47.3	4.1	28	28	0	
		6月	74.8	44.0	46.4	2.4	10	10	0	
		7月	86.0	44.3	47.0	4.5	17	17	0	
		8月	82.6	44.9	47.5	3.4	19	19	0	
		9月	70.6	44.5	47.2	2.9	19	19	0	
		10月	68.3	44.5	47.1	2.8	22	22	0	
		11月	69.3	44.3	47.4	3.3	23	23	0	
		12月	84.5	44.4	50.8	7.2	11	11	0	
		1月	84.5	36.2	48.1	7.0	10	10	0	
		2月	73.8	35.4	46.8	5.2	7	7	0	
		3月	89.4	45.1	49.2	5.6	11	11	0	
		年間	89.4	35.4	47.6	4.7	199	199	0	
阿曽	D	4月	66.9	45.3	47.8	3.1	21	21	0	49.0
		5月	79.0	45.5	48.8	4.1	20	20	0	
		6月	75.7	45.5	47.5	2.4	10	10	0	
		7月	86.7	45.1	48.2	4.5	16	16	0	
		8月	86.5	45.9	48.9	3.8	17	17	0	
		9月	72.7	45.7	48.4	2.8	20	20	0	
		10月	69.8	45.9	48.5	2.8	20	20	0	
		11月	68.6	46.1	48.4	3.3	22	22	0	
		12月	84.5	42.5	50.3	6.6	15	15	0	
		1月	93.7	31.6	47.6	7.5	10	10	0	
		2月	76.7	29.6	42.4	6.7	7	7	0	
		3月	86.4	44.6	48.8	5.9	14	14	0	
		年間	93.7	29.6	48.0	5.1	192	192	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	杉津 B	4 月	69.8	47.1	50.7	3.3	24	24	0	52.4
		5 月	78.2	46.7	51.1	4.4	24	24	0	
		6 月	72.9	47.3	49.6	2.3	13	13	0	
		7 月	89.0	47.0	50.3	4.5	16	16	0	
		8 月	94.6	47.8	51.4	4.1	18	18	0	
		9 月	71.3	47.3	50.5	2.9	19	19	0	
		10月	73.7	47.8	50.9	2.9	20	20	0	
		11月	72.8	47.5	50.9	3.4	23	23	0	
		12月	82.0	44.5	53.5	7.0	12	12	0	
		1 月	103.4	36.4	51.3	7.3	9	9	0	
		2 月	81.6	34.8	46.1	7.1	8	8	0	
		3 月	92.9	47.7	52.5	6.1	14	14	0	
		年間	103.4	34.8	50.8	5.2	200	200	0	
甲斐川	甲斐川 B	4 月	58.8	41.6	44.2	2.6	21	21	0	45.0
		5 月	80.3	41.5	44.8	3.9	20	20	0	
		6 月	59.3	41.0	43.5	1.8	12	12	0	
		7 月	94.2	41.3	43.8	4.8	16	16	0	
		8 月	72.6	41.6	44.5	3.2	16	16	0	
		9 月	62.4	41.4	43.8	2.1	21	21	0	
		10月	60.1	41.8	44.2	2.1	19	19	0	
		11月	65.0	41.9	44.5	2.6	20	20	0	
		12月	73.1	41.9	47.3	5.8	11	11	0	
		1 月	75.4	40.8	46.4	5.1	12	12	0	
		2 月	92.0	38.1	44.6	5.7	12	12	0	
		3 月	86.0	41.6	45.1	4.7	11	11	0	
		年間	94.2	38.1	44.7	4.1	191	192	0	
今庄	今庄 B	4 月	51.2	34.8	37.7	2.5	26	26	0	39.9
		5 月	55.9	34.4	38.7	3.2	20	20	0	
		6 月	57.1	35.4	39.0	2.5	11	11	0	
		7 月	83.7	35.7	40.4	4.2	12	12	0	
		8 月	69.0	37.5	41.8	3.6	15	15	0	
		9 月	54.8	36.4	40.4	2.6	17	17	0	
		10月	60.5	36.8	40.3	2.6	18	18	0	
		11月	63.6	36.7	40.5	2.8	16	16	0	
		12月	74.1	30.6	42.9	7.5	6	6	0	
		1 月	81.2	23.9	39.6	7.3	7	7	0	
		2 月	65.6	26.1	34.1	5.6	18	18	0	
		3 月	75.0	33.2	42.7	6.3	12	12	0	
		年間	83.7	23.9	39.8	5.1	178	178	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	越前厨D	4月	58.4	36.0	39.2	3.1	27	27	0	39.7
		5月	67.7	35.6	39.8	4.0	25	25	0	
		6月	55.3	36.2	39.2	1.9	14	14	0	
		7月	83.1	36.5	40.0	4.4	18	18	0	
		8月	70.2	37.5	40.8	3.3	19	19	0	
		9月	53.8	36.4	39.7	2.2	19	19	0	
		10月	54.0	37.3	40.0	2.1	17	17	0	
		11月	61.2	36.6	39.6	2.9	21	21	0	
		12月	66.6	35.5	40.5	5.3	13	13	0	
		1月	67.1	30.8	38.9	5.0	17	17	0	
		2月	80.9	31.4	38.2	5.2	20	20	0	
		3月	83.8	35.5	39.3	5.4	13	13	0	
		年間	83.8	30.8	39.6	4.0	223	223	0	
白木	松ヶ崎D	4月	77.4	56.8	60.1	2.7	24	24	0	62.2
		5月	97.6	56.2	60.9	4.9	18	18	0	
		6月	91.4	57.1	60.4	2.4	7	7	0	
		7月	96.2	57.5	61.0	3.9	19	19	0	
		8月	97.2	57.9	62.0	3.6	15	15	0	
		9月	80.8	57.0	60.6	2.5	14	14	0	
		10月	79.6	57.6	60.4	2.2	20	20	0	
		11月	80.0	57.4	60.6	2.9	23	23	0	
		12月	110.9	57.7	63.1	6.0	11	11	0	
		1月	86.0	55.0	62.0	4.8	18	18	0	
		2月	98.3	52.4	61.1	5.6	18	18	0	
		3月	101.4	57.8	62.0	5.2	14	14	0	
		年間	110.9	52.4	61.2	4.2	201	201	0	
		白木	I D	4月	80.7	60.1	64.9	2.9	19	
5月	103.0			59.9	64.3	4.8	21	21	0	
6月	97.4			60.4	64.0	2.6	6	6	0	
7月	98.2			60.1	65.7	3.5	19	19	0	
8月	103.5			62.9	68.2	4.3	14	14	0	
9月	92.6			62.3	66.2	2.7	13	13	0	
10月	81.9			62.8	67.0	2.2	17	17	0	
11月	88.9			63.2	67.3	2.9	19	19	0	
12月	101.4			60.1	67.2	5.2	13	13	0	
1月	88.8			49.8	64.1	5.5	9	9	0	
2月	101.1			47.0	60.7	6.6	8	8	0	
3月	106.0			59.5	65.1	4.8	12	12	0	
年間	106.0			47.0	65.4	4.6	170	170	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
白木	白木IID	4月	59.9	34.6	37.8	3.7	25	25	0	38.9
		5月	94.4	34.0	38.9	7.4	21	21	0	
		6月	76.6	34.3	37.5	3.1	9	9	0	
		7月	81.5	34.9	38.7	4.6	20	20	0	
		8月	87.8	35.9	40.5	5.2	16	16	0	
		9月	75.6	35.0	38.8	3.3	16	16	0	
		10月	60.8	35.7	39.0	3.0	22	22	0	
		11月	70.2	35.6	39.1	4.3	24	24	0	
		12月	85.0	27.6	39.8	7.4	12	12	0	
		1月	64.0	22.3	37.2	6.5	10	10	0	
		2月	87.0	20.0	31.5	7.6	9	9	0	
		3月	91.9	34.1	38.4	6.3	13	13	0	
		年間	94.4	20.0	38.1	5.9	197	197	0	
		白木IID	4月	71.0	50.9	54.6	2.9	21	21	
	5月		93.6	49.9	54.8	5.4	20	20	0	
	6月		81.8	50.4	53.5	2.3	10	10	0	
	7月		91.7	51.0	54.9	4.0	20	20	0	
	8月		103.3	51.6	56.6	4.6	13	13	0	
	9月		82.8	50.9	54.3	2.7	16	16	0	
	10月		73.0	50.7	53.8	2.4	20	20	0	
	11月		77.2	51.0	54.2	3.3	23	23	0	
	12月		97.1	42.7	54.7	6.5	14	14	0	
	1月		78.2	33.7	52.3	6.7	3	3	0	
	2月		89.7	31.6	45.5	7.2	6	6	0	
	3月		96.5	49.8	54.1	5.0	12	12	0	
	年間		103.3	31.6	53.6	5.4	178	178	0	
	白木IVD		4月	62.5	41.1	44.2	3.0	21	21	0
		5月	83.7	41.7	45.3	5.4	19	19	0	
		6月	77.0	41.4	44.6	2.5	8	8	0	
		7月	83.9	41.6	45.9	4.0	20	20	0	
		8月	84.1	43.0	47.5	4.3	14	14	0	
		9月	68.5	42.5	45.6	2.6	16	16	0	
		10月	65.5	42.8	45.7	2.4	21	21	0	
		11月	66.6	41.7	45.5	3.2	21	21	0	
		12月	92.2	37.3	46.1	5.8	15	15	0	
		1月	69.0	29.2	43.7	6.0	11	11	0	
2月		83.5	26.1	38.9	6.8	7	7	0		
3月		89.4	40.3	44.8	5.3	13	13	0		
年間		92.2	26.1	44.8	4.9	186	186	0		

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	奥浦C	4月	77.7	56.1	59.6	3.1	22	22	0	60.8
		5月	100.9	55.0	59.9	5.1	17	17	0	
		6月	91.1	55.6	59.4	2.6	10	10	0	
		7月	98.2	57.1	60.9	4.4	19	19	0	
		8月	100.9	57.4	61.9	4.3	17	17	0	
		9月	81.9	56.6	60.4	2.6	18	18	0	
		10月	82.6	57.4	60.2	2.8	21	21	0	
		11月	82.9	56.9	60.3	3.4	21	21	0	
		12月	109.4	56.2	62.4	7.0	11	11	0	
		1月	88.8	52.7	61.1	5.8	14	14	0	
		2月	98.7	50.0	59.8	6.6	18	18	0	
		3月	105.4	56.2	60.6	5.9	14	14	0	
		年間	109.4	50.0	60.6	4.1	202	202	0	
			丹生C	4月	66.9	50.0	52.2	2.5	23	
5月	87.5			49.2	52.6	4.3	18	18	0	
6月	72.7			48.8	51.6	2.0	10	10	0	
7月	80.7			49.2	52.4	3.3	19	19	0	
8月	82.7			49.6	52.6	3.2	21	21	0	
9月	67.5			49.3	52.0	2.3	17	17	0	
10月	69.2			49.6	52.1	2.1	21	21	0	
11月	76.1			48.8	52.2	2.8	18	18	0	
12月	89.3			49.2	54.3	5.2	10	10	0	
1月	76.9			47.1	53.9	4.6	14	14	0	
2月	83.0			44.6	52.6	5.1	16	16	0	
3月	87.4			49.0	53.4	4.8	13	13	0	
年間	89.3			44.6	52.7	3.2	200	200	0	
	丹生寮C			4月	66.1	45.9	48.2	2.8	23	23
		5月	87.7	45.0	49.1	4.9	17	17	0	
		6月	71.9	45.5	48.1	2.1	11	11	0	
		7月	81.9	46.2	48.8	3.7	17	17	0	
		8月	80.7	46.2	49.4	3.5	19	19	0	
		9月	71.0	45.8	48.6	2.5	15	15	0	
		10月	68.5	46.1	48.4	2.5	23	23	0	
		11月	72.6	45.9	48.8	3.2	21	21	0	
		12月	93.6	44.0	51.2	6.5	10	10	0	
		1月	81.1	42.5	50.0	5.4	15	15	0	
		2月	83.4	39.1	48.3	6.0	19	19	0	
		3月	87.0	45.6	49.6	5.4	16	16	0	
		年間	93.6	39.1	49.1	3.7	206	206	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	竹波 C	4月	88.6	70.6	73.9	2.4	21	21	0	74.5
		5月	101.7	68.9	73.8	3.8	19	19	0	
		6月	96.7	70.1	73.5	2.0	8	8	0	
		7月	103.1	70.4	74.9	3.4	16	16	0	
		8月	104.0	71.3	76.0	3.4	14	14	0	
		9月	92.0	70.9	74.6	2.2	16	16	0	
		10月	92.5	71.7	74.4	2.2	22	22	0	
		11月	94.2	70.9	74.4	2.8	21	21	0	
		12月	107.9	69.1	75.9	5.5	16	16	0	
		1月	99.7	65.0	74.6	5.1	16	16	0	
		2月	104.2	59.6	72.7	6.2	9	9	0	
		3月	107.8	70.2	75.0	4.7	16	16	0	
		年間	107.9	59.6	74.5	3.7	194	194	0	
		菅浜	菅浜 C	4月	51.1	33.7	36.2	2.3	23	
5月	61.3			33.1	36.8	3.9	22	22	0	
6月	58.2			33.3	35.9	2.1	10	10	0	
7月	67.5			33.5	36.0	3.3	17	17	0	
8月	61.0			33.6	36.3	2.7	16	16	0	
9月	60.2			33.6	36.1	2.6	18	18	0	
10月	53.9			33.7	36.1	2.1	23	23	0	
11月	56.3			34.0	36.9	3.0	19	19	0	
12月	77.6			34.7	39.4	5.4	12	12	0	
1月	59.7			33.3	38.9	4.4	14	14	0	
2月	61.5			33.3	38.4	4.6	17	17	0	
3月	67.6			34.5	38.4	4.6	15	15	0	
年間	77.6			33.1	37.1	3.9	206	206	0	
佐田	佐田 C			4月	66.1	51.5	53.7	2.1	24	24
		5月	77.7	51.4	54.7	3.8	23	23	0	
		6月	78.0	51.8	53.6	2.0	10	10	0	
		7月	78.2	51.9	53.8	2.6	17	17	0	
		8月	76.9	52.0	54.1	2.4	16	16	0	
		9月	74.7	51.6	54.1	2.4	19	19	0	
		10月	69.0	51.1	53.9	2.1	22	22	0	
		11月	77.8	51.6	54.5	2.9	16	16	0	
		12月	99.9	49.9	56.3	5.6	9	9	0	
		1月	79.7	47.8	55.6	4.3	18	18	0	
		2月	74.6	46.8	53.9	4.6	16	16	0	
		3月	81.3	52.2	55.5	4.3	16	16	0	
		年間	99.9	46.8	54.5	3.2	206	206	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	新庄C	4月	74.1	58.6	61.0	2.3	23	23	0	61.3
		5月	82.5	57.5	61.6	3.2	19	19	0	
		6月	76.8	58.2	60.7	1.8	9	9	0	
		7月	83.0	57.7	60.7	2.3	16	16	0	
		8月	81.4	58.8	61.5	2.1	11	11	0	
		9月	81.5	57.9	61.3	2.6	17	17	0	
		10月	77.7	58.1	60.8	2.0	20	20	0	
		11月	93.4	58.4	61.4	3.1	16	16	0	
		12月	88.6	40.6	59.8	8.2	2	2	0	
		1月	89.3	41.5	56.7	7.0	14	14	0	
		2月	89.8	35.1	46.7	6.7	9	9	0	
		3月	90.6	52.1	61.0	4.8	17	17	0	
		年間	93.4	35.1	59.5	5.7	173	173	0	
郷市	郷市C	4月	52.8	32.9	35.8	3.0	26	26	0	36.1
		5月	67.2	32.5	36.7	5.1	22	22	0	
		6月	68.7	32.1	35.3	3.0	6	6	0	
		7月	63.6	32.8	35.4	3.5	21	21	0	
		8月	65.7	32.9	36.1	3.1	15	15	0	
		9月	64.4	32.8	35.9	3.5	17	17	0	
		10月	56.8	32.9	35.6	2.7	20	20	0	
		11月	63.5	33.1	36.2	3.3	19	19	0	
		12月	82.3	29.4	38.8	7.7	13	13	0	
		1月	72.0	25.9	37.6	6.3	15	15	0	
		2月	62.8	24.1	34.0	5.6	12	12	0	
		3月	72.3	32.7	37.6	5.8	15	15	0	
		年間	82.3	24.1	36.3	4.5	201	201	0	
早瀬	早瀬C	4月	47.0	31.1	33.7	2.0	20	20	0	35.0
		5月	70.3	30.9	34.2	4.0	18	18	0	
		6月	54.7	31.2	33.9	1.9	9	9	0	
		7月	54.1	31.9	34.2	2.3	17	17	0	
		8月	57.8	32.3	34.8	2.4	13	13	0	
		9月	52.9	31.6	34.1	2.2	17	17	0	
		10月	48.9	31.0	33.8	1.7	19	19	0	
		11月	47.1	31.0	33.7	2.1	19	19	0	
		12月	73.6	29.7	36.1	5.4	16	16	0	
		1月	59.6	25.7	35.0	4.3	18	18	0	
		2月	57.4	24.5	32.8	4.6	12	12	0	
		3月	57.9	31.4	35.0	4.0	17	17	0	
		年間	73.6	24.5	34.3	3.2	195	195	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	日向C	4月	56.1	38.5	40.9	2.3	24	24	0	41.6
		5月	74.5	38.6	41.8	4.4	22	22	0	
		6月	62.3	39.0	41.1	2.1	10	10	0	
		7月	65.3	39.1	41.3	3.0	20	20	0	
		8月	70.7	39.4	41.7	2.8	17	17	0	
		9月	62.3	38.9	41.3	2.7	19	19	0	
		10月	57.2	39.3	41.3	2.1	21	21	0	
		11月	56.1	39.2	41.6	2.5	22	22	0	
		12月	85.0	39.3	44.2	6.2	17	17	0	
		1月	72.7	37.0	43.4	4.7	18	18	0	
		2月	66.9	36.3	42.3	4.7	15	15	0	
		3月	71.8	39.2	42.8	4.7	17	17	0	
		年間	85.0	36.3	42.0	3.6	222	222	0	
	三方C	4月	46.6	28.5	31.0	2.6	28	28	0	31.7
		5月	61.6	28.2	32.3	4.8	21	21	0	
		6月	55.4	27.4	31.2	2.6	9	9	0	
		7月	58.8	28.3	31.2	2.8	22	22	0	
		8月	65.6	28.7	31.5	3.1	13	13	0	
		9月	57.5	28.9	31.8	3.3	18	18	0	
		10月	48.9	28.1	31.2	2.4	19	19	0	
		11月	59.6	27.3	31.9	3.4	16	16	0	
		12月	63.0	24.5	33.9	7.2	18	18	0	
		1月	67.2	24.4	33.2	6.8	21	21	0	
2月		66.4	20.8	29.1	6.2	16	16	0		
3月		68.4	28.4	33.1	5.4	19	19	0		
年間		68.4	20.8	31.8	4.6	220	220	0		
大飯	宮留C	4月	60.8	37.1	39.3	3.3	23	23	0	40.1
		5月	89.1	36.7	40.5	6.3	22	22	0	
		6月	72.4	37.2	39.2	3.1	11	11	0	
		7月	87.6	37.2	39.6	4.5	18	18	0	
		8月	70.4	37.7	40.4	3.8	20	20	0	
		9月	69.5	37.3	40.1	3.5	20	20	0	
		10月	57.8	37.4	39.7	2.5	18	18	0	
		11月	95.0	37.7	40.1	4.2	9	9	0	
		12月	74.9	31.3	41.9	6.5	23	23	0	
		1月	82.3	30.2	41.4	6.5	15	15	0	
		2月	78.1	25.0	38.5	7.3	15	15	0	
		3月	79.6	37.4	41.2	5.4	19	19	0	
		年間	95.0	25.0	40.2	4.8	213	213	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
大飯	日角浜C	4月	61.1	34.4	37.2	3.4	23	23	0	38.1
		5月	77.5	34.2	38.1	6.1	19	19	0	
		6月	66.7	35.0	37.2	2.9	12	12	0	
		7月	84.1	35.2	37.5	4.2	20	20	0	
		8月	66.5	35.7	38.2	3.5	23	23	0	
		9月	62.9	35.3	38.2	3.2	19	19	0	
		10月	66.3	35.4	37.9	2.7	17	17	0	
		11月	111.5	34.6	37.7	4.7	9	9	0	
		12月	76.7	30.2	39.9	7.1	21	21	0	
		1月	86.6	26.7	39.1	7.3	12	12	0	
		2月	75.9	23.2	35.7	7.4	16	16	0	
		3月	77.4	34.7	38.9	5.8	16	16	0	
		年間	111.5	23.2	38.0	5.1	207	207	0	
		本郷	C	4月	57.3	40.0	42.2	2.5	24	
5月	74.6			39.8	43.3	5.0	20	20	0	
6月	67.4			40.4	42.5	2.7	12	12	0	
7月	66.3			40.4	42.5	2.7	18	18	0	
8月	67.9			40.5	43.0	3.0	22	22	0	
9月	79.2			40.1	43.0	3.6	19	19	0	
10月	61.0			39.0	42.2	2.3	16	16	0	
11月	89.3			40.0	42.7	4.4	11	11	0	
12月	102.8			37.7	45.2	7.2	15	15	0	
1月	97.1			30.5	44.7	8.4	18	18	0	
2月	80.4			28.3	40.4	6.1	11	11	0	
3月	77.9			39.4	43.7	5.1	14	14	0	
年間	102.8			28.3	43.0	4.6	200	200	0	
加斗	C			4月	65.0	43.4	46.0	3.0	24	24
		5月	74.8	43.1	47.2	5.4	23	23	0	
		6月	79.2	43.2	46.3	3.1	10	10	0	
		7月	88.9	44.0	46.8	3.8	20	20	0	
		8月	84.2	44.2	47.8	4.0	13	13	0	
		9月	74.7	42.2	47.0	3.5	17	17	0	
		10月	66.7	43.6	46.3	2.6	19	19	0	
		11月	85.7	42.9	46.4	3.7	13	13	0	
		12月	94.1	33.0	48.2	7.4	14	14	0	
		1月	99.7	30.6	47.2	8.2	11	11	0	
		2月	87.9	25.4	41.9	8.4	12	12	0	
		3月	88.7	43.2	47.8	5.6	16	16	0	
		年間	99.7	25.4	46.6	5.4	192	192	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜C	4月	68.5	42.2	46.2	3.4	24	24	0	47.2
		5月	84.8	42.3	47.2	5.6	25	25	0	
		6月	79.3	42.8	46.6	3.3	9	9	0	
		7月	94.5	42.3	47.3	4.3	19	19	0	
		8月	80.0	42.7	48.0	3.9	17	17	0	
		9月	79.5	44.5	47.9	3.8	16	16	0	
		10月	68.9	42.5	47.0	2.8	19	19	0	
		11月	84.9	43.1	47.3	3.7	12	12	0	
		12月	91.9	31.7	49.1	8.1	14	14	0	
		1月	95.6	30.1	48.1	8.1	8	8	0	
		2月	76.8	26.9	42.9	7.7	11	11	0	
		3月	93.5	42.6	48.4	5.9	11	11	0	
		年間	95.6	26.9	47.2	5.4	185	185	0	
西津	C	4月	52.5	33.1	35.6	2.9	22	22	0	36.3
		5月	71.8	33.2	36.5	5.0	21	21	0	
		6月	65.8	32.9	35.6	2.8	10	10	0	
		7月	82.1	33.0	35.8	4.1	18	18	0	
		8月	64.7	32.6	35.8	3.1	17	17	0	
		9月	58.2	32.4	35.5	3.2	21	21	0	
		10月	68.4	32.9	35.4	2.9	18	18	0	
		11月	72.1	33.1	36.0	4.0	15	15	0	
		12月	93.6	31.3	39.4	8.3	13	13	0	
		1月	70.7	26.1	38.2	6.9	12	12	0	
		2月	67.4	24.3	35.8	6.0	13	13	0	
		3月	75.0	33.2	37.5	5.5	13	13	0	
		年間	93.6	24.3	36.4	5.2	193	193	0	
堅海	C	4月	58.9	34.9	38.3	2.9	22	22	0	39.6
		5月	74.6	34.6	38.4	4.6	21	21	0	
		6月	65.2	35.3	38.8	2.5	11	11	0	
		7月	84.9	36.6	39.2	4.1	18	18	0	
		8月	71.1	37.0	39.8	3.4	18	18	0	
		9月	62.7	36.2	39.8	3.1	22	22	0	
		10月	60.8	36.9	39.6	2.5	17	17	0	
		11月	78.4	37.0	40.1	4.3	14	14	0	
		12月	89.5	36.0	42.8	8.0	16	16	0	
		1月	86.0	29.2	41.3	7.0	15	15	0	
		2月	70.9	26.7	38.6	6.1	13	13	0	
		3月	79.5	36.6	40.9	5.7	12	12	0	
		年間	89.5	26.7	39.8	5.0	199	199	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	川上C	4月	65.2	45.6	48.1	3.0	25	25	0	49.3
		5月	85.2	45.2	48.9	5.0	18	18	0	
		6月	72.8	45.3	48.3	2.7	12	12	0	
		7月	78.3	45.9	48.2	3.0	17	17	0	
		8月	86.0	46.1	49.2	3.6	19	19	0	
		9月	88.5	46.4	49.4	4.5	14	14	0	
		10月	77.9	45.7	49.0	2.9	18	18	0	
		11月	82.4	46.7	50.2	4.9	21	21	0	
		12月	121.9	37.2	51.2	8.5	13	13	0	
		1月	163.2	24.3	50.1	13.9	15	15	0	
		2月	88.1	25.2	39.9	8.7	15	15	0	
		3月	87.7	42.9	50.7	6.1	19	19	0	
		年間	163.2	24.3	48.6	7.2	206	206	0	
鹿野	C	4月	63.3	39.1	41.8	3.3	26	26	0	42.7
		5月	82.6	38.2	42.7	5.9	19	19	0	
		6月	73.2	39.0	41.9	3.1	10	10	0	
		7月	74.7	39.4	42.2	3.2	18	18	0	
		8月	77.5	39.9	43.3	4.0	16	16	0	
		9月	95.6	39.0	43.1	5.3	14	14	0	
		10月	59.5	39.1	41.9	2.6	18	18	0	
		11月	134.6	39.3	42.7	7.0	10	10	0	
		12月	102.8	32.5	44.1	8.2	16	16	0	
		1月	108.2	23.6	43.7	11.2	21	21	0	
		2月	92.8	21.0	34.3	8.3	10	10	0	
		3月	85.6	39.0	44.0	6.6	17	17	0	
		年間	134.6	21.0	42.2	6.5	195	195	0	
名田庄	C	4月	60.0	40.4	43.3	3.1	21	21	0	44.6
		5月	64.9	40.3	44.2	4.4	28	28	0	
		6月	75.5	40.7	44.0	3.6	11	11	0	
		7月	63.9	40.8	44.3	3.1	18	18	0	
		8月	77.8	41.2	45.2	3.7	13	13	0	
		9月	70.4	41.4	45.5	3.9	17	17	0	
		10月	64.1	41.4	44.7	2.8	13	13	0	
		11月	102.0	41.4	45.2	4.5	10	10	0	
		12月	97.0	32.7	46.0	7.7	15	15	0	
		1月	87.3	28.4	42.6	9.3	17	17	0	
		2月	95.9	26.2	39.6	8.2	11	11	0	
		3月	86.3	38.9	45.5	5.5	14	14	0	
		年間	102.0	26.2	44.2	5.5	188	188	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	上中C	4月	58.3	33.9	36.3	3.1	24	24	0	37.0
		5月	64.0	33.7	37.3	5.0	25	25	0	
		6月	76.8	33.8	36.3	3.4	8	8	0	
		7月	72.7	34.2	36.5	3.8	19	19	0	
		8月	67.1	33.8	36.7	3.1	20	20	0	
		9月	71.1	33.6	37.0	4.5	14	14	0	
		10月	53.9	33.9	36.4	2.7	21	21	0	
		11月	76.7	32.9	37.0	3.7	11	11	0	
		12月	80.2	21.4	38.0	7.9	13	13	0	
		1月	84.9	23.0	36.3	8.2	13	13	0	
		2月	69.5	20.6	32.4	6.8	11	11	0	
		3月	82.4	33.0	38.1	5.6	13	13	0	
		年間	84.9	20.6	36.5	5.6	192	192	0	
高浜	音海C	4月	59.2	41.7	43.6	2.6	24	24	0	44.3
		5月	82.9	41.1	44.4	5.0	20	20	0	
		6月	67.1	41.5	43.3	2.2	10	10	0	
		7月	69.1	41.7	43.5	2.6	20	20	0	
		8月	69.5	41.7	44.1	2.5	19	19	0	
		9月	81.6	41.5	44.2	3.9	13	13	0	
		10月	66.2	41.8	43.8	2.1	19	19	0	
		11月	125.2	42.0	44.4	5.0	8	8	0	
		12月	97.4	41.4	46.2	5.8	12	12	0	
		1月	106.0	35.8	45.8	7.7	16	16	0	
		2月	88.4	33.3	43.7	5.9	17	17	0	
		3月	72.0	41.3	44.8	4.3	14	14	0	
		年間	125.2	33.3	44.3	4.7	192	192	0	
田ノ浦	浦C	4月	61.6	36.1	38.3	2.8	23	23	0	38.9
		5月	79.1	35.7	39.0	4.8	19	19	0	
		6月	63.3	36.1	38.0	2.4	11	11	0	
		7月	62.4	36.4	38.2	2.7	20	20	0	
		8月	67.2	36.6	39.1	2.8	20	20	0	
		9月	97.6	36.2	39.0	4.3	13	13	0	
		10月	62.8	36.5	38.6	2.3	16	16	0	
		11月	111.2	36.7	39.0	5.4	11	11	0	
		12月	101.3	33.7	40.6	6.7	13	13	0	
		1月	145.4	29.7	40.4	9.2	13	13	0	
		2月	71.2	26.7	37.1	5.5	11	11	0	
		3月	69.9	36.0	39.5	4.7	17	17	0	
		年間	145.4	26.7	38.9	5.0	187	187	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	小黒飯C	4月	55.5	33.4	36.4	2.9	23	23	0	37.6
		5月	84.7	33.9	37.4	5.6	21	21	0	
		6月	63.8	33.4	36.3	2.4	12	11	1	
		7月	65.4	34.5	36.4	3.0	20	20	0	
		8月	64.7	34.8	37.1	2.8	19	19	0	
		9月	80.7	34.1	37.3	4.2	14	14	0	
		10月	57.4	34.7	36.6	2.1	17	17	0	
		11月	88.8	34.9	37.3	5.2	12	12	0	
		12月	103.2	28.9	38.9	7.3	9	9	0	
		1月	139.0	25.5	38.9	10.2	12	12	0	
		2月	77.9	21.1	32.9	6.6	11	11	0	
		3月	68.8	33.2	38.2	5.2	18	18	0	
		年間	139.0	21.1	37.0	5.4	188	187	1	
		神野浦	神野浦C	4月	53.8	26.4	28.6	3.4	22	
5月	82.7			25.8	29.7	6.7	17	17	0	
6月	55.5			26.4	28.2	2.5	11	11	0	
7月	63.4			26.4	28.3	3.6	19	19	0	
8月	60.1			26.4	29.0	3.2	20	20	0	
9月	89.4			26.5	29.3	5.3	11	11	0	
10月	56.8			26.5	28.8	2.7	18	18	0	
11月	100.4			27.1	29.9	5.2	9	9	0	
12月	106.6			22.8	32.5	8.4	10	10	0	
1月	141.3			20.0	32.8	12.0	12	12	0	
2月	70.3			17.8	27.1	6.6	15	15	0	
3月	67.0			26.9	31.1	5.9	18	18	0	
年間	141.3			17.8	29.6	6.3	182	182	0	
日引	日引C			4月	52.4	33.3	35.4	2.8	23	23
		5月	85.1	33.0	36.3	5.8	19	19	0	
		6月	57.7	33.5	35.0	2.1	12	12	0	
		7月	65.4	33.5	35.2	3.1	21	21	0	
		8月	61.6	33.7	35.7	2.7	18	18	0	
		9月	111.0	33.3	36.4	6.7	11	11	0	
		10月	60.8	33.2	35.3	2.1	18	18	0	
		11月	115.9	33.7	36.2	5.7	10	10	0	
		12月	81.4	28.1	37.9	6.7	14	14	0	
		1月	89.0	24.7	37.7	7.9	14	14	0	
		2月	74.3	21.8	32.6	6.6	13	13	0	
		3月	66.6	33.3	37.0	5.1	18	18	0	
		年間	115.9	21.8	35.9	5.3	191	191	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	青郷C	4月	60.3	37.1	39.5	3.1	23	23	0	39.9
		5月	83.9	36.4	40.2	5.5	16	16	0	
		6月	63.7	36.7	39.2	2.4	8	8	0	
		7月	66.2	37.2	39.4	2.8	20	20	0	
		8月	70.3	37.8	40.2	3.3	18	18	0	
		9月	79.0	37.0	40.1	3.9	16	16	0	
		10月	53.1	37.5	39.6	1.9	20	20	0	
		11月	101.6	37.0	40.5	5.2	14	14	0	
		12月	128.5	28.7	42.0	8.9	8	8	0	
		1月	141.0	21.8	41.6	12.1	13	13	0	
		2月	77.5	20.2	31.2	7.7	8	8	0	
		3月	77.2	37.1	41.7	6.2	18	18	0	
		年間	141.0	20.2	39.6	6.8	182	182	0	
		高浜	C	4月	51.3	33.6	35.9	2.4	23	
5月	77.8			33.8	37.0	5.2	20	20	0	
6月	65.5			33.8	36.0	2.6	11	11	0	
7月	53.2			33.7	35.8	2.1	19	19	0	
8月	59.7			34.5	36.4	2.5	19	19	0	
9月	81.6			34.1	36.6	3.7	14	14	0	
10月	50.4			33.7	36.0	1.8	17	17	0	
11月	78.6			34.1	36.6	3.9	13	13	0	
12月	91.5			32.7	38.6	6.1	13	13	0	
1月	100.1			29.3	38.7	7.6	16	16	0	
2月	89.3			25.7	35.3	5.5	11	11	0	
3月	69.9			34.0	37.8	4.7	15	15	0	
年間	100.1			25.7	36.7	4.7	191	191	0	
和田	C			4月	52.5	34.6	36.7	2.6	22	22
		5月	75.3	34.4	37.7	5.2	20	20	0	
		6月	59.1	34.8	36.6	2.4	12	12	0	
		7月	56.8	34.7	36.5	2.5	19	19	0	
		8月	61.9	35.0	37.0	2.8	17	17	0	
		9月	62.2	34.9	37.2	3.1	15	15	0	
		10月	52.8	34.6	36.8	2.0	18	18	0	
		11月	90.1	35.0	37.3	4.1	10	10	0	
		12月	84.2	33.9	39.5	6.2	17	17	0	
		1月	95.3	29.7	39.7	7.6	18	18	0	
		2月	83.5	27.3	37.1	5.7	15	15	0	
		3月	69.7	34.2	38.4	4.6	13	13	0	
		年間	95.3	27.3	37.6	4.0	196	196	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	田井C	4月	60.5	40.7	43.1	3.0	24	24	0	43.6
		5月	90.9	40.2	43.8	5.4	20	20	0	
		6月	67.2	40.6	42.7	2.5	11	11	0	
		7月	72.6	40.8	42.8	3.4	21	21	0	
		8月	83.9	41.0	43.6	3.9	14	14	0	
		9月	86.1	40.4	43.7	4.3	18	18	0	
		10月	55.4	40.4	42.8	2.0	26	26	0	
		11月	117.9	40.8	43.4	5.1	9	9	0	
		12月	85.2	34.8	45.7	7.1	19	19	0	
		1月	104.3	28.6	44.6	8.8	12	12	0	
		2月	81.4	25.6	39.4	7.5	10	10	0	
		3月	76.4	40.3	44.7	5.5	18	18	0	
		年間	117.9	25.6	43.4	5.2	202	202	0	
		夕潮台	C	4月	44.9	27.7	30.2	2.2	19	
5月	48.4			27.8	30.5	2.9	21	21	0	
6月	41.8			28.4	30.1	1.5	12	12	0	
7月	47.1			28.3	30.2	2.0	18	18	0	
8月	47.2			28.5	30.9	2.1	17	17	0	
9月	52.1			28.2	30.6	2.1	13	13	0	
10月	42.6			28.4	30.5	1.7	16	16	0	
11月	47.3			28.5	30.8	2.1	13	13	0	
12月	63.5			26.2	32.2	4.2	12	12	0	
1月	83.2			19.7	32.0	8.3	19	19	0	
2月	73.1			17.7	27.2	6.1	14	14	0	
3月	59.7			28.1	31.7	4.3	18	18	0	
年間	83.2			17.7	30.6	3.9	192	192	0	

過去平均線量率：2008～2010年度

<第8、9表に関する注釈>

1 第8、9表に示した結果は、1時間値を基に算出したものである。「M+3σ」を超えた時間数の年間値は、月間の時間数の和である。降雨には、降雪も含まれる。

参考として、過去平均線量率の欄に2008～2010年度の平均値（ただし積雪期の第4期を除く）を示した。

2 以下の地点では2008年度以降に観測局周辺の状況変化や測定装置更新等があり、測定値が若干変化した。

(1) 県 (A)

① 音海Aは、2009年12月から2010年1月にかけて周辺でプール撤去工事が行われ、周辺環境が変化した。

② 県18観測局のうち、白木峠Aおよび坂尻Aを除く16観測局について、2011年2月27日から3月22日にかけて測定装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表1のようにバックグラウンド値が変化した。

表1 測定装置更新に伴う空間線量率の変化

単位：nGy/h

局名	更新期間	更新前	更新後	局名	更新期間	更新前	更新後
敦賀A	H23.2.28～H23.3.3	53.0	58.8	日角浜A	H23.3.14～H23.3.16	38.8	44.0
浦底A	H23.3.2～H23.3.4	66.1	73.8	宮留A	H23.3.15～H23.3.17	32.6	35.9
立石A	H23.3.5～H23.3.7	62.3	69.2	阿納尻A	H23.3.10～H23.3.12	29.7	31.1
河野A	H23.3.7～H23.3.9	42.8	47.1	長井A	H23.3.12～H23.3.15	34.6	36.4
白木A	H23.3.4～H23.3.6	70.9	77.5	小黒飯A	H23.3.17～H23.3.19	36.5	40.2
丹生A	H23.3.6～H23.3.8	53.6	60.2	音海A	H23.3.18～H23.3.19	40.5	43.6
竹波A	H23.3.3～H23.3.5	61.8	71.3	神野浦A	H23.3.21～H23.3.22	26.6	29.1
小浜A	H23.3.9～H23.3.11	42.5	47.6	山中A	H23.3.20～H23.3.22	26.1	28.3

※ 積雪期間および降雨影響時刻を除いた、更新前2010年11月(11/1～11/30)と更新後2011年4月(4/26～5/22)の平均値を示した。

③ 従来の装置により測定を継続していた白木峠Aおよび坂尻Aは、2011年10月7日から同月17日にかけて装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表2のようにバックグラウンド値が変化した。

表2 測定装置更新に伴う空間線量率の変化

単位：nGy/h

局名	更新期間	更新前	更新後
白木峠A	H23.10.8～H23.10.17	71.4	79.6
坂尻A	H23.10.7～H23.10.14	54.3	60.7

※ 降雨影響時刻を除いた、更新前2011年9月(9/1～9/30)と更新後2011年10月(10/18～11/17)の平均値を示した。

(2) 原電 (B)

① 水試裏Bでは、2010年9月から2011年7月にかけて、周辺に物品を仮置きしていた影響により、周辺環境が変化した。地表面からの放射線がしゃへいされて線量率が低下した。

② 日本原電10観測局について、2011年11月12日から2012年3月1日にかけて測定装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表3のようにバックグラウンド値が変化した。

表3 測定装置更新に伴う空間線量率の変化 単位：nGy/h

測定地点	更新期間	更新前	更新後
立石B	H24. 1. 17～H24. 1. 20	90.8	87.7
立石山頂B	H23. 11. 23～H23. 11. 29	77.2	72.8
猪ヶ池B	H23. 11. 12～H23. 11. 17	80.1	77.3
浦底B	H23. 11. 18～H23. 11. 24	74.4	73.1
水試裏B	H24. 1. 23～H23. 1. 26	77.5	76.2
色ヶ浜B	H24. 2. 14～H24. 2. 17	79.3	79.3
五幡B	H24. 1. 30～H24. 2. 2	46.4	46.2
杉津B	H24. 2. 20～H24. 2. 23	50.2	49.6
甲楽城B	H24. 2. 27～H24. 3. 1	43.7	42.7
今庄B	H23. 12. 12～H23. 12. 16	39.8	44.1

※積雪期間および降雨影響時刻を除いた、更新前2011年10月（10/1～10/30）と更新後2012年4月（4/1～4/30）の平均値を示した。

(3) 関電(C)

- ① 奥浦Cは、道路改良工事のため、2007年10月から2008年6月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。
- ② 丹生寮Cは、関電丹生寮の建て替えのため2008年1月から11月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。
- ③ 青郷Cは、青郷小学校体育館改修のため2009年5月から2009年12月にかけて周辺で工事が行われ、その間周辺環境が変化するとともに線量率が変化した。

3 観測局の気象観測について

観測局に気象観測装置（雨量計、感雨計）が実装されている局、またはその近傍に併設されている局は表4のとおりである。

表4 気象観測装置実装局

地区	気 象 観 測 局 名 称					備 考
敦賀	敦賀A	浦底A	立石A	河野A	沓D	*：線量率連続測定地点から幾分離れて気象観測装置が設置されているもの。
	赤崎D	杉津B	甲楽城B	今庄B	越前厨D	
白木	白木A	白木峠A	松ヶ崎D	—	—	
美浜	丹生A	竹波A	坂尻A	竹波C*	新庄C*	
	郷市C	三方C*	—	—	—	
大飯	小浜A	日角浜A	宮留A	阿納尻A	長井A	
	日角浜C	本郷C	小浜C	名田庄C*	上中C	
高浜	小黒飯A	音海A	神野浦A	山中A	神野浦C	
	高浜C*	夕潮台C*	—	—	—	

気象観測装置が設置されていない局については、表5のように近くの地点で気象観測装置（雨量計と感雨計）が設置されている局で代用する。

表5 気象観測装置代用局一覧

測定地点	代用局	測定地点	代用局
ふげん北D	敦賀発電所気象露場	佐 田C	郷市C
立 石B		早 瀬C	
立石山頂B		日 向C	
ふげん西D		宮 留C	日角浜C
猪ヶ池B		川 上C	本郷C
浦 底B			
水 試 裏B		加 斗C	小浜C
色ヶ浜B		西 津C	
五 幡B	堅 海C		
阿 曾D	杉津B		
赤崎D	赤崎D		
白 木ⅠD	もんじゅ気象露場	田ノ浦C	神野浦C
白 木ⅡD		音 海C	
白 木ⅢD		小黒飯C	
白 木ⅣD		日 引C	
奥 浦C	落合川ポンプ場	田 井C	高浜（関電高浜営業所）
丹 生C		青 郷C	
丹生寮C		高 浜C	
竹 波C		和 田C	
菅 浜C		夕 潮 台C	舞鶴（関電舞鶴営業所）

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
敦賀	立石A5	0.230	0.253	0.243	0.265	0.991	0.241	0.964	06.04
	立石山頂B1	0.220	0.228	0.219	0.214	0.881	0.228	0.912	04.04
	ふげん西D2	0.160	0.165	0.162	0.164	0.651	0.162	0.648	03.04
	猪ヶ池B1	0.232	0.239	0.230	0.222	0.923	0.232	0.928	04.04
	原子力館B	0.201	0.209	0.201	0.189	0.800	0.201	0.804	04.04
	水産試験場B2	0.183	0.184	0.181	0.167	0.715	0.180	0.720	04.04
	明神寮B2	0.230	0.240	0.228	0.210	0.908	0.227	0.908	04.04
	浦底A5	0.238	0.248	0.250	0.263	0.998	0.247	0.988	02.04
	水試裏B1	0.245	0.254	0.242	0.228	0.969	0.248	0.992	04.04
	色ヶ浜A3	0.257	0.290	0.282	0.283	1.111	0.267	1.068	02.04
	手ノ浦A3	0.209	0.218	0.215	0.219	0.862	0.221	0.884	02.04
	手ノ浦B3	0.229	0.234	0.229	0.214	0.906	0.225	0.900	04.04
	沓B5	0.258	0.268	0.252	0.220	0.998	0.259	1.036	04.04
	常宮A3	0.223	0.237	0.229	0.234	0.922	0.227	0.908	02.04
	常宮B4	0.219	0.224	0.217	0.195	0.855	0.218	0.872	09.04
	縄間B	0.264	0.274	0.264	0.247	1.049	0.264	1.056	04.04
	名子B1	0.173	0.176	0.170	0.168	0.687	0.175	0.700	06.04
	松島B3	0.220	0.228	0.216	0.202	0.866	0.212	0.848	04.04
	松栄B3	0.202	0.210	0.199	0.190	0.801	0.207	0.828	04.04
	赤崎A3	0.179	0.188	0.196	0.178	0.742	0.183	0.732	02.04
	阿曽A2	0.179	0.194	0.205	0.194	0.772	0.188	0.752	02.04
	杉津A4	0.169	0.182	0.181	0.174	0.706	0.172	0.688	02.04
	元比田A5	0.169	0.178	0.177	0.175	0.698	0.168	0.672	02.04
大谷A3	0.175	0.175	0.179	0.174	0.703	0.174	0.696	02.04	
大良B	0.166	0.171	0.163	0.145	0.645	0.176	0.704	04.04	
吉河A2	0.174	0.182	0.178	0.164	0.698	0.173	0.692	02.04	

過去の平均値：2006～2010年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
白木	白木ID2	0.222	0.237	0.231	0.222	0.912	0.229	0.916	03.04
	白木IID2	0.151	0.161	0.157	0.145	0.614	0.155	0.620	03.04
	白木IIID2	0.216	0.221	0.220	0.209	0.866	0.217	0.868	03.04
	白木IIVD2	0.194	0.203	0.199	0.184	0.780	0.197	0.788	03.04
	白木A4	0.234	0.229	0.240	0.239	0.942	0.233	0.932	02.04
	白木D6	0.237	0.245	0.239	0.238	0.959	0.242	0.968	03.04
	松ヶ崎D2	0.225	0.231	0.229	0.225	0.910	0.229	0.916	03.04
	白城神社A2	0.214	0.229	0.226	0.241	0.910	0.234	0.936	02.04
	白城神社D4	0.221	0.227	0.224	0.221	0.893	0.226	0.904	03.04
	門ヶ崎D3	0.249	0.261	0.251	0.253	1.014	0.256	1.024	03.04
	白木トンネル北口A2	0.261	0.278	0.269	0.261	1.069	0.259	1.036	02.04
	白木トンネル北口D3	0.229	0.239	0.230	0.224	0.922	0.234	0.936	03.04
	白木トンネル南口A2	0.233	0.246	0.246	0.237	0.962	0.233	0.932	02.04
	もんじゅ寮D1	0.235	0.239	0.235	0.221	0.930	0.237	0.948	04.04
美浜	奥浦C	0.212	0.222	0.215	0.224	0.873	0.217	0.868	96.04
	丹生診療所C6	0.173	0.170	0.172	0.177	0.692	0.173	0.692	97.01
	丹生A4	0.192	0.194	0.201	0.198	0.785	0.193	0.772	02.04
	丹生C3	0.180	0.181	0.186	0.189	0.736	0.182	0.728	96.04
	丹生小中学校A	0.199	0.222	0.216	0.224	0.861	0.211	0.844	04.04
	丹生寮C5	0.207	0.218	0.213	0.214	0.852	0.215	0.860	97.01
	竹波A4	0.223	0.233	0.235	0.242	0.932	0.223	0.892	02.04
	竹波C5	0.212	0.216	0.216	0.229	0.873	0.219	0.876	96.10
	馬背川C2	0.203	0.207	0.214	0.216	0.840	0.217	0.868	96.04
	菅浜A3	0.203	0.205	0.243	0.206	0.858	0.205	0.820	02.04
	菅浜C2	0.163	0.164	0.181	0.174	0.682	0.168	0.672	96.04
	けやき台C1	0.151	0.150	0.154	0.155	0.610	0.151	0.604	96.04
	佐田A3	0.177	0.191	0.177	0.190	0.735	0.187	0.748	09.04
	坂尻C2	0.167	0.172	0.169	0.173	0.681	0.171	0.684	96.04

過去の平均値：2006～2010年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
美浜	新庄C3	0.171	0.174	0.168	0.174	0.687	0.172	0.688	97.01
	和田A	0.186	0.181	0.197	0.190	0.754	0.184	0.736	04.04
	郷市C6	0.137	0.137	0.142	0.146	0.562	0.137	0.548	97.01
	久々子C1	0.144	0.143	0.146	0.144	0.577	0.145	0.580	96.04
	早瀬C5	0.135	0.137	0.137	0.146	0.555	0.138	0.552	97.07
	日向C5	0.154	0.155	0.158	0.167	0.634	0.158	0.632	97.01
	三方C4	0.118	0.119	0.123	0.126	0.486	0.120	0.480	96.10
	沓見C	0.186	0.186	0.185	0.184	0.741	0.188	0.752	04.04
大飯	赤礁崎C	0.103	0.105	0.109	0.109	0.426	0.107	0.428	04.04
	宮留奥A	0.115	0.120	0.118	0.124	0.478	0.121	0.484	04.04
	宮留A6	0.129	0.131	0.137	0.138	0.537	0.129	0.516	02.04
	宮留C3	0.117	0.115	0.122	0.121	0.475	0.119	0.476	02.10
	日角浜C3	0.113	0.113	0.119	0.118	0.463	0.116	0.464	02.10
	西村A2	0.126	0.125	0.128	0.131	0.511	0.125	0.500	02.04
	西村C1	0.086	0.086	0.093	0.095	0.360	0.089	0.356	96.04
	犬見C2	0.117	0.118	0.124	0.124	0.483	0.126	0.504	96.04
	本郷A4	0.136	0.134	0.142	0.145	0.557	0.138	0.552	02.04
	本郷C5	0.120	0.122	0.127	0.127	0.496	0.124	0.496	04.07
	鯉川A2	0.137	0.137	0.148	0.136	0.559	0.139	0.556	02.04
	加斗A4	0.146	0.146	0.154	0.149	0.594	0.142	0.568	02.04
	西勢A2	0.139	0.140	0.138	0.152	0.568	0.136	0.544	02.04
	東勢C1	0.125	0.122	0.133	0.126	0.506	0.125	0.500	96.04
	小浜市野球場C2	0.127	0.126	0.130	0.130	0.513	0.129	0.516	02.10
	小浜市大原A3	0.187	0.183	0.195	0.190	0.755	0.190	0.760	03.07
	若狭健康福祉センターA2	0.172	0.168	0.177	0.184	0.700	0.169	0.676	02.04
	西津A2	0.134	0.148	0.145	0.153	0.580	0.141	0.564	02.04
西津C3	0.113	0.112	0.118	0.121	0.464	0.115	0.460	02.10	

過去の平均値：2006～2010年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
大飯	堅海A2	0.149	0.146	0.154	0.149	0.598	0.148	0.592	02.04
	堅海C3	0.125	0.126	0.133	0.131	0.515	0.128	0.512	02.10
	泊C2	0.129	0.129	0.138	0.134	0.530	0.136	0.544	96.04
	川上C4	0.126	0.127	0.132	0.128	0.513	0.127	0.508	02.07
	鹿野C5	0.122	0.123	0.129	0.123	0.497	0.123	0.492	02.10
	名田庄C3	0.127	0.129	0.134	0.117	0.507	0.129	0.516	02.10
	上中C3	0.104	0.106	0.109	0.111	0.430	0.108	0.432	02.10
高浜	音海A3	0.130	0.126	0.133	0.136	0.526	0.127	0.508	02.04
	音海C4	0.119	0.117	0.128	0.126	0.490	0.123	0.492	99.01
	音海県道C1	0.108	0.110	0.114	0.109	0.441	0.111	0.444	96.04
	田ノ浦C	0.112	0.116	0.117	0.117	0.462	0.116	0.464	99.01
	小黑飯A3	0.141	0.137	0.144	0.141	0.563	0.138	0.552	02.04
	小黑飯C3	0.119	0.120	0.128	0.123	0.490	0.124	0.496	99.01
	旧神野小学校A	0.136	0.148	0.138	0.139	0.561	0.140	0.560	04.04
	神野A4	0.108	0.124	0.122	0.117	0.472	0.116	0.464	02.04
	神野浦C2	0.094	0.094	0.104	0.099	0.391	0.098	0.392	96.04
	山中A3	0.128	0.141	0.136	0.143	0.548	0.137	0.548	02.04
	山中C2	0.089	0.093	0.093	0.092	0.367	0.092	0.368	96.04
	下A2	0.114	0.111	0.113	0.111	0.450	0.110	0.440	02.04
	日引C3	0.109	0.109	0.116	0.111	0.445	0.112	0.448	96.04
	上瀬A2	0.101	0.090	0.098	0.096	0.386	0.095	0.380	02.04
	六路谷A3	0.107	0.116	0.118	0.114	0.456	0.112	0.448	02.04
	六路谷C2	0.130	0.133	0.134	0.115	0.512	0.131	0.524	96.04
	高野C	0.123	0.123	0.125	0.110	0.481	0.126	0.504	04.04
	青郷C2	0.123	0.125	0.129	0.125	0.502	0.128	0.512	96.04
	東三松A4	0.149	0.151	0.162	0.147	0.608	0.148	0.592	02.04
	東三松C2	0.115	0.119	0.123	0.122	0.479	0.120	0.480	96.04

過去の平均値：2006～2010年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
高浜	高浜町役場A3	0.104	0.105	0.113	0.114	0.437	0.109	0.436	02.04
	高浜C	0.105	0.108	0.112	0.116	0.441	0.110	0.440	99.01
	和田C3	0.114	0.112	0.123	0.119	0.468	0.116	0.464	96.04
	田井C3	0.131	0.145	0.137	0.141	0.554	0.137	0.548	99.01
	夕潮台C2	0.095	0.106	0.103	0.103	0.407	0.101	0.404	96.04
対照	金津A2	0.163	0.164	0.168	0.154	0.649	0.152	0.608	02.04
	川西A3	0.130	0.139	0.132	0.142	0.543	0.130	0.520	02.04
	福井市原目町A2	0.147	0.152	0.153	0.154	0.605	0.149	0.596	02.04
	殿下A3	0.175	0.168	0.185	0.172	0.699	0.170	0.680	02.04
	勝山A3	0.179	0.171	0.189	0.172	0.711	0.178	0.712	09.01
	美山A4	0.146	0.144	0.146	0.135	0.572	0.146	0.584	02.04
	宮崎A3	0.146	0.150	0.154	0.141	0.591	0.148	0.592	02.04
	武生A2	0.154	0.162	0.169	0.153	0.638	0.160	0.640	02.04
	越前市妙法寺町A	0.217	0.224	0.220	0.195	0.856	0.218	0.872	06.04
	池田A2	0.154	0.151	0.159	0.143	0.608	0.150	0.600	02.04

過去の平均値：2006～2010年度

＜第 10 表に関する注釈＞

- (1) 第 10 表に示した年間積算値は、四半期値の和である。過去の平均値は、2006 年度第 1 期から 2010 年度第 4 期までのデータから算出した。2006 年度第 1 期以降に設置状況や周辺環境に変化のあった場合は、その時点からの平均値を示した。
設置状況等の変化により過去のデータが 2 年未満の地点については、平均値を（ ）で示した。
- (2) 県は、2006 年度第 1 期から、新規に対照地区の越前市妙法寺 A で測定を開始した。
- (3) 立石 A 4 は、2006 年 2 月から 3 月にかけて、周辺で工事が行われ、周辺環境が変化したが、暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。2007 年度第 1 期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2006 年度第 1 期から地点番号をひとつ進めて「立石 A 5」とした。
- (4) 名子 B は、N T T による携帯電話の無線基地局の設置（工事期間：2006 年 3 月～4 月）に伴い周辺環境が変化したが、暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。しかし、2006 年度の年間積算値において、平常の変動幅を下回った。このため、周辺環境の変化が生じた前後（2004 年度第 1 期～2005 年度第 4 期と 2006 年度第 1 期～2007 年度第 1 期）で、データの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2006 年度第 1 期から地点番号をひとつ進めて「名子 B 1」とした。
- (5) (独)日本原子力研究開発機構は、2007 年度第 1 期から積算線量測定に、これまでの T L D に替えて蛍光ガラス線量計（RPLD）を採用している。従って、2007 年度第 1 期から地点番号を一つずつ進めた。
- (6) 東三松 C 2 は、2007 年 7 月より約 2m 移動するとともに、道路拡張工事のため 2007 年 9 月から 10 月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2008 年度第 3 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (7) 奥浦 C は、道路改良工事のため 2007 年 10 月から 2008 年 6 月にかけて周辺で工事が行われ周辺環境が変化したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009 年度第 2 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (8) 丹生寮 C 5 は、関電丹生寮建て替えのため 2008 年 1 月から 11 月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009 年度第 3 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (9) 菅浜 C 2 は、2008 年 7 月から 10 月にかけて周辺で新築工事が行われたと共に、11 月に約 2.6m 移動するなど周辺環境が変化したが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009 年度第 3 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (10) 武生 A 2 は、2008 年 11 月から駐車場拡張工事が行われ、12 月初めに県道側に約 20m 移動するなど周辺環境が変化したが、暫定的に従来と統一地点として取り扱ってきた。2009 年度第 4 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (11) 「勝山 A 2」は、行政組織統合により 2009 年 1 月に旧奥越健康福祉センターから奥越土木事務所（勝山土木部）に地点を約 800m 移設したため、2008 年度第 4 期から地点番号をひとつ進めて、「勝山 A 3」とした。

- (12) 音海A3は、2008年1月に駐車場整備のため、約1.5m移動して、周辺環境が変化している。2008年度第4期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (13) 山中A3は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約0.7m移動し、周辺環境が変化している。2008年度第4期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (14) 竹波A4は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約2m移動し、周辺環境が変化している。2008年度第4期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (15) 2008年度第4期の手ノ浦A3、白木A4および竹波A4の測定結果が平常の変動幅「平均値+標準偏差の3倍」を超過したため、県のTLDリーダー更新前後（2002年度第1期～2005年度第4期と2006年度第1期～2008年度第4期）で、県の全ての積算線量測定地点（51地点）について、測定値の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行った。結果は、21地点で、「平均値の差」および「ばらつきの差」のいずれかに有意差があった。このことから、県は、2009年度の積算線量測定結果の評価に用いる「過去の平均値」および「平常の変動幅」の算出にあたっては、新TLDリーダー採用後の2006年度第1期からのデータを用いた。
- (16) 佐田A2は、あおなみ保育園建て替え工事のため、2008年度第2期から2008年度第4期まで測定を休止していたが、工事が2009年3月末までに完了したので、2009年度第1期から測定を再開した。設置環境が変化したため、地点番号をひとつ進めて2009年度第1期から「佐田A3」とする。
- (17) 常宮B3は、2009年4月に測定地点周辺の整備工事のため約30m移動し、周辺環境が変化していたが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2010年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2009年度第1四半期から地点番号をひとつ進め、常宮B4として取り扱う。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			敦賀	浦底A	4月	11.0	0.3	2.9	2.2	19.4	0.6	5.3	3.9	61	47
		5月	15.9	0.3	3.3	2.9	31.4	0.5	6.2	5.4	64	45	53	4	0
		6月	30.6	0.4	4.8	4.6	56.2	0.8	8.8	8.4	65	46	54	4	0
		7月	21.0	0.2	4.0	3.9	37.0	0.4	7.1	7.0	67	46	55	4	0
		8月	24.0	0.4	5.3	4.1	44.4	0.9	9.9	7.7	61	46	53	3	0
		9月	12.1	0.2	3.0	2.8	21.6	0.4	5.5	5.1	62	47	54	3	0
		10月	20.1	0.4	4.4	3.4	41.5	0.7	8.4	6.6	62	45	53	3	0
		11月	18.6	0.7	3.4	2.6	32.4	1.3	6.4	4.9	63	46	54	3	1
		12月	6.9	0.3	2.3	1.4	12.5	0.6	4.3	2.6	59	46	53	2	0
		1月	10.6	0.4	2.7	1.6	18.8	0.7	5.0	2.9	59	45	53	2	0
		2月	13.8	0.5	3.2	2.5	27.8	0.9	6.1	4.8	59	45	52	3	0
		3月	13.8	0.4	3.1	2.2	25.2	0.8	6.0	4.1	59	43	51	3	1
		年間	30.6	0.2	3.5	3.1	56.2	0.4	6.6	5.8	67	43	53	3	2
		過去実績	38.0	0.1	3.8	3.3	84.5	0.2	7.4	6.5	67	40	52	4	6
立石A		4月	7.7	0.2	2.4	1.2	15.1	0.5	4.5	2.3	59	46	53	3	0
		5月	10.4	0.3	2.8	1.8	20.0	0.6	5.3	3.4	63	46	53	3	0
		6月	18.3	0.5	4.0	2.6	31.3	1.0	7.5	4.9	64	44	53	4	0
		7月	14.0	0.2	3.2	2.3	25.6	0.4	6.0	4.4	64	45	53	4	0
		8月	12.9	0.5	4.1	2.3	24.7	1.2	7.7	4.4	64	44	53	4	0
		9月	9.6	0.3	2.8	2.0	16.1	0.4	5.2	3.7	68	46	55	4	1
		10月	12.1	0.4	3.9	2.1	24.8	0.7	7.3	4.2	63	44	54	4	0
		11月	7.5	0.7	2.9	1.4	14.9	1.4	5.5	2.8	63	45	53	3	1
		12月	7.0	0.4	2.2	1.3	13.7	0.8	4.3	2.5	59	44	52	3	0
		1月	9.6	0.4	2.6	1.5	17.1	0.8	5.0	2.7	59	45	52	3	0
		2月	9.7	0.6	2.8	1.5	18.2	1.0	5.2	2.8	60	46	53	3	0
		3月	13.7	0.3	2.8	1.5	24.6	0.5	5.4	2.9	62	44	51	3	1
		年間	18.3	0.2	3.0	1.9	31.3	0.4	5.7	3.7	68	44	53	3	3
		過去実績	18.4	0.1	3.3	2.1	42.6	0.3	6.6	4.3	68	38	51	4	12

過去実績：2008～2010年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、4月～6月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
白木	白木A	4月	10.1	0.2	2.6	1.8	19.8	0.5	4.9	3.3	63	45	54	3	0
		5月	25.4	0.2	3.3	2.8	49.9	0.4	6.2	5.3	66	45	53	4	3
		6月	28.7	0.4	4.9	4.4	50.4	0.7	9.3	8.3	65	46	53	4	1
		7月	21.0	0.2	3.9	3.6	37.1	0.3	7.2	6.6	63	46	54	4	0
		8月	30.6	0.4	5.2	4.4	55.1	0.8	9.4	7.9	64	47	55	4	0
		9月	12.8	0.3	2.9	2.5	22.6	0.4	5.2	4.3	65	45	56	4	0
		10月	12.8	0.4	3.7	2.4	27.3	0.9	6.8	4.5	66	46	55	4	0
		11月	12.1	0.7	3.1	2.1	22.7	1.2	5.6	4.0	66	47	55	3	2
		12月	5.5	0.4	2.0	1.0	10.8	0.8	3.8	2.0	68	46	52	3	4
		1月	8.6	0.5	2.5	1.4	15.6	0.9	4.7	2.5	59	46	52	3	0
		2月	12.1	0.4	3.0	2.1	23.0	0.8	5.6	3.8	62	46	53	3	1
		3月	11.8	0.3	2.8	1.8	20.0	0.5	5.2	3.2	61	47	53	3	0
		年間	30.6	0.2	3.3	2.9	55.1	0.3	6.2	5.3	68	45	54	4	10
	過去実績	40.7	0.1	3.6	3.2	78.9	0.2	6.9	6.2	70	41	52	3	9	
	白木峠A	4月	6.0	0.3	2.1	1.0	11.3	0.5	4.0	1.9	61	46	53	3	0
		5月	7.1	0.2	2.4	1.3	13.8	0.5	4.5	2.5	68	43	53	5	1
		6月	10.6	0.4	3.1	1.8	19.1	0.8	5.8	3.5	64	46	53	4	1
		7月	10.1	0.2	2.5	1.8	18.4	0.3	4.7	3.4	75	45	54	4	2
		8月	10.9	0.4	3.1	1.9	19.5	0.8	5.8	3.7	72	45	54	5	3
		9月	5.6	0.3	2.1	1.4	11.1	0.5	3.9	2.6	71	45	55	5	1
		10月	7.9	0.4	2.6	1.2	15.3	0.7	5.0	2.4	70	45	54	4	1
		11月	5.9	0.6	2.3	1.0	11.0	1.2	4.2	2.0	63	46	54	3	1
		12月	5.1	0.3	1.8	0.9	10.0	0.5	3.4	1.8	62	47	53	3	0
1月		5.6	0.4	2.2	1.1	10.1	0.8	4.1	1.9	60	46	53	3	0	
2月		7.7	0.5	2.3	1.1	14.5	0.9	4.2	2.0	60	47	54	3	0	
3月		5.9	0.5	2.2	0.9	10.8	1.0	4.3	1.8	61	44	51	3	2	
年間		10.9	0.2	2.4	1.4	19.5	0.3	4.5	2.6	75	43	53	4	12	
過去実績	13.7	0.0	2.6	1.5	26.5	0.1	5.1	3.0	68	40	52	4	15		

過去実績：2008～2010年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
 これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
 なお、4月～6月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
美浜	丹生 A	4 月	10.8	0.3	2.8	2.2	18.8	0.5	4.9	3.8	64	50	57	3	0
		5 月	11.6	0.3	2.8	1.9	19.8	0.5	4.9	3.4	71	48	57	4	2
		6 月	15.4	0.5	3.7	2.6	24.1	0.7	6.4	4.5	68	50	57	4	1
		7 月	14.0	0.2	2.9	2.4	23.8	0.3	4.9	4.1	74	50	59	5	1
		8 月	14.3	0.4	3.7	2.6	26.2	0.8	6.3	4.4	73	51	59	4	1
		9 月	8.0	0.2	2.5	2.0	14.6	0.4	4.4	3.4	70	50	58	4	0
		10 月	10.1	0.5	3.4	2.1	20.3	0.8	6.2	3.9	65	48	56	4	0
		11 月	12.7	0.7	3.1	2.1	21.1	1.2	5.3	3.6	66	50	57	3	0
		12 月	6.2	0.2	2.1	1.2	10.6	0.4	3.7	2.2	65	50	57	3	1
		1 月	9.1	0.7	2.6	1.6	15.7	1.2	4.7	2.7	64	49	57	3	0
		2 月	14.3	0.5	3.1	2.4	25.0	0.8	5.4	4.0	64	49	57	3	0
		3 月	11.9	0.3	2.8	1.7	20.0	0.5	5.1	3.0	65	47	54	3	3
		年間	15.4	0.2	3.0	2.1	26.2	0.3	5.2	3.7	74	47	57	4	8
		過去実績	17.2	0.1	3.1	2.2	33.4	0.2	5.8	4.2	74	43	55	4	12
竹波 A	竹波 A	4 月	12.0	0.2	3.2	2.3	25.1	0.5	6.1	4.5	62	43	52	3	1
		5 月	31.9	0.3	3.7	3.8	60.9	0.6	7.2	7.3	60	44	51	4	0
		6 月	30.1	0.5	5.4	4.8	56.0	0.9	10.4	9.4	65	45	52	3	1
		7 月	19.2	0.2	4.1	3.5	38.5	0.4	7.8	6.8	64	45	53	4	2
		8 月	27.5	0.5	5.3	4.1	48.6	1.1	9.9	7.6	64	43	53	3	1
		9 月	11.7	0.2	3.1	2.3	22.1	0.4	5.7	4.2	64	44	54	3	0
		10 月	12.8	0.5	3.9	2.3	25.1	0.9	7.5	4.6	63	45	53	4	0
		11 月	15.0	0.6	3.6	2.6	29.4	1.2	6.8	4.8	63	46	53	3	0
		12 月	9.0	0.2	2.4	1.6	18.4	0.5	4.7	3.1	66	46	52	3	4
		1 月	11.1	0.7	3.1	2.0	20.3	1.3	5.9	3.8	58	45	52	2	0
		2 月	17.0	0.5	3.6	3.0	34.0	0.9	7.2	5.8	57	45	50	2	0
		3 月	14.0	0.4	3.4	2.4	26.3	0.7	6.8	4.7	58	43	50	3	0
		年間	31.9	0.2	3.7	3.1	60.9	0.4	7.2	6.0	66	43	52	3	9
		過去実績	44.2	0.1	4.1	3.4	88.3	0.3	8.2	6.9	67	40	51	3	9

過去実績：2008～2010年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値 + 標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
- これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、4月～6月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M + 3σを超えた数
大飯	日角浜 A	4 月	9.4	0.3	2.7	2.1	18.8	0.5	5.2	4.0	61	45	52	3	1
		5 月	9.8	0.2	2.7	2.0	18.4	0.4	5.3	3.8	61	44	53	3	0
		6 月	14.9	0.5	3.8	2.8	31.7	0.9	7.3	5.6	63	45	52	4	0
		7 月	14.4	0.2	3.2	2.8	26.6	0.4	6.1	5.4	67	44	53	4	1
		8 月	12.4	0.5	4.0	2.9	25.3	0.9	7.7	5.6	68	46	53	4	2
		9 月	11.1	0.1	3.3	2.8	21.5	0.2	6.0	5.2	63	45	54	4	0
		10月	12.1	0.3	3.9	2.6	23.8	0.6	7.6	5.2	62	44	52	4	0
		11月	10.4	0.7	3.6	2.2	21.5	1.5	6.9	4.3	62	45	52	3	2
		12月	11.1	0.4	2.7	2.2	21.3	0.8	5.2	4.3	58	45	51	2	0
		1 月	11.2	0.5	3.2	2.3	21.2	0.8	6.2	4.4	57	45	52	2	0
		2 月	14.7	0.6	3.5	2.6	27.1	1.1	6.8	5.0	59	45	52	3	0
		3 月	10.0	0.6	3.0	1.8	19.8	1.0	6.0	3.5	58	44	50	3	1
		年間	14.9	0.1	3.3	2.5	31.7	0.2	6.4	4.8	68	44	52	3	7
過去実績	20.1	0.1	3.4	2.6	39.2	0.2	6.8	5.3	64	41	51	3	12		
宮留 A	宮留 A	4 月	9.4	0.3	2.7	2.1	18.8	0.5	5.2	4.0	62	45	52	3	1
		5 月	9.5	0.2	2.7	2.0	18.7	0.4	5.3	4.0	60	45	52	3	0
		6 月	13.3	0.4	3.6	2.8	28.6	0.8	7.1	5.7	70	43	51	4	3
		7 月	14.0	0.2	3.0	2.8	26.6	0.4	5.7	5.2	66	44	53	4	1
		8 月	13.8	0.3	3.8	3.0	24.3	0.7	7.3	5.7	64	44	53	4	0
		9 月	11.4	0.2	3.1	2.7	21.7	0.4	5.7	5.1	68	43	54	4	1
		10月	11.4	0.3	3.8	2.5	24.2	0.6	7.3	5.1	65	44	54	4	0
		11月	9.2	0.7	3.3	2.1	18.5	1.3	6.2	3.9	71	46	54	4	3
		12月	10.0	0.4	2.6	2.1	18.8	0.7	4.9	4.0	64	47	53	3	2
		1 月	11.0	0.4	3.1	2.2	19.9	0.8	5.8	4.2	59	46	52	3	0
		2 月	13.4	0.5	3.3	2.5	25.9	1.1	6.2	4.8	59	46	53	3	0
		3 月	10.2	0.4	2.8	1.8	19.9	0.8	5.4	3.3	61	46	52	3	1
		年間	14.0	0.2	3.2	2.4	28.6	0.4	6.0	4.7	71	43	53	4	12
過去実績	22.2	0.1	3.3	2.6	44.3	0.2	6.6	5.3	66	41	51	4	9		

過去実績：2008～2010年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M + 3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値 + 標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
- これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、4月～6月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
高浜	小黒飯A	4月	5.2	0.3	1.9	1.0	10.6	0.6	3.7	2.0	58	44	51	3	0
		5月	5.1	0.2	2.0	1.0	10.2	0.5	3.9	2.0	60	41	50	3	0
		6月	6.6	0.4	2.5	1.3	14.7	0.8	5.0	2.7	60	43	51	3	0
		7月	6.9	0.2	2.0	1.3	14.5	0.3	3.9	2.6	65	44	52	4	3
		8月	5.9	0.5	2.3	1.1	11.8	1.1	4.6	2.2	61	44	51	3	1
		9月	5.8	0.2	1.9	1.1	12.1	0.3	3.7	2.2	60	44	52	3	0
		10月	6.2	0.3	2.6	1.2	12.5	0.5	5.0	2.5	61	45	52	3	0
		11月	7.4	0.7	2.5	1.2	14.9	1.4	4.9	2.4	67	44	52	3	2
		12月	6.7	0.3	2.2	1.4	13.1	0.6	4.3	2.8	60	44	51	3	2
		1月	6.4	0.5	2.3	1.1	13.2	1.1	4.6	2.2	57	44	51	3	0
		2月	7.6	0.4	2.6	1.3	15.5	0.9	5.0	2.5	57	44	52	3	0
		3月	6.0	0.5	2.4	1.0	11.1	0.9	4.7	1.9	57	44	50	3	0
		年間	7.6	0.2	2.3	1.2	15.5	0.3	4.4	2.4	67	41	51	3	8
		過去実績	10.3	0.1	2.4	1.3	21.6	0.2	4.8	2.7	65	40	51	3	10
音海A	音海A	4月	5.2	0.3	2.0	1.1	10.7	0.6	3.9	2.2	58	46	51	2	0
		5月	4.8	0.2	2.1	1.0	10.1	0.5	4.1	2.0	64	44	52	4	2
		6月	6.2	0.4	2.7	1.4	12.4	0.8	5.4	2.8	63	44	51	3	2
		7月	7.9	0.2	2.2	1.5	16.2	0.4	4.1	2.8	67	44	53	4	1
		8月	7.2	0.5	2.6	1.2	14.3	1.0	5.0	2.4	64	44	52	4	3
		9月	6.8	0.2	2.1	1.3	13.4	0.4	4.1	2.5	60	46	53	3	0
		10月	7.2	0.3	2.9	1.4	15.2	0.5	5.7	3.0	58	44	51	3	0
		11月	8.1	0.8	2.8	1.4	15.8	1.5	5.5	2.7	59	45	51	3	0
		12月	8.2	0.4	2.6	1.9	16.8	0.7	5.2	3.8	58	44	51	3	0
		1月	8.0	0.4	2.6	1.4	15.7	0.7	5.1	2.7	58	45	51	2	0
		2月	7.6	0.3	2.8	1.5	13.9	0.6	5.4	2.9	59	47	52	3	0
		3月	7.4	0.4	2.5	1.1	16.4	0.9	4.9	2.2	57	43	50	3	0
		年間	8.2	0.2	2.5	1.4	16.8	0.4	4.9	2.8	67	43	52	3	8
		過去実績	12.2	0.1	2.7	1.5	26.5	0.2	5.4	3.2	65	38	50	3	12

過去実績：2008～2010年度

- (注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
 これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空気中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
 なお、4月～6月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地 区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
高浜	神野浦 A	4 月	4.8	0.3	1.8	0.9	9.0	0.6	3.5	1.8	61	45	52	2	1
		5 月	4.4	0.2	1.9	0.9	8.9	0.4	3.7	1.8	65	45	53	4	1
		6 月	6.5	0.4	2.5	1.3	11.5	0.8	4.9	2.5	65	46	53	4	1
		7 月	7.8	0.2	2.1	1.3	16.4	0.3	4.0	2.6	68	46	53	4	4
		8 月	6.6	0.6	2.5	1.1	12.8	1.2	4.8	2.2	64	44	53	4	0
		9 月	6.6	0.2	2.0	1.2	12.1	0.3	3.8	2.2	63	47	53	3	2
		10 月	7.3	0.3	2.6	1.3	14.4	0.5	4.9	2.5	60	46	53	3	0
		11 月	6.5	0.6	2.5	1.2	12.2	1.3	4.7	2.3	60	47	53	3	0
		12 月	8.1	0.3	2.3	1.7	17.1	0.6	4.4	3.3	60	45	53	3	0
		1 月	7.7	0.5	2.3	1.3	15.3	0.9	4.4	2.5	59	46	53	2	0
		2 月	7.7	0.4	2.5	1.2	14.9	0.8	4.7	2.4	62	47	53	3	1
		3 月	7.8	0.5	2.4	1.0	15.3	0.9	4.7	2.0	58	44	50	3	0
		年間	8.1	0.2	2.3	1.2	17.1	0.3	4.4	2.4	68	44	53	3	10
過去 実績	10.1	0.1	2.5	1.4	19.8	0.2	4.9	2.8	69	41	51	3	12		

過去実績：2008～2010年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値 + 標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、4月～6月のゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるI-131、Cs-137等の人工放射性核種が検出されたが、天然放射能レベルに比べて十分に低く、浮遊じん放射能の連続測定に影響を与えるものではなかった。

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
敦賀	浦底A	11.04.07～11.05.11	0.1	0.2	ND～0.1	ND～0.3	A
		11.05.11～11.06.02	—	—			
		11.06.02～11.07.07	—	—			
		11.07.07～11.08.04	—	—			
		11.08.04～11.09.07	—	—			
		11.09.07～11.10.06	—	—			
		11.10.06～11.11.10	—	—			
		11.11.10～11.12.07	—	—			
		11.12.07～12.01.13	—	—			
		12.01.13～12.02.08	—	—			
		12.02.08～12.03.08	—	—			
		12.03.08～12.04.05	—	—			
白木	白木A	11.04.06～11.05.11	0.1	0.2	ND～0.1	ND～0.2	A
		11.05.11～11.06.02	—	—			
		11.06.02～11.07.06	—	—			
		11.07.06～11.08.04	—	—			
		11.08.04～11.09.07	—	—			
		11.09.07～11.10.05	—	—			
		11.10.05～11.11.10	—	—			
		11.11.10～11.12.07	—	—			
		11.12.07～12.01.12	—	—			
		12.01.12～12.02.08	—	—			
		12.02.08～12.03.08	—	—			
		12.03.08～12.04.05	—	—			
美浜	竹波A	11.04.06～11.05.11	0.1	0.2	ND～0.1	ND～0.2	A
		11.05.11～11.06.02	—	—			
		11.06.02～11.07.06	—	—			
		11.07.06～11.08.04	—	—			
		11.08.04～11.09.07	—	—			
		11.09.07～11.10.05	—	—			
		11.10.05～11.11.10	—	—			
		11.11.10～11.12.07	—	—			
		11.12.07～12.01.12	—	—			
		12.01.12～12.02.08	—	—			
		12.02.08～12.03.08	—	—			
		12.03.08～12.04.04	—	—			

過去実績：2008～2010年度

(注) 以下の核種分析結果の表では／は調査対象外、—は検出限界値未満、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を意味する。
過去実績の欄で、—と記したものは、検出値が1例もないものである。濃度は採取時の値である。

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
大飯	宮留A	11.04.06~11.05.10	0.0	0.2	ND~0.1	ND~0.1	A
		11.05.10~11.06.01	—	—			
		11.06.01~11.07.06	—	—			
		11.07.06~11.08.03	—	—			
		11.08.03~11.09.06	—	—			
		11.09.06~11.10.05	—	—			
		11.10.05~11.11.09	—	—			
		11.11.09~11.12.06	—	—			
		11.12.06~12.01.12	—	—			
		12.01.12~12.02.07	—	—			
		12.02.07~12.03.07	—	—			
		12.03.07~12.04.04	—	—			
高浜	小黒飯A	11.04.05~11.05.10	0.1	0.2	ND~0.1	ND~0.2	A
		11.05.10~11.06.01	—	—			
		11.06.01~11.07.05	—	—			
		11.07.05~11.08.03	—	—			
		11.08.03~11.09.06	—	—			
		11.09.06~11.10.04	—	—			
		11.10.04~11.11.09	—	—			
		11.11.09~11.12.06	—	—			
		11.12.06~12.01.12	—	—			
		12.01.12~12.02.07	—	—			
		12.02.07~12.03.07	—	—			
		12.03.07~12.04.04	—	—			

過去実績：2008~2010年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石B	11.04.04~11.05.06	—	—	—	—	0.1	0.8 ^{*1}	—	—	5.1	—	ND~0.0	B
	〃	11.05.06~11.06.02	—	—	—	—	—	0.1 ^{*1}	—	—	4.6			
	〃	11.06.02~11.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3			
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7			
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9			
	〃	11.09.01~11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8			
	〃	11.10.05~11.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9			
	〃	11.11.04~11.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2			
	〃	11.12.02~12.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9			
	〃	12.01.06~12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0			
	〃	12.02.01~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2			
	〃	12.03.02~12.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3			
浦底A	11.04.07~11.05.11	—	—	—	—	/	0.5 ^{*1}	—	—	4.3	—	ND~0.1	A	
	〃	11.05.11~11.06.02	—	—	—	—	/	0.0 ^{*1}	—	—				4.4
	〃	11.06.02~11.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—				2.5
	〃	11.07.07~11.08.04	—	—	—	—	/	—	—	—				1.6
	〃	11.08.04~11.09.07	—	—	—	—	/	—	—	—				1.8
	〃	11.09.07~11.10.06	—	—	—	—	/	—	—	—				3.6
	〃	11.10.06~11.11.10	—	—	—	—	/	—	—	—				4.6
	〃	11.11.10~11.12.07	—	—	—	—	/	—	—	—				4.1
	〃	11.12.07~12.01.13	—	—	—	—	/	—	—	—				2.9
	〃	12.01.13~12.02.08	—	—	—	—	/	—	—	—				3.1
	〃	12.02.08~12.03.08	—	—	—	—	/	— ^{*2}	—	—				3.3
	〃	12.03.08~12.04.05	—	—	—	—	/	— ^{*2}	—	—				4.5
浦底B	11.04.04~11.05.06	—	—	—	—	0.1	0.8 ^{*1}	—	—	6.2	—	—	B	
	〃	11.05.06~11.06.02	—	—	—	—	—	0.1 ^{*1}	—	—				4.9
	〃	11.06.02~11.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—				3.5
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—				1.7
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—				2.0
	〃	11.09.01~11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—				4.0
	〃	11.10.05~11.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—				6.3
	〃	11.11.04~11.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—				5.3
	〃	11.12.02~12.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—				3.8
	〃	12.01.06~12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—				4.0
	〃	12.02.01~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—				5.6
	〃	12.03.02~12.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—				5.6
色ヶ浜B	11.04.04~11.05.06	—	—	—	—	0.1	0.8 ^{*1}	—	—	5.7	—	—	B	
	〃	11.05.06~11.06.02	—	—	—	—	—	0.1 ^{*1}	—	—				4.5
	〃	11.06.02~11.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—				3.4
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—				1.7
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—				1.9
	〃	11.09.01~11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—				4.1

過去実績：2008~2010年度

(注1) ヨウ素-131は、ガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。

機関Aはろ紙を灰化したものを測定しているため(対照地区を除く。)I-131は調査対象外である。灰化前のI-131濃度は第12表 粒子状I-131の欄参照。

(注2) *1：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.174のとおり。

(注3) *2：Cs-134とともに、Cs-137が検出されたが、詳細調査を実施したところ、製造過程で福島第一原子力発電所事故影響と考えられる放射性セシウムがろ紙に混入していたことが確認された。

検出された濃度からろ紙の汚染濃度を差し引くことで不検出を確認した。

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	色ヶ浜B	11.10.05~11.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.5	—	—	B
	〃	11.11.04~11.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3			
	〃	11.12.02~12.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9			
	〃	12.01.06~12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8			
	〃	12.02.01~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8			
	〃	12.03.02~12.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0			
白木	白木A	11.04.06~11.05.11	—	—	—	—	/	0.7 ^{*1}	—	—	—	4.8	—	ND~0.0	A
	〃	11.05.11~11.06.02	—	—	—	—	/	0.0 ^{*1}	—	—	—	4.1			
	〃	11.06.02~11.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.7			
	〃	11.07.06~11.08.04	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.7			
	〃	11.08.04~11.09.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.9			
	〃	11.09.07~11.10.05	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.7			
	〃	11.10.05~11.11.10	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.9			
	〃	11.11.10~11.12.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.5			
	〃	11.12.07~12.01.12	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.5			
	〃	12.01.12~12.02.08	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.5			
	〃	12.02.08~12.03.08	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.7			
	〃	12.03.08~12.04.05	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.9			
	松ヶ崎D	11.04.04~11.05.02	—	—	—	—	0.1	0.5 ^{*1}	—	—	—	4.5	—	—	D
	〃	11.05.02~11.06.06	—	—	—	—	—	0.0 ^{*1}	—	—	—	3.1			
	〃	11.06.06~11.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3			
	〃	11.07.04~11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4			
	〃	11.08.01~11.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4			
	〃	11.09.05~11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4			
	〃	11.10.03~11.10.31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.3			
	〃	11.10.31~11.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.5			
〃	11.12.05~12.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9				
〃	12.01.04~12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9				
〃	12.02.01~12.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3				
〃	12.03.01~12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6				
美浜	竹波A	11.04.06~11.05.11	—	—	—	—	/	0.5 ^{*1}	—	—	—	4.5	—	ND~0.0	A
	〃	11.05.11~11.06.02	—	—	—	—	/	0.0	—	—	—	4.3			
	〃	11.06.02~11.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.6			
	〃	11.07.06~11.08.04	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.7			
	〃	11.08.04~11.09.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.8			
	〃	11.09.07~11.10.05	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.5			
	〃	11.10.05~11.11.10	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.0			
	〃	11.11.10~11.12.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.2			
	〃	11.12.07~12.01.12	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.3			
	〃	12.01.12~12.02.08	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.4			
	〃	12.02.08~12.03.08	—	—	—	—	/	— ^{*2}	—	—	—	3.6			
〃	12.03.08~12.04.04	—	—	—	—	/	— ^{*2}	—	—	—	4.5				

過去実績：2008~2010年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	丹生	11.04.05~11.05.06	—	—	—	—	0.1	0.8 ^{*1}	—	—	5.9	—	—	C
	〃	11.05.06~11.06.03	—	—	—	—	—	0.1 ^{*1}	—	—	4.7	—	—	
	〃	11.06.03~11.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8	—	—	
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1	—	—	
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1	—	—	
	〃	11.09.01~11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	—	—	
	〃	11.10.03~11.11.01	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	—	—	
	〃	11.11.01~11.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5	—	—	
	〃	11.12.01~12.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	—	—	
	〃	12.01.04~12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	—	—	
	〃	12.02.01~12.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	—	—	
〃	12.03.01~12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	—	—		
大飯	宮留A	11.04.06~11.05.10	—	—	—	—	/	0.5 ^{*1}	—	—	4.9	—	ND~0.0	A
	〃	11.05.10~11.06.01	—	—	—	—	/	0.0 ^{*1}	—	—	4.5	—	—	
	〃	11.06.01~11.07.06	—	—	—	—	/	0.0	—	—	2.7	—	—	
	〃	11.07.06~11.08.03	—	—	—	—	/	—	—	—	1.8	—	—	
	〃	11.08.03~11.09.06	—	—	—	—	/	—	—	—	2.0	—	—	
	〃	11.09.06~11.10.05	—	—	—	—	/	—	—	—	3.7	—	—	
	〃	11.10.05~11.11.09	—	—	—	—	/	—	—	—	4.8	—	—	
	〃	11.11.09~11.12.06	—	—	—	—	/	—	—	—	4.8	—	—	
	〃	11.12.06~12.01.12	—	—	—	—	/	—	—	—	3.5	—	—	
	〃	12.01.12~12.02.07	—	—	—	—	/	—	—	—	3.6	—	—	
	〃	12.02.07~12.03.07	—	—	—	—	/	—	—	—	3.7	—	—	
	〃	12.03.07~12.04.04	—	—	—	—	/	—	—	—	4.7	—	—	
	宮留	11.04.04~11.05.09	—	—	—	—	0.0	0.5 ^{*1}	—	—	5.0	—	—	C
	〃	11.05.09~11.06.06	—	—	—	—	—	0.0 ^{*1}	—	—	4.6	—	—	
	〃	11.06.06~11.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0	—	—	
	〃	11.07.04~11.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	—	—	
	〃	11.08.02~11.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2	—	—	
	〃	11.09.02~11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	—	—	
	〃	11.10.04~11.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6	—	—	
	〃	11.11.02~11.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	—	—	
	〃	11.12.02~12.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	—	—	
〃	12.01.05~12.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8	—	—		
〃	12.02.03~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	4.5	—	—		
〃	12.03.02~12.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9	—	—		
高浜	音海	11.04.04~11.05.09	—	—	—	—	0.1	0.5 ^{*1}	—	—	5.5	—	—	C
	〃	11.05.09~11.06.06	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	4.7	—	—	
	〃	11.06.06~11.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	—	—	
	〃	11.07.04~11.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	—	—	
	〃	11.08.02~11.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	—	—	
	〃	11.09.02~11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9	—	—	

過去実績：2008~2010年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関				
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs					
高浜	音海	11.10.04~11.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	—	—	C			
	〃	11.11.02~11.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4						
	〃	11.12.02~12.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9						
	〃	12.01.05~12.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6						
	〃	12.02.03~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7						
	〃	12.03.02~12.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1						
	小黒飯A	11.04.05~11.05.10	—	—	—	—	/	0.4 ^{*1}	—	—	—	4.8	—	—	A			
	〃	11.05.10~11.06.01	—	—	—	—	/	0.0 ^{*1}	—	—	—	4.4						
	〃	11.06.01~11.07.05	—	—	—	—	/	—	—	—	—	2.6						
	〃	11.07.05~11.08.03	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.7						
	〃	11.08.03~11.09.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	1.9						
	〃	11.09.06~11.10.04	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.7						
	〃	11.10.04~11.11.09	—	—	—	—	/	—	—	—	—	5.0						
	〃	11.11.09~11.12.06	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.7						
	〃	11.12.06~12.01.12	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.7						
	〃	12.01.12~12.02.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.6						
	〃	12.02.07~12.03.07	—	—	—	—	/	—	—	—	—	3.6						
	〃	12.03.07~12.04.04	—	—	—	—	/	—	—	—	—	4.7						
	小黒飯	11.04.04~11.05.09	—	—	—	—	0.0	0.5 ^{*1}	—	—	—	5.1				—	—	C
	〃	11.05.09~11.06.06	—	—	—	—	—	0.0 ^{*1}	—	—	—	4.7						
〃	11.06.06~11.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0							
〃	11.07.04~11.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7							
〃	11.08.02~11.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3							
〃	11.09.02~11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1							
〃	11.10.04~11.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4							
〃	11.11.02~11.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6							
〃	11.12.02~12.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8							
〃	12.01.05~12.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7							
〃	12.02.03~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8							
〃	12.03.02~12.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3							
対照	原目町(福井分析管理室)	11.04.01~11.04.02	—	—	—	—	0.3	0.0 ^{*1}	—	—	—	9.6	—	—	A			
	〃	11.05.02~11.05.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1						
	〃	11.06.01~11.06.02	—	—	—	—	—	0.1 ^{*1}	—	—	—	7.5						
	〃	11.07.04~11.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6						
	〃	11.08.07~11.08.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9						
	〃	11.09.01~11.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2						
	〃	11.10.01~11.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9						
	〃	11.11.01~11.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1						
	〃	11.12.05~11.12.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4						
	〃	12.01.04~12.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9						
	〃	12.02.03~12.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2						
	〃	12.03.01~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.2						

過去実績：2008~2010年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん(参考データ：3ヶ月試料)

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石A	11.04.07～11.07.07	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	2.7	—	ND～0.0	A
	〃	11.07.07～11.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	—	—	
	〃	11.10.06～12.01.13	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	—	—	
	〃	12.01.13～12.04.05	—	—	—	—	—	— ^{*2}	—	—	3.1	—	—	
白木	白木峠A	11.04.06～11.07.06	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	3.0	—	ND～0.0	A
	〃	11.07.06～11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	—	—	
	〃	11.10.05～12.01.12	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	—	—	
	〃	12.01.12～12.04.05	—	—	—	—	—	— ^{*2}	—	—	2.9	—	—	
美浜	丹生A	11.04.06～11.07.06	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	2.7	—	ND～0.0	A
	〃	11.07.06～11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	—	—	
	〃	11.10.05～12.01.12	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	—	—	
	〃	12.01.12～12.04.04	—	—	—	—	—	— ^{*2}	—	—	2.9	—	—	
大飯	日角浜A	11.04.06～11.07.06	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	2.9	—	—	A
	〃	11.07.06～11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	—	—	
	〃	11.10.05～12.01.12	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	—	—	
	〃	12.01.12～12.04.04	—	—	—	—	—	— ^{*2}	—	—	2.9	—	—	
高浜	音海A	11.04.05～11.07.05	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	3.0	—	—	A
	〃	11.07.05～11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1	—	—	
	〃	11.10.04～12.01.11	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	—	—	
	〃	12.01.11～12.04.04	—	—	—	—	—	— ^{*2}	—	—	3.0	—	—	
	神野浦A	11.04.05～11.07.05	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	3.0	—	—	A
	〃	11.07.05～11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	—	—	
	〃	11.10.04～12.01.11	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7	—	—	
〃	12.01.11～12.04.03	—	—	—	—	—	— ^{*2}	—	—	3.1	—	—		

過去実績：2008～2010年度

(注) 平成11年度から開始した浮遊じん連続採取による3ヶ月分の集合(コンボジット)試料の核種分析結果であり、吸引量は約12,000立方メートル。

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/ℓ

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
敦賀	浦底（水試）	水道水	11.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.09.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.12.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	12.03.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	浦底（明神寮）	〃	11.04.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B
	〃	〃	11.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	〃	12.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
白木	白木（民家）	〃	11.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.09.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.12.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	12.03.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	D
	〃	〃	11.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.11.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	12.02.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
美浜	丹生（漁協飼料保管解凍施設横）	〃	11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	丹生（民家）	〃	11.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.09.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.12.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	12.03.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
大飯	宮留（民家）	〃	11.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.12.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	12.03.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	12.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
高浜	音海（民家）	〃	11.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	11.12.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	12.03.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小黒飯（民家）	〃	11.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	12.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	神野浦（民家）	〃	11.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	12.02.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

過去実績：2008～2010年度

(注1) 機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

(注2) *：2010年度より測定を開始したため、過去実績は2010年度のみ。

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/ℓ

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
対照	福井分析管理室	水道水	11.06.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.09.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	〃	〃	11.12.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	〃	〃	12.03.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
美浜	竹波（落合川）	河川水	11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

過去実績：2008～2010年度

第15表 核種分析結果 その3 陸土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関		
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
敦賀	浦底（明神寮）	土床	11.05.11	—	—	—	9.1	—	—	12	890	68	42	—	8.3~12	A		
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	10	—	—	—	940	79	45			B		
	〃	〃	11.07.05	—	—	—	7.5	—	—	12	1200	74	38					
	〃	〃	12.01.04	—	—	—	9.5	—	—	—	1200	87	39					
	〃	発電所北端周辺	山土	11.05.11	—	—	—	22	—	—	—	1300	86	46	—	19 ~28	D	
	〃	〃	11.08.24	—	—	—	21	—	—	—	1200	79	54					
	〃	〃	11.11.09	—	—	—	21	—	—	—	1200	82	50					
	〃	〃	12.02.08	—	—	—	20	—	—	—	1200	80	52					
白木	松ヶ崎	土床	11.05.11	—	—	—	1.4	—	—	14	1100	100	51	—	0.8~2.2	A		
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	1.6	—	—	6.0	1100	93	51			D		
	〃	〃	11.07.07	—	—	—	1.6	—	—	11	1200	110	44					
	〃	〃	12.01.12	—	—	—	1.5	—	—	—	1200	99	43					
美浜	丹生	〃	11.05.11	—	—	—	3.2	—	—	9.0	1200	87	51	—	2.5~6.2	A		
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	2.9	—	—	5.0	1100	87	49					
	〃	〃	11.09.01	—	—	—	5.4	—	—	9.7	1200	95	49			C		
	〃	〃	12.03.01	—	—	—	5.1	—	—	26	1200	94	48					
大飯	日角浜	未耕土	11.05.10	—	—	—	69	—	—	9.8	260	23	22	—	50 ~89	A		
	〃	〃	11.11.09	—	—	—	64*	—	—	—	280	26	22					
	畑村	〃	11.09.02	—	—	—	4.6*	—	—	17	350	21	18			—	2.0~3.9	C
	〃	〃	12.03.02	—	—	—	2.4	—	—	39	380	18	16					
高浜	小黒飯	山土	11.05.10	—	—	—	3.6	—	—	7.1	550	44	27	—	4.3~7.1	A		
	〃	〃	11.11.09	—	—	—	4.9	—	—	4.0	550	46	27					
	〃	未耕土	11.09.02	—	—	—	6.6*	—	—	5.4	660	35	25			—	4.2~9.0	C
	〃	〃	12.03.09	—	—	—	6.6	—	—	8.9	690	33	19					
対照	原目町（衛環研）	〃	11.05.13	—	—	—	3.8	—	—	27	530	24	18	—	2.6~4.5	A		
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	3.0*	—	—	3.4	540	24	17					
	奥越高原牧場	山土	11.06.07	—	—	—	140	—	—	19	170	20	10			—	140 ~150	A

過去実績：2008～2010年度

(注1) 0～5cmで採取した試料の粒径2mm以下を分析した。Th系列（Th-Ser）はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、

U系列（U-Ser）はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2%（または36.0%）を用いて求めたものである。

(注2) *：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.179のとおり。

第16表 核種分析結果 その4 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	ヨモギ	11.05.11	—	—	—	—	0.3	0.6*	—	—	—	50	170	—	ND~0.1	A
	〃	〃	11.06.02	—	—	—	—	0.2	0.2*	—	—	—	55	220	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	210	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.08.04	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	26	280	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.09.05	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	53	180	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110	240	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.11.08	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	110	200	—	ND~0.1	
白木	白木	〃	11.05.11	—	—	—	—	—	0.2*	—	—	—	32	150	—	ND~0.3	A
	〃	〃	11.06.02	—	—	—	—	—	0.2*	—	—	—	45	230	—	ND~0.3	
	〃	〃	11.07.06	—	—	—	—	—	0.7*	—	—	—	46	250	—	ND~0.3	
	〃	〃	11.08.04	—	—	—	—	—	0.2*	—	—	—	20	280	—	ND~0.3	
	〃	〃	11.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60	200	—	ND~0.3	
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	80	190	—	ND~0.3	
	〃	〃	11.11.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100	170	—	ND~0.3	
美浜	竹波	〃	11.05.11	—	—	—	—	—	0.4*	—	—	—	56	170	—	ND~0.4	A
	〃	〃	11.06.02	—	—	—	—	—	0.6*	—	—	—	75	220	—	ND~0.4	
	〃	〃	11.07.06	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	50	280	—	ND~0.4	
	〃	〃	11.08.04	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	33	260	—	ND~0.4	
	〃	〃	11.09.05	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	83	170	—	ND~0.4	
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	76	170	—	ND~0.4	
	〃	〃	11.11.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130	200	—	ND~0.4	
大飯	日角浜	〃	11.05.10	—	—	—	—	—	0.6*	—	—	—	18	200	—	ND~0.2	A
	〃	〃	11.06.01	—	—	—	—	—	0.4*	—	—	—	99	230	—	ND~0.2	
	〃	〃	11.07.06	—	—	—	—	—	0.1*	—	—	—	59	260	—	ND~0.2	
	〃	〃	11.08.03	—	—	—	—	—	0.3*	—	—	—	22	290	—	ND~0.2	
	〃	〃	11.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	190	—	ND~0.2	
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48	200	—	ND~0.2	
	〃	〃	11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73	190	—	ND~0.2	
高浜	小黒飯	〃	11.05.10	—	—	—	—	—	0.8*	—	—	—	19	200	—	—	A
	〃	〃	11.06.01	—	—	—	—	—	0.6*	—	—	—	120	180	—	—	
	〃	〃	11.07.05	—	—	—	—	—	0.4*	—	—	—	61	260	—	—	
	〃	〃	11.08.03	—	—	—	—	—	0.1*	—	—	—	46	260	—	—	
	〃	〃	11.09.06	—	—	—	—	—	0.3*	—	—	—	85	220	—	—	
	〃	〃	11.10.04	—	—	—	—	—	1.4*	—	—	—	120	200	—	—	
	〃	〃	11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140	200	—	—	
対照	原目町	〃	11.05.09	—	—	—	—	0.3	0.7*	—	—	—	28	230	—	ND~0.1	A
	〃	〃	11.06.03	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	59	230	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.07.04	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	19	260	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	240	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	61	240	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.10.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68	240	—	ND~0.1	
	〃	〃	11.11.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62	170	—	ND~0.1	

過去実績：2008～2010年度

(注) *：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp. 180のとおり。

第17表 核種分析結果 その5 松葉（2年葉）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	松葉	11.06.09	—	—	—	—	—	1.3 ^{*1}	—	—	—	46	62	—	—	B
	〃	〃	11.12.06	—	—	—	—	—	0.9 ^{*1}	—	—	—	64	84	—	—	
	発電所北端周辺	〃	11.08.24	—	—	—	—	—	0.5 ^{*1}	—	—	—	21	71	—	—	D
	〃	〃	12.02.15	—	—	—	—	—	0.4 ^{*2}	—	—	—	36	76			
白木	白木トンネル北口付近	〃	11.08.18	—	—	—	—	—	1.5 ^{*1}	—	—	—	26	67	—	—	D
	〃	〃	12.02.13	—	—	—	—	—	0.6 ^{*1}	—	—	—	31	60			
美浜	丹生	〃	11.06.03	—	—	—	—	—	1.3 ^{*1}	—	—	—	43	61	—	—	C
	〃	〃	11.12.01	—	—	—	—	—	0.6 ^{*1}	—	—	—	56	69			
大飯	畑村	〃	11.06.06	—	—	—	—	—	1.5 ^{*1}	—	—	—	44	56	—	—	C
	〃	〃	11.12.02	—	—	—	—	—	0.7 ^{*1}	—	—	—	35	68			
高浜	小黒飯	〃	11.06.06	—	—	—	—	—	2.4 ^{*1}	—	—	—	57	53	—	—	C
	〃	〃	11.12.02	—	—	—	—	—	1.1 ^{*1}	—	—	—	52	63			
対照	福井市寮町（県農試）	〃	11.11.28	—	—	—	—	—	1.5 ^{*1}	—	—	—	44	70	—	ND～0.6	A

過去実績：2008～2010年度

(注1) *1：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.181のとおり。

(注2) *2：長時間測定（通常の2倍）を行ったところ、Cs-134がごく低レベルで検出された。

第18表 核種分析結果 その6 農産物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	大根葉	11.11.07	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	3.4	100	—	ND~0.0	A
白木	白木	〃	11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.5	110	—	ND~0.0	A
美浜	丹生	〃	11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	120	—	ND~0.0	A
大飯	長井	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	56	—	—	A
高浜	神野	〃	11.11.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6	120	—	—	A
対照	あわら市	〃	11.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	130	—	—	A

過去実績：2008～2010年度

第19表 核種分析結果 その7 原乳

単位： Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁴⁰ K	¹³¹ I		¹³⁷ Cs
美浜	安江	原乳	11.06.08	—	—	—	—	—	—	—	—	51	—	—	A
	〃	〃	11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	50	—	—	A
	〃	〃	11.10.24	—	—	—	—	—	—	—	—	49	—	—	A
対照	奥越高原牧場(勝山市池ヶ原)	〃	11.06.07	—	—	—	—	—	—	—	—	47	—	—	A
	〃	〃	11.08.09	—	—	—	—	—	—	—	—	48	—	—	A
	〃	〃	11.10.11	—	—	—	—	0.1*	—	—	—	47	—	—	A

過去実績：2009～2010年度

(注1) マリネリビーカーを用いて直接測定。

(注2) *：長時間測定（通常の7倍）を行ったところ、ごく低レベルでCs-134が検出された。

第20表 核種分析結果 その8 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関				
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs			
敦賀	浦底（水試）	11.04.07～11.05.11	—	—	—	—	6.6	14 ^{*1}	—	—	—	410	—	ND～0.2	A				
	〃	11.05.11～11.06.02	—	—	—	—	—	0.5 ^{*1}	—	—	—	180							
	〃	11.06.02～11.07.07	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	—	140							
	〃	11.07.07～11.08.04	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	—	53							
	〃	11.08.04～11.09.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	170							
	〃	11.09.07～11.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140							
	〃	11.10.06～11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130							
	〃	11.11.10～11.12.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	470							
	〃	11.12.07～12.01.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1400							
	〃	12.01.13～12.02.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	660							
	〃	12.02.08～12.03.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	320							
	〃	12.03.08～12.04.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	410							
	浦底（明神寮）	11.04.01～11.05.02	—	—	—	—	16	14 ^{*1}	—	—	—	370				—	ND～0.3	B	
		〃	11.05.02～11.06.01	—	—	—	—	—	1.0 ^{*1}	—	—	—							220
〃		11.06.01～11.07.01	—	—	—	—	—	0.4 ^{*1}	—	—	—	120							
〃		11.07.01～11.08.01	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	—	89							
〃		11.08.01～11.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110							
〃		11.09.01～11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160							
〃		11.10.03～11.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130							
〃		11.11.02～11.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	480							
〃		11.12.01～12.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1300							
〃		12.01.04～12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	890							
〃		12.02.01～12.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	490							
〃		12.03.01～12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	390							
白木		松ヶ崎	11.04.06～11.05.11	—	—	—	—	5.1	9.4 ^{*1}	—	—	—	370	—	—				A
		〃	11.05.11～11.06.02	—	—	—	—	—	0.4 ^{*1}	—	—	—	120						
	〃	11.06.02～11.07.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110							
	〃	11.07.06～11.08.04	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	50							
	〃	11.08.04～11.09.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130							
	〃	11.09.07～11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67							
	〃	11.10.05～11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57							
	〃	11.11.10～11.12.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190							
	〃	11.12.07～12.01.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1000							
	〃	12.01.12～12.02.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	540							
	〃	12.02.08～12.03.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	280							
	〃	12.03.08～12.04.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	310							

過去実績：2008～2010年度

(注) *1：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。 詳細はp.182～p.185のとおり。

第20表 核種分析結果 その8 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関			
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs				
白木	松ヶ崎	11.04.01~11.05.02	—	—	—	—	11	9.8 ^{*1}	—	—	—	290	—	—	D				
	〃	11.05.02~11.06.01	—	—	—	—	—	0.7 ^{*1}	—	—	—	170							
	〃	11.06.01~11.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	82							
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	—	90							
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	91							
	〃	11.09.01~11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	83							
	〃	11.10.03~11.11.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66							
	〃	11.11.01~11.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210							
	〃	11.12.01~12.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	820							
	〃	12.01.05~12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	580							
	〃	12.02.01~12.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	360							
	〃	12.03.01~12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	290							
美浜	竹波（落合川取水場）	11.04.06~11.05.11	—	—	—	—	6.8	14 ^{*1}	—	—	—	430	—	ND~0.2	A				
	〃	11.05.11~11.06.02	—	—	—	—	—	0.8 ^{*1}	—	—	—	170							
	〃	11.06.02~11.07.06	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	140							
	〃	11.07.06~11.08.04	—	—	—	—	—	— ^{*1}	—	—	—	87							
	〃	11.08.04~11.09.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180							
	〃	11.09.07~11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110							
	〃	11.10.05~11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150							
	〃	11.11.10~11.12.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	400							
	〃	11.12.07~12.01.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1200							
	〃	12.01.12~12.02.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	580							
	〃	12.02.08~12.03.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	290							
	〃	12.03.08~12.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	360							
	丹生	〃	11.04.05~11.05.06	—	—	—	—	10	15 ^{*1}	—	—	—				380	—	ND~0.3	C
		〃	11.05.06~11.06.03	—	—	—	—	—	0.5 ^{*1}	—	—	—				230			
〃		11.06.03~11.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110							
〃		11.07.01~11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110							
〃		11.08.01~11.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130							
〃		11.09.01~11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	99							
〃		11.10.03~11.11.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120							
〃		11.11.01~11.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	470							
〃		11.12.01~12.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	830							
〃		12.01.04~12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	750							
〃		12.02.01~12.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	460							
〃	12.03.01~12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	350								

過去実績：2008~2010年度

(注) *1：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。 詳細はp.182~p.185のとおり。

第20表 核種分析結果 その8 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関				
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs					
大飯	宮留	11.04.06~11.05.10	—	—	—	—	8.5	24 ^{*1}	—	—	—	260	—	ND~0.3	A				
	〃	11.05.10~11.06.01	—	—	—	—	—	1.6 ^{*1}	—	—	—	320							
	〃	11.06.01~11.07.06	—	—	—	—	—	0.4 ^{*1}	—	—	—	140							
	〃	11.07.06~11.08.03	—	—	—	—	—	0.5 ^{*1}	—	—	—	40							
	〃	11.08.03~11.09.06	—	—	—	—	—	0.3 ^{*1}	—	—	—	180							
	〃	11.09.06~11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120							
	〃	11.10.05~11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140							
	〃	11.11.09~11.12.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	360							
	〃	11.12.06~12.01.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	740							
	〃	12.01.12~12.02.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	510							
	〃	12.02.07~12.03.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	250							
	〃	12.03.07~12.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	330							
	日角浜	〃	11.04.04~11.05.09	—	—	—	—	8.5	24 ^{*1}	—	—	—				280	—	ND~0.3	C
		〃	11.05.09~11.06.06	—	—	—	—	—	1.3 ^{*1}	—	—	—				370			
〃		11.06.06~11.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96							
〃		11.07.04~11.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51							
〃		11.08.02~11.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120							
〃		11.09.02~11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150							
〃		11.10.04~11.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130							
〃		11.11.02~11.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	340							
〃		11.12.02~12.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	750							
〃		12.01.05~12.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	560							
〃		12.02.03~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	280							
〃		12.03.02~12.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300							
高浜		小黒飯	11.04.05~11.05.10	—	—	—	—	8.5	27 ^{*1}	—	—	—	200	—	ND~0.1	A			
		〃	11.05.10~11.06.01	—	—	—	—	—	2.4 ^{*1}	—	—	—	300						
	〃	11.06.01~11.07.05	—	—	—	—	—	0.5 ^{*1}	—	—	—	110							
	〃	11.07.05~11.08.03	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	—	45							
	〃	11.08.03~11.09.06	—	—	—	—	—	0.3 ^{*1}	—	—	—	150							
	〃	11.09.06~11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160							
	〃	11.10.04~11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160							
	〃	11.11.09~11.12.06	—	—	—	—	—	— ^{*1}	—	—	—	400							
	〃	11.12.06~12.01.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	870							
	〃	12.01.12~12.02.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	580							
	〃	12.02.07~12.03.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	290							
	〃	12.03.07~12.04.04	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	250							

過去実績：2008~2010年度

(注) *1：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。 詳細はp.182~p.185のとおり。

第20表 核種分析結果 その8 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
高浜	小和田	11.04.04~11.05.09	—	—	—	—	11	36 ^{*1}	—	—	—	250	—	—	C	
	〃	11.05.09~11.06.06	—	—	—	—	—	1.0 ^{*1}	—	—	—	370				
	〃	11.06.06~11.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76				
	〃	11.07.04~11.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	92				
	〃	11.08.02~11.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130				
	〃	11.09.02~11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	230				
	〃	11.10.04~11.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100				
	〃	11.11.02~11.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	440				
	〃	11.12.02~12.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	990				
	〃	12.01.05~12.02.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	740				
	〃	12.02.03~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	320				
	〃	12.03.02~12.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	380				
対照	原目町（福井分析管理室）	11.04.04~11.05.09 ^{*2}	—	—	—	—	8.8	23 ^{*1}	—	—	—	290	—	ND~0.3	A	
	〃	11.05.09~11.06.01	—	—	—	—	—	1.5 ^{*1}	—	—	—	170				
	〃	11.06.01~11.07.04	—	—	—	—	—	0.6 ^{*1}	—	—	—	130				
	〃	11.07.04~11.08.01	—	—	—	—	—	0.4 ^{*1}	—	—	—	140				
	〃	11.08.01~11.09.06	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	—	140				
	〃	11.09.06~11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120				
	〃	11.10.03~11.11.08	—	—	—	—	—	0.1 ^{*1}	—	—	—	150				
	〃	11.11.08~11.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	410				
	〃	11.12.05~12.01.10	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	880				
	〃	12.01.10~12.02.06	—	—	—	—	—	0.4 ^{*1}	—	—	—	560				
	〃	12.02.06~12.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300				
	〃	12.03.06~12.04.02	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	280				

過去実績：2008~2010年度

(注) *1：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.182~p.185のとおり。

(注) *2：対照地区原目町（福井分析管理室）11.04.04~11.05.09採取試料より、上記以外の人工放射性核種が検出された。詳細はp.185のとおり。

第21表 核種分析結果 その9 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取	目的核種				参考核種		過去実績		機
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe	¹³⁴ Cs	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石沖	海水	11.08.05	—	—	—	2.1	—	—	—	1.9~2.1	B
	〃	〃	12.02.06	—	—	—	1.6	—	—	—	—	B
	2号放水口	〃	11.04.13	—	—	—	2.2	—	—	—	ND~2.2	A
	〃	〃	11.08.05	—	—	—	1.8	—	—	—	—	B
	〃	〃	11.10.21	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	12.02.06	—	—	—	1.6	—	—	—	—	B
	ふげん放水口	〃	11.04.13	—	—	—	1.9	—	—	—	ND~2.4	A
	〃	〃	11.09.08	—	—	—	1.5	—	—	—	—	D
白木	〃	〃	11.10.21	—	—	—	1.8	—	—	—	—	A
	〃	〃	12.03.06	—	—	—	1.5	—	—	—	—	D
	もんじゅ放水口	〃	11.04.13	—	—	—	2.2	—	—	—	ND~2.1	A
	〃	〃	11.08.09	—	—	—	1.5	—	—	—	—	D
	〃	〃	11.10.20	—	—	—	1.1	—	—	—	—	A
	〃	〃	12.02.14	—	—	—	2.1	—	—	—	—	D
美浜	白木漁港	〃	11.08.09	—	—	—	1.4	—	—	—	1.2~1.9	D
	〃	〃	12.02.14	—	—	—	1.7	—	—	—	—	D
	1, 2号放水口	〃	11.04.13	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	11.05.11	—	—	—	1.7	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.10.20	—	—	—	1.6	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.11.09	—	—	—	1.9	—	—	—	—	C
	〃	〃	12.02.06	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	3号放水口	〃	11.04.13	—	—	—	1.7	—	—	—	ND~2.6	A
	〃	〃	11.05.11	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.08.03	—	—	—	1.7	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.10.20	—	—	—	1.6	—	—	—	—	A
大飯	〃	〃	11.11.09	—	—	—	2.0	—	—	—	—	C
	〃	〃	12.02.06	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	放水口	〃	11.04.12	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~2.0	A
	〃	〃	11.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.10.19	—	—	—	—	—	—	—	—	A
高浜	〃	〃	11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	12.02.06	—	—	—	2.5	—	—	—	—	C
	1, 2号放水口	〃	11.04.12	—	—	—	2.2	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	11.05.10	—	—	—	3.1	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.10.19	—	—	—	1.8	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	12.02.20	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	3, 4号放水口	〃	11.04.12	—	—	—	2.2	—	—	—	ND~2.2	A
	〃	〃	11.05.10	—	—	—	2.4	—	—	—	—	C
対照	〃	〃	11.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	11.10.19	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	2.0	—	—	—	—	C
	〃	〃	12.02.20	—	—	—	1.7	—	—	—	—	C
福井市小丹生町	〃	〃	11.04.06	—	—	—	2.5	—	—	—	ND~1.8	A
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	1.5	—	—	—	—	A

過去実績：2008~2010年度

第22表 核種分析結果 その10 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	1号放水口	砂・泥	11.10.21	—	—	—	—	—	—	4.6	1400	50	30	—	ND~1.9	A
	〃	〃	11.08.05	—	—	—	1.6	—	—	—	1400	75	39	—	—	B
	〃	〃	12.02.06	—	—	—	1.4	—	—	—	1500	77	39	—	—	B
	明神崎F	砂	11.10.06	—	—	—	—	—	—	4.9	1200	19	15	—	ND~0.3	A
	浦底湾口	泥	11.10.21	—	—	—	3.3	—	—	—	720	58	32	—	3.1~3.5	A
	立石	砂	〃	—	—	—	—	—	—	—	1000	65	29	—	—	A
	〃	〃	11.06.07	—	—	—	—	—	—	—	1000	46	21	—	—	D
	〃	〃	11.09.08	—	—	—	—	—	—	—	990	39	21	—	—	D
	〃	〃	11.12.07	—	—	—	—	—	—	8.6	970	34	18	—	—	D
	〃	〃	12.03.06	—	—	—	—	—	—	7.4	1000	73	30	—	—	D
	2号放水口	〃	11.04.13	—	—	—	—	—	—	3.1	830	18	14	—	—	A
	〃	砂・泥	11.10.21	—	—	—	—	—	—	6.5	730	15	12	—	—	A
	〃	砂	11.05.12	—	—	—	—	—	—	4.1	1100	27	16	—	—	B
	〃	〃	11.08.05	—	—	—	—	—	—	—	1000	19	13	—	—	B
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	—	—	—	6.4	950	17	12	—	—	B
	〃	〃	12.02.06	—	—	—	—	—	—	6.4	1100	21	15	—	—	B
	2号放水口沖	〃	11.05.12	—	—	—	—	—	—	—	1100	66	27	—	—	B
	〃	〃	11.08.05	—	—	—	—	—	—	4.5	1100	28	16	—	—	B
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	870	24	19	—	—	B
	〃	〃	12.02.06	—	—	—	—	—	—	5.0	880	28	20	—	—	B
	ふげん放水口	〃	11.11.29	—	—	—	—	—	—	—	780	27	20	—	—	A
	〃	〃	11.06.07	—	—	—	—	—	—	4.0	740	26	18	—	—	D
	〃	〃	11.09.08	—	—	—	—	—	—	14	800	28	17	—	—	D
	〃	〃	11.12.07	—	—	—	—	—	—	7.0	920	25	14	—	—	D
	〃	〃	12.03.06	—	—	—	—	—	—	9.8	900	26	14	—	—	D
	白木	もんじゅ放水口	〃	11.04.13	—	—	—	—	—	—	3.8	1300	17	13	—	—
〃		〃	11.10.20	—	—	—	—	—	—	—	1300	17	14	—	—	A
〃		〃	11.05.11	—	—	—	—	—	—	—	1400	17	12	—	—	D
〃		〃	11.08.09	—	—	—	—	—	—	—	1400	19	12	—	—	D
〃		〃	11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	1400	18	11	—	—	D
〃		〃	12.02.14	—	—	—	—	—	—	—	1300	21	11	—	—	D
もんじゅ放水口沖		〃	11.04.13	—	—	—	—	—	—	5.5	1100	150	44	—	—	A
〃		〃	11.10.20	—	—	—	—	—	—	—	1100	130	40	—	—	A
もんじゅ放水口東		〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	1200	27	17	—	—	A
もんじゅ取水口		〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	1300	36	18	—	—	A
白木漁港		〃	11.05.11	—	—	—	—	—	—	—	1400	19	14	—	—	D
〃		〃	11.08.09	—	—	—	—	—	—	3.9	1400	21	14	—	—	D
〃		〃	11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	1400	31	15	—	—	D
〃		〃	12.02.14	—	—	—	—	—	—	—	1300	18	13	—	—	D
門ヶ崎	〃	11.10.20	—	—	—	—	—	—	—	1000	29	20	—	—	A	
美浜	1, 2号放水口	泥	11.04.13	—	—	—	—	—	—	17	700	34	16	—	ND~0.3	A
	〃	砂・泥	11.10.20	—	—	—	—	—	—	7.4	710	42	19	—	—	A
	〃	砂	11.04.07	—	—	—	—	—	—	42	730	79	27	—	—	C
	〃	〃	11.07.07	—	—	—	—	—	—	9.6	740	100	31	—	—	C
	〃	〃	11.10.06	—	—	—	—	—	—	5.5	700	43	20	—	—	C

過去実績：2008~2010年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第22表 核種分析結果 その10 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	1, 2号放水口	砂	12.01.13	—	—	—	—	—	—	25	720	57	22	—	ND~0.3	C
	1, 2号放水口沖	〃	11.10.20	—	—	—	—	—	—	4.6	1200	120	60	—	—	A
	〃	〃	11.04.07	—	—	—	—	—	—	8.9	1200	47	23			C
	〃	〃	11.07.07	—	—	—	—	—	—	6.4	1200	57	28			C
	〃	〃	11.10.06	—	—	—	—	—	—	—	1200	69	35			C
	〃	〃	12.01.13	—	—	—	—	—	—	—	930	23	15			C
	3号放水口	〃	11.04.07	—	—	—	—	—	—	—	890	31	19	—	—	C
	〃	〃	11.07.07	—	—	—	—	—	—	4.1	820	45	20			C
	〃	〃	11.10.06	—	—	—	—	—	—	—	830	41	20			C
	〃	〃	12.01.13	—	—	—	—	—	—	—	870	42	20			C
	3号放水口沖	〃	11.10.20	—	—	—	—	—	—	—	840	40	20	—	—	A
	丹生湾中央	泥	11.04.13	—	—	—	5.7	—	—	25	650	64	28	—	5.7~8.3	A
	〃	〃	11.10.20	—	—	—	5.7	—	—	4.9	640	59	26			A
	〃	〃	11.04.07	—	—	—	6.1	—	—	—	690	61	29			C
	〃	〃	11.07.07	—	—	—	6.2	—	—	—	650	63	28			C
	〃	〃	11.10.06	—	—	—	6.1	—	—	—	650	65	30			C
	〃	〃	12.01.13	—	—	—	6.0	—	—	—	680	64	28			C
	避難港	〃	11.10.20	—	—	—	9.7	—	—	9.9	730	110	40	—	8.2~8.8	A
丹生湾奥	砂	〃	—	—	—	0.7	—	—	3.9	1300	43	28	—	ND~3.0	A	
美浜発電所取水口	〃	〃	—	—	—	0.5	—	—	5.0	990	43	27	—	—	A	
大飯	放水口	〃	11.04.12	—	—	—	—	—	—	5.4	130	5.0	5.2	—	ND~0.2	A
	〃	〃	11.10.19	—	—	—	0.3	—	—	3.8	160	4.7	4.9			A
	〃	〃	11.04.05	—	—	—	—	—	—	4.2	100	3.7	3.7			C
	〃	〃	11.07.05	—	—	—	—	—	—	3.5	120	4.6	3.5			C
	〃	〃	11.10.04	—	—	—	—	—	—	2.3	140	4.3	3.9			C
	〃	〃	12.01.18	—	—	—	—	—	—	3.8	110	3.4	4.4			C
	放水口沖	〃	11.04.05	—	—	—	—	—	—	3.1	150	6.5	5.8	—	—	C
	〃	〃	11.07.05	—	—	—	—	—	—	3.6	140	5.6	5.0			C
	〃	〃	11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	190	7.1	6.9			C
	〃	〃	12.01.18	—	—	—	—	—	—	5.0	150	5.6	5.2			C
	冠者島横	〃	11.10.19	—	—	—	0.4	—	—	4.2	66	2.7	1.6	—	0.3~1.6	A
西村入江	泥	〃	—	—	—	3.8	—	—	4.6	520	26	16	—	3.9~4.3	A	
高浜	1, 2号放水口	砂	11.04.12	—	—	—	0.7	—	—	7.8	420	19	12	—	0.7~1.4	A
	〃	〃	11.10.19	—	—	—	0.7	—	—	2.9	380	17	12			A
	〃	〃	11.04.06	—	—	—	1.3	—	—	15	510	25	16			C
	〃	〃	11.07.06	—	—	—	0.9	—	—	9.3	480	25	13			C
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	1.0	—	—	30	500	27	14			C
	〃	〃	12.01.17	—	—	—	1.4	—	—	14	450	22	14			C
	3, 4号放水口	泥	11.04.12	—	—	—	0.8	—	—	17	420	24	14	—	ND~1.2	A
	〃	砂・泥	11.10.19	—	—	—	0.8	—	—	6.2	430	24	14			A
	〃	砂	11.04.06	—	—	—	0.6	—	—	4.2	380	20	12			C
	〃	〃	11.07.06	—	—	—	—	—	—	5.3	490	23	14			C
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	0.6	—	—	15	440	25	15			C
〃	〃	12.01.17	—	—	—	0.9	—	—	20	450	22	12	C			
放水口沖	砂・泥	11.10.19	—	—	—	1.3	—	—	6.6	370	15	10	—	1.1~2.7	A	

過去実績：2008~2010年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第22表 核種分析結果 その10 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	放水口沖	泥	11.04.06	—	—	—	1.2	—	—	—	360	16	10	—	1.1~2.7	C
	〃	砂	11.07.06	—	—	—	1.3	—	—	—	370	16	10			C
	〃	泥	11.10.05	—	—	—	1.6	—	—	—	360	16	10			C
	〃	〃	12.01.17	—	—	—	1.2	—	—	—	390	15	10			C
	旧内浦港口ブイ	砂	11.10.19	—	—	—	—	—	—	2.7	530	11	8.6	—	ND~1.9	A
	神野浦	〃	〃	—	—	—	0.6	—	—	3.8	250	8.4	5.6	—	0.6~0.7	A
	白井入江	砂・泥	〃	—	—	—	0.9	—	—	9.4	250	9.8	7.5	—	0.7~1.2	A
	音海	泥	〃	—	—	—	1.9	—	—	3.1	440	19	14	—	1.0~3.9	A

過去実績：2008～2010年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第23表 核種分析結果 その11 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種								参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs					
					—	—	—	—	/	—	—	—	—	—	—	—					
敦賀	立石岬	メジナ	肉	11.04.03	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	100	18	188	—	ND~0.2	A		
	立石漁港	ナマコ	全身	〃	—	—	—	—	/	—	—	—	1.2	23	17	141	—	ND~0.2	A		
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	肉	11.06.01	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	130	40	1432	—	ND~0.2	A		
	〃	〃	〃	11.09.06	—	—	—	—	/	0.4*	—	—	—	130	41	2199	—	ND~0.2	A		
	立石漁港	カマス	全身	11.10.06	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	19	42	—	ND~0.2	A		
	〃	サワラ	肉	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	150	38	465	—	ND~0.2	A		
	立石沖	アジ	全身	11.10.18	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	10	12	—	ND~0.2	D		
	〃	ハマチ	肉	〃	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	150	34	500	—	ND~0.2	B		
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	〃	11.12.07	—	—	—	—	/	0.5*	—	—	—	130	35	1379	—	ND~0.2	A		
	〃	〃	〃	12.03.08	—	—	—	—	/	0.8*	—	—	—	130	32	1091	—	ND~0.2	A		
	立石漁港	サザエ	除殻	11.06.11	—	—	—	—	/	—	—	—	3.7	67	—	99	—	ND~0.0	A		
	ふげん放水口	〃	〃	11.06.15	—	—	—	—	/	—	—	—	6.2	83	—	66	—	ND~0.0	A		
	えりヶ崎	〃	〃	11.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	4.3	66	—	100	—	ND~0.0	A		
	立石沖	〃	〃	11.07.08	—	—	—	—	/	—	—	—	5.0	94	—	100	—	ND~0.0	B		
	立石岬	ワカメ	除根	11.04.06	—	—	—	—	0.2	—	—	—	2.4	200	—	—	—	—	—	A	
	立石漁港	〃	〃	11.05.06	—	—	—	—	—	0.1*	—	—	—	2.1	220	—	—	—	—	A	
	立石沖	〃	〃	11.05.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6	220	—	—	—	—	B	
	えりヶ崎	〃	〃	11.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	150	—	—	—	—	A	
白木	アジゴ崎	カレイ	全身	11.04.15	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	28	212	—	0.0~0.3	A		
	門ヶ崎	ブリ	肉	11.04.18	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	130	35	822	—	0.0~0.3	A		
	白木沖	トビウオ	全身	11.07.05	—	—	—	—	/	0.0	—	—	—	110	19	95	—	0.0~0.3	D		
	もんじゅ放水口沖	ブリ	肉	11.10.04	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	130	25	325	—	0.0~0.3	A		
	〃	サワラ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	38	504	—	0.0~0.3	A		
	白木沖	アジ	全身	11.10.13	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	11	14	—	0.0~0.3	D		
	アジゴ崎	サザエ	除殻	11.06.19	—	—	—	—	/	—	—	—	3.2	57	—	80	—	ND~0.0	A		
	門ヶ崎	〃	〃	11.06.20	—	—	—	—	/	—	—	—	3.9	65	—	53	—	ND~0.0	A		
	サビ崎	〃	〃	11.07.05	—	—	—	—	/	—	—	—	3.2	61	—	64	—	ND~0.0	A		
	白木沿岸	〃	〃	11.08.22	—	—	—	—	/	—	—	—	2.9	59	—	49	—	ND~0.0	D		
	松ヶ崎	ワカメ	除根	11.04.02	—	—	—	—	0.4	—	—	—	3.8	230	—	—	—	—	—	A	
	白木沿岸	〃	〃	11.04.11	—	—	—	—	0.2	—	—	—	1.7	190	—	—	—	—	—	D	
	松ヶ崎	〃	〃	11.05.10	—	—	—	—	—	0.1*	—	—	—	2.6	210	—	—	—	—	A	
	アジゴ崎	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	0.1*	—	—	—	2.2	220	—	—	—	—	A	
美浜	1, 2号放水口沖	フグ	全身	11.04.05	—	—	—	—	/	0.0	—	—	—	1.1	81	17	212	—	0.0~0.1	A	
	3号放水口沖	スルメイカ	〃	11.04.13	—	—	—	—	/	—	—	—	0.5	120	11	19	—	0.0~0.1	A		
	1, 2号放水口	アジ	〃	11.06.13	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	100	17	47	—	0.0~0.1	C		
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	100	17	47	—	0.0~0.1	C		
	1, 2号放水口沖	〃	〃	11.07.07	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	6	4	—	0.0~0.1	A		
	〃	〃	〃	11.10.04	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	8	9	—	0.0~0.1	A		
	〃	カマス	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	21	70	—	0.0~0.1	A		
	1, 2号放水口	アジ	〃	11.10.13	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	11	15	—	0.0~0.1	C		
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	9	11	—	0.0~0.1	C		
	3号放水口付近	サザエ	除殻	11.06.16	—	—	—	—	/	—	—	—	4.8	77	—	56	—	ND~0.0	A		
	3号放水口沖	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	5.0	74	—	69	—	ND~0.0	A	

過去実績：2008~2010年度

(注1) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

(注2) *：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.186~p.187のとおり。

(注3) 各地区の貝類（サザエ、アワビ）および高浜地区のスルメイカよりAg-110mが検出された。詳細はp.186~p.187のとおり。

第23表 核種分析結果 その11 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K			⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	あご越	サザエ	除殻	11.07.06	-	-	-	-	/	-	-	-	4.7	66		67	-	ND~0.0	A
	1, 2号放水口	"	"	11.07.10	-	-	-	-	/	-	-	-	7.0	100		52			C
	3号放水口	"	"	"	-	-	-	-	/	-	-	-	8.7	100		77			C
	竹波	ワカメ	除根	11.04.05	-	-	-	-	0.3	-	-	-	4.1	200			-	-	A
	3号放水口付近	"	"	11.05.10	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	190					A
	1, 2号放水口沖	"	"	12.02.07	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	310					A
	1, 2号放水口	"	"	12.03.30	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	160					C
	3号放水口	"	"	"	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	130					C
大飯	髷島	スズキ	肉	11.04.06	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	31	304	-	0.0~0.2	A
	"	スルメイカ	全身	"	-	-	-	-	/	-	-	-	0.9	120	8	10			A
	放水口	アジ	肉	11.07.12	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	27	177			C
	髷島	"	全身	11.10.08	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	11	21			A
	"	アカイカ	"	"	-	-	-	-	/	0.0	-	-	-	96	10	48			A
	放水口	カワハギ	肉	11.10.12	-	-	-	-	/	-	-	-	-	140	22	187			C
	台場浜	サザエ	除殻	11.06.16	-	-	-	-	/	0.0	-	-	4.5	67		47	-	ND~0.0	A
	"	アワビ	"	"	-	-	-	-	/	0.0	-	-	5.1	63		75			A
	鋸崎	サザエ	"	11.07.05	-	-	-	-	/	-	-	-	4.1	55		61			A
	放水口	"	"	11.07.07	-	-	-	-	/	-	-	-	4.8	83		87			C
	黒崎	ワカメ	除根	11.04.06	-	-	-	-	0.5	-	-	-	6.5	180			-	-	A
	台場浜	モズク	全体	11.05.09	-	-	-	-	0.5	0.0*	-	-	1.4	50					A
	黒崎	ワカメ	除根	"	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	230					A
	放水口	"	"	12.03.27	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	120					C
高浜	取水口	スルメイカ	全身	11.04.24	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.4	120	10	22	-	0.0~0.2	A
	"	クサフグ	"	11.04.26	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.2	92	12	74			A
	内浦湾	アジ	肉	11.06.14	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	28	260			C
	小黒飯漁港	カワハギ	全身	11.10.02	-	-	-	-	/	0.0	-	-	1.6	87	10	27			A
	内浦湾	アジ	肉	11.10.15	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	140	20	73			C
	小黒飯漁港	メジナ	"	11.10.19	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	23	503			A
	釈迦浜	サザエ	除殻	11.06.17	-	-	-	-	/	-	-	-	2.7	62		117	-	ND~0.0	A
	宮尾	"	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	14	66		115			A
	神野浦	"	"	11.07.04	-	-	-	-	/	-	-	-	5.8	54		119			A
	内浦湾	"	"	11.07.12	-	-	-	-	/	-	-	-	3.2	59		117			C
	小黒飯漁港前	ワカメ	除根	11.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	260			-	-	A
	取水口	"	"	11.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	210					A
	内浦湾	"	"	12.03.20	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	160					C
	小黒飯漁港	"	"	12.03.26	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	200					A
対照	河野沖	ハマチ	肉	11.05.16	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	130	37	712	-	0.1~0.3	A
	"	クロダイ	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	42	1512			A
	越廼(栞崎)	ハマチ	"	11.10.06	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	34	672			A
	福井市鮎川	サザエ	除殻	11.06.05	-	-	-	-	/	-	-	-	4.7	69		94	-	-	A
	河野沖	ワカメ	除根	11.05.07	-	-	-	-	0.2	-	-	-	1.6	240			-	-	A
	"	モズク	全体	11.05.15	-	-	-	-	0.2	-	-	-	3.1	110					A

過去実績：2008~2010年度

第24表 核種分析結果 その12 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	明神崎F	ホンダワラ	11.05.12	—	—	—	—	0.3	—	—	—	—	16	300	—	ND~0.1	B
	〃	〃	11.11.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	250	—	—	A
	水島	〃	11.05.12	—	—	—	—	0.8	—	—	—	—	6.7	360	—	—	B
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7	320	—	—	B
	釜谷元川河口	〃	11.05.12	—	—	—	—	0.3	—	—	—	—	11	340	—	ND~0.1	B
	〃	〃	11.11.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	300	—	—	A
	立石	〃	11.05.12	—	—	—	—	0.3	—	—	—	—	16	310	—	—	B
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	250	—	—	B
	2号放水口	〃	11.05.12	—	—	—	—	0.9	—	—	—	—	5.5	300	—	—	B
	〃	〃	11.06.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7	320	—	—	A
	〃	〃	11.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.9	240	—	—	B
	〃	〃	11.09.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7	170	—	—	A
	〃	〃	11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0	290	—	—	B
	〃	〃	11.11.29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9	310	—	—	A
	〃	〃	12.02.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	370	—	—	B
	〃	〃	12.03.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	250	—	—	A
	ふげん放水口	〃	11.05.11	—	—	—	—	0.5	—	—	—	—	11	260	—	—	D
	〃	〃	11.06.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	250	—	—	A
	〃	〃	11.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	220	—	—	D
	〃	〃	11.09.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	200	—	—	A
〃	〃	11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2	360	—	—	D	
〃	〃	11.11.29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	320	—	—	A	
〃	〃	12.01.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	250	—	—	D	
〃	〃	12.03.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	220	—	—	A	
白木	松ヶ崎	〃	11.04.27	—	—	—	—	5.1	—	—	—	—	3.2	260	—	—	D
	〃	〃	11.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.1	340	—	—	A
	〃	〃	11.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	160	—	—	D
	〃	〃	11.09.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	210	—	—	A
	〃	〃	11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2	200	—	—	D
	〃	〃	11.11.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0	250	—	—	A
	〃	〃	12.01.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6	300	—	—	D
	〃	〃	12.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	220	—	—	A
美浜	1, 2号放水口	〃	11.04.07	—	—	—	—	0.8	—	—	—	—	8.7	210	—	ND~0.1	C
	〃	〃	11.06.14	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	56	230	—	—	A
	〃	〃	11.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	270	—	—	C
	〃	〃	11.09.16	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	11	230	—	—	A
	〃	〃	11.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	300	—	—	C
	〃	〃	11.11.29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	340	—	—	A
	〃	〃	12.01.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0	360	—	—	C
	〃	〃	12.03.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.8	270	—	—	A

過去実績：2008~2010年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第24表 核種分析結果 その12 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関	
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
美浜	3号放水口	ホンダワラ	11.04.07	—	—	—	—	0.5	—	—	—	—	15	260	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	11.06.14	—	—	—	—	—	—	—	—	8.1	270	A				
	〃	〃	11.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	240	C				
	〃	〃	11.09.16	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	200	A				
	〃	〃	11.10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	320	C				
	〃	〃	11.11.29	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	350	A				
	〃	〃	12.01.13	—	—	—	—	—	—	—	—	13	400	C				
	〃	〃	12.03.23	—	—	—	—	—	—	—	—	9.9	290	A				
大飯	放水口	〃	11.04.05	—	—	—	—	1.0	—	—	—	5.8	210	—	—	C		
	〃	〃	11.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1	290			C		
	〃	〃	11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	310			C		
	〃	〃	12.01.18	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	340			C		
	台場浜	〃	11.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	17	330	—	ND~0.0	A		
	〃	〃	11.09.16	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	250			A		
	〃	〃	11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7	280			A		
	〃	〃	12.03.07	—	—	—	—	—	—	—	—	20	220			A		
高浜	釈迦浜	〃	11.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8	250	/	/	A		
	〃	〃	11.09.15	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0	250			A		
	3, 4号放水口	〃	11.04.06	—	—	—	—	0.7	—	—	—	3.0	190	—	—	C		
	〃	〃	11.07.06	—	—	—	—	—	0.1	—	—	31	220			C		
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0	290			C		
	〃	〃	12.01.17	—	—	—	—	—	—	—	—	8.8	310			C		
	神野浦	〃	11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9	320			—	ND~0.3	A
	〃	〃	12.03.07	—	—	—	—	—	0.1	—	—	24	210					A
	音海	〃	11.04.06	—	—	—	—	0.2	—	—	—	8.6	280	—	—	C		
	〃	〃	11.07.06	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5	300			C		
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	250			C		
	〃	〃	12.01.17	—	—	—	—	—	—	—	—	9.0	280			C		
	貯木場	〃	11.04.06	—	—	—	—	1.0	—	—	—	3.2	180			/	/	C
	〃	〃	11.07.06	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	320					C
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1	240	C				
	〃	〃	12.01.17	—	—	—	—	—	—	—	—	13	230	C				
	へたヶ崎	〃	11.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	21	240	—	—	A		
	〃	〃	11.09.15	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	320			A		
〃	〃	11.11.09	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	280	A					
〃	〃	12.03.07	—	—	—	—	—	—	—	—	10	220	A					
対照	福井市小丹生町	〃	11.04.06	—	—	—	—	0.4	—	—	—	11	220	—	—	A		
	〃	〃	11.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	290			A		
	〃	〃	11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	—	9.6	300			A		
	〃	〃	12.01.13	—	—	—	—	—	—	—	—	17	320			A		

過去実績：2008~2010年度

第25表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	水道水	11.06.02	0.6	0.6～1.6	A
		〃	11.09.07	1.0		
		〃	11.12.07	1.1		
		〃	12.03.08	1.1		
	浦底（明神寮）	〃	11.04.05	0.9	0.9～1.2	B
		〃	11.07.05	1.1		
		〃	11.10.03	1.0		
		〃	12.01.04	1.0		
白木	白木（民家）	〃	11.05.10	0.5	ND～1.5	D
		〃	11.06.02	0.7		A
		〃	11.08.04	—		D
		〃	11.09.07	0.6		A
		〃	11.11.08	0.5		D
		〃	11.12.07	0.7		A
		〃	12.02.09	0.7		D
		〃	12.03.08	1.5		A
美浜	丹生（漁協飼料保管解凍施設横）	〃	11.08.01	1.3	1.0～1.8	C
		〃	12.02.01	1.4		
	丹生（民家）	〃	11.06.02	1.2	0.9～1.6	A
		〃	11.09.07	1.3		
		〃	11.12.07	0.8		
大飯	宮留（民家）	〃	11.06.01	0.6	ND～1.5	A
		〃	11.08.02	0.8		C
		〃	11.09.06	0.7		A
		〃	11.12.06	—		
		〃	12.02.03	0.7		C
		〃	12.03.07	1.0		A
高浜	音海（民家）	〃	11.06.01	—	ND～1.6	A
		〃	11.09.06	1.0		
		〃	11.12.06	0.7		
		〃	12.03.07	0.8		

過去実績：2008～2010年度

（注）計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（—、またはND）とした。

第25表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小黒飯（民家）	水道水	11.08.02	0.8	0.6～1.5	C
		〃	12.02.03	0.4		
	神野浦（民家）	〃	11.08.02	0.6	0.6～0.7*	C
		〃	12.02.10	0.8		
対照	原目町（福井分析管理室）	〃	11.06.09	0.6	ND～0.9	A
		〃	11.09.06	—		
		〃	11.12.08	—		
		〃	12.03.12	0.5		

過去実績：2008～2010年度

（注）＊：2010年度より測定を開始したため、過去実績は2010年度のみ。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	立石A	11.04.04～11.05.02	1.5	0.9～3.6	D
		11.05.02～11.06.06	1.5		
		11.06.06～11.07.04	2.8		
		11.07.04～11.08.01	4.4		
		11.08.01～11.09.05	1.9		
		11.09.05～11.10.03	2.6		
		11.10.03～11.11.07	3.5		
		11.11.07～11.12.05	2.0		
		11.12.05～12.01.04	4.0		
		12.01.04～12.02.06	3.4		
		12.02.06～12.03.05	2.9		
		12.03.05～12.04.02	2.6		
猪ヶ池B	猪ヶ池B	11.04.04～11.05.06	4.7	2.4～13	D
		11.05.06～11.06.02*	3.7*		
		11.06.02～11.07.01	4.1		
		11.07.01～11.08.01	17		
		11.08.01～11.09.01	8.3		
		11.09.01～11.10.05	6.2		
		11.10.05～11.11.04	9.1		
		11.11.04～11.12.02	10		
		11.12.02～12.01.06	12		
		12.01.06～12.02.01	10		
		12.02.01～12.03.02	10		
		12.03.02～12.04.04	9.8		
浦底A	浦底A	11.04.07～11.05.11	1.4	1.3～8.9	A
		11.05.11～11.06.02	1.5		
		11.06.02～11.07.07	3.0		
		11.07.07～11.08.04	3.5		
		11.08.04～11.09.07	3.2		
		11.09.07～11.10.06	6.3		
		11.10.06～11.11.10	7.6		
		11.11.10～11.12.07	7.3		
		11.12.07～12.01.13	6.0		
		12.01.13～12.02.08	5.9		
		12.02.08～12.03.08	5.5		
12.03.08～12.04.05	4.6				

過去実績：2008～2010年度

(注1) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

(注2) *：敦賀地区(猪ヶ池B)の5月分については、未採取期間があったため参考値とする。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底B	11.04.04～11.05.06	2.0	1.5～7.5	B
		11.05.06～11.06.02	1.9		
		11.06.02～11.07.01	2.1		
		11.07.01～11.08.01	3.3		
		11.08.01～11.09.01	2.6		
		11.09.01～11.10.05	3.3		
		11.10.05～11.11.04	4.5		
		11.11.04～11.12.02	6.2		
		11.12.02～12.01.06	5.8		
		12.01.06～12.02.01	9.4		
	12.02.01～12.03.02	5.8			
	12.03.02～12.04.04	5.1			
	色ヶ浜B	11.04.04～11.05.06	1.6	1.4～4.2	B
		11.05.06～11.06.02	1.5		
		11.06.02～11.07.01	1.6		
		11.07.01～11.08.01	2.5		
		11.08.01～11.09.01	2.3		
		11.09.01～11.10.05	2.5		
		11.10.05～11.11.04	3.3		
		11.11.04～11.12.02	3.3		
11.12.02～12.01.06		3.1			
12.01.06～12.02.01		3.3			
12.02.01～12.03.02	3.8				
12.03.02～12.04.04	3.1				
白木	白木A	11.04.06～11.05.11	1.3	0.9～3.3	A
		11.05.11～11.06.02	1.7		
		11.06.02～11.07.06	2.4		
		11.07.06～11.08.04	1.4		
		11.08.04～11.09.07	1.9		
		11.09.07～11.10.05	1.5		
		11.10.05～11.11.10	1.2		
		11.11.10～11.12.07	1.3		
		11.12.07～12.01.12	2.2		
		12.01.12～12.02.08	4.4		
	12.02.08～12.03.08	3.2			
	12.03.08～12.04.05	1.9			
	白木峠A	11.04.04～11.05.02	1.7	1.3～4.2	D
		11.05.02～11.06.06	3.3		
		11.06.06～11.07.04	3.7		
		11.07.04～11.08.01	2.1		
		11.08.01～11.09.05*	2.1*		
		11.09.05～11.10.03	2.1		
		11.10.03～11.11.07	2.3		
		11.11.07～11.12.05	2.4		
11.12.05～12.01.04		2.0			
12.01.04～12.02.06		3.7			
12.02.06～12.03.05	4.2				
12.03.05～12.04.02	2.8				

過去実績：2008～2010年度

(注) *：白木地区（白木峠A）の8月分については、未採取期間があったため参考値とする。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
美浜	竹波A	11.04.06～11.05.11	1.9	1.5～5.6	A
		11.05.11～11.06.02	3.7		
		11.06.02～11.07.06	2.8		
		11.07.06～11.08.04	1.6		
		11.08.04～11.09.07	2.4		
		11.09.07～11.10.05	2.7		
		11.10.05～11.11.10	2.5		
		11.11.10～11.12.07	2.4		
		11.12.07～12.01.12	2.1		
		12.01.12～12.02.08	3.5		
		12.02.08～12.03.08	3.1		
	12.03.08～12.04.04	2.8			
	竹波（落合川取水場）	11.04.05～11.05.06	1.6	1.3～10	C
		11.05.06～11.06.01	3.1		
		11.06.01～11.07.01	2.3		
		11.07.01～11.08.01	2.5		
		11.08.01～11.09.01	1.8		
		11.09.01～11.10.03	1.7		
		11.10.03～11.11.01	1.8		
		11.11.01～11.12.01	2.5		
11.12.01～12.01.04		3.5			
12.01.04～12.02.01		6.5			
12.02.01～12.03.01		6.1			
12.03.01～12.04.02	3.9				
大飯	宮留A	11.04.06～11.05.10	4.0	3.8～12	A
		11.05.10～11.06.01	4.9		
		11.06.01～11.07.06	4.2		
		11.07.06～11.08.03	3.6		
		11.08.03～11.09.06	7.1		
		11.09.06～11.10.05	9.1		
		11.10.05～11.11.09	7.0		
		11.11.09～11.12.06	6.8		
		11.12.06～12.01.12	7.9		
		12.01.12～12.02.07	7.0		
		12.02.07～12.03.07	7.1		
	12.03.07～12.04.04	8.1			
	日角浜	11.04.04～11.05.09	2.4	2.1～6.0	C
		11.05.09～11.06.02	2.1		
		11.06.02～11.07.04	1.8		
		11.07.04～11.08.02	1.8		
		11.08.02～11.09.02	3.6		
		11.09.02～11.10.04	2.8		
		11.10.04～11.11.02	3.3		
		11.11.02～11.12.02	3.1		
11.12.02～12.01.05		3.5			
12.01.05～12.02.03		7.2			
12.02.03～12.03.02		3.2			
12.03.02～12.04.03	3.3				

過去実績：2008～2010年度

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小黒飯A	11.04.05～11.05.10	16	10～39	A
		11.05.10～11.06.01	12		
		11.06.01～11.07.05	12		
		11.07.05～11.08.03	11		
		11.08.03～11.09.06	24		
		11.09.06～11.10.04	32		
		11.10.04～11.11.09	18		
		11.11.09～11.12.06	18		
		11.12.06～12.01.12	34		
		12.01.12～12.02.07	20		
		12.02.07～12.03.07	30		
		12.03.07～12.04.04	21		
神野浦		11.04.04～11.05.09	5.1	0.7～12	C
		11.05.13～11.06.02*	5.8*		
		11.06.02～11.07.04	5.1		
		11.07.04～11.08.02	6.6		
		11.08.02～11.09.02	9.4		
		11.09.02～11.10.04	10		
		11.10.04～11.11.02	6.0		
		11.11.02～11.12.02	8.4		
		11.12.02～12.01.05	3.0		
		12.01.05～12.02.03	3.0		
		12.02.03～12.03.02	7.2		
		12.03.02～12.04.03	4.7		
対照	原目町（福井分析管理室）	11.04.06～11.05.09	—	ND～1.2	A
		11.05.09～11.06.01	—		
		11.06.01～11.07.04	—		
		11.07.04～11.08.02	—		
		11.08.02～11.09.06	1.0		
		11.09.06～11.10.03	0.6		
		11.10.03～11.11.08	—		
		11.11.08～11.12.05	—		
		11.12.05～12.01.10	0.8		
		12.01.10～12.02.06	0.8		
		12.02.06～12.03.06	0.5		
		12.03.06～12.04.02	—		

過去実績：2008～2010年度

(注) *：高浜地区（神野浦）の5月分については、未採取期間（11.05.09～11.05.13）があったため、参考値とする。

第27表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	11.04.07～11.07.07	1.0	1.3～6.2	A
		11.07.07～11.10.06	3.8		
		11.10.06～12.01.13	4.5		
		12.01.13～12.04.05	3.8		
	浦底（明神寮）	11.04.01～11.07.01	1.3	1.2～4.9	B
		11.07.01～11.10.03	2.4		
		11.10.03～12.01.04	2.9		
		12.01.04～12.04.02	2.8		
白木	松ヶ崎（機構Mステーション）	11.04.06～11.07.06	1.0	0.6～1.9	A
		11.07.06～11.10.05	1.4		
		11.10.05～12.01.12	0.8		
		12.01.12～12.04.05	1.9		
		11.04.01～11.07.01	1.0	D	
		11.07.01～11.10.03	1.0		
		11.10.03～12.01.05	0.8		
		12.01.05～12.04.02	1.2		
美浜	竹波（落合川取水場）	11.04.06～11.07.06	1.1	1.1～2.9	A
		11.07.06～11.10.05	1.2		
		11.10.05～12.01.12	1.8		
		12.01.12～12.04.04	3.4		
	丹生（関電丹生寮）	11.04.05～11.07.01	1.2	1.0～3.8	C
		11.07.01～11.10.03	1.1		
		11.10.03～12.01.04	1.4		
		12.01.04～12.04.02	3.2		
大飯	宮留（県テレメ観測局）	11.04.06～11.07.06	3.1	2.2～7.7	A
		11.07.06～11.10.05	3.8		
		11.10.05～12.01.12	3.3		
		12.01.12～12.04.04	3.9		
	日角浜（ヴィラ大島）	11.04.04～11.07.04	1.5	1.2～4.0	C
		11.07.04～11.10.04	3.5		
		11.10.04～12.01.05	1.3		
		12.01.05～12.04.03	2.7		
高浜	小黒飯（県テレメ観測局）	11.04.05～11.07.05	5.1	4.9～9.1	A
		11.07.05～11.10.04	6.3		
		11.10.04～12.01.12	6.7		
		12.01.12～12.04.04	7.7		
	小和田（小和田ポンプ所）	11.04.04～11.07.04	0.9	0.6～2.4	C
		11.07.04～11.10.04	1.1		
		11.10.04～12.01.05	0.7		
		12.01.05～12.04.03	0.8		
対照	原目町（福井分析管理室）	11.04.04～11.07.04	—	ND～0.8	A
		11.07.04～11.10.03	0.6		
		11.10.03～12.01.10	—		
		12.01.10～12.04.02	0.9		

過去実績：2008～2010年度

第28表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
敦賀	敦賀発電所2号放水口	海水	11.04.13	—	ND~14	A	
		〃	11.05.12	0.8		B	
		〃	11.08.05	1.5			
		〃	11.10.21	50		A	
		〃	11.11.10	0.8		B	
		〃	12.02.06	0.7			
		〃	12.03.06	0.7		D	
	ふげん放水口	〃	11.04.13	0.6	ND~1100	A	
		〃	11.06.07	1.5		D	
		〃	11.08.05	0.8		B	
		〃	11.09.08	0.5		D	
		〃	11.10.21	38		A	
		〃	11.12.07	—		D	
		〃	12.03.06	1.0			
	敦賀発電所2号・ふげん放水口周辺	〃	11.04.13	0.6	/	A	
		〃	11.08.05	0.6		B	
		〃	11.10.21	5.2		A	
		〃	12.03.06	—		D	
	白木	もんじゅ放水口	〃	11.04.13	0.6	ND~1.4	A
			〃	11.05.11	0.8		D
			〃	11.08.09	1.3		
〃			11.10.20	—	A		
〃			11.11.09	—	D		
〃			12.02.14	0.8			
もんじゅ放水口周辺		〃	11.04.13	1.0	/	A	
		〃	11.08.09	1.1		D	
		〃	11.10.20	—		A	
		〃	12.02.14	1.2		D	
美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	11.04.13	11	ND~5.6	A	
		〃	11.05.11	0.5		C	
		〃	11.08.03	0.6			
		〃	11.10.20	—		A	
		〃	11.11.09	—		C	
		〃	12.02.06	0.6			

過去実績：2008~2010年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第28表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
美浜	美浜発電所3号放水口	海水	11.04.13	11	ND~2.6	A	
		〃	11.05.11	0.5		C	
		〃	11.08.03	0.6			
		〃	11.10.20	—		A	
		〃	11.11.09	—		C	
		〃	12.02.06	0.5			
	美浜発電所放水口周辺	〃	11.04.13	7.8	/	A	
		〃	11.08.03	—		C	
		〃	11.10.20	—		A	
		〃	12.02.06	0.8		C	
	大飯	大飯発電所放水口	〃	11.04.12	—	ND~2.1	A
			〃	11.05.10	0.9		C
			〃	11.08.04	1.6		
			〃	11.10.19	2.1		A
〃			11.11.10	0.5	C		
〃			12.02.06	0.7			
大飯発電所放水口周辺		〃	11.04.12	—	/	A	
		〃	11.08.04	0.9		C	
		〃	11.10.19	1.5		A	
		〃	12.02.06	0.7		C	
高浜		高浜発電所1, 2号放水口	〃	11.04.06	1.6	ND~10	C
			〃	11.04.12	2.1		A
			〃	11.05.10	—		C
			〃	11.07.06	1.2		
	〃		11.08.04	1.2			
	〃		11.10.05	—			
	〃		11.10.19	0.6	A		
	〃		11.11.10	0.4	C		
	〃		12.01.18	4.5			
	〃		12.02.20	0.6			

過去実績：2008~2010年度

第28表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	高浜発電所3, 4号放水口	海水	11.04.06	2.0	ND~3.2	C
		〃	11.04.12	11		A
		〃	11.05.10	6.3		C
		〃	11.07.06	0.8		
		〃	11.08.04	0.9		
		〃	11.10.05	0.4		
		〃	11.10.19	0.6		A
		〃	11.11.10	0.5		C
		〃	12.01.18	2.3		
		〃	12.02.20	0.8		
	高浜発電所放水口沖	〃	11.04.06	6.8	ND~2.7	C
		〃	11.05.10	4.6		
		〃	11.07.06	2.1		
		〃	11.08.04	1.1		
		〃	11.10.05	0.5		
		〃	11.11.10	0.5		
		〃	12.01.18	1.3		
	高浜発電所放水口周辺	〃	11.04.12	10	/	A
		〃	11.08.04	0.9		C
		〃	11.10.19	0.8		A
〃		12.02.20	0.4	C		
対照	福井市小丹生町	〃	11.04.06	—	ND~1.0	A
		〃	11.10.05	—		

過去実績：2008~2010年度

第29表 放射化学分析等による⁹⁰Sr・¹³⁷Cs・²³⁹Pu分析結果

(その1 ストロンチウム-90)

分析機関：A

単位：mBq/kg生

区分	地区	採取地点	種類	採取日	放射能濃度	過去実績
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	11.06.02	190	25 ~ 280
	白木	白木		11.06.02	70	44 ~ 300
	美浜	竹波		11.06.02	190	360 ~ 1100
	大飯	日角浜		11.06.01	120	30 ~ 340
	高浜	小黒飯		11.06.01	390	320 ~ 890
	対照	福井市原目町		11.06.03	170	280 ~ 430
指標海産生物	敦賀	敦賀2号放水口	ホンダワラ	11.06.14	38	52 ~ 94 ^(注2)
	白木	松ヶ崎		11.06.02	29	27 ~ 33
	美浜	美浜1,2号放水口		11.06.14	42	37 ~ 45
	大飯	台場浜		11.06.01	33	28 ~ 56
	高浜	へたが崎		11.06.01	78	31 ^(注3)
	対照	小丹生		11.04.06	49	ND ~ 57

過去実績：2008～2010年度

(注1) -およびNDは、検出限界値未満を示す（以下、同じ）。

(注2) 2009年度より採取地点が変更されたため、過去実績は2009～2010年度の2年分。

(注3) 2010年度より採取地点が変更されたため、過去実績は2010年度のみ。

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	放射能濃度	過去実績
海底土	敦賀	敦賀2号放水口	砂	11.04.13	—	— (注)
		ふげん放水口	砂	11.11.29	—	ND ~ 93
	白木	もんじゅ放水口	砂	11.04.13	—	—
	美浜	美浜1,2号放水口	砂・泥	11.10.20	310	340 ~ 350
		美浜1,2号放水口沖	砂	11.10.20	270	ND ~ 140
		美浜3号放水口沖	砂	11.10.20	—	—
	大飯	大飯放水口	砂	11.10.19	230	120 ~ 270
	高浜	高浜1,2号放水口	砂	11.04.12	800	790 ~ 840
高浜3,4号放水口		泥	11.04.12	850	700 ~ 1300	
海産食品	敦賀	えりヶ崎	ワカメ	11.05.10	30	14 ~ 22
	白木	松ヶ崎		11.05.10	69	15 ~ 19
	美浜	美浜3号放水口		11.05.10	38	14 ~ 28
	大飯	黒崎		11.05.09	72	23 ~ 33
	高浜	高浜取水口		11.05.02	33	20 ~ 26
	対照	河野沖		11.05.07	37	15 ~ 25
	敦賀	立石漁港	サザエ	11.06.11	20	19 ~ 23
	白木	アジゴ崎		11.06.19	24	16 ~ 30
	美浜	美浜3号放水口沖		11.06.16	37	20 ~ 22
	大飯	台場浜		11.06.16	17	15 ~ 24
	高浜	釈迦浜		11.06.17	18	17 ~ 22
	対照	福井市鮎川		11.06.05	32	12 ~ 19
指標海産生物	敦賀	ふげん放水口	ホンダワラ	11.11.29	26	ND ~ 35
		明神崎F		11.11.08	41	56 ~ 140
	白木	松ヶ崎		11.11.08	32	24 ~ 48
	美浜	美浜1,2号放水口		11.11.29	40	51 ~ 58
	大飯	台場浜		11.11.09	23	34 ~ 53
	高浜	へたヶ崎		11.11.09	31	28 ~ 46

過去実績：2008～2010年度

(注) 2009年度より採取地点が変更されたため、過去実績は2009～2010年度の2年分。

(その3 プルトニウム-238、239(+240) 陸上試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、陸土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	過去実績		機関
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu	
陸土	白木	松ヶ崎	土床	11.05.11	—	75	—	26 ~ 64	A
				11.07.07	—	42			D
				11.11.10	—	35			A
				12.01.12	—	46			D
	対照	勝山市池ヶ原	山土	11.06.07	160	5000	92 ~ 160	3800 ~ 5000	A
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	11.05.11	—	—	—	—	A
	白木	松ヶ崎		11.05.11	—	—	—	ND ~ 0.74	A
				11.06.02	—	0.86			A
				11.07.06	—	—			A
				11.08.04	—	—			A
				11.09.05	—	0.44			A
				11.10.05	—	—			A
				11.11.08	—	—			A
	美浜	竹波		11.05.11	—	—	—	ND ~ 0.86	A
	大飯	日角浜		11.05.10	—	—	—	ND ~ 0.31	A
	高浜	小黒飯		11.05.10	—	0.37	—	ND ~ 0.45	A
	対照	福井市原目町		11.05.09	—	—	—	—	A
	農産物	白木		白木	大根葉	11.11.10	—	—	—

過去実績：2008～2010年度

(注) プルトニウム分析結果において²³⁸Puが検出された場合、²³⁸Pu/²³⁹Pu比が3%前後であれば、核実験フォールアウト由来と判断できる。今年度²³⁸Puが検出された試料の²³⁸Pu/²³⁹Pu比は、全てその範囲内であった。

(その4 プルトニウム-238、239(+240) 海洋試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取 年月日	²³⁸ Pu 濃度	²³⁹ Pu 濃度	過去実績		機 関	
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu		
海底土	敦賀	2号放水口	砂	11. 10. 21	—	170	— ^(注1)	98 ~ 110 ^(注1)	A	
		浦底湾口	砂	11. 10. 21	25	1700	— ^(注2)	1600 ^(注2)	A	
	白木	もんじゅ放水口	砂	11. 04. 13	—	68	—	45 ~ 110	A	
				11. 05. 11	—	66			D	
				11. 10. 20	—	140			A	
				11. 11. 09	—	62			D	
		もんじゅ放水口東	砂	11. 10. 20	—	130	—	74 ~ 110	A	
		白木漁港	砂	11. 05. 11	—	74	—	46 ~ 76	D	
				11. 11. 09	—	61			D	
		もんじゅ放水口沖	砂	11. 10. 20	—	110	—	85 ~ 140	A	
	門ヶ崎	砂	11. 10. 20	—	20	—	19 ~ 28	A		
	美浜	丹生湾中央	泥	11. 04. 13	48	1600	34 ~ 44	1700 ~ 1900	A	
大飯	西村入江	砂・泥	11. 10. 19	37	1400	ND ~ 25	1300 ~ 1400	A		
高浜	放水口沖	砂・泥	11. 10. 19	22	870	ND ~ 24	880 ~ 1300	A		
海産食品	白木	アジゴ崎	カレイ	11. 04. 15	—	—	—	—	A	
		門ヶ崎	ブリ	11. 04. 18	—	—			A	
		もんじゅ沖	ブリ	11. 10. 04	—	—			A	
		もんじゅ沖	サワラ	11. 10. 04	—	—			A	
		白木沖	トビウオ	11. 07. 05	—	—			D	
		白木沖	アジ	11. 10. 13	—	—			D	
	白木	アジゴ崎	サザエ	11. 06. 19	—	39	ND ~ 1.1	11 ~ 54	A	
		門ヶ崎	サザエ	11. 06. 20	0.64	35			A	
		さび崎	サザエ	11. 07. 05	1.2	43			A	
		白木沿岸	サザエ	11. 08. 22	—	35			D	
	敦賀	立石灯台下	ワカメ	11. 04. 06	—	1.2	—	1.6 ~ 3.6	A	
	白木	松ヶ崎		11. 04. 02	—	2.3	—	1.9 ~ 6.3	A	
		アジゴ崎		11. 05. 10	—	2.6			A	
		松ヶ崎		11. 05. 10	—	3.2			A	
		白木沿岸		11. 04. 11	—	—			D	
		美浜		竹波	11. 04. 05	—			1.3	—
	大飯	黒崎		11. 04. 06	—	1.8	—	1.3 ~ 1.8	A	
	高浜	小黒飯漁港		11. 04. 02	—	2.4	—	2.6 ~ 3.9	A	
	対照	河野沖		11. 05. 07	—	2.7	—	2.5 ~ 4.7	A	
	指標海産生物	敦賀		2号放水口	ホンダワラ	11. 06. 14	—	10	— ^(注1)	34 ^(注1)
明神崎F				11. 11. 08		—	6.9	—	8.9 ~ 25	A
白木		松ヶ崎		11. 06. 02		—	3.3	—	6 ~ 12	A
				11. 09. 15		—	21			A
				11. 11. 08		—	10			A
			12. 03. 06	—		11	A			
			11. 06. 14	—		50	—			22 ~ 34
美浜		1,2号放水口	11. 06. 14	—		11	—	7.6 ~ 20	A	
		3号放水口	11. 06. 14	—		11	—	14 ~ 18	A	
大飯		台場浜	11. 06. 01	—		11	—	11 ~ 15	A	
高浜		へたヶ崎	11. 06. 01	—		13	—	9.1 ~ 10	A	
対照		福井小丹生	11. 04. 06	—		7.7	—	9.1 ~ 10	A	

過去実績：2008～2010年度

(注1) 2009年度より採取地点が変更されたため、過去実績は2009～2010年度の2年分。

(注2) 2010年度より採取地点が変更されたため、過去実績は2010年度のみ。

第30表 年間降下物の⁹⁰Sr・²²Na・¹³⁷Cs・¹³⁴Cs・²³⁹Pu分析結果

(参考：定期外調査)

単位：mBq/m²・年

採取地点	採取期間	放射能濃度					過去実績				
		⁹⁰ Sr	²² Na	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	²³⁹ Pu	⁹⁰ Sr	²² Na	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	²³⁹ Pu
浦底 水試 A	11.04.07 ～12.04.05	160	570	15000	12000	4.2	75 ～ 120	460 ～ 500	ND ～ 410	—	7.2 ～ 15
浦底 明神寮 B	11.04.01 ～12.04.02	/	370	16000	11000	/	/	290 ～ 380	ND ～ 610	—	/
松ヶ崎 A	11.04.06 ～12.04.05	500	330	10000	7900	11	440 ～ 540	320 ～ 460	190 ～ 380	—	4.5 ～ 9.7
松ヶ崎 D	11.04.01 ～12.04.02	/	320	11000	7600	/	/	230 ～ 360	130 ～ 270	—	/
竹波 A	11.04.06 ～12.04.04	180	420	14000	12000	3.9	130 ～ 250	330 ～ 440	190 ～ 400	—	4.5 ～ 9.6
丹生 C	11.04.05 ～12.04.02	/	420	15000	10000	/	/	350 ～ 490	210 ～ 460	—	/
宮留 A	11.04.06 ～12.04.04	130	440	24000	19000	7.1	74 ～ 100	330 ～ 370	130 ～ 490	ND ～ 310	5.2 ～ 8.3
日角浜 C	11.04.04 ～12.04.03	/	390	23000	15000	/	/	270 ～ 360	ND ～ 490	ND ～ 290	/
小黒飯 A	11.04.05 ～12.04.04	360	390	29000	23000	4.0	210 ～ 320	410 ～ 510	—	—	2.7 ～ 8
小和田 C	11.04.04 ～12.04.03	/	400	36000	25000	/	/	360 ～ 420	150 ～ 210	—	/
原目町 A	11.04.04 ～12.04.02	130	420	27000	21000	12	92 ～ 140	400 ～ 500	170 ～ 500	ND ～ 170	9 ～ 14

過去実績：2008～2010年度

(注1) 各地点での月間降下物測定試料（パウデックス樹脂）の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物集合試料とし、測定したもの。

(注2) ²²Na, ¹³⁷Cs, ¹³⁴CsはGe半導体検出器によるγ線スペクトロメトリによる結果であり、⁹⁰Sr, ²³⁹Puは放射化学分析の結果である。

(注3) 採取地点のA, B, C, Dはそれぞれ県、原電、関電、原子力機構が分析した試料であることを示す。

(注4) 各地区の²²Naは宇宙線で生成されたものである。

第31表 各地の積雪量 (2011年12月～2012年1月) [参考データ]

単位：c m

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局								
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中	
12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	18	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	22	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	24	21	4	3	-	1	-	1	-	-	-	-	6
	25	40	17	10	4	5	-	14	-	-	2	5	37
	26	48	17	18	5	4	-	14	-	2	4	6	43
	27	53	16	20	6	2	-	12	-	4	3	5	46
	28	44	13	19	3	-	-	10	-	3	5	1	42
	29	40	11	17	-	-	-	7	-	-	-	-	30
	30	38	6	15	-	-	-	5	-	-	-	-	22
	31	34	3	15	-	-	-	2	-	-	-	-	20
1	1	34	1	13	-	-	-	-	-	-	-	18	
	2	33	-	10	-	-	-	-	-	-	-	12	
	3	34	-	7	-	-	-	-	-	-	-	10	
	4	42	-	5	-	-	-	-	-	-	-	11	
	5	49	1	7	-	-	-	-	-	-	-	16	
	6	48	-	7	-	-	-	-	-	-	-	16	
	7	47	-	8	-	-	-	-	-	-	-	12	
	8	48	-	6	-	-	-	-	-	-	-	11	
	9	45	-	5	-	-	-	-	-	-	-	9	
	10	45	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	
	11	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	12	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	13	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	14	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	15	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	16	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	17	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	18	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	19	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	21	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	22	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	23	37	-	-	-	-	-	-	-	-	3	9	
	24	46	-	-	-	-	-	-	-	7	24	43	
	25	90	8	3	4	-	3	-	1	12	12	28	
	26	113	28	28	12	×	10	25	11	19	30	52	
	27	141	35	29	20	16	10	27	10	18	30	54	
	28	134	25	27	17	11	7	24	7	15	19	54	
	29	114	19	35	12	7	5	17	2	16	14	51	
	30	113	17	43	13	×	8	19	2	16	19	66	
	31	133	32	38	25	×	9	32	3	15	20	68	

(注)・積雪深計による1日の最大積雪深を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(-)とした。
 ・×は県テレメータ観測局において欠測したデータである。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

第31表 各地の積雪量 (2012年2月～2012年3月) [参考データ]

単位：c m

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局							
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黑飯	山中
2	1	128	32	43	24	15	8	34	4	21	25	60
	2	153	52	78	37	23	24	49	39	47	58	87
	3	159	58	73	4	24	26	53	34	45	52	81
	4	152	47	64	39	19	22	43	19	27	32	69
	5	138	34	55	29	15	12	36	8	18	21	61
	6	127	27	42	21	12	7	31	1	11	15	52
	7	118	14	32	4	5	—	27	—	3	10	40
	8	125	16	27	3	—	—	36	—	—	9	40
	9	151	31	30	12	14	3	41	—	1	13	44
	10	163	33	26	15	16	2	38	—	—	4	40
	11	151	23	26	11	13	—	31	—	—	3	38
	12	146	20	25	8	9	—	29	—	—	—	37
	13	136	15	23	5	5	—	27	—	—	—	33
	14	132	12	20	—	4	—	25	—	—	—	30
	15	128	9	18	—	1	—	23	—	—	—	24
	16	125	6	15	—	—	—	20	—	—	—	19
	17	143	12	16	—	—	—	25	—	—	—	23
	18	147	14	22	4	×	1	29	—	1	6	37
	19	143	12	24	—	×	—	27	4	1	5	35
	20	147	9	16	—	2	2	27	—	—	—	28
	21	135	5	12	—	—	—	25	—	—	—	22
	22	132	—	9	—	—	—	22	—	—	—	17
	23	124	—	1	—	—	—	15	—	—	—	3
	24	119	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—
	25	112	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	110	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	110	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	28	108	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29	111	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	1	105	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	101	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	97	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	86	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	83	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	77	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	70	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	62	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	60	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	59	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	14	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)・積雪深計による1日の最大積雪深を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(—)とした。
 ・×は県テレメータ観測局において欠測したデータである。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

4 付

4. 1 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果
4. 2 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について
4. 3 東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一発電所事故に関連した臨時放射能調査
4. 4 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

4. 1 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率および気象の調査結果

福井県環境放射線監視テレメータシステムでは、各原子力発電所周辺に18ヶ所の観測局を設け、波高弁別器バイアス変調(以下、DBM)方式のNaI(Tl)検出器により、空間線量率を連続測定し10分毎にデータ収集している。

観測局の位置は、添付資料第2図(p.36~p.37)に示した。測定器の仕様、測定項目などの詳細については、各年度の「福井県原子力環境監視センター所報」を参照されたい。なお、県の観測局のうち白木峠Aおよび坂尻Aの2局について2011年10月7日から10月17日にかけて測定装置の更新をおこなったため、装置特性の違いにより更新前に比べバックグラウンド値が変動している。

線量率の測定結果では、各観測局の月毎に求めた「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた線量率について、原因の究明を行っている。各観測局で月毎に処理するのは、観測地点の周辺環境の違いと降雨、降雪などの気象条件が季節によって異なるためである。また、検出器に入射する放射線のエネルギー成分を検討するため、DBM通過率(線量率と計数率の比)の解析を行っている。ほかに降雨量、風向、風速等の気象情報も収集しており、線量率が「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた場合には、これらの気象情報や近接局の状況を加味して、線量率上昇の原因を判断している。なお、ここで取り扱ったデータは、すべて1時間値をもとにしたものである。

添付資料第8表(p.53~p.58)は、線量率の最高値、最低値、平均値、標準偏差、「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間と原因を観測局別に示している。「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間数は各地点とも例年どおり200時間前後であり、原因のほとんどが降雨または降雪によるものであった。

その他に、静穏な気象状態になると、大気中のラドン娘核種の拡散・希釈が抑制されてラドン娘核種濃度が高くなるなどして、「平均値+標準偏差の3倍」を超えることがある。今年度は、敦賀Aで5時間、立石Aで1時間観測された。

各観測局の線量率と降雨量の全測定結果を図4.2.1(p.151~p.159)に示す。

白木峠Aおよび坂尻A観測局において10月中旬以降、線量率が変動しているのは、測定装置の更新によるバックグラウンド値の変動の影響である。図より、降雨または降雪による線量率の上昇が、全局で顕著にみられている。7月上旬から8月下旬にかけての少雨期には、土壌中の水分が蒸発して地中からの放射線に対する遮蔽効果が減少し、線量率が徐々に増加する現象が浦底A、立石A、丹生A、竹波A等でみられた。

平野部(注)に設置された敦賀、小浜観測局等では、降雨のない期間に数nGy/h程度の1日周期の線量率変化が現れている。これは、大気状態が安定になりやすい夏季に多く見られる現象で、夜半から明け方にかけて地表付近の大気中においてラドン等の天然放射性核種濃度が高くなるために起きる現象である。冬季(12月~2月)には、積雪の影響により顕著な線量率の低下が見られる。今年度は1月末から2月中旬にかけて大雪があり積雪の多い状態であったため、敦賀A、浦底A、白木峠A、坂尻A、小浜Aおよび山中Aの各観測局で顕著な線量率低下が観測された。

表4.2.1(p.139~p.146)、図4.2.2(p.160~p.163)にテレメータシステムで観測した気象関係の統計結果を示す。

以上のことより、今年度の調査結果では、県内の原子力発電所の運転による線量率上昇は観測されなかった。

(注)海岸線の俯角、標高100m地点の仰角が共に小さい所を平坦な地としている。参考として下表に各観測局の周辺状況を示す。

(参考) 観測局周辺状況

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
敦賀	6	1500	3100	0.2°	2.7°
浦底	12	35	350	18.9°	14.1°
立石	20	40	150	26.6°	28.1°
河野	2	3	230	33.7°	23.1°
白木	20	130	300	8.7°	14.9°
白木峠	180	800	350*	12.7°	3.3°*

*：白木峠観測局は標高200mまで

(参考) 観測局周辺状況 (つづき)

単位: 距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
丹生	3	15	228	11.3°	23.0°
竹波	10	225	238	2.5°	20.7°
坂尻	35	320	150	6.2°	23.4°
小浜	5	538	725	0.5°	7.5°
日角浜	15	100	338	8.5°	14.1°
宮留	4	50	350	4.6°	15.3°
阿納尻	14	100	290	8.0°	16.5°
長井	14	150	420	5.3°	11.5°
小黒飯	35	25	125	54.5°	27.5°
音海	2	163	213	0.7°	24.7°
神野浦	9	60	340	8.5°	15.0°
山中	144	1100	400*	7.5°	8.0°*

*: 山中観測局は標高200mまで

表 4. 2. 1 各地の気象 その 1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2011年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
敦賀	月間降雨時間 (時間)	70	114	31	62	36	126	58	114	228	204	183	142	1368
	月間感雨時間 (時間)	138	173	96	125	84	171	107	170	370	348	294	247	2323
	月間降雨量 (mm)	126.0	376.0	53.5	147.5	93.5	353.5	139.0	209.5	449.0	267.0	220.5	209.5	2644.5
	月間平均風速 (m/s)	2.1	2.1	1.8	1.8	1.5	1.9	1.5	1.5	1.6	1.6	1.8	1.8	1.8
浦底	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	55	82	87	66	95	79	109	95	94	126	103	97	1088
	月間平均気温 (°C)	12.2	18.3	23.6	27.7	28.4	24.7	18.3	14.2	6.2	3.5	3.2	7.7	15.7
	月間降雨時間 (時間)	75	121	49	65	42	116	65	115	243	199	179	142	1411
	月間感雨時間 (時間)	126	165	100	117	79	164	108	170	383	367	298	236	2313
浦底	月間降雨量 (mm)	184.0	467.0	69.0	169.0	190.0	375.5	128.0	185.5	419.0	305.0	209.5	224.0	2925.5
	月間平均風速 (m/s)	2.7	2.3	1.9	1.9	1.4	2.3	1.3	1.7	1.6	1.5	1.9	2.1	1.9
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	101	183	207	191	257	165	205	151	73	123	111	115	1882
	月間平均気温 (°C)	11.8	17.7	22.9	26.7	27.4	24.0	17.7	14.0	6.0	3.2	2.9	7.3	15.2

表 4. 2. 1 各地の気象 その 1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2011年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間	
立石	月間降雨時間(時間)	67	111	32	51	54	100	50	91	216	173	143	111	1199	
	月間感雨時間(時間)	120	158	109	105	81	156	102	165	388	355	318	233	2290	
	月間降雨量(mm)	153.0	440.5	55.0	156.5	228.5	310.0	91.5	136.0	300.5	217.0	153.5	146.5	2388.5	
	月間平均風速(m/s)	3.4	3.1	2.8	2.7	2.1	3.1	2.3	2.9	2.7	2.4	2.8	2.7	2.7	
	無風(0.5m/s未満)出現回数	56	85	111	92	98	86	76	44	44	36	55	59	810	
	月間平均気温(℃)	11.8	17.4	22.4	26.4	27.0	24.1	18.2	14.5	14.5	6.8	3.9	3.6	7.5	15.3
	月間降雨時間(時間)	72	126	46	58	48	108	58	97	247	202	161	139	1362	
	月間感雨時間(時間)	126	168	99	99	72	141	95	168	402	382	351	261	2364	
	月間降雨量(mm)	163.5	405.5	75.0	208.0	196.5	272.0	105.5	151.0	404.0	284.5	185.0	192.0	2642.5	
	月間平均風速(m/s)	3.0	2.6	2.2	2.6	2.5	2.9	2.8	3.4	3.7	3.3	3.3	2.9	2.9	
河野	無風(0.5m/s未満)出現回数	43	59	63	34	30	19	35	20	14	11	19	38	385	
	月間平均気温(℃)	11.2	17.2	22.4	26.7	27.5	23.9	17.9	14.0	6.3	3.6	3.4	7.2	15.1	

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 白木地区

2011年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
白木	月間降雨時間(時間)	74	121	39	58	46	108	56	96	220	180	146	125	1269	
	月間感雨時間(時間)	127	170	101	108	78	160	106	178	419	411	326	249	2433	
	月間降雨量(mm)	162.0	448.0	63.0	172.5	212.0	338.5	113.5	160.0	334.0	208.5	162.5	193.0	2567.5	
	月間平均風速(m/s)	3.2	2.8	2.1	2.0	2.0	3.0	2.8	3.1	3.8	3.3	3.6	3.4	2.9	
	無風(0.5m/s未満)出現回数	11	43	34	28	20	20	17	13	3	10	9	19	227	
	月間平均気温(℃)	11.3	17.1	22.2	26.0	26.8	23.6	17.6	14.0	14.0	6.5	3.7	3.4	7.3	15.0
	月間降雨時間(時間)	75	127	42	64	51	108	61	95	204	170	138	129	1264	
	月間感雨時間(時間)	125	165	107	115	84	163	109	173	413	361	316	233	2364	
	月間降雨量(mm)	166.5	429.0	58.5	177.5	215.5	345.0	115.5	155.5	302.5	195.0	162.5	185.0	2508.0	
	月間平均風速(m/s)	4.7	4.3	3.4	3.2	2.8	4.7	3.9	4.5	4.9	4.6	4.7	4.6	4.2	
白木峠	無風(0.5m/s未満)出現回数	24	28	43	39	57	24	34	22	13	25	21	26	356	
	月間平均気温(℃)	10.5	16.5	21.6	25.3	25.8	22.6	16.7	13.1	5.1	2.4	2.0	6.3	14.0	

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 美浜地区

2011年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
丹生	月間降雨時間(時間)	72	121	37	48	50	104	61	100	226	192	162	131	1304
	月間感雨時間(時間)	123	160	96	94	81	158	103	173	376	381	310	244	2299
	月間降雨量(mm)	161.5	468.0	53.5	155.0	195.5	320.0	106.0	145.0	340.0	235.5	183.0	183.0	2546.0
	月間平均風速(m/s)	2.0	2.1	1.8	1.8	1.3	2.3	1.5	1.9	1.9	1.6	1.9	1.7	1.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	164	183	183	160	228	141	207	154	92	135	135	151	1933
竹波	月間平均気温(℃)	11.7	17.6	23.0	27.1	27.6	24.5	18.3	14.6	6.6	3.8	3.5	7.5	15.5
	月間降雨時間(時間)	76	127	45	62	50	116	63	102	221	209	165	134	1370
	月間感雨時間(時間)	127	167	101	110	82	161	103	175	397	378	322	239	2362
	月間降雨量(mm)	164.0	487.5	70.5	167.0	170.0	368.0	129.5	163.5	362.0	242.0	195.0	188.0	2707.0
	月間平均風速(m/s)	1.3	1.2	0.9	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.3	1.2	1.5	1.3	1.2
坂尻	無風(0.5m/s未満)出現回数	114	197	195	170	220	194	218	167	138	197	158	180	2148
	月間平均気温(℃)	11.0	17.1	22.2	26.2	26.5	23.2	16.9	13.6	6.1	3.2	3.0	6.9	14.7
	月間降雨時間(時間)	80	123	38	80	44	133	59	111	222	196	168	130	1384
	月間感雨時間(時間)	126	169	103	121	86	168	111	188	372	377	321	245	2387
	月間降雨量(mm)	175.0	483.5	78.5	155.5	135.5	541.0	127.0	170.0	391.5	269.5	187.5	190.5	2905.0
坂尻	月間平均風速(m/s)	1.7	1.2	1.0	1.0	0.9	1.4	1.4	1.3	1.6	1.7	1.8	1.8	1.4
	無風(0.5m/s未満)出現回数	123	193	196	179	215	154	144	175	146	122	129	119	1895
	月間平均気温(℃)	11.2	17.0	22.2	26.1	26.6	23.1	17.1	13.3	5.5	2.9	2.2	6.9	14.5

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2011年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
小浜	月間降雨時間(時間)	66	123	36	69	35	136	68	98	224	198	119	139	1311
	月間感雨時間(時間)	126	168	87	112	68	169	112	177	344	366	264	247	2240
	月間降雨量(mm)	165.0	571.5	56.0	173.5	116.5	437.5	103.0	133.5	345.0	264.0	152.0	176.5	2694.0
	月間平均風速(m/s)	1.3	1.2	1.1	1.2	1.0	1.2	1.1	1.1	1.2	1.1	1.3	1.2	1.2
	無風(0.5m/s未満)出現回数	86	153	116	120	119	153	129	91	73	103	88	128	1359
	月間平均気温(℃)	11.7	17.9	23.4	27.2	27.9	24.0	17.8	13.8	5.9	3.4	2.9	7.5	15.3
日角浜	月間降雨時間(時間)	66	118	36	53	46	116	64	92	204	180	120	132	1227
	月間感雨時間(時間)	117	157	81	102	71	169	108	163	324	349	251	251	2143
	月間降雨量(mm)	132.0	519.5	85.5	119.0	164.0	356.5	102.5	121.5	270.0	206.5	141.5	173.5	2392.0
	月間平均風速(m/s)	1.6	1.6	1.3	1.5	1.1	1.8	1.2	1.5	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5
	無風(0.5m/s未満)出現回数	138	174	206	178	248	196	198	139	79	109	121	128	1914
	月間平均気温(℃)	11.3	17.4	23.0	27.0	27.6	23.9	17.8	14.2	6.5	3.9	3.1	7.4	15.3
宮留	月間降雨時間(時間)	61	116	34	52	47	112	58	85	222	177	126	136	1226
	月間感雨時間(時間)	124	161	86	104	77	179	105	172	344	362	261	258	2233
	月間降雨量(mm)	118.5	534.0	73.0	120.5	173.0	353.5	98.5	118.5	306.5	219.0	161.0	182.0	2458.0
	月間平均風速(m/s)	2.9	2.3	2.2	2.0	1.7	2.3	2.1	2.7	3.1	3.0	2.9	2.6	2.5
	無風(0.5m/s未満)出現回数	83	88	125	102	117	113	81	74	33	54	56	69	995
	月間平均気温(℃)	11.1	17.1	22.5	26.6	27.3	23.7	17.8	14.2	6.6	3.9	3.3	7.2	15.1

表 4. 2. 1 各地の気象 その 1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2011年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
阿納尻	月間降雨時間 (時間)	71	118	35	63	36	134	63	99	222	197	117	135	1290
	月間感雨時間 (時間)	124	169	77	126	60	176	106	183	352	352	256	249	2230
	月間降雨量 (mm)	154.5	490.0	59.5	157.0	118.0	426.5	101.5	136.5	404.5	278.0	145.0	179.0	2650.0
	月間平均風速 (m/s)	1.7	1.7	1.4	1.3	1.2	1.5	1.3	1.7	2.4	2.0	2.3	1.9	1.7
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	166	168	186	180	206	175	198	173	94	142	116	114	1918
	月間平均気温 (°C)	11.1	17.3	22.9	26.6	27.2	23.5	17.5	13.8	6.1	3.5	2.9	7.2	15.0
	月間降雨時間 (時間)	68	121	34	60	38	132	67	91	211	214	115	144	1295
	月間感雨時間 (時間)	114	164	79	108	65	178	109	167	334	344	236	262	2160
	月間降雨量 (mm)	130.0	606.0	70.0	129.0	124.5	456.0	105.0	128.0	267.5	266.0	127.5	183.5	2593.0
	月間平均風速 (m/s)	2.5	1.8	1.4	1.7	1.5	1.7	2.0	2.1	2.7	2.4	2.4	2.4	2.0
長井	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	64	108	155	94	79	81	52	81	32	47	50	64	907
	月間平均気温 (°C)	11.1	17.2	22.5	26.3	26.9	23.1	17.2	13.5	5.8	3.2	2.5	6.9	14.7

表 4. 2. 1 各地の気象 その 1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2011年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
小黒坂	月間降雨時間(時間)	75	127	39	53	48	118	70	94	231	240	139	151	1385	
	月間感雨時間(時間)	131	165	80	107	79	171	117	174	376	399	278	251	2328	
	月間降雨量(mm)	153.5	558.0	74.0	148.5	171.5	410.0	107.0	202.5	316.0	331.0	158.5	184.5	2815.0	
	月間平均風速(m/s)	1.0	0.8	0.7	0.8	0.5	0.7	0.4	0.6	0.6	0.8	0.7	0.6	0.7	0.7
	無風(0.5m/s未満)出現回数	221	307	361	335	404	372	384	304	183	183	242	275	325	3713
	月間平均気温(°C)	11.9	17.6	22.6	26.3	27.2	23.8	18.3	14.5	14.5	6.5	4.0	3.4	7.6	15.3
	月間降雨時間(時間)	80	123	35	52	40	114	61	82	156	196	199	113	130	1225
	月間感雨時間(時間)	132	165	83	96	76	165	113	156	361	361	374	252	242	2215
	月間降雨量(mm)	147.0	521.0	71.5	118.5	150.0	390.0	99.5	182.0	256.5	242.0	121.0	121.0	168.0	2467.0
	月間平均風速(m/s)	2.2	2.1	1.4	1.6	1.3	1.6	1.8	2.4	2.4	3.9	3.2	3.3	2.5	2.3
音海	無風(0.5m/s未満)出現回数	121	147	193	172	225	197	185	148	42	74	84	116	1704	
	月間平均気温(°C)	11.5	17.2	22.3	26.1	26.8	23.5	17.8	14.3	6.7	4.1	3.3	7.2	15.1	

表 4. 2. 1 各地の気象 その 1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2011年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
神野浦	月間降雨時間(時間)	83	113	22	42	30	110	63	96	249	239	146	147	1340
	月間感雨時間(時間)	139	168	101	119	93	189	122	181	386	420	307	265	2490
	月間降雨量(mm)	176.0	519.5	35.5	78.0	74.5	341.0	87.0	168.0	362.0	364.5	159.5	182.0	2547.5
	月間平均風速(m/s)	0.9	0.6	0.4	0.5	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.6
	無風(0.5m/s未満)出現回数	135	273	370	318	329	247	226	204	199	214	150	238	2903
	月間平均気温(℃)	10.9	16.7	21.8	25.4	25.8	22.1	16.5	13.1	5.4	3.3	1.9	6.6	14.2
山中	月間降雨時間(時間)	78	126	33	50	44	124	59	93	222	243	138	144	1354
	月間感雨時間(時間)	136	170	93	110	87	185	125	183	357	390	274	272	2382
	月間降雨量(mm)	146.5	550.0	61.0	145.5	151.5	423.5	86.5	168.5	269.0	297.0	150.0	185.0	2634.0
	月間平均風速(m/s)	2.4	2.0	1.7	1.8	1.5	1.8	1.9	2.4	3.0	2.7	2.7	2.3	2.2
	無風(0.5m/s未満)出現回数	45	72	104	78	95	52	64	38	16	28	22	54	668
	月間平均気温(℃)	10.5	16.5	21.5	25.2	25.8	22.4	16.6	12.8	4.5	2.1	1.5	5.8	13.8

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 敦賀地区

2011年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
敦賀	4～6月	2.7	0.5	0.2	0.5	1.2	14.7	26.0	8.0	1.7	1.8	1.2	3.8	4.1	4.6	7.8	10.9	10.3
	7～9月	2.3	1.0	0.5	0.8	1.5	16.1	25.8	9.8	2.5	1.9	2.1	3.9	3.8	2.7	5.0	9.4	10.9
	10～12月	2.9	0.9	1.0	1.0	2.2	7.7	16.7	9.9	2.1	1.6	2.3	4.3	5.5	7.3	10.7	10.4	13.6
	1～3月	3.0	1.2	0.5	1.2	1.9	5.4	11.1	7.7	1.5	1.1	2.6	6.7	6.4	8.6	13.5	11.8	15.8
年 間	2.7	0.9	0.6	0.8	1.7	11.1	20.0	8.9	2.0	2.0	1.6	2.0	4.6	4.9	5.8	9.2	10.6	12.6
浦底	4～6月	0.4	0.5	0.5	0.8	1.3	2.7	19.6	21.2	1.2	0.2	0.1	1.3	6.8	17.7	2.5	0.6	22.5
	7～9月	0.4	0.4	0.8	1.0	1.4	3.4	22.5	17.0	1.8	0.3	0.1	1.4	4.6	13.5	3.4	0.4	27.8
	10～12月	0.2	0.4	0.2	0.4	1.0	2.1	8.3	14.4	2.2	1.2	1.6	5.3	13.4	26.2	3.2	0.5	19.5
	1～3月	0.6	0.4	0.7	0.6	1.2	2.6	7.3	11.2	1.1	0.7	0.7	4.9	13.5	33.3	3.7	1.3	16.3
年 間	0.4	0.4	0.6	0.7	1.2	2.7	14.5	16.0	1.6	0.6	0.7	3.2	9.5	22.6	3.2	0.7	21.5	
立石	4～6月	1.5	0.8	0.6	0.4	17.9	18.3	2.7	3.6	3.2	4.5	3.0	2.3	2.2	1.7	10.7	15.2	11.5
	7～9月	2.2	1.0	0.4	0.7	11.0	23.1	3.8	3.7	3.6	5.3	3.3	3.4	2.6	2.5	8.5	12.5	12.5
	10～12月	3.7	2.0	1.3	1.9	9.0	10.8	2.7	5.3	5.2	5.9	2.5	2.4	2.6	2.7	12.7	23.2	6.0
	1～3月	4.7	3.0	2.1	2.6	7.3	9.9	2.6	3.9	3.4	3.8	1.9	2.4	2.5	2.7	15.1	25.4	6.9
年 間	3.0	1.7	1.1	1.4	11.3	15.5	2.9	4.1	3.8	4.9	2.7	2.6	2.5	2.4	11.8	19.0	9.2	
河野	4～6月	0.6	1.3	13.3	29.5	12.5	5.7	3.2	2.3	1.1	0.5	1.1	3.7	11.4	4.7	0.7	0.7	7.6
	7～9月	0.2	1.2	20.1	33.2	7.5	3.7	4.2	3.5	0.7	0.8	1.8	3.3	13.0	2.4	0.3	0.3	3.8
	10～12月	0.9	2.2	21.2	38.9	5.5	1.9	2.2	2.4	0.6	0.8	1.6	3.7	8.1	5.0	1.2	0.7	3.1
	1～3月	1.1	2.8	18.9	33.5	5.4	2.7	2.7	2.8	0.8	1.1	2.2	4.8	8.3	8.3	1.1	0.4	3.1
年 間	0.7	1.9	18.4	33.8	7.7	3.5	3.1	2.8	0.8	0.8	1.7	3.9	10.2	5.1	0.8	0.5	4.4	

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 白木、美浜地区

2011年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
白木	4～6月	8.8	3.8	1.2	0.5	1.0	2.5	16.2	26.8	11.3	2.5	0.5	0.6	0.2	0.7	5.4	14.0	4.0
	7～9月	5.9	3.0	1.9	0.8	0.9	3.7	16.9	25.1	15.4	3.2	0.7	0.2	0.2	0.5	4.2	14.3	3.1
	10～12月	10.3	11.2	3.2	1.7	1.1	2.5	15.6	22.9	8.8	1.8	0.5	0.2	0.2	0.3	3.5	14.7	1.5
	1～3月	13.9	12.7	2.8	2.1	1.6	3.3	9.6	21.0	7.6	1.6	0.4	0.3	0.2	0.2	3.7	17.0	1.8
年 間	9.7	7.7	2.3	1.3	1.1	3.0	14.6	24.0	24.0	10.8	2.3	0.5	0.3	0.2	4.2	15.0	2.6	
白木 峠	4～6月	5.8	1.1	0.8	0.6	0.9	7.1	37.2	8.8	0.8	0.2	0.1	0.0	0.1	0.6	5.0	26.6	4.3
	7～9月	4.3	1.4	0.9	0.5	0.8	5.5	40.6	9.3	0.5	0.1	0.1	0.0	0.1	0.4	4.3	25.6	5.4
	10～12月	5.8	1.3	0.5	0.7	1.0	7.7	27.6	7.0	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	3.1	40.9	3.1
	1～3月	5.7	1.0	0.8	1.0	1.3	7.7	22.7	4.6	0.8	0.2	0.1	0.0	0.1	0.3	3.4	46.9	3.3
年 間	5.4	1.2	0.7	0.7	1.0	7.0	32.0	7.4	7.4	0.7	0.2	0.1	0.0	0.4	4.0	35.0	4.1	
丹生	4～6月	2.8	3.2	6.1	8.3	20.1	8.4	2.8	2.7	2.0	3.6	6.2	2.2	1.2	1.1	1.9	3.1	24.3
	7～9月	3.1	3.8	6.7	10.5	17.7	7.9	3.5	2.6	2.1	4.1	5.2	1.5	0.7	1.1	1.4	4.2	24.0
	10～12月	6.2	7.0	11.3	9.9	9.6	3.8	1.8	2.2	2.6	5.7	5.2	1.4	0.9	1.4	3.2	7.2	20.6
	1～3月	5.9	7.6	14.6	8.6	6.0	4.1	2.6	3.0	3.0	7.2	5.5	1.6	0.9	1.5	3.0	5.5	19.8
年 間	4.5	5.4	9.6	9.4	13.4	6.1	2.7	2.6	2.6	2.3	5.1	5.5	1.7	1.3	2.3	5.0	22.2	
竹波	4～6月	1.0	3.1	13.1	25.5	1.4	0.8	0.3	0.5	0.4	1.3	14.0	9.1	2.7	1.9	0.9	0.9	23.2
	7～9月	1.9	3.4	11.2	24.1	1.2	0.4	0.4	0.6	0.6	1.7	12.8	7.7	3.4	1.6	1.4	1.1	26.5
	10～12月	0.5	1.2	11.5	26.9	2.5	1.7	1.0	1.3	1.3	2.0	11.1	10.8	2.5	1.2	0.4	0.4	23.8
	1～3月	0.3	1.7	9.9	17.4	3.5	1.5	1.1	0.9	0.9	1.9	9.3	17.5	4.3	1.9	0.9	0.5	25.9
年 間	0.9	2.4	11.4	23.5	2.1	1.1	0.7	0.8	0.8	0.9	1.7	11.8	11.2	3.2	1.6	0.9	24.8	
坂尻	4～6月	7.6	3.2	2.3	4.0	9.1	4.8	2.4	2.2	3.3	9.1	2.1	2.3	2.6	4.3	4.4	12.6	23.5
	7～9月	5.7	2.5	2.0	5.0	7.7	5.4	3.9	3.1	6.3	12.4	2.5	2.1	2.5	2.3	3.7	8.1	24.8
	10～12月	6.4	2.9	2.3	4.1	6.9	5.0	2.9	2.2	6.0	14.4	2.4	1.8	3.1	2.3	5.5	10.7	21.2
	1～3月	8.2	4.6	3.0	4.8	9.1	6.4	1.9	1.8	4.0	10.4	1.7	0.8	2.5	2.5	5.0	15.8	17.5
年 間	6.9	3.3	2.4	4.5	8.2	5.4	2.8	2.4	2.4	4.9	11.6	2.2	1.8	2.9	4.7	11.8	21.8	

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 大飯地区

2011年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
小 浜	4～6月	1.6	0.9	2.0	37.5	5.1	2.1	2.5	3.3	1.4	1.7	1.7	8.3	5.4	4.1	3.3	2.9	16.3
	7～9月	0.7	0.7	2.6	42.8	5.7	1.9	1.5	1.7	0.8	1.0	1.0	8.5	4.8	3.4	3.3	2.0	17.8
	10～12月	2.5	1.3	2.6	35.6	6.3	1.7	1.4	1.8	2.0	4.0	5.9	5.1	4.7	3.5	3.6	4.6	13.3
	1～3月 年 間	3.8	2.2	2.4	26.5	3.8	1.4	1.7	1.7	2.2	1.8	6.0	6.9	7.2	5.4	3.7	3.9	15.0
日 角 浜	4～6月	0.5	0.8	1.0	2.3	16.4	15.3	5.2	1.7	1.5	1.6	1.6	2.9	13.1	9.1	2.3	0.9	23.7
	7～9月	0.4	0.9	1.0	2.6	12.6	16.8	4.8	1.1	0.9	0.9	1.3	2.1	15.0	8.5	1.7	1.1	28.2
	10～12月	0.9	0.6	1.2	3.0	10.3	10.5	4.2	2.9	2.2	2.0	1.7	6.0	21.5	10.3	2.9	1.0	18.9
	1～3月 年 間	0.3	0.5	0.5	2.3	10.2	9.7	4.7	2.4	2.3	2.6	3.1	6.8	25.1	9.9	2.1	0.8	16.7
宮 留	4～6月	12.3	6.7	2.2	9.4	4.3	3.0	3.5	9.2	4.5	2.3	2.3	1.8	2.4	6.9	7.0	8.4	13.6
	7～9月	10.7	5.0	2.8	8.7	7.9	5.3	3.7	6.6	3.8	2.2	1.9	2.1	2.6	5.7	6.8	9.0	15.0
	10～12月	10.6	8.1	2.5	7.9	2.5	2.8	2.9	4.1	8.1	14.2	3.1	2.1	2.3	5.0	5.9	9.3	8.5
	1～3月 年 間	11.9	8.2	1.8	5.0	3.0	3.1	3.2	5.7	11.4	16.2	3.0	1.6	1.7	3.2	4.3	8.5	8.2
阿 納 尻	4～6月	9.7	7.2	7.8	5.1	3.6	3.6	3.8	2.6	1.8	3.9	6.1	3.5	3.2	3.2	3.8	7.4	23.8
	7～9月	9.7	7.0	6.6	7.3	4.8	5.9	4.3	2.7	1.7	2.9	3.5	3.4	3.1	3.0	2.8	5.9	25.4
	10～12月	5.0	4.5	6.4	4.8	4.5	5.8	6.4	4.3	4.0	7.7	7.2	6.5	3.5	2.9	1.6	4.1	21.1
	1～3月 年 間	4.5	4.1	7.1	4.0	3.6	3.9	4.3	4.3	4.5	10.1	10.5	7.5	4.5	2.7	2.7	4.3	17.3
長 井	4～6月	9.6	15.7	5.4	1.6	0.7	1.5	3.1	12.1	18.0	6.2	1.7	1.2	1.4	1.6	1.5	3.7	15.0
	7～9月	7.6	15.3	4.1	1.3	1.0	0.8	3.0	15.4	22.3	6.9	2.4	1.1	1.1	1.2	2.1	2.9	11.5
	10～12月	9.2	9.1	2.4	0.8	0.5	1.0	2.5	11.8	24.1	16.8	3.6	1.6	1.4	1.4	2.4	3.8	7.5
	1～3月 年 間	10.2	9.5	1.8	1.0	0.5	0.5	1.5	8.2	21.4	19.1	5.5	2.3	2.9	1.6	1.8	4.3	7.8
			3.4	1.2	0.7	1.0	2.5	12.0	21.5	12.2	3.3	1.6	1.7	1.5	1.9	3.7	10.5	

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 高浜地区

2011年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
小黒飯	4～6月	1.5	2.7	4.1	6.6	5.2	3.6	4.5	3.9	6.2	14.2	2.9	1.6	0.6	0.3	0.5	0.7	40.7
	7～9月	2.0	3.7	3.2	6.2	7.0	5.1	2.7	1.9	2.1	8.6	3.4	1.1	0.7	0.3	0.6	1.2	50.3
	10～12月	4.7	2.0	1.0	1.5	3.0	5.0	3.0	2.8	2.8	5.8	11.2	4.0	1.5	1.5	2.0	4.0	39.6
	1～3月	2.5	1.7	1.5	2.7	3.3	3.6	3.1	3.1	3.3	7.1	13.3	7.0	3.5	1.1	1.5	2.0	41.3
年 間	2.7	2.5	2.5	4.3	4.6	4.3	3.3	3.3	3.0	5.3	11.8	5.1	2.5	1.1	0.8	1.2	2.0	43.0
音海	4～6月	1.0	1.5	1.9	5.3	15.3	3.3	0.7	0.6	0.5	1.0	1.2	6.8	21.3	14.3	2.7	1.2	21.1
	7～9月	0.8	1.4	2.2	6.2	18.9	2.7	1.0	1.0	0.8	0.5	1.2	4.2	14.7	12.7	3.9	1.0	26.9
	10～12月	0.8	1.0	1.2	2.4	6.8	2.8	1.2	0.7	0.7	1.1	1.4	9.4	35.7	13.7	3.2	0.6	17.0
	1～3月	0.7	0.7	0.5	2.7	7.4	2.9	2.9	1.1	0.5	0.7	0.9	1.6	10.7	15.7	2.7	0.8	12.6
年 間	0.8	1.2	1.4	4.1	12.1	2.9	2.9	1.0	0.7	0.8	0.9	1.3	7.8	14.1	3.1	0.9	19.4	
神野浦	4～6月	3.8	10.3	5.2	3.7	3.6	1.5	1.1	6.3	11.8	2.2	2.3	3.3	1.9	2.7	3.2	1.7	35.6
	7～9月	1.7	8.1	7.6	3.3	1.4	1.2	0.5	8.6	17.5	1.4	2.1	1.6	1.3	1.6	1.0	0.7	40.5
	10～12月	4.9	9.2	3.6	2.3	0.7	0.9	0.3	6.7	18.9	4.6	3.8	4.9	4.1	4.1	1.3	0.8	28.9
	1～3月	6.4	9.2	3.1	2.9	0.6	0.3	0.3	5.2	13.3	3.6	4.9	7.0	4.6	5.8	2.5	1.0	29.3
年 間	4.1	9.2	4.9	3.0	1.6	1.0	0.6	6.7	6.7	15.4	2.9	3.3	4.1	3.5	2.0	1.0	33.6	
山中	4～6月	1.1	3.3	9.2	5.8	5.2	5.0	0.8	0.7	1.2	5.9	27.1	17.4	4.1	1.7	0.8	0.6	10.1
	7～9月	1.1	2.5	8.3	7.2	8.1	5.5	1.1	0.8	2.3	9.9	24.9	11.9	3.0	1.8	0.7	0.9	10.2
	10～12月	2.1	3.9	9.1	3.3	1.5	1.8	0.6	0.5	0.8	10.9	32.0	18.7	4.3	2.2	1.3	1.5	5.4
	1～3月	1.4	3.3	12.5	3.9	2.1	2.2	1.0	0.5	0.5	0.6	8.2	25.6	22.7	2.1	1.2	1.4	5.2
年 間	1.4	3.2	9.7	5.1	4.3	3.7	0.9	0.6	0.6	1.2	8.7	27.4	17.5	1.9	1.0	1.1	7.8	

図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2011年4月～2012年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

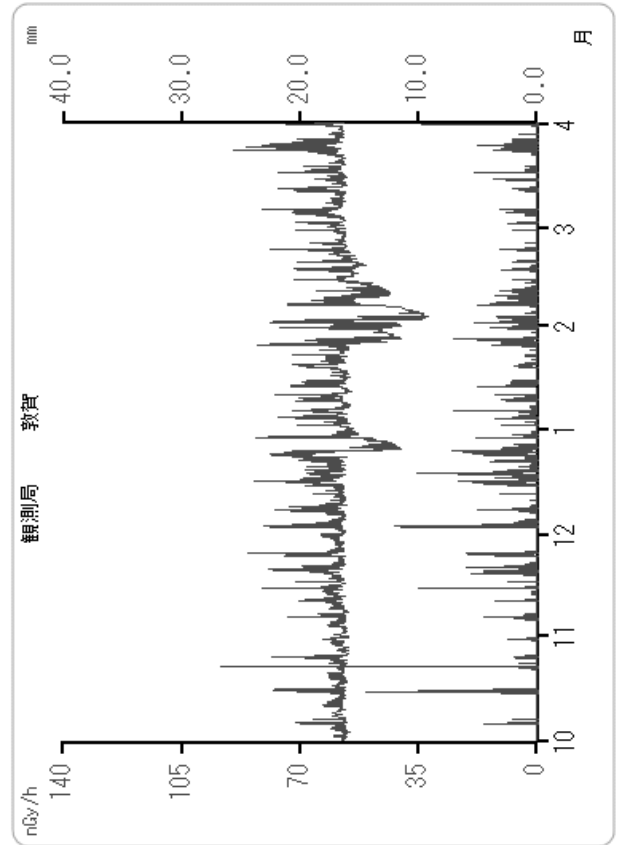
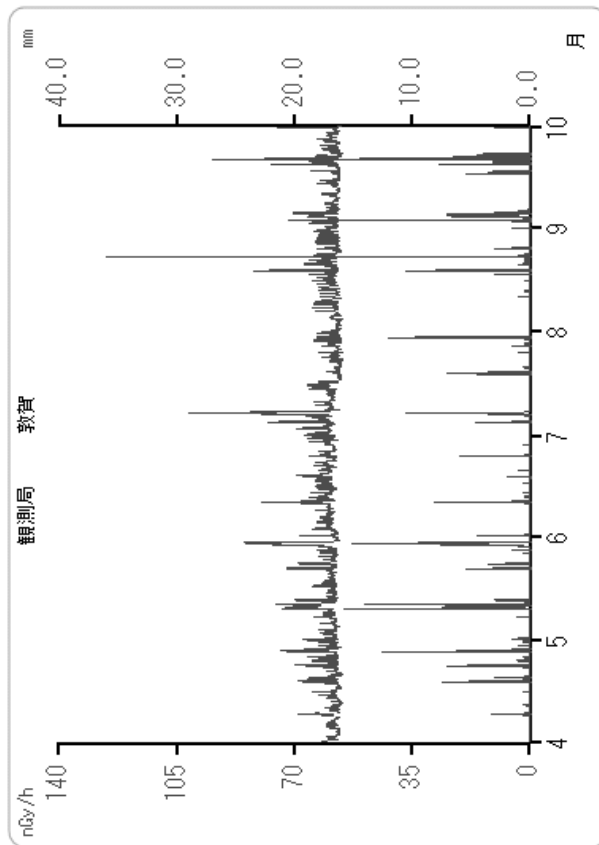
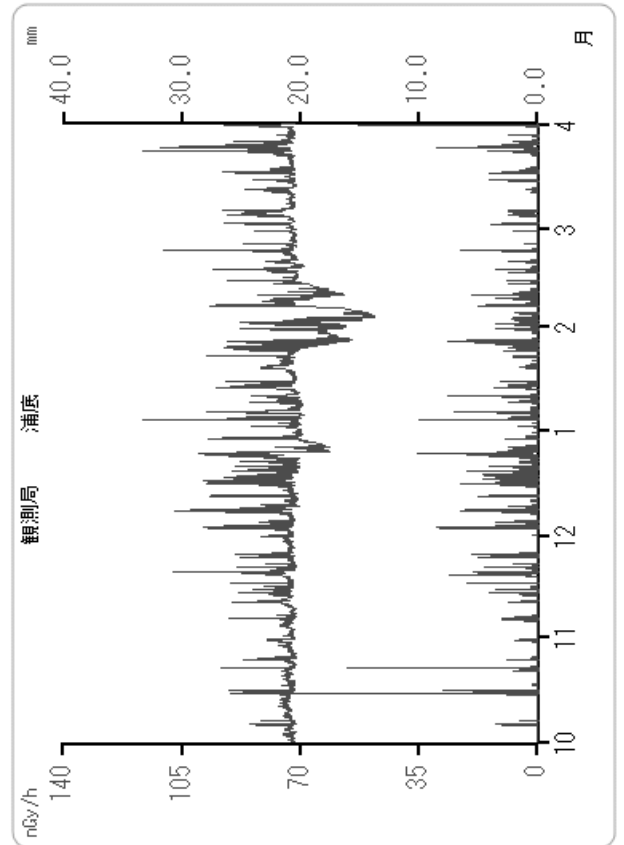
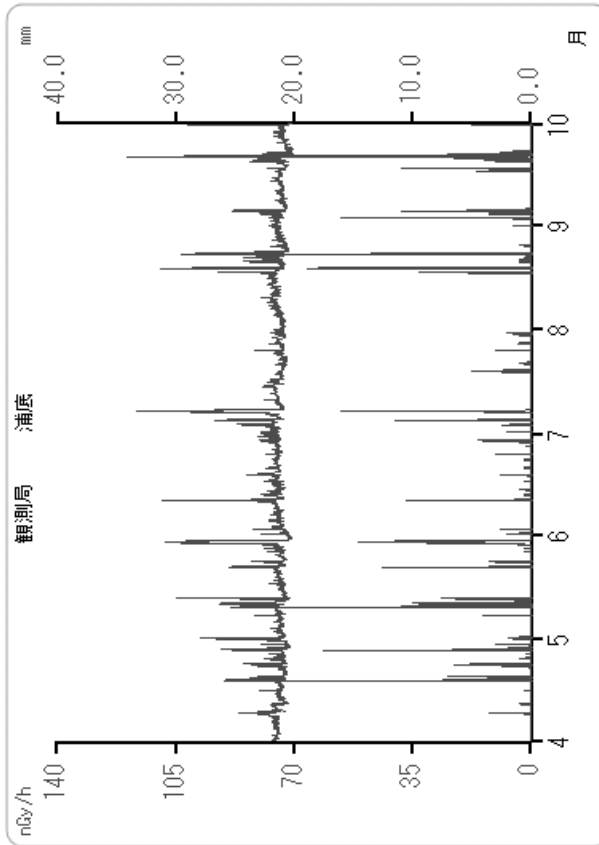


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2011年4月～2012年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

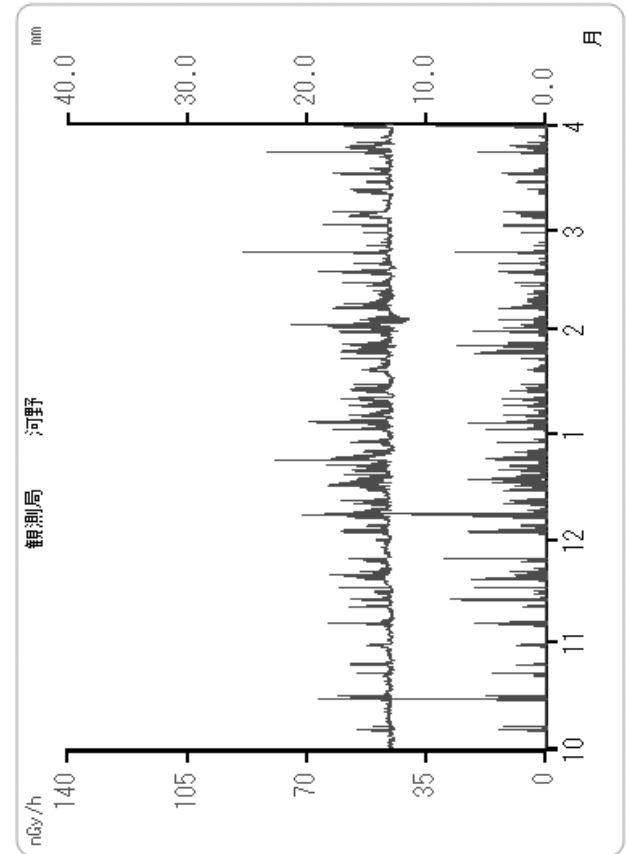
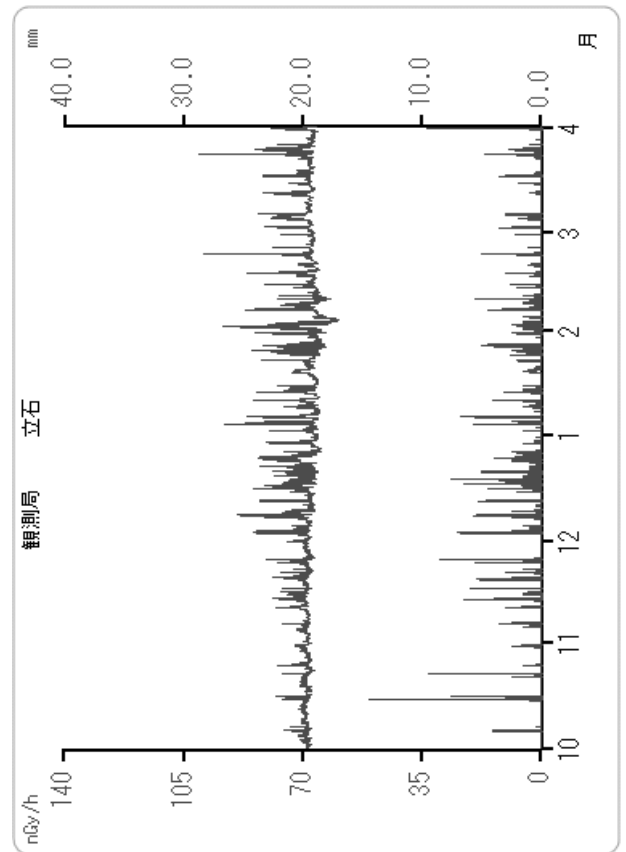
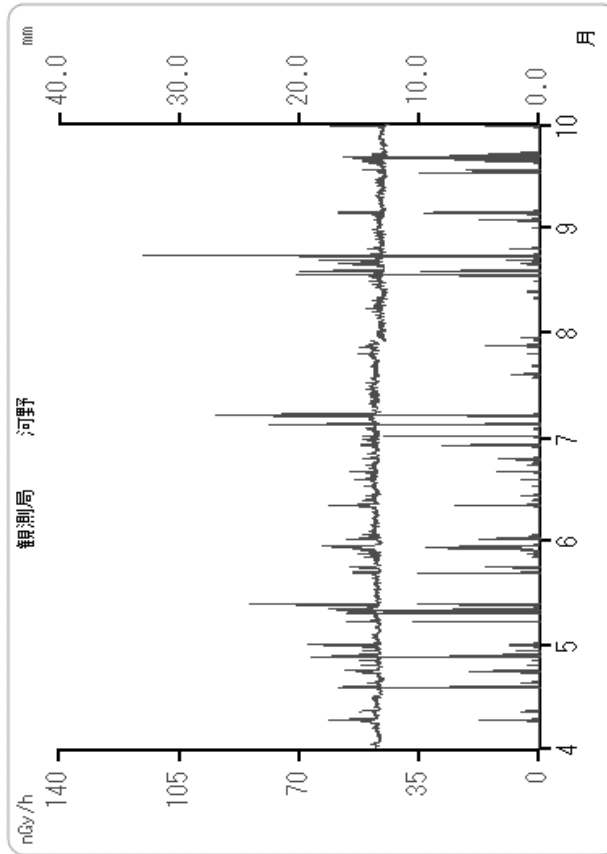
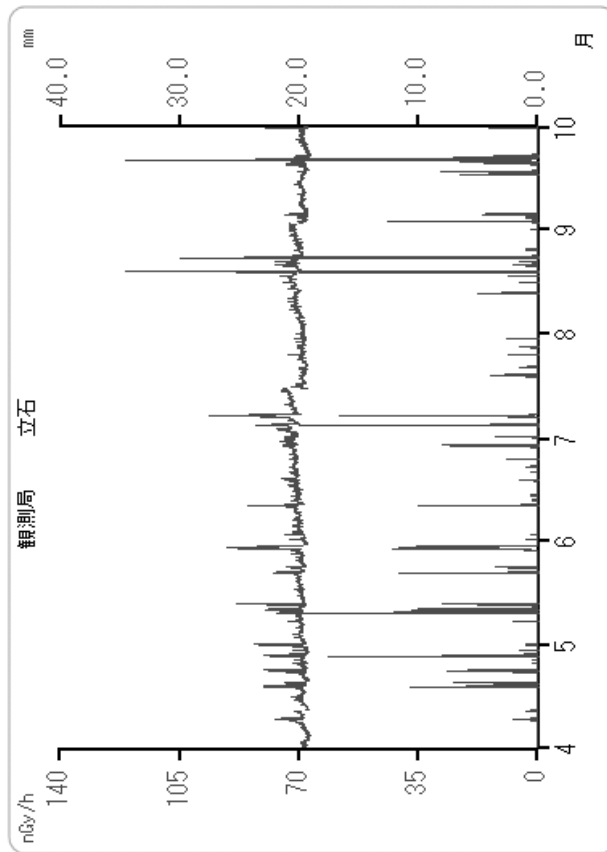


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2011年4月～2012年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

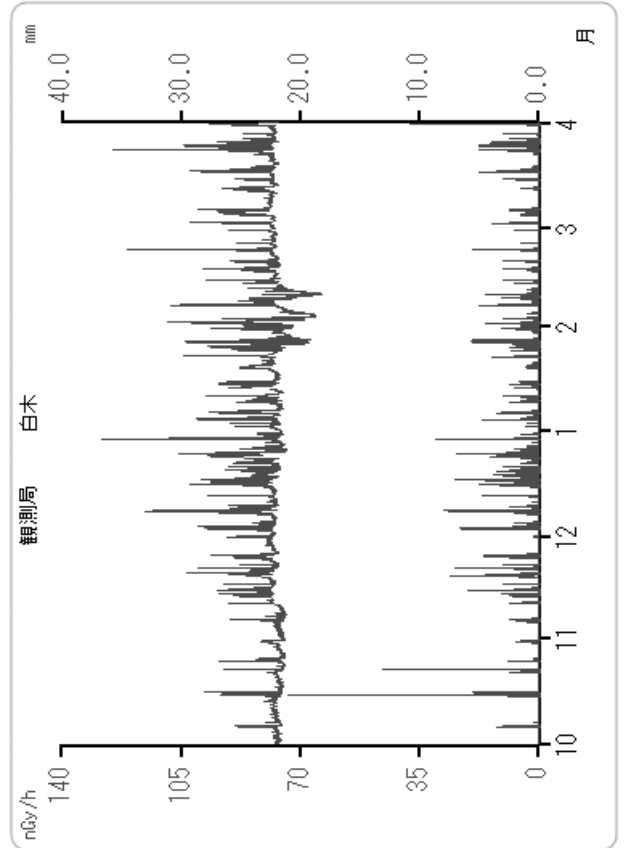
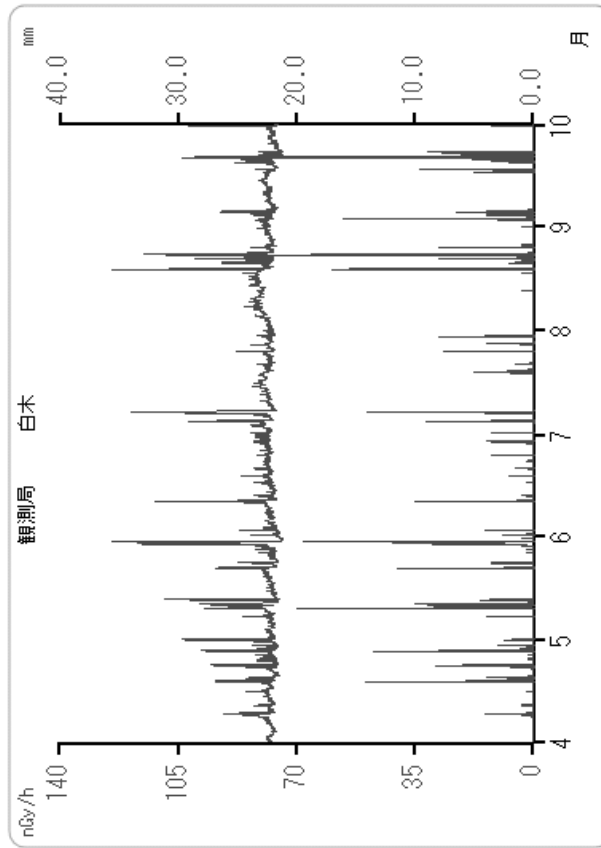
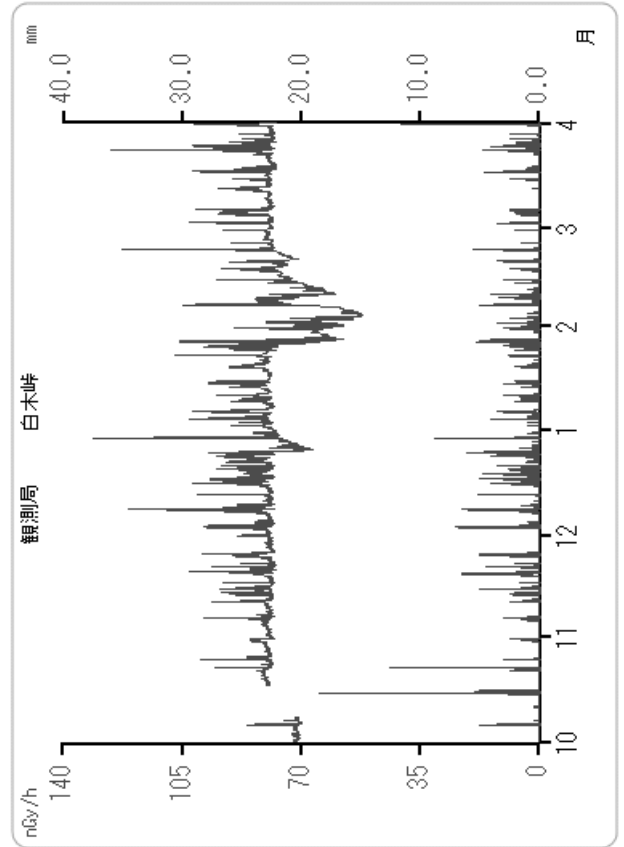
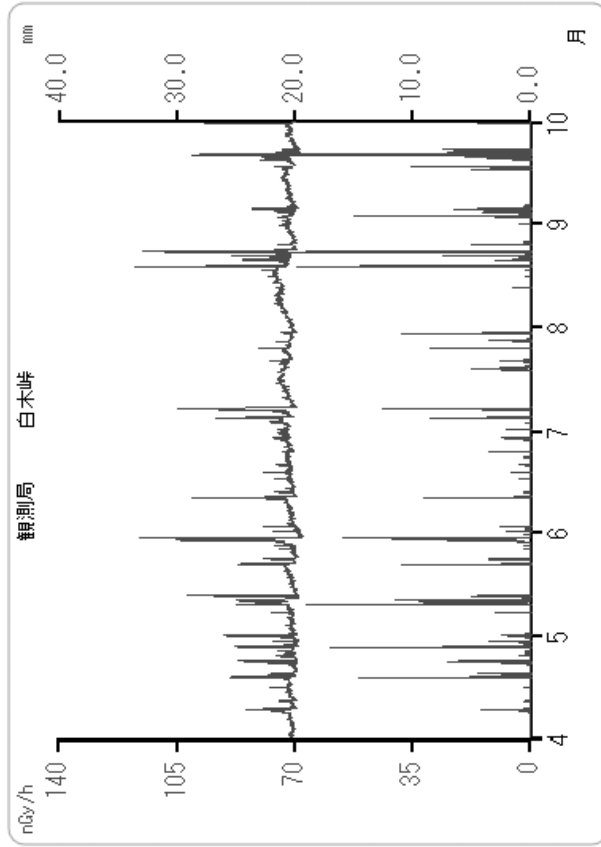


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2011年4月～2012年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

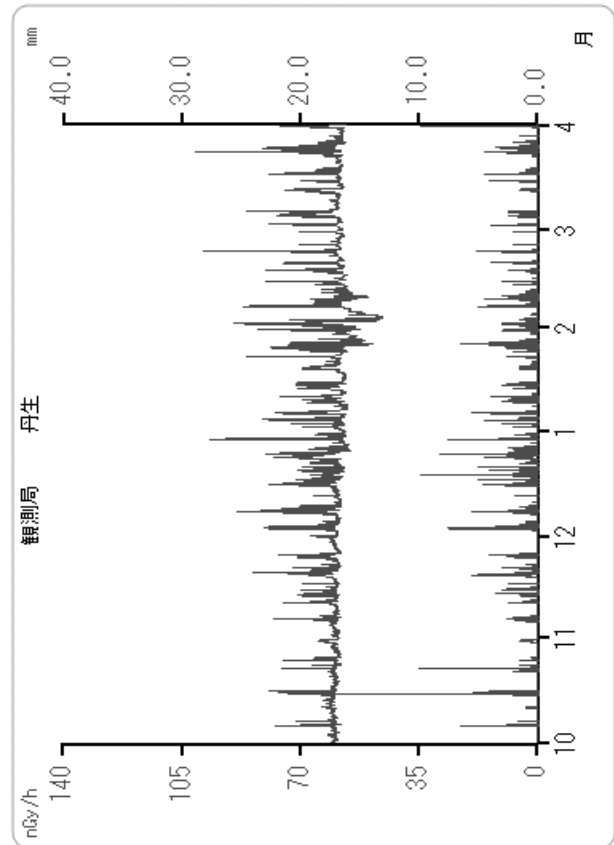
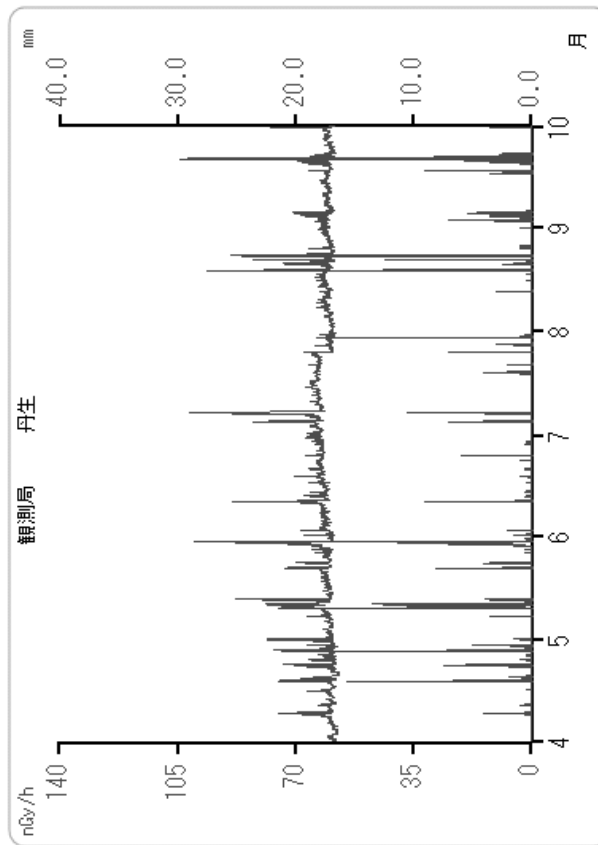
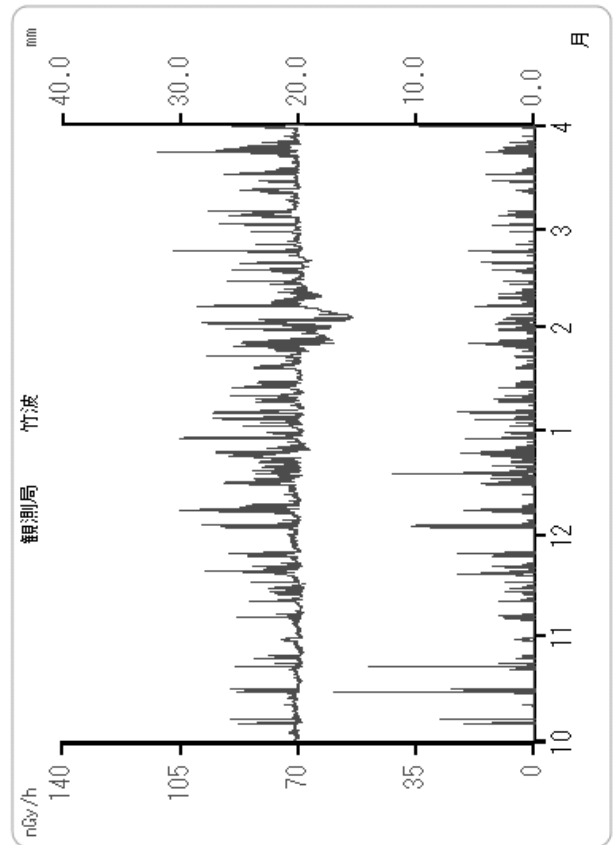
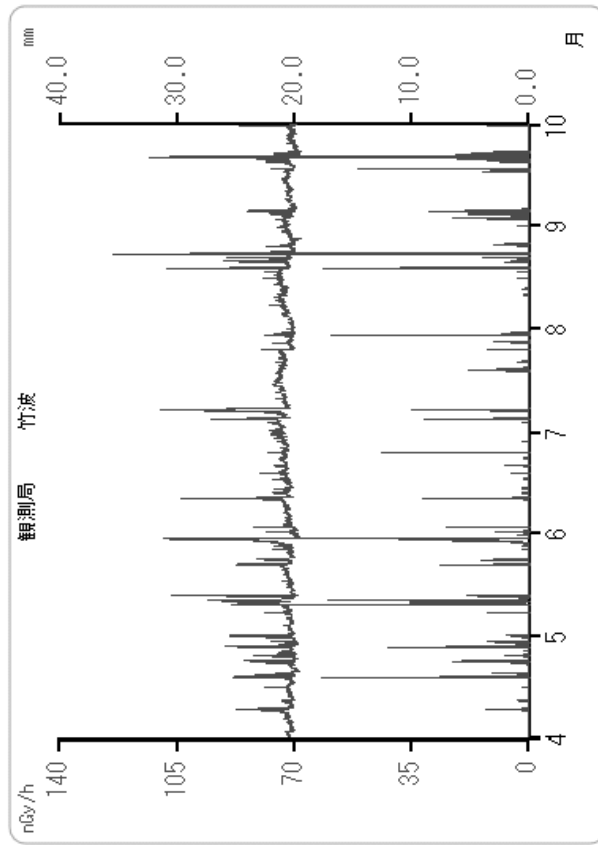


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2011年4月～2012年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

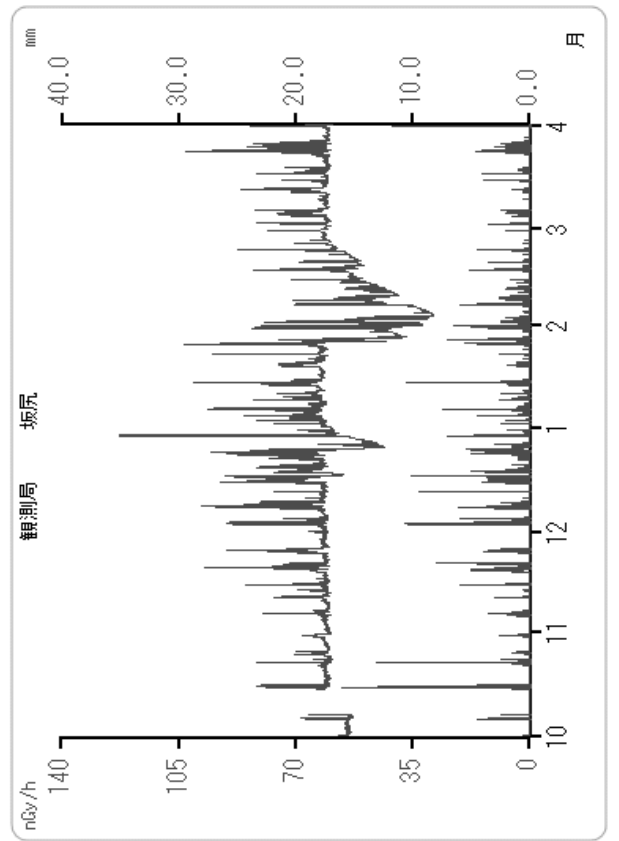
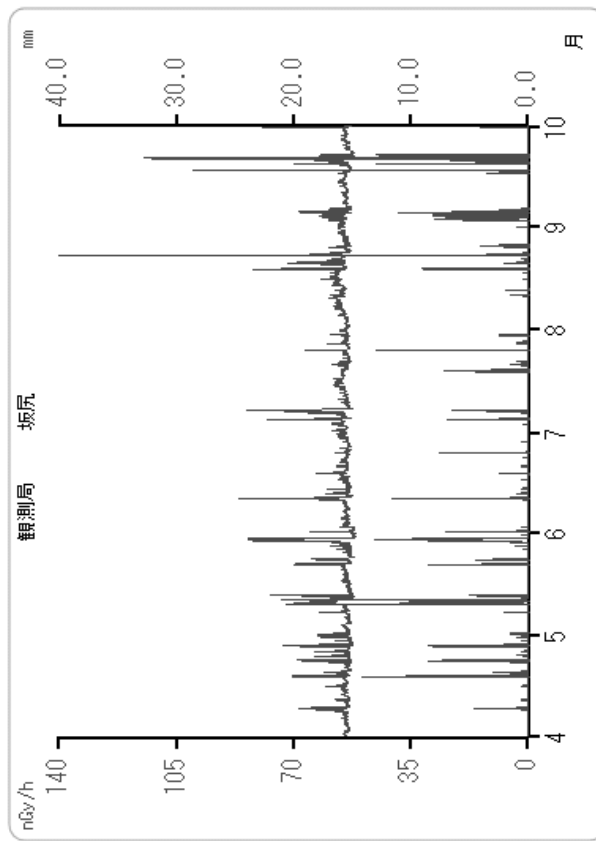
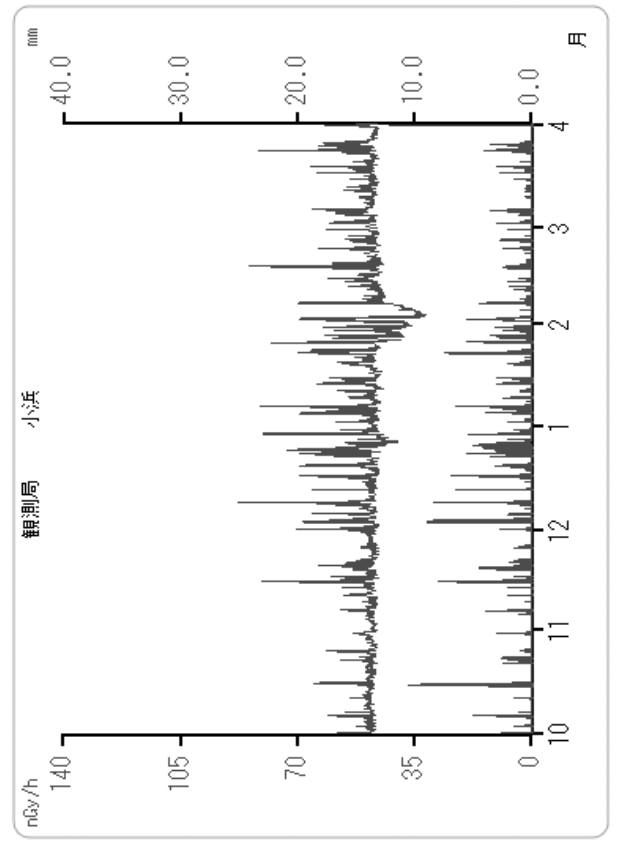
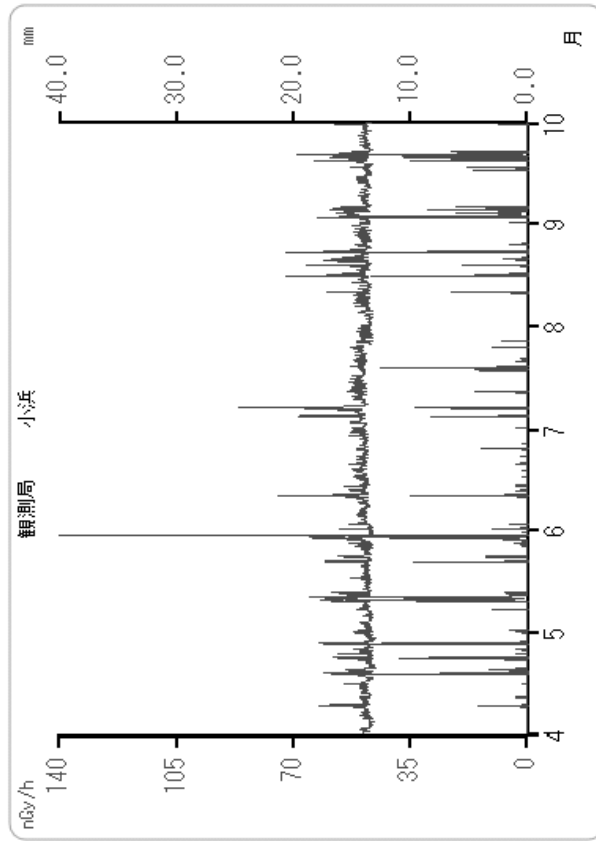


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2011年4月～2012年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

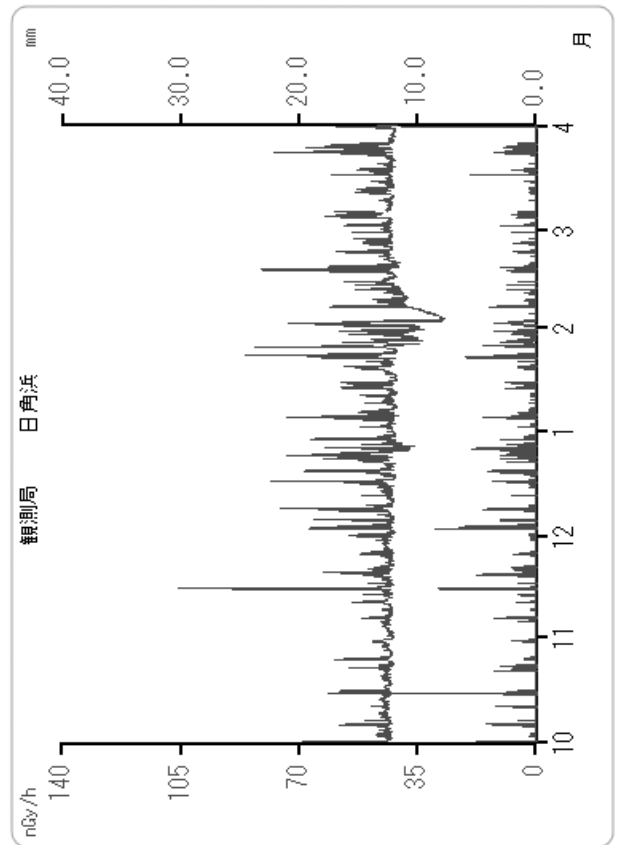
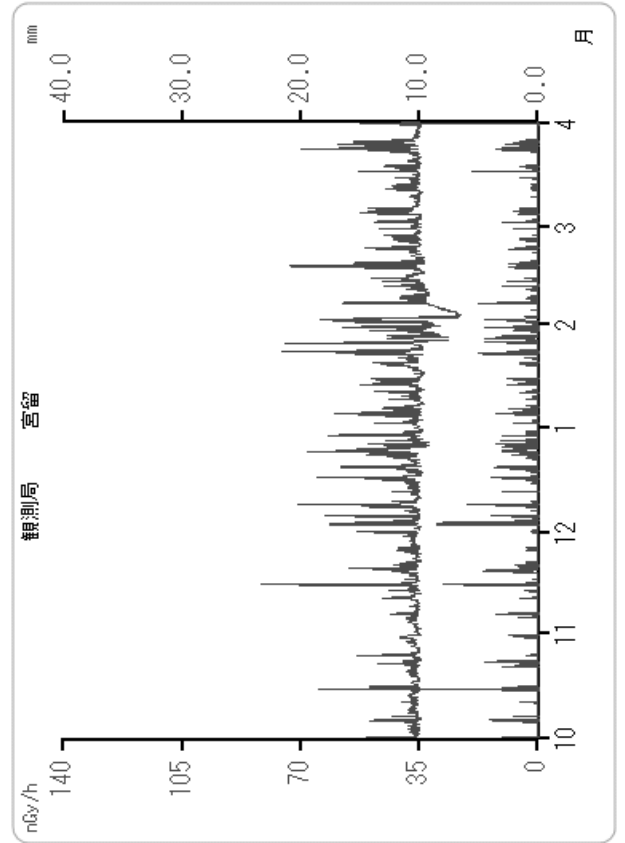
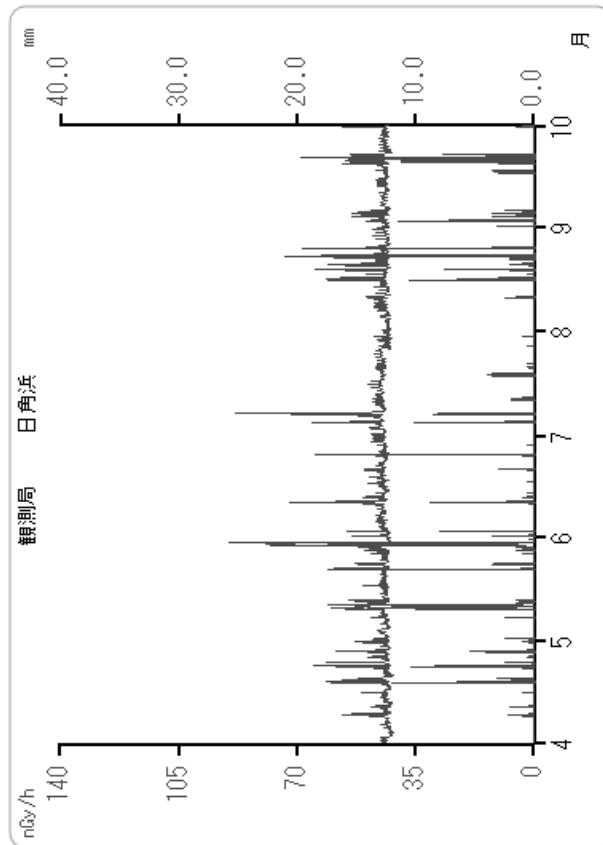
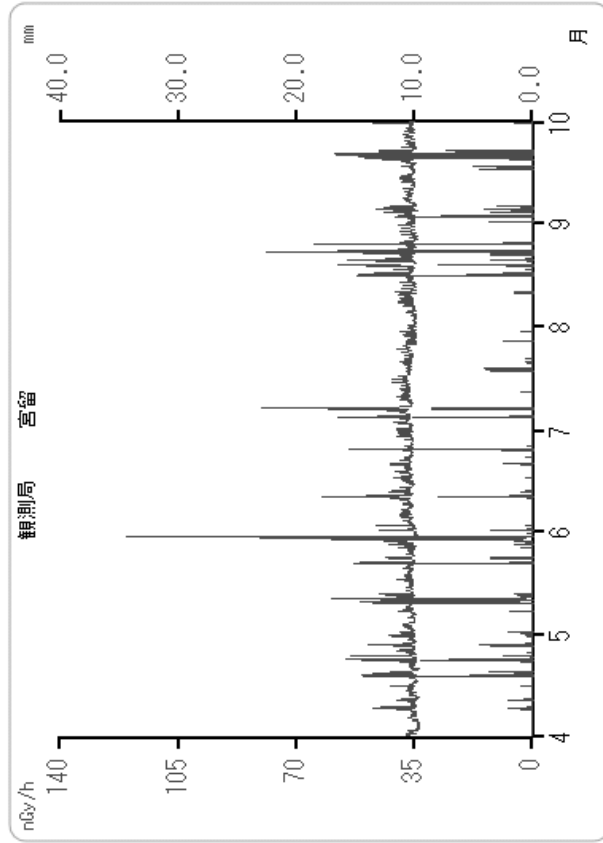


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2011年4月～2012年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

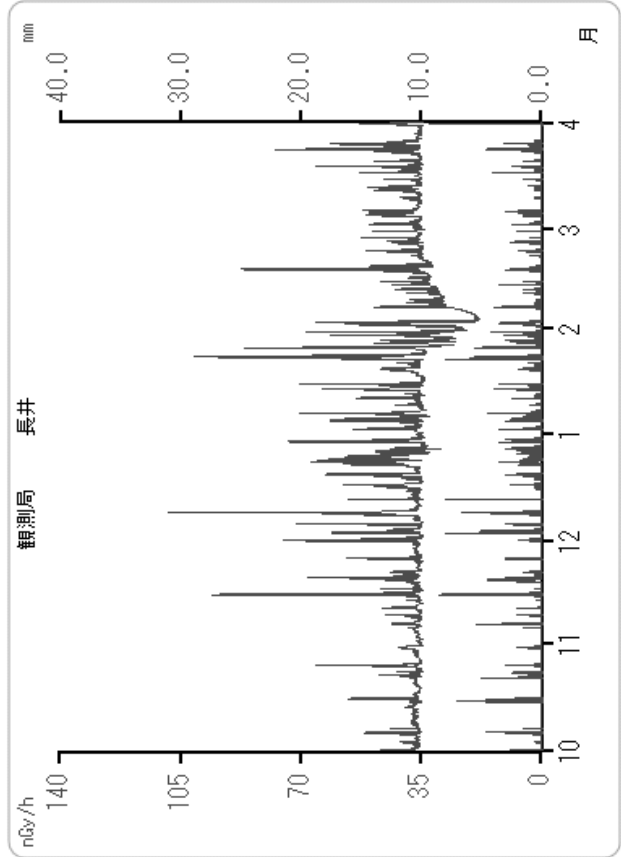
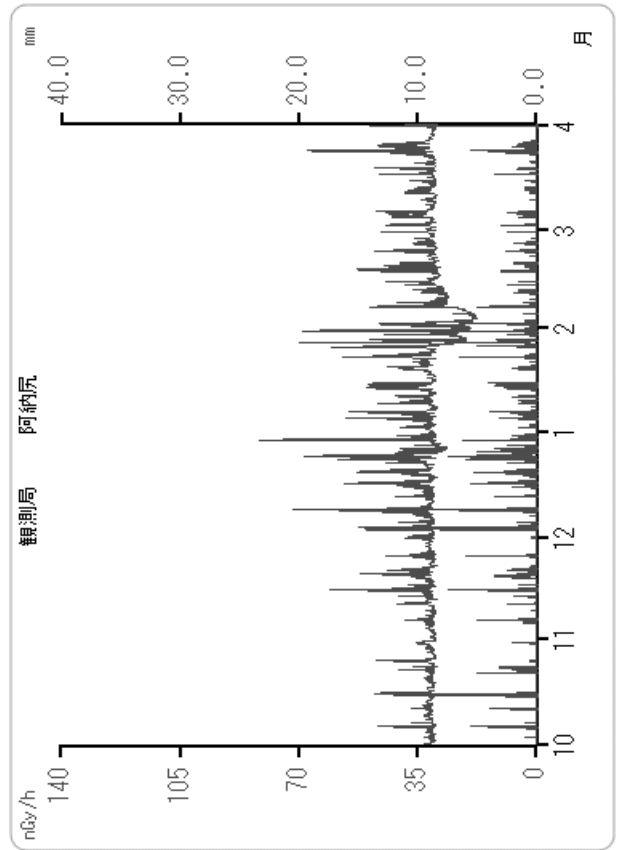
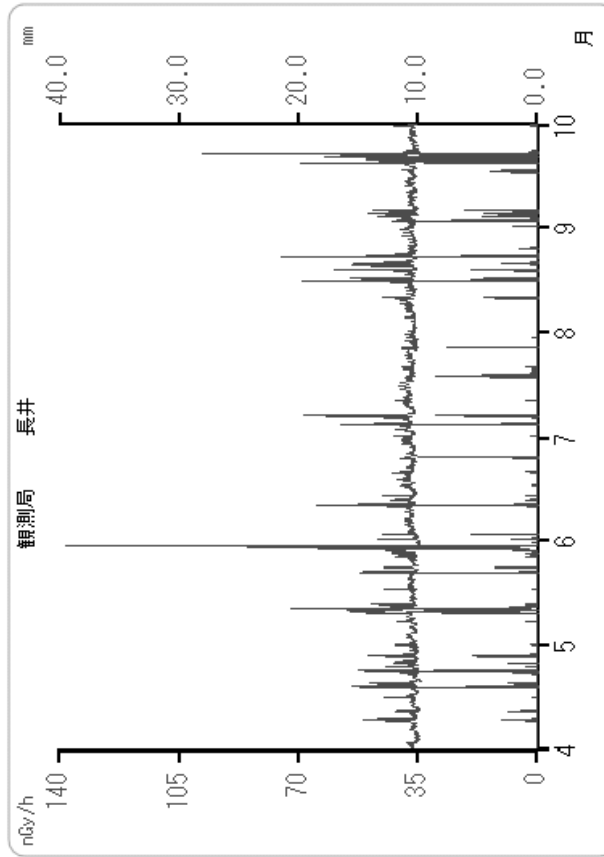
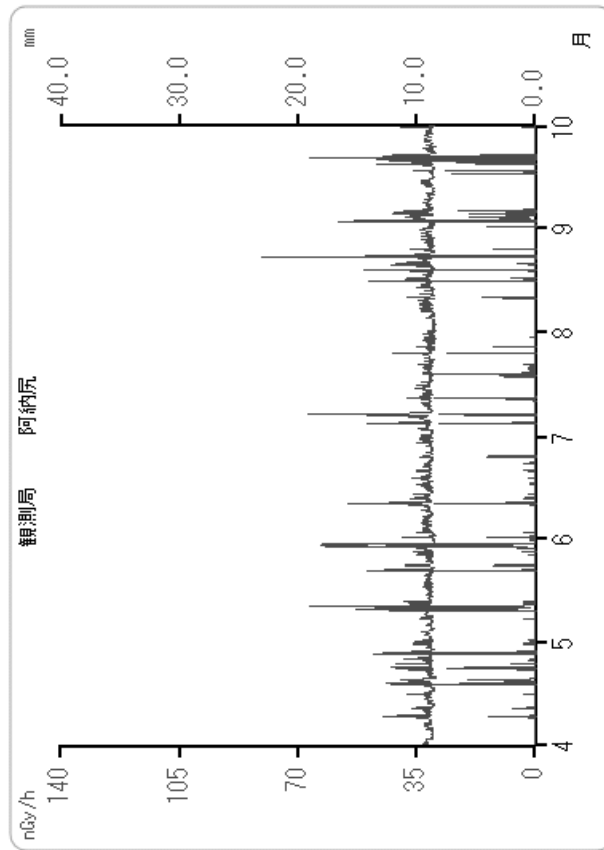


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2011年4月～2012年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

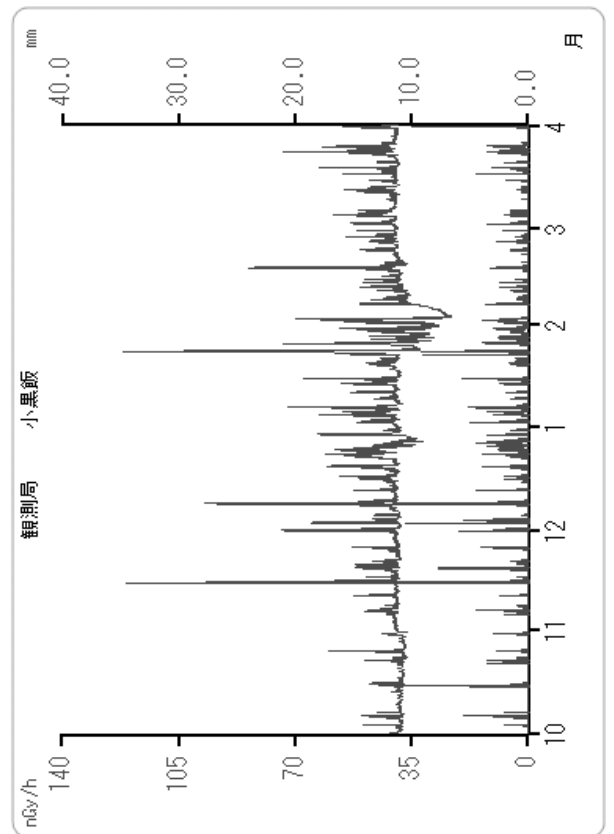
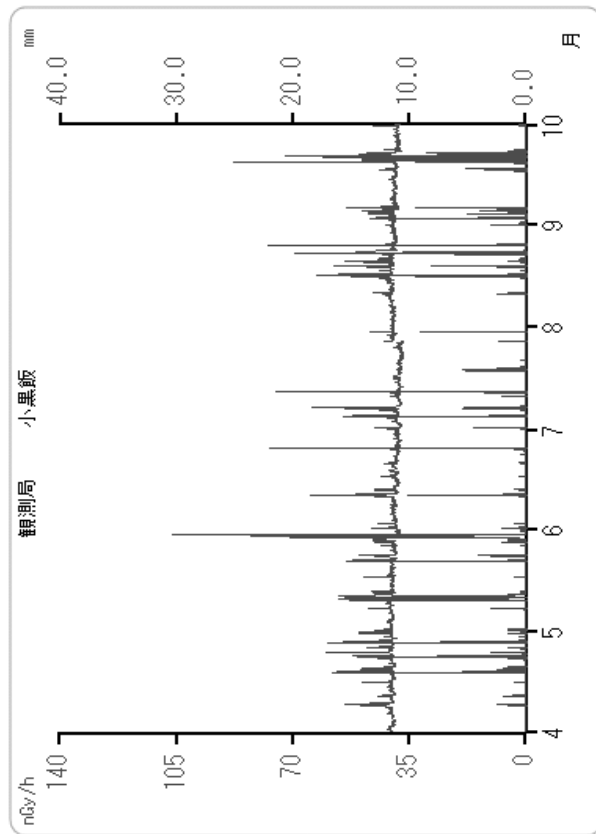
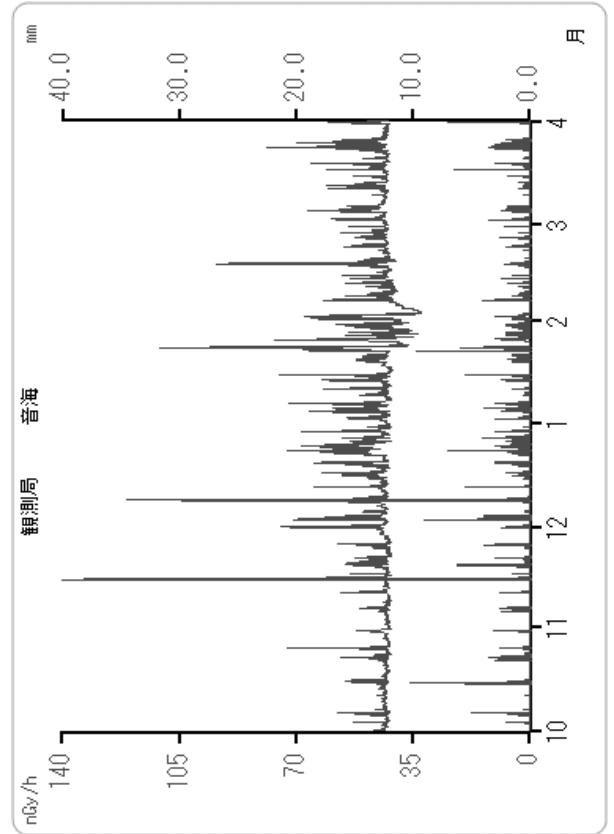
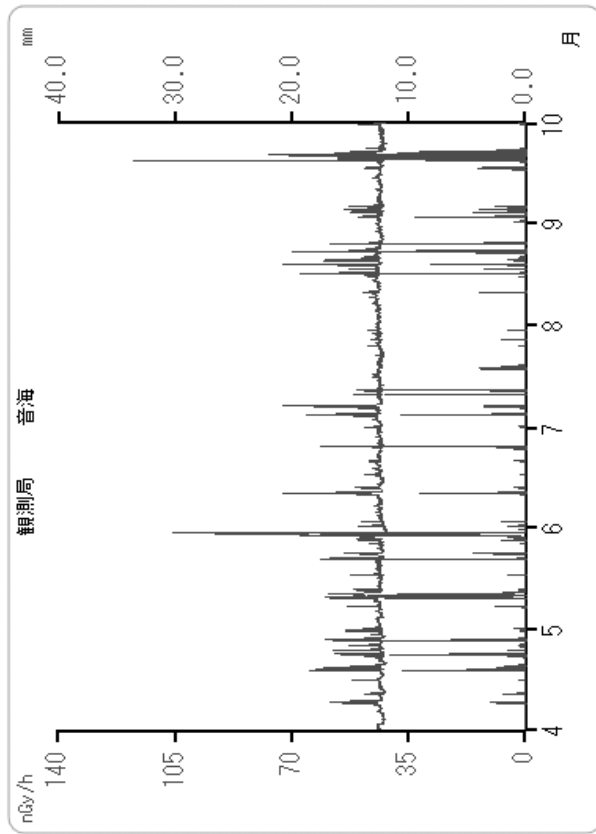


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2011年4月～2012年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

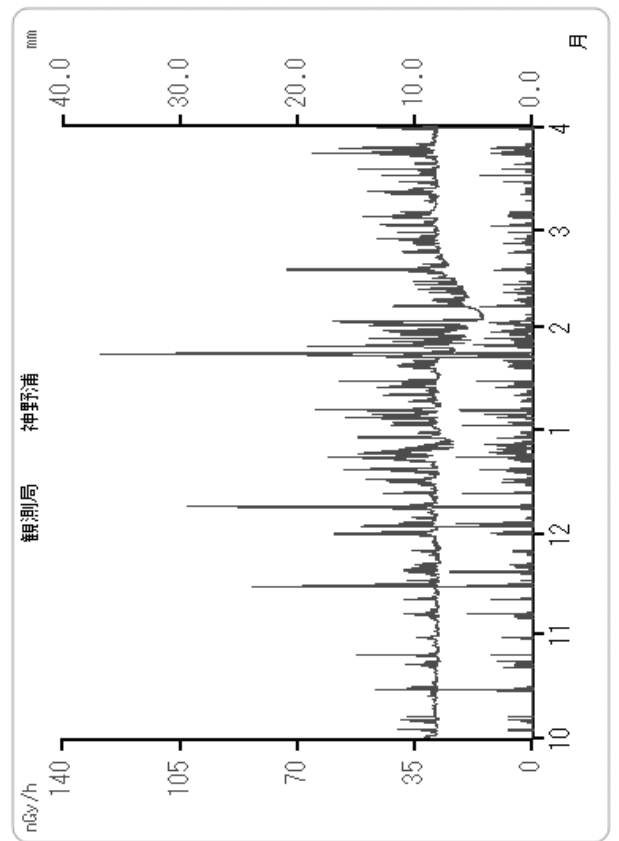
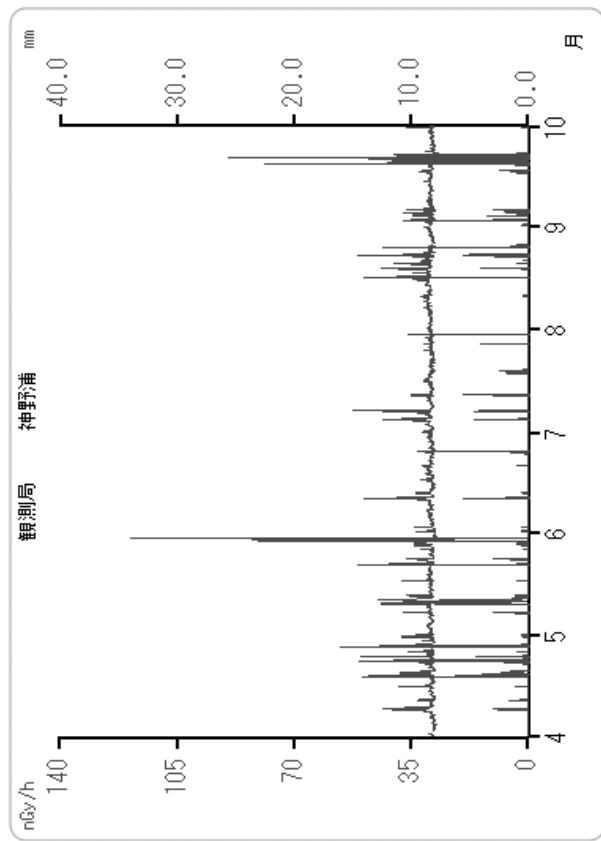
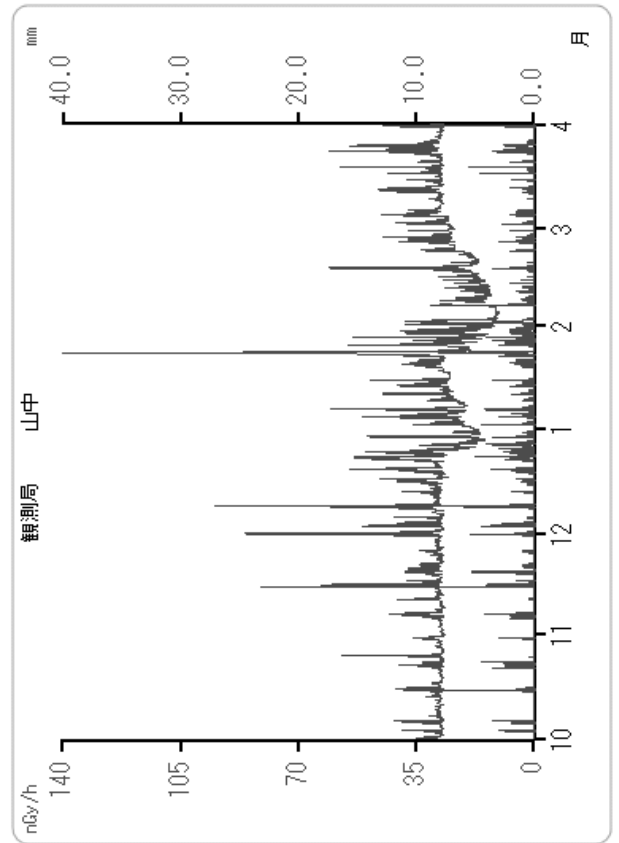
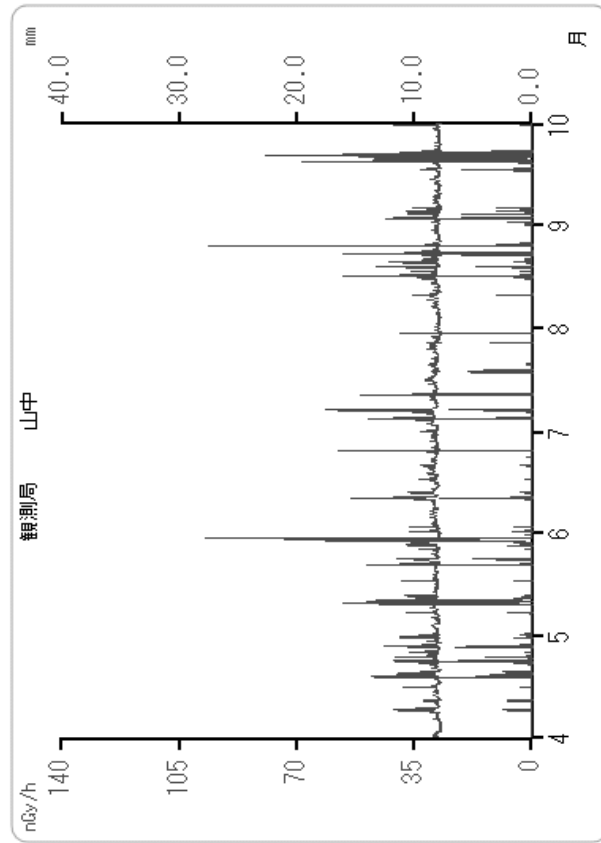


図4. 2. 2 各地の風配図 敦賀地区

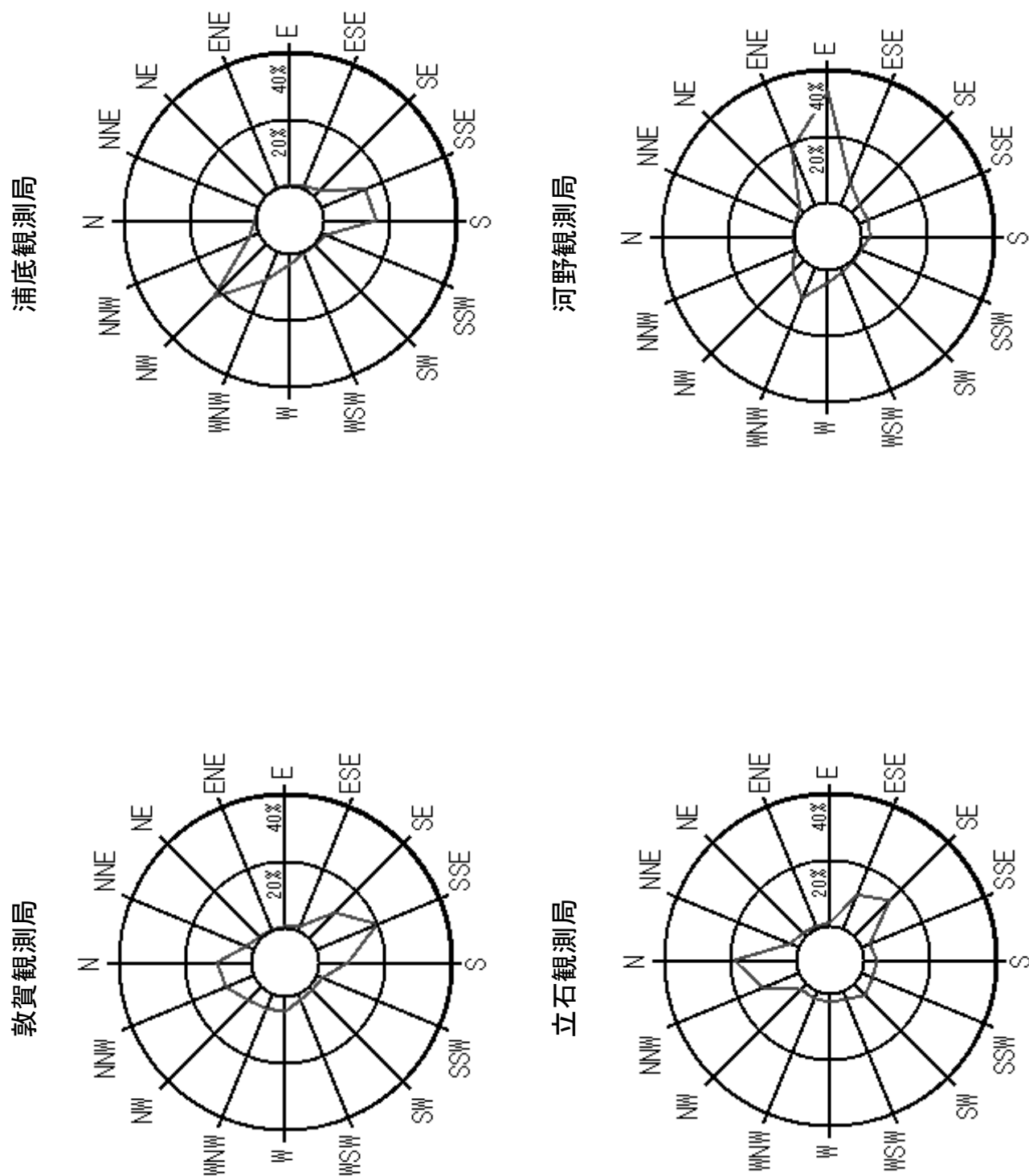
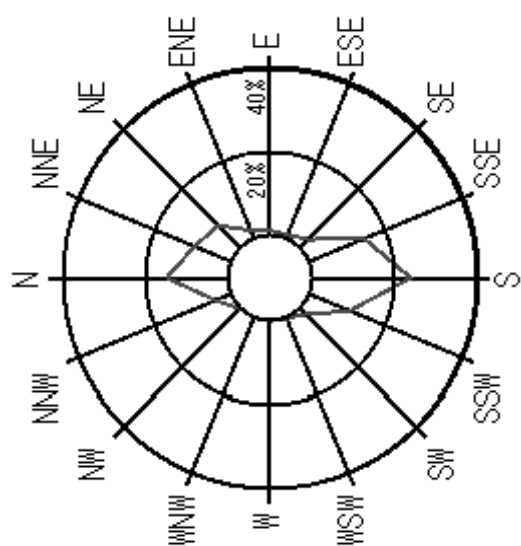


図4.2.2 各地の風配図 白木地区

白木観測局



白木峠観測局

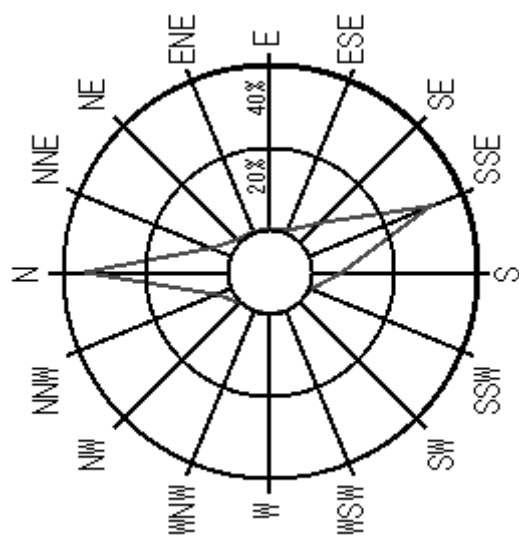
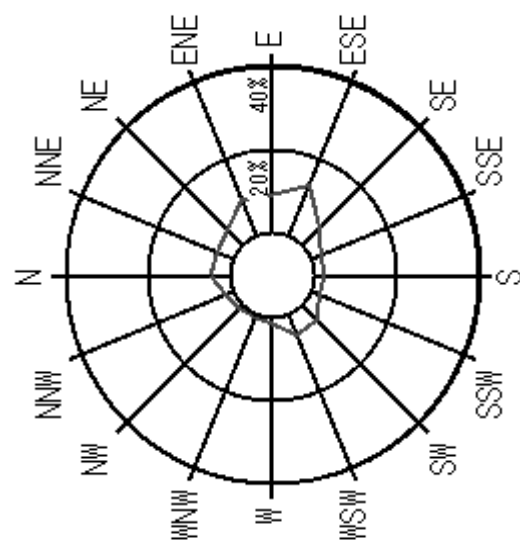
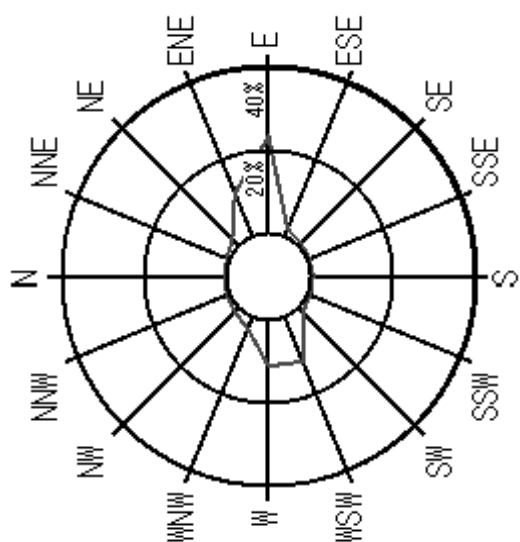


図4.2.2 各地の風配図 美浜地区

丹生観測局



竹波観測局



坂尻観測局

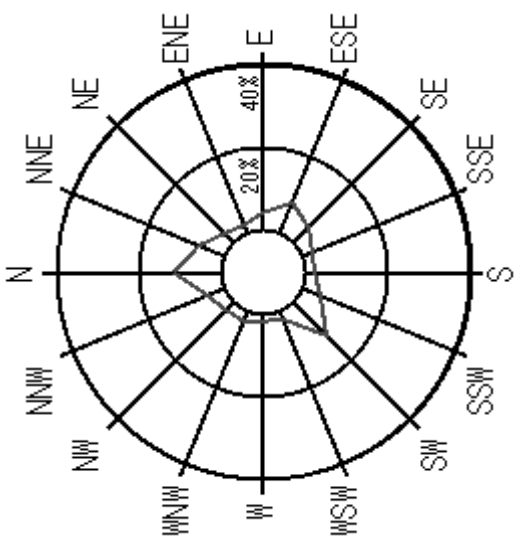
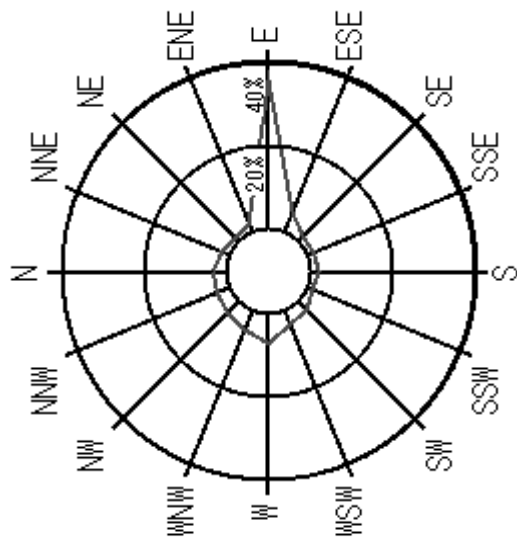
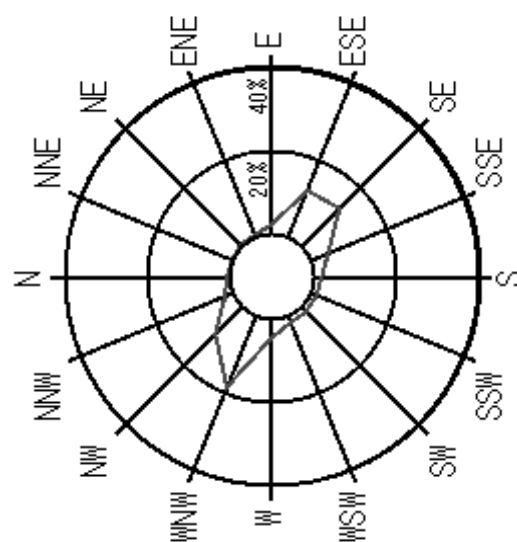


図4.2.2 各地の風配図 大飯地区

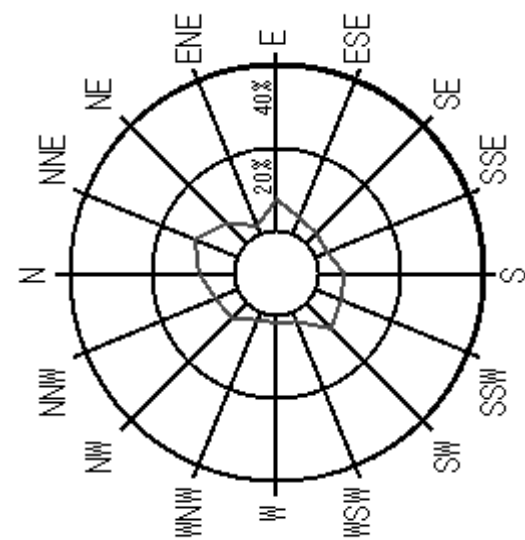
小浜観測局



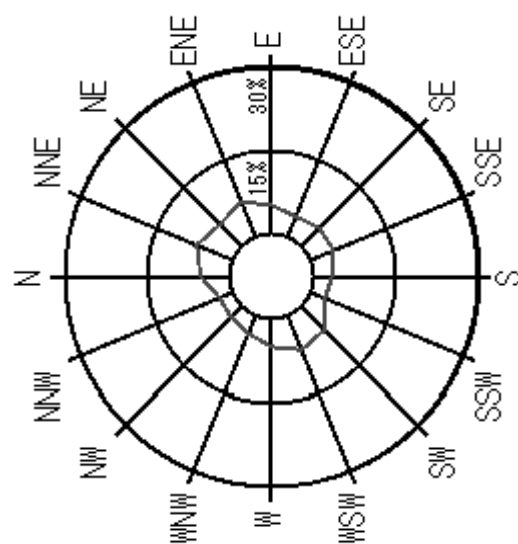
日角浜観測局



宮留観測局



阿納尻観測局



長井観測局

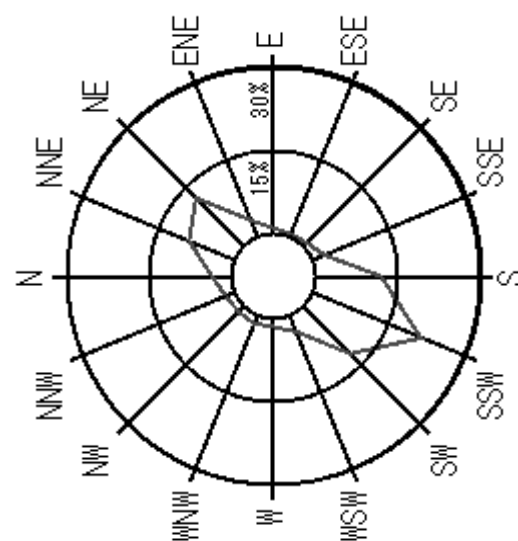
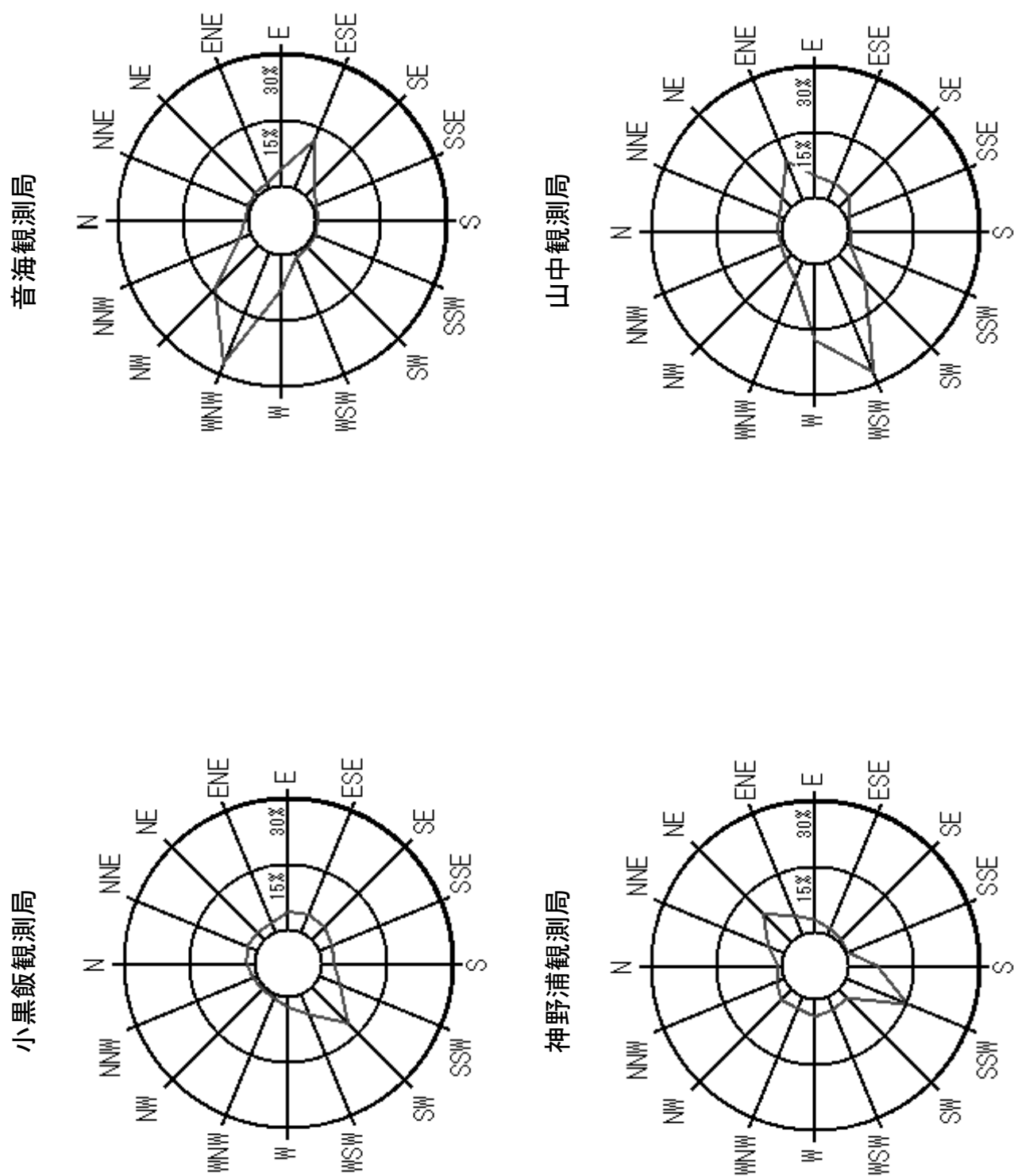


図4. 2. 2 各地の風配図 高浜地区



4. 2 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について

【測定のための目的・経緯】

大気中水分、雨水（降下物）のトリチウムの測定については、平成8年度から定期調査として報告を開始し、平成17年度からは、大気中水分を期間調査から月間調査に、雨水を月間調査から期間調査に変更した。

トリチウムは表-1に示すように、単位放射能当たりの線量への寄与が他の主要な核種と比べ数百分の1～数千分の1と小さく、環境安全上大きな問題となるものではないが、放射性ヨウ素や ^{60}Co 等の放射性核種の放出がほとんどなくなったことから、環境モニタリングにおいて相対的にトリチウムの比重が高くなっており、また、希ガスを除けば、定常的に放出される唯一の核種であるので、定期調査に加えたものである。

県内で多数を占める軽水型原子炉施設を例にとれば、気体廃棄物中のトリチウムは、海への液体廃棄物の放出とは異なり、使用済燃料プールや定期検査時の原子炉キャビティーからの蒸発や格納容器パージがあるため、ほぼ定常的に発生し、放出される。

大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握するためであり、雨水（降下物）については、雨によるウォッシュアウト（洗い落とし）効果によって大気中のトリチウムが地表にもたらされることや、空気中の水蒸気と地表面に溜まった水とが比較的容易に入れ代わること等から、大気中水分の測定結果を解釈する際の参考として分析しているものである。トリチウムの存在形態としてはHTや T_2 のようなガス状の存在も考えられるが、環境では速やかにHTOに変換するとされているので、水分を採取することとしている。

表-1 1Bqを経口または吸入摂取した場合の成人の実効線量係数 (mSv/Bq)

	経口摂取	吸入摂取
^3H	1.8×10^{-8}	1.8×10^{-8}
^{60}Co	3.4×10^{-6} (^3H に対する倍数 190)	3.1×10^{-5} (^3H に対する倍数 1,700)
^{131}I	1.6×10^{-5} (// 890)	1.5×10^{-5} (// 830)
^{137}Cs	1.3×10^{-5} (// 720)	3.9×10^{-5} (// 2200)

【試料の採取・測定法】

大気中水分は、線量率連続モニタの観測局等に設置した除湿器により月毎に採取したものを測定試料としている。雨水は、降下物の核種分析用の水盤または別の水盤から月毎に分取し、それを3ヶ月分まとめたもの（集合試料）を測定試料としている。測定試料を蒸留後、40ml分取して60mlの乳化シンチレータと混合、静置し、低バックグラウンド液体シンチレーション検出器により原則として計500分(50分×10回)測定している。検出限界値は測定条件によって多少異なるが、およそ0.5～1Bq/lである。

【数値の取扱い・大気中濃度への換算方法】

分析結果はBq/l（水）で報告する。

測定値は、有効数字2桁または表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

トリチウム濃度をN、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq 3 \Delta N$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、発電所寄与について検討する。

なお、大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/l) は、空気中の水分量が気温、相対湿度によって変動するため季節によって3～4倍値が違い、大気中濃度 (Bq/m³) が一定であっても冬季は大きな値となるため、測定結果を見る場合は注意を要する。

大気中水分のトリチウム (Bq/l) を大気中濃度 (Bq/m³) に換算するには、当該期間の平均気

温と平均相対湿度を用いて求めた空気中の水分量 (ℓ / m^3) を乗じる。2011年度の月毎の平均的な空気中の水分量は表-2の通りである。過去に報告された大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) も、同様に当該期間中の空気中の水分量を用いて大気中濃度 (Bq/m^3) に換算することができる。

表-2 月毎および年間の平均的な空気中の水分量 (単位: $m\ell / m^3$) *

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月平均	6.4	10.2	14.9	18.1	18.7	15.2	10.3	8.4	5.8	4.8	4.6	5.3
年平均	10.2											

* : 敦賀特別地域気象観測所における2011年度の平均気温および平均相対湿度を基に計算した。

【線量評価】

大気中水分を吸入することによる預託実効線量は、仮に $100 Bq/\ell$ のトリチウム濃度の水分を含む空気を成人が年間連続して呼吸し続けると仮定した場合、表-1の線量換算係数および1日の呼吸量を用いれば、

$(100Bq/\ell \times 0.0102 \ell / m^3) \times 22.2m^3/\text{日} \times 365\text{日} \times 1.8 \times 10^{-8} mSv/Bq = 1.5 \times 10^{-4} mSv$ と計算される。これは、公衆の線量限度 $1 mSv$ あるいは2008年国連科学委員会報告によるラドン等の吸入による内部被ばく線量 $1.26 mSv$ と比べ、無視し得るくらいの極めて小さな値である。

【過去の実績およびバックグラウンドレベル】

表-3に過去の実績として1975~2010年度の間最高値を、また、参考として「表-4」に対照地点の調査結果を示す。

表-3 過去の実績(1975~2010年度の最高値)

	地区	水中濃度	大気中濃度
大気中	高浜	52 Bq/ℓ 07年11月小黒飯	0.38 Bq/m^3
水分	対照	5.4 Bq/ℓ 81年4月福井	0.062 Bq/m^3
雨水	大飯	24.1 Bq/ℓ 99年3月宮留	
	対照	6.5 Bq/ℓ 75年6月福井	

表-4 対照地点の測定結果(2008~10年度)

	試料数	平均濃度±標準偏差
大気中水分	36	0.67±0.30 Bq/ℓ
雨水	12	0.52±0.20 Bq/ℓ

(検出限界値未満の場合を含む全試料の平均)

4. 3 東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故に関連した放射能調査

1 はじめに

平成23年3月11日14時46分頃三陸沖で発生した東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故に関連して、福井県内では、事故直後から文部科学省からの指示を受け、全国調査の一環として福井県が環境モニタリング強化（空間放射線量率、降下物、飲料水測定）の体制を取ったほか、福井県および県内原子力事業者が自主的に大気試料（浮遊じん、大気）や降下物試料の臨時調査を実施しており、その結果については、随時公表し、さらに四半期報告書で報告してきた。調査の結果、福井県内でも福島第一原子力発電所事故に起因すると考えられるI-131、Cs-134およびCs-137等が一部の試料から検出されているが、その濃度は極微量であり、健康ならびに環境安全上問題となるものではないことを確認している。

ここでは、平成23年3月から平成24年3月まで実施した定期調査および臨時調査について取りまとめた結果について報告する。なお、定期調査結果については既に本文中で報告したとおりであるが、事故起因核種として検出されているセシウム-134が、海水以外の試料においては目的核種ならびに参考核種の対象外であり、記載がないため、本付録にて結果の収録および評価を行う。ただし、臨時調査については、事故の影響が観測された試料のみ結果を記載した。

なお、本会議が行ってきた臨時調査は平成23年12月で終了し、以後定期調査の中で事故起因核種の影響を確認している。

2 測定結果の概要

(1) 空間線量

①テレメータシステムによる線量率連続測定結果

県および事業者が71地点で行っているテレメータシステムによる線量率の常時監視結果では、空間放射線量率の一時的な上昇が見られたが、全て静穏時のラドン娘核種濃度の上昇または降雨、降雪によるものであり、福島第一原子力発電所事故および県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量率上昇はなかった。なお、県内原子力発電所敷地内に設置されている観測所9地点においても同様な結果が得られている。

②モニタリングポストによる空間線量率測定

県が国からの委託を受けて福井市の1地点で実施している環境放射能水準調査の一環であり、国からの福島第一原子力発電所事故に関する強化指示によりモニタリングを強化した。テレメータシステムによる線量率連続測定結果と同様、福島第一原子力発電所事故による放射性物質の放出に起因する線量率上昇はなかった。

(2) 浮遊じん放射能の連続測定

大気中の人工放射性核種を連続的に監視する目的で行っている浮遊じん連続測定の結果では、その指標となるベータ/アルファ放射能濃度比において、福島第一原子力発電所事故および県内原子力発電所による変動は観測されなかった。

(3) 核種分析

表-1に人工放射性核種が検出された試料数と検出濃度の範囲を示す。また、臨時調査における試料採取状況を表-2に示す。試料毎の結果は次のとおりである。

①大気・浮遊じん

平成23年3、4月分の定期試料および臨時調査試料の一部から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131が検出されたが、5月以降は検出されていない。

また、平成23年3~6月分の定期試料の一部および3~5、8月の臨時調査試料の一部から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134ならびにセシウム-137が検出されたが、過去の福井県内におけるチェルノブイリ事故時のレベル以下であり、それ以降は検出されていない。

②陸水

定期試料および臨時調査試料から人工放射性核種は検出されなかった。

表－１ 核種分析による人工放射性核種検出数と検出濃度範囲

(単位：大気中ヨウ素および浮遊じん (mBq/m³)、陸水および海水 (mBq/l)、原乳 (Bq/l)、降下物 (Bq/m²)、その他 (Bq/kg))

試料	核種	調査		検出された試料数			検出濃度範囲		
		試料数*1		I-131	Cs-134	Cs-137	I-131	Cs-134	Cs-137
陸上	大気中ヨウ素*2	定期	130	20	/	/	ND~0.3	/	/
		臨時	459	62	/	/	ND~21	/	/
	浮遊じん	定期	205	17	30	34	ND~0.1	ND~0.7	ND~0.8
		臨時	460	25	20	22	ND~8.6	ND~14	ND~12
	陸水	定期	42	0	0	0	—	—	—
		臨時	286	0	0	0	—	—	—
	陸土	定期	27	0	4	27	—	ND~0.8	1.4~140
	指標植物(ヨモギ)		42	3	19	29	ND~0.3	ND~1.2	ND~1.4
	松葉		13	0	12	13	—	ND~2.2	0.4~2.4
	農産物		6	0	0	1	—	—	ND~0.0
原乳	6		0	0	1	—	—	ND~0.1	
降下物	定期	143	22	44	46	ND~16	ND~33	ND~36	
	臨時	287	3	2	2	ND~17	ND~4.1	ND~3.9	
海洋	海水	定期	49	/	0	35	/	—	ND~3.1
	海底土		100	0	0	34	—	—	ND~9.7
	海産食品(魚類)		40	/	3	36	/	ND~0.5	ND~0.8
	海産食品(貝類)		22	/	0	4	/	—	ND~0.1
	海産食品(藻類)		27	9	4	4	ND~0.5	ND~0.1	ND~0.1
	指標海産生物		85	15	0	4	ND~5.1	—	ND~0.2

*1 上段：技術会議計画に基づく調査、下段：事故に伴う計画外臨時調査

*2 大気中ヨウ素の定期調査においては同一地点で粒子状とガス状試料を個別に採取・測定している。

—は検出限界値未満、/は調査対象外であることを示す(以下の表-2~表-3まで同様)。

平成23年3月(平成23年3月11日以降)調査分試料を含む。

表－２ 臨時調査における試料採取状況

試料	地区	採取地点	調査期間	調査頻度	備考
大気試料	敦賀	吉河(監視センター)	11.03.27 ~ 11.05.09	毎日採取・測定	
			11.05.09 ~ 11.07.06	週3回(連続採取)	
		敦賀発電所構内	11.03.17 ~ 12.01.04	週1回採取(連続採取)	
	白木	松ヶ崎(機構Mステーション)	11.03.22 ~ 12.01.04	週1回採取(連続採取)	
	美浜	美浜発電所事務所屋上	11.03.18 ~ 12.01.04	週1回採取(連続採取)	
			環境モニタリングセンター	11.03.14 ~ 12.01.04	週1回採取(連続採取)
	大飯	大飯発電所第一事務所横	11.03.17 ~ 12.01.04	週1回採取(連続採取)	
	高浜	高浜発電所ビシターハウス	11.03.17 ~ 12.01.04	週1回採取(連続採取)	
対照	福井市原目町	11.03.16 ~ 11.07.04	毎日採取・測定		
		11.07.04 ~ 11.12.28	週1回採取(連続採取)		
陸水	対照	福井市原目町	11.03.18 ~ 11.12.28	毎日採取・測定	文科省モニタリング強化指示対応
降下物	対照	福井市原目町	11.03.16 ~ 11.12.28	毎日採取・測定	〃

③陸土

平成 23 年 9 月および 11 月の一部の試料から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134 が検出されたが、その濃度は過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。また、セシウム-137 が全ての試料から検出されているが、その濃度は過去実績の範囲内であり、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができる。なお、セシウム-134 が同時に検出された試料については、過去の核実験影響に福島第一原子力発電所事故影響が加わったものと考えられる。

④指標植物

平成 23 年 5 月、6 月の一部の試料から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131 が検出されたが、それ以降は検出されていない。

平成 23 年 5～10 月の一部の試料から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134 が検出されたが、その濃度は過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。また、セシウム-137 とセシウム-134 が同時に検出された試料については、過去の核実験影響に福島第一原子力発電所事故影響が加わったものと考えられる。なお、11 月のいずれの試料からもセシウム-134 は検出されておらず、検出頻度は減少傾向にある。

⑤松葉

平成 24 年 2 月に採取した 1 試料^{*1}を除き、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-137、セシウム-134 が同時に検出されているが、その濃度は過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。

⑥農産物

一部の試料からセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去実績の範囲内であり、セシウム-134 を同時に検出していないことから、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができる。

⑦原乳

10 月の一部の試料からセシウム-137 が検出されたが^{*2}、その濃度は従来の過去の核実験フォールアウト影響として検出される濃度と同程度であり、セシウム-134 を同時に検出していないことから、過去の核実験のフォールアウト影響が大きいと考えられる。

⑧降下物

平成 23 年 3、4 月の定期試料および 4 月の臨時調査試料の一部からは福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるヨウ素-131 が検出されたが、5 月以降は検出されていない。

また、平成 23 年 3 月以降の定期試料の一部および 4 月の臨時調査試料の一部からセシウム-137 ならびにセシウム-134 が検出されたが、過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。なお、セシウム-137 に関して、今回同時にセシウム-134 も検出されている試料については過去の核実験影響に福島第一原子力発電所事故の影響が加わったと判断できる。なお、検出頻度、検出濃度ともに減少傾向にある。

⑨海水

海水からセシウム-137 が検出されたが、その濃度は従来の過去の核実験フォールアウト影響として検出される濃度と同程度であり、セシウム-134 を同時に検出していないことから、過去の核実験のフォールアウト影響とみなすことができる。

⑩海底土

一部の試料からセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去実績の範囲内であり、セシウム-134 を同時に検出していないことから、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができる。

⑪海産食品

養殖魚の一部から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134 が検出されたが、その濃度は過去のチェルノブイリ事故時と同程度のレベルであった。また、セシウム-137 とセシウム-134 が同時に検出された試料については、過去の核実験影響に福島第一原子力発電所事故影響が加わったものと考えられる。なお、その他の魚類からはセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去実績の範囲内であり、セシウム-134 を同時に検出していないことから、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができる。

貝類の一部の試料から、セシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去実績の範囲内であり、

セシウム-134 を同時に検出していないことから、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができる。

平成 23 年 4 月、5 月に採取した藻類の一部から、福島第一原子力発電所事故に起因すると考えられるヨウ素-131 が検出されたが、過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。また、平成 23 年 5 月に採取した藻類の一部の試料から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134 が検出されたが、その濃度は過去のチェルノブイリ事故時のレベル以下であった。また、セシウム-137 とセシウム-134 が同時に検出された試料については、過去の核実験影響に福島第一原子力発電所事故影響が加わったものと考えられる。なお、平成 24 年 2 月、3 月に採取した試料からは人工放射性核種は検出されていない。

⑫ 指標海産生物

平成 23 年 3～5 月に採取した指標海産生物の一部の試料から福島第一原子力発電所事故に起因すると考えられるヨウ素-131 が検出されたが、6 月以降は検出されていない。また、一部の試料からはセシウム-137 が検出されたが、その濃度は過去実績の範囲内であり、セシウム-134 を同時に検出していないことから、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができる。

*1：長時間測定（14 万秒）により検出限界を下げた結果、Cs-134 がごく低レベルで検出された。

*2：長時間測定（42 万秒）により検出限界を下げた結果、Cs-134 がごく低レベルで検出された。

表-3 チェルノブイリ事故時との比較

(単位：大気試料 (mBq/m³)、陸土 (Bq/kg 乾土)、降下物 (Bq/m²)、その他 (Bq/kg 生))

	試料名	核種	最大濃度 (平成 23 年 3 月～平成 24 年 3 月)			チェルノブイリ事故時との比 *2	チェルノブイリ事故時最大濃度*1		
			採取期間	採取地点	濃度		採取期間	採取地点	濃度
定期	大気	ガス状 I-131	11/3/3～11/4/7	敦賀浦底 A	0.3	170 分の 1	86/4/1～5/9	美浜竹波	59*3
		粒子状 I-131	11/3/3～11/4/7	敦賀浦底 A	0.1	33 分の 1	86/5/2～6/6	敦賀浦底	3.9*4
		Cs-134	11/4/4～11/5/6	敦賀浦底 B	0.7	8 分の 1	86/5/2～6/6	敦賀浦底	5.9*4
		Cs-137	11/4/4～11/5/6	敦賀浦底 B	0.8	14 分の 1	86/5/2～6/6	敦賀浦底	12*4
	陸土	Cs-134	2011/9/2	大飯畑村	0.8	4 分の 1	1986/11/5	大飯日角浜	3.3
	指標植物 (ヨモギ)	I-131	2011/5/9	福井原目	0.3	3000 分の 1	1986/5/9	敦賀浦底	960
		Cs-134	2011/10/4	高浜小黑飯	1.2	28 分の 1	1986/5/15	敦賀明神町	33
		Cs-137	2011/10/4	高浜小黑飯	1.4	50 分の 1	1986/5/12	敦賀明神町	70
	松葉	Cs-134	2011/6/6	高浜小黑飯	2.2	10 分の 1	1986/5/21	高浜神野浦	24
		Cs-137	2011/6/6	高浜小黑飯	2.4	17 分の 1	1986/5/21	高浜神野浦	41
	降下物	I-131	11/4/1～11/5/2	敦賀浦底(明神寮)	16	150 分の 1	86/4/2～5/7	高浜小和田	2400
		Cs-134	11/4/4～11/5/9	高浜小和田	33	2 分の 1	86/5/2～6/2	敦賀松島	81
		Cs-137	11/4/4～11/5/9	高浜小和田	36	5 分の 1	86/5/2～6/2	敦賀松島	190
	海産食品 (魚類)	Cs-134	2012/3/8	敦賀色ヶ浜(養殖)	0.5	同レベル	1986/6/18	美浜 1, 2 号放水口	0.2
		Cs-137	2012/3/8	敦賀色ヶ浜(養殖)	0.8	同レベル	1986/10/1	高浜内浦湾	0.5
	海産食品 (藻類)	I-131	2011/4/6	大飯黒崎	0.5	910 分の 1	1986/5/8	大飯鋸崎	440
		Cs-134	2011/5/10	白木松ヶ崎	0.1	21 分の 1	1986/5/8	大飯鋸崎	1.3
		Cs-137	2011/5/6	敦賀立石漁港	0.1	29 分の 1	1986/5/8	大飯鋸崎	2.5
	指標海産生物	I-131	2011/4/27	白木松ヶ崎	5.1	210 分の 1	1986/5/7	美浜丹生大橋西	1100
臨時	大気	ガス状 I-131	4/17～4/18	敦賀吉河	21	38 分の 1	86/5/5～5/6	敦賀吉河	810
		粒子状 I-131	4/17～4/18	敦賀吉河	8.6	51 分の 1	86/5/7～5/8	対照原目	440
		Cs-134	4/18～4/19	敦賀吉河	14	2 分の 1	86/5/7～5/8	対照原目	30
		Cs-137	4/18～4/19	敦賀吉河	12	5 分の 1	86/5/7～5/8	対照原目	63
	降下物	I-131	4/19～4/20	福井原目	17	150 分の 1	86/5/3～5/4	敦賀	2600
		Cs-134	4/19～4/20	福井原目	4.1	10 分の 1	86/5/11～5/12	敦賀	41
		Cs-137	4/19～4/20	福井原目	3.9	21 分の 1	86/5/11～5/12	敦賀	85

*1：昭和 61 年度福井県環境放射能測定技術会議年報より。

*2：有効数字二桁まで求めた濃度値を使用して算出した。

*3：昭和 61 年度第 1 四半期衛研(当時)報告書(1.61pCi/m³)より。

*4：昭和 61 年度福井県環境放射能測定技術会議年報では試料が 2 分割(5/2～5/9 と 5/9～6/6) されて報告されていたため、両結果から 5/2～6/6 採取分に換算計算した。

3 線量評価

調査結果の概要で既に明らかなように、特に線量を評価する必要はないが、福島第一原子力発電所事故影響と考えられるヨウ素-131、セシウム-134等が検出されていることから、被ばく線量の評価を行った。

評価の結果、一般公衆の線量限度（年間1ミリシーベルト）はもとより、発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値（年間0.05ミリシーベルト）をはるかに下回っていた。

(1) 外部被ばく

県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定では、福島第一原子力発電所事故および県内原子力発電所による有意な線量上昇は認められず、これらに起因する線量影響は無視できる程度であった。

(2) 内部被ばく

内部被ばくに係る試料から福島第一原子力発電所事故に起因すると考えられるヨウ素-131等が検出されているため、各種試料中の平均濃度をもとに内部被ばくに関する預託実効線量の試算を行った。試算にあたっての具体的事項を注1に示す。なお、事故に伴う監視強化のために実施した臨時調査試料測定結果は参考データとして取り扱い、本報告書の被ばく評価の対象外とした。また、平均濃度の算出に当たっては、検出された試料のみを用いているため、実際の食品レベルより高くなっており、安全側に見積もられている。

内部被ばくに関する預託実効線量の計算結果を表-4に、計算に用いた試料毎の平均濃度を表-5に示す。評価の結果、福島第一原子力発電所事故および県内原子力発電所に起因する内部被ばくは無視できる程度であった。

表-4 検出値から試算した預託実効線量(内部被ばく) 単位: ミリシーベルト

空気(呼吸)	飲料水	牛乳	葉菜	海産物
0.001以下	—	0.001以下	0.001以下	0.001以下

表-5 検出された核種の試料別平均濃度

試料		ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
大気 (mBq/m ³)		0.23	0.27	0.23
飲料水 (mBq/l)		—	—	—
原乳 (Bq/l)		—	—	0.055
指標植物 (Bq/kg生)		0.27	0.38	0.38
農産物 (Bq/kg生)		—	—	0.029
海産食品	魚類 (Bq/kg生)	/	0.36	0.13
	貝類 (Bq/kg生)	/	—	0.035
	藻類 (Bq/kg生)	0.30	0.052	0.052
指標海産生物 (Bq/kg生)		0.89	—	0.068

(注1) 通常食用とはしない指標生物を食品と同等に摂取するものとして取扱い、被ばく評価の計算に加える。指標植物(モキ)は葉菜、指標海産生物(ホダワラ)は藻類として被ばく評価の対象とした。線量計算は原子力安全委員会の「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(以下、評価指針という)」に従い、上記の平均核種濃度の食品等を、成人で1日当たり葉菜100g、牛乳200ml、魚200g、無脊椎動物20g、海藻40gずつ、呼吸率を22.2m³/日として計算を行った。飲料水の摂取量はICRP Publ.23により2.65L/日とした。大気中試料からヨウ素-131が検出されたのは平成23年3、4月分試料、放射性セシウムが検出されたのが平成23年3~6月分試料のみであったため、呼吸による被ばく評価において摂取期間をそれぞれ60日および120日とした。その他の試料に関しては365日を摂取期間とした。

第1表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ I 粒子状 I 濃度	¹³¹ I ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ I 粒子状 I	¹³¹ I ガス状 I	
教賀	浦底A	11.03.03～11.04.07	0.1	0.3	—	—	A
		11.04.07～11.05.11	0.1	0.2			
		11.05.11～11.06.02	—	—			
		11.06.02～11.07.07	—	—			
		11.07.07～11.08.04	—	—			
		11.08.04～11.09.07	—	—			
		11.09.07～11.10.06	—	—			
		11.10.06～11.11.10	—	—			
		11.11.10～11.12.07	—	—			
		11.12.07～12.01.13	—	—			
		12.01.13～12.02.08	—	—			
		12.02.08～12.03.08	—	—			
		12.03.08～12.04.05	—	—			
白木	白木A	11.03.03～11.04.06	0.1	0.2	—	—	A
		11.04.06～11.05.11	0.1	0.2			
		11.05.11～11.06.02	—	—			
		11.06.02～11.07.06	—	—			
		11.07.06～11.08.04	—	—			
		11.08.04～11.09.07	—	—			
		11.09.07～11.10.05	—	—			
		11.10.05～11.11.10	—	—			
		11.11.10～11.12.07	—	—			
		11.12.07～12.01.12	—	—			
		12.01.12～12.02.08	—	—			
		12.02.08～12.03.08	—	—			
		12.03.08～12.04.05	—	—			
美浜	竹波A	11.03.03～11.04.06	0.1	0.2	—	—	A
		11.04.06～11.05.11	0.1	0.2			
		11.05.11～11.06.02	—	—			
		11.06.02～11.07.06	—	—			
		11.07.06～11.08.04	—	—			
		11.08.04～11.09.07	—	—			
		11.09.07～11.10.05	—	—			
		11.10.05～11.11.10	—	—			
		11.11.10～11.12.07	—	—			
		11.12.07～12.01.12	—	—			
		12.01.12～12.02.08	—	—			
		12.02.08～12.03.08	—	—			
		12.03.08～12.04.04	—	—			

過去実績：2008～2010年度*

(注1) 以下の核種分析結果の表では／は調査対象外、—は検出限界値未満、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を意味する。

過去実績の欄で、—と記したものは、検出値が1例もないものである。濃度は採取時の値である。

(注2) *：以下の核種分析結果の表では過去実績は福島第一原子力発電所事故発生以前の値を使用する。

第1表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	粒子状 ¹³¹ I濃度	ガス状 ¹³¹ I濃度	過去実績(事故以前)		機関
					粒子状 ¹³¹ I	ガス状 ¹³¹ I	
大飯	宮留A	11.03.02~11.04.06	0.1	0.1	-	-	A
		11.04.06~11.05.10	0.0	0.2			
		11.05.10~11.06.01	-	-			
		11.06.01~11.07.06	-	-			
		11.07.06~11.08.03	-	-			
		11.08.03~11.09.06	-	-			
		11.09.06~11.10.05	-	-			
		11.10.05~11.11.09	-	-			
		11.11.09~11.12.06	-	-			
		11.12.06~12.01.12	-	-			
		12.01.12~12.02.07	-	-			
		12.02.07~12.03.07	-	-			
12.03.07~12.04.04	-	-					
高浜	小黒飯A	11.03.02~11.04.05	0.1	0.2	-	-	A
		11.04.05~11.05.10	0.1	0.2			
		11.05.10~11.06.01	-	-			
		11.06.01~11.07.05	-	-			
		11.07.05~11.08.03	-	-			
		11.08.03~11.09.06	-	-			
		11.09.06~11.10.04	-	-			
		11.10.04~11.11.09	-	-			
		11.11.09~11.12.06	-	-			
		11.12.06~12.01.12	-	-			
		12.01.12~12.02.07	-	-			
		12.02.07~12.03.07	-	-			
12.03.07~12.04.04	-	-					

過去実績：2008～2010年度

第2表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種			過去実績			機関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	立石B	11.03.01~11.04.04	0.1	0.0	—	—	—	—	B
	〃	11.04.04~11.05.06	0.1	0.8	0.7				
	〃	11.05.06~11.06.02	—	0.1	0.0				
	〃	11.06.02~11.07.01	—	—	—				
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—				
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—				
	〃	11.09.01~11.10.05	—	—	—				
	〃	11.10.05~11.11.04	—	—	—				
	〃	11.11.04~11.12.02	—	—	—				
	〃	11.12.02~12.01.06	—	—	—				
	〃	12.01.06~12.02.01	—	—	—				
	〃	12.02.01~12.03.02	—	—	—				
	〃	12.03.02~12.04.04	—	—	—				
浦底A	浦底A	11.03.03~11.04.07	/	0.1	0.1	/	—	—	A
	〃	11.04.07~11.05.11	/	0.5	0.6				
	〃	11.05.11~11.06.02	/	0.0	0.0				
	〃	11.06.02~11.07.07	/	—	—				
	〃	11.07.07~11.08.04	/	—	—				
	〃	11.08.04~11.09.07	/	—	—				
	〃	11.09.07~11.10.06	/	—	—				
	〃	11.10.06~11.11.10	/	—	—				
	〃	11.11.10~11.12.07	/	—	—				
	〃	11.12.07~12.01.13	/	—	—				
	〃	12.01.13~12.02.08	/	—	—				
	〃	12.02.08~12.03.08	/	—	—				
	〃	12.03.08~12.04.05	/	—	—				
浦底B	浦底B	11.03.01~11.04.04	0.1	—	—	—	—	—	B
	〃	11.04.04~11.05.06	0.1	0.8	0.7				
	〃	11.05.06~11.06.02	—	0.1	0.0				
	〃	11.06.02~11.07.01	—	—	—				
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—				
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—				
	〃	11.09.01~11.10.05	—	—	—				
	〃	11.10.05~11.11.04	—	—	—				
	〃	11.11.04~11.12.02	—	—	—				
	〃	11.12.02~12.01.06	—	—	—				
	〃	12.01.06~12.02.01	—	—	—				
	〃	12.02.01~12.03.02	—	—	—				
	〃	12.03.02~12.04.04	—	—	—				
色ヶ浜B	色ヶ浜B	11.03.01~11.04.04	0.1	—	—	—	—	—	B
	〃	11.04.04~11.05.06	0.1	0.8	0.7				
	〃	11.05.06~11.06.02	—	0.1	0.1				
	〃	11.06.02~11.07.01	—	—	—				
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—				
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—				

過去実績：2008~2010年度

(注1) ヨウ素-131は、ガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。

機関Aはろ紙を灰化したものを測定しているため(対照地区を除く。)I-131は調査対象外である。

灰化前のI-131濃度は第1表 粒子状I-131の欄参照。

第2表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種			過去実績			機関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	色ヶ浜B	11.10.05~11.11.04	—	—	—	—	—	—	B
	〃	11.11.04~11.12.02	—	—	—				
	〃	11.12.02~12.01.06	—	—	—				
	〃	12.01.06~12.02.01	—	—	—				
	〃	12.02.01~12.03.02	—	—	—				
	〃	12.03.02~12.04.04	—	—	—				
白木	白木A	11.03.03~11.04.06	/	0.0	0.0	/	—	—	A
	〃	11.04.06~11.05.11	/	0.7	0.7				
	〃	11.05.11~11.06.02	/	0.0	0.0				
	〃	11.06.02~11.07.06	/	—	—				
	〃	11.07.06~11.08.04	/	—	—				
	〃	11.08.04~11.09.07	/	—	—				
	〃	11.09.07~11.10.05	/	—	—				
	〃	11.10.05~11.11.10	/	—	—				
	〃	11.11.10~11.12.07	/	—	—				
	〃	11.12.07~12.01.12	/	—	—				
	〃	12.01.12~12.02.08	/	—	—				
	〃	12.02.08~12.03.08	/	—	—				
	〃	12.03.08~12.04.05	/	—	—				
	松ヶ崎D	松ヶ崎D	11.03.01~11.04.04	0.0	—	—	—	—	
〃		11.04.04~11.05.02	0.1	0.5	0.5				
〃		11.05.02~11.06.06	—	0.0	0.0				
〃		11.06.06~11.07.04	—	—	—				
〃		11.07.04~11.08.01	—	—	—				
〃		11.08.01~11.09.05	—	—	—				
〃		11.09.05~11.10.03	—	—	—				
〃		11.10.03~11.10.31	—	—	—				
〃		11.10.31~11.12.05	—	—	—				
〃		11.12.05~12.01.04	—	—	—				
〃		12.01.04~12.02.01	—	—	—				
〃		12.02.01~12.03.01	—	—	—				
〃		12.03.01~12.04.02	—	—	—				
美浜		竹波A	11.03.03~11.04.06	/	0.0	0.0	/	—	—
	〃	11.04.06~11.05.11	/	0.5	0.6				
	〃	11.05.11~11.06.02	/	0.0	—				
	〃	11.06.02~11.07.06	/	—	—				
	〃	11.07.06~11.08.04	/	—	—				
	〃	11.08.04~11.09.07	/	—	—				
	〃	11.09.07~11.10.05	/	—	—				
	〃	11.10.05~11.11.10	/	—	—				
	〃	11.11.10~11.12.07	/	—	—				
	〃	11.12.07~12.01.12	/	—	—				
	〃	12.01.12~12.02.08	/	—	—				
	〃	12.02.08~12.03.08	/	—	—				
	〃	12.03.08~12.04.04	/	—	—				

過去実績：2008~2010年度

第2表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種			過去実績			機 関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
美浜	丹生	11.03.01~11.04.05	0.1	—	—	—	—	—	C
	〃	11.04.05~11.05.06	0.1	0.8	0.7				
	〃	11.05.06~11.06.03	—	0.1	0.0				
	〃	11.06.03~11.07.01	—	—	—				
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—				
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—				
	〃	11.09.01~11.10.03	—	—	—				
	〃	11.10.03~11.11.01	—	—	—				
	〃	11.11.01~11.12.01	—	—	—				
	〃	11.12.01~12.01.04	—	—	—				
	〃	12.01.04~12.02.01	—	—	—				
	〃	12.02.01~12.03.01	—	—	—				
大飯	宮留A	11.03.02~11.04.06	/	0.0	—	/	—	—	A
	〃	11.04.06~11.05.10	/	0.5	0.4				
	〃	11.05.10~11.06.01	/	0.0	0.0				
	〃	11.06.01~11.07.06	/	0.0	—				
	〃	11.07.06~11.08.03	/	—	—				
	〃	11.08.03~11.09.06	/	—	—				
	〃	11.09.06~11.10.05	/	—	—				
	〃	11.10.05~11.11.09	/	—	—				
	〃	11.11.09~11.12.06	/	—	—				
	〃	11.12.06~12.01.12	/	—	—				
	〃	12.01.12~12.02.07	/	—	—				
	〃	12.02.07~12.03.07	/	—	—				
	〃	12.03.07~12.04.04	/	—	—				
	宮留	11.03.02~11.04.04	0.1	—	—	—	—	—	C
	〃	11.04.04~11.05.09	0.0	0.5	0.4				
	〃	11.05.09~11.06.06	—	0.0	0.0				
	〃	11.06.06~11.07.04	—	—	—				
	〃	11.07.04~11.08.02	—	—	—				
	〃	11.08.02~11.09.02	—	—	—				
	〃	11.09.02~11.10.04	—	—	—				
	〃	11.10.04~11.11.02	—	—	—				
	〃	11.11.02~11.12.02	—	—	—				
	〃	11.12.02~12.01.05	—	—	—				
〃	12.01.05~12.02.03	—	—	—					
高浜	音海	11.03.02~11.04.04	0.1	—	—	—	—	—	C
	〃	11.04.04~11.05.09	0.1	0.5	0.4				
	〃	11.05.09~11.06.06	—	0.2	0.1				
	〃	11.06.06~11.07.04	—	—	—				
	〃	11.07.04~11.08.02	—	—	—				
	〃	11.08.02~11.09.02	—	—	—				
	〃	11.09.02~11.10.04	—	—	—				

過去実績：2008~2010年度

第2表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種			過去実績			機 関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
高浜	音海	11.10.04~11.11.02	—	—	—	—	—	—	C
	〃	11.11.02~11.12.02	—	—	—				
	〃	11.12.02~12.01.05	—	—	—				
	〃	12.01.05~12.02.03	—	—	—				
	〃	12.02.03~12.03.02	—	—	—				
	〃	12.03.02~12.04.03	—	—	—				
	小黒飯A	11.03.03~11.04.05	/	—	—	/	—	—	A
	〃	11.04.05~11.05.10	/	0.4	0.4				
	〃	11.05.10~11.06.01	/	0.0	0.0				
	〃	11.06.01~11.07.05	/	—	—				
	〃	11.07.05~11.08.03	/	—	—				
	〃	11.08.03~11.09.06	/	—	—				
	〃	11.09.06~11.10.04	/	—	—				
	〃	11.10.04~11.11.09	/	—	—				
	〃	11.11.09~11.12.06	/	—	—				
	〃	11.12.06~12.01.12	/	—	—				
	〃	12.01.12~12.02.07	/	—	—				
	〃	12.02.07~12.03.07	/	—	—				
	〃	12.03.07~12.04.04	/	—	—				
	小黒飯	11.03.02~11.04.04	0.1	—	—	—	—	—	
〃	11.04.04~11.05.09	0.0	0.5	0.4					
〃	11.05.09~11.06.06	—	0.0	0.0					
〃	11.06.06~11.07.04	—	—	—					
〃	11.07.04~11.08.02	—	—	—					
〃	11.08.02~11.09.02	—	—	—					
〃	11.09.02~11.10.04	—	—	—					
〃	11.10.04~11.11.02	—	—	—					
〃	11.11.02~11.12.02	—	—	—					
〃	11.12.02~12.01.05	—	—	—					
〃	12.01.05~12.02.03	—	—	—					
〃	12.02.03~12.03.02	—	—	—					
〃	12.03.02~12.04.03	—	—	—					
対照	原目町（福井分析管理室）	11.04.01~11.04.02	0.3	0.0	0.0	—	—	—	A
	〃	11.05.02~11.05.03	—	—	—				
	〃	11.06.01~11.06.02	—	0.1	0.2				
	〃	11.07.04~11.07.05	—	—	—				
	〃	11.08.07~11.08.08	—	—	—				
	〃	11.09.01~11.09.02	—	—	—				
	〃	11.10.01~11.10.02	—	—	—				
	〃	11.11.01~11.11.02	—	—	—				
	〃	11.12.05~11.12.06	—	—	—				
	〃	12.01.04~12.01.05	—	—	—				
	〃	12.02.03~12.02.04	—	—	—				
	〃	12.03.01~12.03.02	—	—	—				

過去実績：2008～2010年度

第2表 核種分析結果 その1 浮遊じん(参考データ：3ヶ月試料)

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種		過去実績		機関
			¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	立石A	11.01.07～11.04.07	0.0	0.0	—	—	A
	〃	11.04.07～11.07.07	0.2	0.2			
	〃	11.07.07～11.10.06	—	—			
	〃	11.10.06～12.01.13	—	—			
	〃	12.01.13～12.04.05	—	—			
白木	白木峠A	11.01.06～11.04.06	0.0	0.0	—	—	A
	〃	11.04.06～11.07.06	0.2	0.2			
	〃	11.07.06～11.10.05	—	—			
	〃	11.10.05～12.01.12	—	—			
	〃	12.01.12～12.04.05	—	—			
美浜	丹生A	11.01.06～11.04.06	0.0	0.0	—	—	A
	〃	11.04.06～11.07.06	0.2	0.2			
	〃	11.07.06～11.10.05	—	—			
	〃	11.10.05～12.01.12	—	—			
	〃	12.01.12～12.04.04	—	—			
大飯	日角浜A	11.01.06～11.04.06	—	0.0	—	—	A
	〃	11.04.06～11.07.06	0.2	0.2			
	〃	11.07.06～11.10.05	—	—			
	〃	11.10.05～12.01.12	—	—			
	〃	12.01.12～12.04.04	—	—			
高浜	音海A	11.01.05～11.04.05	—	—	—	—	A
	〃	11.04.05～11.07.05	0.2	0.2			
	〃	11.07.05～11.10.04	—	—			
	〃	11.10.04～12.01.11	—	—			
	〃	12.01.11～12.04.04	—	—			
	神野浦A	11.01.05～11.04.05	—	—	—	—	A
	〃	11.04.05～11.07.05	0.2	0.2			
	〃	11.07.05～11.10.04	—	—			
	〃	11.10.04～12.01.11	—	—			
〃	12.01.11～12.04.03	—	—				

過去実績：2008～2010年度

(注) 平成11年度から開始した浮遊じん連続採取による3ヶ月分の集合(コンポジット)試料の核種分析結果であり、吸引量は約12,000立方メートル。

第3表 核種分析結果 その2 陸土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	検出人工核種		過去実績		機関	
				¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs		
敦賀	浦底(明神寮)	土床	11.05.11	9.1	—	8.3~12	—	A	
	〃	〃	11.11.10	10	—			B	
	〃	〃	11.07.05	7.5	—				
	〃	〃	12.01.04	9.5	—				
	〃	発電所北端周辺	山土	11.05.11	22	—	19 ~28	—	D
	〃	〃	11.08.24	21	—				
	〃	〃	11.11.09	21	—				
	〃	〃	12.02.08	20	—				
白木	松ヶ崎	土床	11.05.11	1.4	—	0.8~2.2	—	A	
	〃	〃	11.11.10	1.6	—			D	
	〃	〃	11.07.07	1.6	—				
	〃	〃	12.01.12	1.5	—				
美浜	丹生	〃	11.05.11	3.2	—	2.5~6.2	—	A	
	〃	〃	11.11.10	2.9	—			C	
	〃	〃	11.09.01	5.4	—				
	〃	〃	12.03.01	5.1	—				
大飯	日角浜	未耕土	11.05.10	69	—	50 ~89	—	A	
	〃	〃	11.11.09	64	0.7				
	畑村	〃	11.09.02	4.6	0.8	2.0~3.9	—	C	
	〃	〃	12.03.02	2.4	—				
高浜	小黑飯	山土	11.05.10	3.6	—	4.3~7.1	—	A	
	〃	〃	11.11.09	4.9	—				
	〃	未耕土	11.09.02	6.6	0.5	4.2~9.0	—	C	
	〃	〃	12.03.09	6.6	—				
対照	原目町(衛環研)	〃	11.05.13	3.8	—	2.6~4.5	—	A	
	〃	〃	11.11.10	3.0	0.3				
	奥越高原牧場	山土	11.06.07	140	—	140 ~150	—	A	

過去実績：2008~2010年度

(注1) 0~5cmで採取した試料の粒径2mm以下を分析した。

第4表 核種分析結果 その3 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	検出人工核種			過去実績			機関
				¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	浦底	ヨモギ	11.05.11	0.3	0.6	0.5	-	ND~0.1	-	A
	〃	〃	11.06.02	0.2	0.2	0.2				
	〃	〃	11.07.07	-	-	-				
	〃	〃	11.08.04	-	0.2	-				
	〃	〃	11.09.05	-	0.2	-				
	〃	〃	11.10.06	-	-	-				
	〃	〃	11.11.08	-	0.2	-				
白木	白木	〃	11.05.11	-	0.2	0.2	-	ND~0.3	-	A
	〃	〃	11.06.02	-	0.2	0.2				
	〃	〃	11.07.06	-	0.7	0.2				
	〃	〃	11.08.04	-	0.2	0.2				
	〃	〃	11.09.05	-	-	-				
	〃	〃	11.10.05	-	0.2	-				
	〃	〃	11.11.08	-	-	-				
美浜	竹波	〃	11.05.11	-	0.4	0.3	-	ND~0.4	-	A
	〃	〃	11.06.02	-	0.6	0.2				
	〃	〃	11.07.06	-	0.3	-				
	〃	〃	11.08.04	-	0.2	-				
	〃	〃	11.09.05	-	0.2	-				
	〃	〃	11.10.05	-	0.2	-				
	〃	〃	11.11.08	-	-	-				
大飯	日角浜	〃	11.05.10	-	0.6	0.6	-	ND~0.2	-	A
	〃	〃	11.06.01	-	0.4	0.4				
	〃	〃	11.07.06	-	0.1	0.1				
	〃	〃	11.08.03	-	0.3	0.3				
	〃	〃	11.09.06	-	-	-				
	〃	〃	11.10.05	-	-	-				
	〃	〃	11.11.09	-	-	-				
高浜	小黒飯	〃	11.05.10	-	0.8	0.7	-	-	-	A
	〃	〃	11.06.01	-	0.6	0.6				
	〃	〃	11.07.05	-	0.4	0.4				
	〃	〃	11.08.03	-	0.1	0.2				
	〃	〃	11.09.06	-	0.3	0.3				
	〃	〃	11.10.04	-	1.4	1.2				
	〃	〃	11.11.09	-	-	-				
対照	原目町	〃	11.05.09	0.3	0.7	0.7	-	ND~0.1	-	A
	〃	〃	11.06.03	-	0.2	-				
	〃	〃	11.07.04	-	0.1	-				
	〃	〃	11.08.04	-	-	-				
	〃	〃	11.09.06	-	-	-				
	〃	〃	11.10.12	-	-	-				
	〃	〃	11.11.01	-	-	-				

過去実績：2008~2010年度

第5表 核種分析結果 その4 松葉（2年葉）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	検出人工核種		過去実績		機関
				¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	松葉	11.06.09	1.3	1.1	—	—	B
	〃	〃	11.12.06	0.9	0.6			
	発電所北端周辺	〃	11.08.24	0.5	0.5	—	—	D
	〃	〃	12.02.15	0.4	—			
白木	白木トンネル北口付近	〃	11.08.18	1.5	1.3	—	—	D
	〃	〃	12.02.13	0.6	0.5			
美浜	丹生	〃	11.06.03	1.3	1.1	—	—	C
	〃	〃	11.12.01	0.6	0.4			
大飯	畑村	〃	11.06.06	1.5	1.7	—	—	C
	〃	〃	11.12.02	0.7	0.6			
高浜	小黒飯	〃	11.06.06	2.4	2.2	—	—	C
	〃	〃	11.12.02	1.1	0.9			
対照	福井市寮町（県農試）	〃	11.11.28	1.5	0.8	ND～0.6	—	A

過去実績：2008～2010年度

第6表 核種分析結果 その5 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種				過去実績			機関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	その他検出核種	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	浦底（水試）	11.03.03～11.04.07	6.0	—	—	—	—	ND～0.2	—	A
	〃	11.04.07～11.05.11	6.6	14	15	—				
	〃	11.05.11～11.06.02	—	0.5	0.6	—				
	〃	11.06.02～11.07.07	—	0.2	0.2	—				
	〃	11.07.07～11.08.04	—	0.2	0.2	—				
	〃	11.08.04～11.09.07	—	—	—	—				
	〃	11.09.07～11.10.06	—	—	—	—				
	〃	11.10.06～11.11.10	—	—	—	—				
	〃	11.11.10～11.12.07	—	—	—	—				
	〃	11.12.07～12.01.13	—	—	—	—				
	〃	12.01.13～12.02.08	—	—	—	—				
	〃	12.02.08～12.03.08	—	—	—	—				
	〃	12.03.08～12.04.05	—	—	—	—				
	浦底（明神寮）	浦底（明神寮）	11.03.01～11.04.01	6.1	0.3	0.2				
〃		11.04.01～11.05.02	16	14	13	—				
〃		11.05.02～11.06.01	—	1.0	1.0	—				
〃		11.06.01～11.07.01	—	0.4	0.4	—				
〃		11.07.01～11.08.01	—	0.2	0.1	—				
〃		11.08.01～11.09.01	—	—	—	—				
〃		11.09.01～11.10.03	—	—	—	—				
〃		11.10.03～11.11.02	—	—	—	—				
〃		11.11.02～11.12.01	—	—	—	—				
〃		11.12.01～12.01.04	—	—	—	—				
〃		12.01.04～12.02.01	—	—	—	—				
〃		12.02.01～12.03.01	—	—	—	—				
〃		12.03.01～12.04.02	—	—	—	—				
白木		松ヶ崎	11.03.03～11.04.06	4.1	—	—	—	—	—	—
	〃	11.04.06～11.05.11	5.1	9.4	9.6	—				
	〃	11.05.11～11.06.02	—	0.4	0.6	—				
	〃	11.06.02～11.07.06	—	—	—	—				
	〃	11.07.06～11.08.04	—	0.1	—	—				
	〃	11.08.04～11.09.07	—	—	—	—				
	〃	11.09.07～11.10.05	—	—	—	—				
	〃	11.10.05～11.11.10	—	—	—	—				
	〃	11.11.10～11.12.07	—	—	—	—				
	〃	11.12.07～12.01.12	—	—	—	—				
	〃	12.01.12～12.02.08	—	—	—	—				
	〃	12.02.08～12.03.08	—	—	—	—				

過去実績：2008～2010年度

第6表 核種分析結果 その5 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種				過去実績			機 関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	その他検出核種	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
白木	松ヶ崎	11.03.01~11.04.01	6.0	—	—	—	—	—	—	D
	〃	11.04.01~11.05.02	11	9.8	9.4	—	—	—	—	
	〃	11.05.02~11.06.01	—	0.7	0.6	—	—	—	—	
	〃	11.06.01~11.07.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.07.01~11.08.01	—	0.2	0.2	—	—	—	—	
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.09.01~11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.10.03~11.11.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.11.01~11.12.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.12.01~12.01.05	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.01.05~12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.02.01~12.03.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.03.01~12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	
美浜	竹波（落合川取水場）	11.03.03~11.04.06	4.3	—	—	—	—	ND~0.2	—	A
	〃	11.04.06~11.05.11	6.8	14	15	—	—	—	—	
	〃	11.05.11~11.06.02	—	0.8	0.8	—	—	—	—	
	〃	11.06.02~11.07.06	—	0.3	—	—	—	—	—	
	〃	11.07.06~11.08.04	—	—	0.2	—	—	—	—	
	〃	11.08.04~11.09.07	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.09.07~11.10.05	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.10.05~11.11.10	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.11.10~11.12.07	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.12.07~12.01.12	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.01.12~12.02.08	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.02.08~12.03.08	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.03.08~12.04.04	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.03.08~12.04.04	—	—	—	—	—	—	—	
丹生	丹生	11.03.01~11.04.05	5.0	—	—	—	—	ND~0.3	—	C
	〃	11.04.05~11.05.06	10	15	13	—	—	—	—	
	〃	11.05.06~11.06.03	—	0.5	0.4	—	—	—	—	
	〃	11.06.03~11.07.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.07.01~11.08.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.08.01~11.09.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.09.01~11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.10.03~11.11.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.11.01~11.12.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.12.01~12.01.04	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.01.04~12.02.01	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.02.01~12.03.01	—	—	—	—	—	—	—	
〃	12.03.01~12.04.02	—	—	—	—	—	—	—		

過去実績：2008~2010年度

第6表 核種分析結果 その5 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種				過去実績			機関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	その他検出核種	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
大飯	宮留	11.03.02~11.04.06	12	0.3	0.4	—	—	—	—	A
	〃	11.04.06~11.05.10	8.5	24	25	—				
	〃	11.05.10~11.06.01	—	1.6	1.8	—				
	〃	11.06.01~11.07.06	—	0.4	0.4	—				
	〃	11.07.06~11.08.03	—	0.5	0.5	—				
	〃	11.08.03~11.09.06	—	0.3	0.2	—				
	〃	11.09.06~11.10.05	—	—	—	—				
	〃	11.10.05~11.11.09	—	—	—	—				
	〃	11.11.09~11.12.06	—	—	—	—				
	〃	11.12.06~12.01.12	—	—	—	—				
	〃	12.01.12~12.02.07	—	—	—	—				
	〃	12.02.07~12.03.07	—	—	—	—				
	〃	12.03.07~12.04.04	—	—	—	—				
	日角浜	11.03.02~11.04.04	14	0.3	0.3	—	—	—	—	
〃		11.04.04~11.05.09	8.5	24	21	—				
〃		11.05.09~11.06.06	—	1.3	1.0	—				
〃		11.06.06~11.07.04	—	—	—	—				
〃		11.07.04~11.08.02	—	—	—	—				
〃		11.08.02~11.09.02	—	—	—	—				
〃		11.09.02~11.10.04	—	—	—	—				
〃		11.10.04~11.11.02	—	—	—	—				
〃		11.11.02~11.12.02	—	—	—	—				
〃		11.12.02~12.01.05	—	—	—	—				
〃		12.01.05~12.02.03	—	—	—	—				
〃		12.02.03~12.03.02	—	—	—	—				
〃		12.03.02~12.04.03	—	—	—	—				
高浜		小黒飯	11.03.02~11.04.05	2.5	—	—	—	—	ND~0.1	—
	〃	11.04.05~11.05.10	8.5	27	28	—				
	〃	11.05.10~11.06.01	—	2.4	2.3	—				
	〃	11.06.01~11.07.05	—	0.5	0.6	—				
	〃	11.07.05~11.08.03	—	0.2	0.2	—				
	〃	11.08.03~11.09.06	—	0.3	0.2	—				
	〃	11.09.06~11.10.04	—	—	—	—				
	〃	11.10.04~11.11.09	—	—	—	—				
	〃	11.11.09~11.12.06	—	—	0.2	—				
	〃	11.12.06~12.01.12	—	—	—	—				
	〃	12.01.12~12.02.07	—	—	—	—				
	〃	12.02.07~12.03.07	—	—	—	—				
	〃	12.03.07~12.04.04	—	0.2	—	—				

過去実績：2008~2010年度

第6表 核種分析結果 その5 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種				過去実績			機関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	その他検出核種	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
高浜	小和田	11.03.02~11.04.04	2.9	—	—	—	—	—	—	C
	〃	11.04.04~11.05.09	11	36	33	—	—	—	—	
	〃	11.05.09~11.06.06	—	1.0	1.0	—	—	—	—	
	〃	11.06.06~11.07.04	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.07.04~11.08.02	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.08.02~11.09.02	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.09.02~11.10.04	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.10.04~11.11.02	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.11.02~11.12.02	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	11.12.02~12.01.05	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.01.05~12.02.03	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.02.03~12.03.02	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	12.03.02~12.04.03	—	—	—	—	—	—	—	
	対照	原目町 (福井分析管理室)	11.03.01~11.04.04	2.0	0.1	0.2	—	—	ND~0.3	
〃		11.04.04~11.05.09	8.8	23	25	¹²⁵ Sb : 0.5, ^{129m} Te : 29, ^{129m} Te : 4.0, ¹³⁶ Cs : 0.2	—	—	—	
〃		11.05.09~11.06.01	—	1.5	1.5	—	—	—	—	
〃		11.06.01~11.07.04	—	0.6	0.5	—	—	—	—	
〃		11.07.04~11.08.01	—	0.4	0.4	—	—	—	—	
〃		11.08.01~11.09.06	—	0.2	0.2	—	—	—	—	
〃		11.09.06~11.10.03	—	—	—	—	—	—	—	
〃		11.10.03~11.11.08	—	0.1	0.1	—	—	—	—	
〃		11.11.08~11.12.05	—	—	—	—	—	—	—	
〃		11.12.05~12.01.10	—	—	—	—	—	—	—	
〃		12.01.10~12.02.06	—	0.4	0.2	—	—	—	—	
〃		12.02.06~12.03.06	—	—	—	—	—	—	—	
〃		12.03.06~12.04.02	—	0.1	—	—	—	—	—	

過去実績：2008~2010年度

第7表 核種分析結果 その6 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	検出人工核種				過去実績			機関
					¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	^{110m} Ag	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	立石岬	メジナ	肉	11.04.03	/	0.1	-	-	-	ND~0.2	-	A
	立石漁港	ナマコ	全身	"	/	-	-	-	-	-	-	A
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	肉	11.06.01	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	"	"	"	11.09.06	/	0.4	0.3	-	-	-	-	A
	立石漁港	カマス	全身	11.10.06	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	"	サワラ	肉	"	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	立石沖	アジ	全身	11.10.18	/	0.1	-	-	-	-	-	D
	"	ハマチ	肉	"	/	0.2	-	-	-	-	-	B
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	"	11.12.07	/	0.5	0.3	-	-	-	-	A
	"	"	"	12.03.08	/	0.8	0.5	-	-	-	-	A
	立石漁港	サザエ	除殻	11.06.11	/	-	-	0.1	-	ND~0.0	-	A
	ふげん放水口	"	"	11.06.15	/	-	-	0.1	-	-	-	A
	えりヶ崎	"	"	11.07.06	/	-	-	0.1	-	-	-	A
	立石沖	"	"	11.07.08	/	-	-	-	-	-	-	B
	立石岬	ワカメ	除根	11.04.06	0.2	-	-	-	-	-	-	A
	立石漁港	"	"	11.05.06	-	0.1	0.0	-	-	-	-	A
立石沖	"	"	11.05.09	-	-	-	-	-	-	-	B	
えりヶ崎	"	"	11.05.10	-	-	-	-	-	-	-	A	
白木	アジゴ崎	カレイ	全身	11.04.15	/	0.1	-	-	-	0.0~0.3	-	A
	門ヶ崎	ブリ	肉	11.04.18	/	0.2	-	-	-	-	-	A
	白木沖	トビウオ	全身	11.07.05	/	0.0	-	-	-	-	-	D
	もんじゅ放水口沖	ブリ	肉	11.10.04	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	"	サワラ	"	"	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	白木沖	アジ	全身	11.10.13	/	0.1	-	-	-	-	-	D
	アジゴ崎	サザエ	除殻	11.06.19	/	-	-	0.1	-	ND~0.0	-	A
	門ヶ崎	"	"	11.06.20	/	-	-	0.1	-	-	-	A
	サビ崎	"	"	11.07.05	/	-	-	0.1	-	-	-	A
	白木沿岸	"	"	11.08.22	/	-	-	0.1	-	-	-	D
	松ヶ崎	ワカメ	除根	11.04.02	0.4	-	-	-	-	-	-	A
	白木沿岸	"	"	11.04.11	0.2	-	-	-	-	-	-	D
	松ヶ崎	"	"	11.05.10	-	0.1	0.1	-	-	-	-	A
	アジゴ崎	"	"	"	-	0.1	0.1	-	-	-	-	A
美浜	1, 2号放水口沖	フグ	全身	11.04.05	/	0.0	-	-	-	0.0~0.1	-	A
	3号放水口沖	スルメイカ	"	11.04.13	/	-	-	-	-	-	-	A
	1, 2号放水口	アジ	"	11.06.13	/	0.1	-	-	-	-	-	C
	3号放水口	"	"	"	/	0.1	-	-	-	-	-	C
	1, 2号放水口沖	"	"	11.07.07	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	"	"	"	11.10.04	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	"	カマス	"	"	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	1, 2号放水口	アジ	"	11.10.13	/	0.1	-	-	-	-	-	C
	3号放水口	"	"	"	/	0.1	-	-	-	-	-	C
	3号放水口付近	サザエ	除殻	11.06.16	/	-	-	0.1	-	ND~0.0	-	A
3号放水口沖	"	"	"	/	0.1	-	0.1	-	-	-	A	

過去実績：2008~2010年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。各放水口は放水口付近を含む。

第7表 核種分析結果 その6 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	検出人工核種				過去実績			機関
					¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	^{110m} Ag	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
美浜	あご越	サザエ	除殻	11.07.06	/	-	-	0.1	-	ND~0.0	-	A
	1, 2号放水口	"	"	11.07.10	/	-	-	-	-	-	-	C
	3号放水口	"	"	"	/	-	-	-	-	-	-	C
	1, 2号放水口	ワカメ	除根	11.04.01	0.3	-	-	-	-	-	-	C
	竹波	"	"	11.04.05	0.3	-	-	-	-	-	-	A
	3号放水口付近	"	"	11.05.10	-	-	-	-	-	-	-	A
	1, 2号放水口沖	"	"	12.02.07	-	-	-	-	-	-	-	A
	1, 2号放水口	"	"	12.03.30	-	-	-	-	-	-	-	C
	3号放水口	"	"	"	-	-	-	-	-	-	-	C
大飯	髷島	スズキ	肉	11.04.06	/	0.1	-	-	-	0.0~0.2	-	A
	"	スルメイカ	全身	"	/	-	-	-	-	-	-	A
	放水口	アジ	肉	11.07.12	/	0.1	-	-	-	-	-	C
	髷島	"	全身	11.10.08	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	"	アカイカ	"	"	/	0.0	-	-	-	-	-	A
	放水口	カワハギ	肉	11.10.12	/	-	-	-	-	-	-	C
	台場浜	サザエ	除殻	11.06.16	/	0.0	-	0.1	-	ND~0.0	-	A
	"	アワビ	"	"	/	0.0	-	0.1	-	-	-	A
	鋸崎	サザエ	"	11.07.05	/	-	-	0.1	-	-	-	A
	放水口	"	"	11.07.07	/	-	-	0.2	-	-	-	C
	黒崎	ワカメ	除根	11.04.06	0.5	-	-	-	-	-	-	A
	台場浜	モズク	全体	11.05.09	0.5	0.0	0.0	-	-	-	-	A
	黒崎	ワカメ	除根	"	-	-	-	-	-	-	-	A
	放水口	"	"	12.03.27	-	-	-	-	-	-	-	C
	高浜	取水口	スルメイカ	全身	11.04.24	/	0.1	-	0.1	-	0.0~0.2	-
"		クサフグ	"	11.04.26	/	0.1	-	-	-	-	-	A
内浦湾		アジ	肉	11.06.14	/	0.1	-	-	-	-	-	C
小黒飯漁港		カワハギ	全身	11.10.02	/	0.0	-	-	-	-	-	A
内浦湾		アジ	肉	11.10.15	/	0.1	-	-	-	-	-	C
小黒飯漁港		メジナ	"	11.10.19	/	0.1	-	-	-	-	-	A
釈迦浜		サザエ	除殻	11.06.17	/	-	-	0.1	-	ND~0.0	-	A
宮尾		"	"	"	/	0.1	-	0.1	-	-	-	A
神野浦		"	"	11.07.04	/	-	-	0.1	-	-	-	A
内浦湾		"	"	11.07.12	/	-	-	0.1	-	-	-	C
小黒飯漁港前		ワカメ	除根	11.04.02	-	-	-	-	-	-	-	A
取水口		"	"	11.05.02	-	-	-	-	-	-	-	A
内浦湾		"	"	12.03.20	-	-	-	-	-	-	-	C
小黒飯漁港		"	"	12.03.26	-	-	-	-	-	-	-	A
対照		河野沖	ハマチ	肉	11.05.16	/	0.2	-	-	-	0.1~0.3	-
	"	クロダイ	"	"	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	越廼(茱崎)	ハマチ	"	11.10.06	/	0.1	-	-	-	-	-	A
	福井市鮎川	サザエ	除殻	11.06.05	/	-	-	0.1	-	-	-	A
	河野沖	ワカメ	除根	11.05.07	0.2	-	-	-	-	-	-	A
	"	モズク	全体	11.05.15	0.2	-	-	-	-	-	-	A

過去実績：2008~2010年度

第8表 大気中のヨウ素-131分析結果（事故に伴う臨時調査）

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ I 濃度 粒子状 I 濃度	¹³¹ I 濃度 ガス状 I 濃度	機関
敦賀	吉河（監視センター）	11.03.27～11.03.28	—	4.2	A
	〃	11.04.03～11.04.04	1.8	—	A
	〃	11.04.04～11.04.05	1.8	—	A
	〃	11.04.05～11.04.06	1.7	3.3	A
	〃	11.04.11～11.04.12	1.6	—	A
	〃	11.04.12～11.04.13	—	2.1	A
	〃	11.04.17～11.04.18	8.6	21	A
	〃	11.04.18～11.04.19	5.8	19	A
	〃	11.04.19～11.04.20	—	8.8	A
	〃	11.04.20～11.04.21	—	3.0	A
	〃	11.04.21～11.04.22	—	2.0	A
	〃	11.04.22～11.04.23	—	2.4	A
	敦賀発電所構内	11.03.21～11.03.28	—	1.0	B
	〃	11.04.04～11.04.11	—	2.9	B
〃	11.04.11～11.04.18	—	1.2	B	
〃	11.04.18～11.04.25	—	1.6	B	
白木	松ヶ崎（機構Mステーション）	11.03.22～11.03.28	0.2	0.5	D
	〃	11.03.28～11.04.04	0.2	0.5	D
	〃	11.04.04～11.04.11	0.9	3.8	D
	〃	11.04.11～11.04.18	0.5	1.9	D
	〃	11.04.18～11.04.25	0.3	3.5	D
美浜	美浜発電所事務所屋上	11.04.01～11.04.04	—	1.7	C
	〃	11.04.04～11.04.11	—	6.4	C
	〃	11.04.11～11.04.18	0.7	4.0	C
	〃	11.04.18～11.04.25	—	5.1	C
	環境モニタリングセンター	11.03.24～11.03.31	0.5	1.7	C
	〃	11.03.31～11.04.04	0.7	0.9	C
	〃	11.04.04～11.04.11	1.1	4.9	C
	〃	11.04.11～11.04.18	1.0	2.5	C
〃	11.04.18～11.04.25	0.5	4.2	C	
大飯	大飯発電所第一事務所横	11.03.24～11.03.30	—	1.3	C
	〃	11.04.04～11.04.11	—	3.4	C
	〃	11.04.11～11.04.18	0.6	2.5	C
	〃	11.04.18～11.04.25	—	2.1	C
高浜	高浜発電所ビジターハウス	11.04.04～11.04.05	1.8	—	C
	〃	11.04.05～11.04.11	1.3	3.5	C
対照	福井市原目町	11.03.28～11.03.29	1.2	—	A
	〃	11.04.02～11.04.03	—	2.3	A
	〃	11.04.06～11.04.07	2.1	3.4	A
	〃	11.04.09～11.04.10	—	2.3	A
	〃	11.04.13～11.04.14	1.2	—	A
	〃	11.04.17～11.04.18	1.4	—	A
	〃	11.04.18～11.04.19	4.5	11	A
	〃	11.04.19～11.04.20	—	7.4	A

（注）臨時調査は人工放射性核種が検出された試料についてのみ記載している。以下、第10表まで同様。

第9表 核種分析結果（事故に伴う臨時調査） その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種				機関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	その他検出された核種	
敦賀	吉河（監視センター）	11.04.03～11.04.04	1.8	—	—	—	A
	〃	11.04.04～11.04.05	1.8	—	—	—	A
	〃	11.04.05～11.04.06	1.7	—	—	—	A
	〃	11.04.11～11.04.12	1.6	—	—	—	A
	〃	11.04.17～11.04.18	8.6	10	12	—	A
	〃	11.04.18～11.04.19	5.8	12	14	—	A
	敦賀発電所構内	11.04.04～11.04.11	—	1.3	1.3	—	B
	〃	11.04.11～11.04.18	—	1.1	0.8	—	B
〃	11.04.18～11.04.25	—	1.1	0.9	—	B	
白木	松ヶ崎（機構Mステーション）	11.03.22～11.03.28	0.2	—	—	—	D
	〃	11.03.28～11.04.04	0.2	—	—	—	D
	〃	11.04.04～11.04.11	0.9	1.2	1.0	—	D
	〃	11.04.11～11.04.18	0.5	0.3	0.3	—	D
	〃	11.04.18～11.04.25	0.3	0.6	0.6	—	D
	〃	11.05.23～11.05.30	—	—	0.1	—	D
美浜	美浜発電所事務所屋上	11.04.04～11.04.11	—	0.7	1.5	—	C
	〃	11.04.11～11.04.18	0.7	0.7	—	—	C
	〃	11.04.18～11.04.25	—	0.7	—	—	C
	環境モニタリングセンター	11.03.24～11.03.31	0.5	—	—	—	C
	〃	11.03.31～11.04.04	0.7	—	—	—	C
	〃	11.04.04～11.04.11	1.1	2.0	1.6	¹³² Te : 0.5	C
	〃	11.04.11～11.04.18	1.0	1.0	0.9	—	C
	〃	11.04.18～11.04.25	0.5	1.0	1.0	—	C
大飯	大飯発電所第一事務所横	11.04.04～11.04.11	—	1.0	—	—	C
	〃	11.04.11～11.04.18	0.6	—	—	—	C
	〃	11.04.18～11.04.25	—	0.7	1.2	—	C
高浜	高浜発電所ビジターハウス	11.04.04～11.04.05	1.8	—	—	—	C
	〃	11.04.05～11.04.11	1.3	0.8	1.2	—	C
対照	福井市原目町	11.03.28～11.03.29	1.2	—	—	—	A
	〃	11.04.06～11.04.07	2.1	1.3	1.9	—	A
	〃	11.04.13～11.04.14	1.2	—	—	—	A
	〃	11.04.17～11.04.18	1.4	1.6	1.9	—	A
	〃	11.04.18～11.04.19	4.5	3.9	4.0	—	A
	〃	11.05.27～11.05.28	—	3.9	2.1	—	A
	〃	11.08.29～11.09.05	—	1.9	2.1	—	A

(注1) I-131はガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果であり、第8表の粒子状I-131の再掲である。

第10表 核種分析結果（事故に伴う臨時調査） その2 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種			機関
			¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
対照	原目町（福井分析管理室）	11.04.07～11.04.08	1.5	—	—	A
	〃	11.04.18～11.04.19	3.1	—	—	A
	〃	11.04.19～11.04.20	17	3.9	4.1	A
	〃	11.04.29～11.04.30	—	2.5	2.3	A

4. 4 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

1 はじめに

線量評価は、「環境放射線モニタリング指針(平成20年3月、原子力安全委員会、以下、「モニタリング指針」という)」に掲げられた環境放射線モニタリングの第1の目標であり、また最終的な帰結であって、次元(単位)の異なる空間放射線や環境試料の放射能のモニタリング結果を、人体への影響の程度(リスク)を表す「実効線量(Sv)」という共通の尺度で示すため実施される。この報告書では、既に本文で、「施設運転に起因する主要な放射性核種が検出されず、特に線量評価の必要はない」としながらも、検出された値に目安をつけるために評価を行い、安全を確認している。

ここでは、核実験フォールアウトの実態や寄与の内訳までを読み取れるよう、内部被ばくに係るモニタリング結果をもとに行った線量評価を0.001mSv以下までの算出された数値そのもので示す。

なお、評価法の変遷の詳細や施設稼動開始時点まで遡る評価結果は、この形で最初に示した平成16年度年報(FERC第37巻5号)に記載している。

2 内部被ばく預託実効線量の評価方法

内部被ばくは、預託実効線量(摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量)で表される。預託実効線量は、基本的には、吸入または経口摂取された放射性核種について、核種毎に、空気試料(大気中 ^{131}I ・大気浮遊じん並びに空気中水分)または飲食物区分毎に、

$$\text{試料中核種濃度}(C) \times \text{呼吸量又は飲食物日摂取量}(V) \times \text{摂取期間}(t) \times \\ \text{実効線量係数}(f) \times \text{各種補正係数}(k) \cdots \text{式}(1)$$

の積を求め、それをすべて加算して得られる。

但し、モニタリング指針等に規定がなく、ところによっては実効線量計算に供する対象核種の平均濃度の求め方等が異なる場合があることから、以下に、当技術会議が採用している内部被ばく線量評価の計算法・計算条件および留意点を示す。

- ① 実効線量係数(f)は、指針が示した吸入/経口摂取別に核種毎の値を用いる。なお、モニタリング指針では化学形等によって複数の値が示されている場合は、最大の値を引用している。
- ② 大気中トリチウムについては、大気中水分トリチウム濃度から大気中濃度に換算している。
- ③ 本文の評価同様、指針にも示された代表的年齢群の「成人」を評価対象とし、摂取経路もモニタリング指針及び「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(評価指針)」に示された「呼吸、飲料水、葉菜、牛乳、魚類、貝類、藻類」とした。それぞれの摂取量はモニタリング指針の値を用いた(後出)。
- ④ 評価に供した濃度は、本文の評価同様、検出されたもの(すなわち、検出限界値以上)だけの年間単純平均であり、農産物、海産物にはそれぞれ形状や性状がよく似ていて過去に食品と同等の検出実績があり、補完試料としても用いている指標生物(ヨモギ、ホンダワラ)の結果を加えている。
- ⑤ 従って、平均濃度自体が高め・安全側であり、①のモニタリング指針における実効線量係数採択の条件と合わせ、潜在的上限を示すものといえる。
- ⑥ 貝類・藻類の ^{137}Cs については、通常測定では検出限界以下となった試料についても、アンチコインシデンスの測定結果がある場合はその結果を用いた平均値とした。
- ⑦ この方法は、ほぼどの試料にも含まれる ^{137}Cs 等の核実験フォールアウト核種、あるいは施設

起因核種であっても初期の数年間のようにほぼ年間連続で検出され続けた場合には比較の実態とよく合う方法であるが、検出が散発的となった場合は過大な評価となる。

- ⑧ 摂取期間は、殆どのものは1年としたが、葉菜のみは栽培期間と同じ0.5年とした。ただし、大気試料のように一過性とみなせる試料の場合、検出されたものだけの平均濃度を1年間摂取すると仮定すると過大評価になりすぎるため、吸入における被ばく評価では、摂取期間を検出期間(=大気試料採取期間)に限定した。
- ⑨ 式(1)では各種補正係数(k)として市場希釈補正や調理(洗浄)に伴う補正が加味されるが、前者については実態を捉えられないので1とし、後者では葉菜について実際に観測例があり一般的にも用いられている0.5を用いた。

3 モニタリング結果とそれに基づく線量評価結果

モニタリング結果は核種の起源等により、(1)トリチウム(^3H)を除く一般的な施設起因核種、(2)チェルノブイリ事故影響を含む核実験フォールアウト核種、(3)トリチウム、に大別される。トリチウムでは核実験寄与と施設寄与が競合・混在する。表(1)～表(3)に2006年度以降の過去5ヵ年と今年度における評価対象区分毎の年間平均濃度および内部被ばく預託実効線量評価結果を示す。今年度も福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる ^{131}I 等が検出されているが、対照地区を含めた試料から検出されており、県内の施設に起因する核種ではないことから、昨年度同様、(2)に含めて評価を行った。

(1)では1994年度以降、評価対象となる生物試料等から県内施設の起因核種は全く検出されていない。(2)では ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、Puの3核種について集計、評価してきたが、今年度も昨年度に引き続き、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる ^{131}I および ^{134}Cs が検出されたため、両核種を評価に追加した。(2)、(3)では、対照地区を含めた県内平均値を用いた評価結果を示した。いずれもモニタリング結果が得られたものだけについて評価を行っており、調査の対象としていないものは含まれていない。従って、魚貝類の ^{90}Sr は評価に含まれていないが、濃度が葉菜の約1/100、藻類の約1/2という過去の結果から類推して、線量評価結果を大きく左右する因子とはならないものと考えられる。表(4)では、海水中トリチウムが海産物に移行し、これを摂取した場合の今年度の預託実効線量評価結果を示す。

4 まとめ

今年度の内部被ばくの線量評価結果の概況をまとめれば、

- ① トリチウムを除く県内施設起因核種は評価対象の大気・各種飲食物並びに生物試料からは、1994年以降全く検出されていない。
- ② トリチウムの内部被ばくに対する寄与は、呼吸・飲用では $2.3 \times 10^{-5} \text{mSv}$ となり、変化は認められない。海産物摂取では $1.2 \times 10^{-5} \text{mSv}$ となり、これらの合計では $3.5 \times 10^{-5} \text{mSv}$ となった。水道水のトリチウムでは明白な施設寄与は観測されず、バックグラウンドレベルとみなせるが、空気中水分の吸入や海水中トリチウムの移行による海産物摂取では施設寄与が認められる。
- ③ 核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、Puに福島第一原子力発電所事故起因核種 ^{131}I および ^{134}Cs を追加した結果では、それぞれ $0.7 \sim 5.9 \times 10^{-4} \text{mSv}$ 、5核種合わせ $1.2 \times 10^{-3} \text{mSv}$ の寄与がある。

と集約される。

以上の評価結果を、県内原子力発電所稼働開始時点までに遡った結果と併せ図-1に示す。図-1では、(1)のトリチウムを除く施設起因核種は地区毎に、(2)の核実験フォールアウト等の ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、Puや(3)のトリチウムは県内全平均で示した。チェルノブイリ事故影響の飛来

時は、 ^{137}Cs 以上に ^{131}I , ^{103}Ru , ^{106}Ru , ^{134}Cs の寄与が大きく、それらによる預託実効線量を書き加えている。

表(1) ^3H を除く県内施設起因核種の年間平均濃度の推移と線量評価結果

平均濃度単位：空気試料— mBq/m^3 、水道水— mBq/ℓ 、その他— Bq/kg 生

年度	地区	空気試料/水道水/葉菜/海産魚・貝・藻類 中間平均濃度					預託実効線量 (mSv)
		^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co	^{60}Co	^{131}I	
2006	敦賀・白木・美浜・大飯・高浜	左記の年度の、 いずれの地区の、いずれの試料からも 県内施設起因上記核種は検出されず					—
2007	〃						—
2008	〃						—
2009	〃						—
2010	〃						—
2011	〃	〃					—

(注) —は検出例が1例もないもの。

葉菜には指標植物(ヨモギ)を、海産物にはホンダワラ・マサキガイ等の指標海産生物を含む。

表(2) 福井県内の ^{137}Cs , ^{90}Sr , Pu , ^{131}I , ^{134}Cs 平均濃度と線量評価結果

平均濃度単位：(大気 mBq/m^3 、海水および原乳 mBq/ℓ 、その他 mBq/kg 生)

年度	Cs-137平均濃度						Sr-90平均濃度		Pu平均濃度				I-131平均濃度			Cs-134平均濃度				海水中 Cs-137 濃度	
	大気	葉菜	原乳	魚類	貝類	藻類	葉菜	藻類	葉菜	魚類	貝類	藻類	大気	葉菜	藻類	大気	葉菜	魚類	藻類		
2006	—	160	/	110	28	41	360	40	—	—	45	2.9	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8
2007	—	140	/	100	26	42	480	46	0.39	—	40	13	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8
2008	—	160	/	100	21	53	520	38	0.34	—	30	7.8	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6
2009	—	220	—	100	20	48	290	49	0.42	—	37	10	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7
2010	0.034	170	—	94	24	58	220	41	0.41	0.097	24	9.0	0.30	—	0.47	0.052	—	—	—	—	1.7
2011	0.30	370	55	130	35	61	190	45	0.56	—	38	9.1	0.23	272	689	0.29	384	360	52	—	1.9

年度	預託実効線量 (単位: mSv)					
	Cs-137	Sr-90	Pu	I-131	Cs-134	合計
2006	1.3 E-4	1.1 E-4	9.3 E-5	—	—	3.3 E-4
2007	1.3 E-4	1.4 E-4	1.2 E-4	—	—	3.9 E-4
2008	1.3 E-4	1.5 E-4	8.4 E-5	—	—	3.6 E-4
2009	1.3 E-4	9.4 E-5	1.0 E-4	—	—	3.2 E-4
2010	1.2 E-4	7.4 E-5	7.9 E-5	1.2 E-5	6.9 E-7	2.9 E-4
2011	2.6 E-4	6.6 E-5	1.0 E-4	1.8 E-4	5.9 E-4	1.2 E-3

注) 各年度の濃度は指標生物を含む検出値があるものだけの単純平均。PuはPu-(239+240)。—：検出例が1例もないもの。

貝類、藻類のCs-137はアンチコインシデンス測定によるものも含む。

海水のCs-137は濃縮を通じたより一般化した評価をするための参考値。その際使用する濃縮係数(cf)は、評価指針によれば、Cs-137では、魚類30、貝類20、藻類20である。

大気試料中I-131濃度はガス状と粒子状の合計。

表(3) 大気中水分・水道水のトリチウム濃度とその吸入・飲用による預託実効線量

預託実効線量単位： 10^{-6}mSv

年度	大気中水分のトリチウム平均濃度 (Bq/ℓ)							水道水トリチウム平均濃度 (Bq/ℓ)							(参考) 県内平均線量 ($\times 10^{-6}\text{mSv}$)			吸入最高 地区線量	
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	海水平均	吸入	飲用		合計
2006	3.7	2.1	2.7	5.9	13	0.63	4.6	0.9	0.9	1.1	0.8	0.8	—	0.91	1.3	7.0	16	23	19
2007	5.3	2.4	2.8	4.6	15	0.80	5.6	1.1	0.9	0.9	0.7	0.9	—	0.91	1.2	8.3	16	24	22
2008	3.4	2.1	3.4	5.2	14	0.87	4.9	1.0	1.0	1.4	1.0	1.1	0.70	1.1	1.8	7.2	19	26	21
2009	2.7	2.3	3.4	5.6	13	0.95	4.6	1.1	1.1	1.3	1.2	1.1	0.70	1.1	18	7.2	19	26	20
2010	3.4	1.9	3.0	5.5	14	0.78	4.7	0.9	0.9	1.0	0.7	0.8	0.60	0.85	1.8	6.9	15	22	21
2011	4.6	2.4	2.9	4.8	13	0.74	5.3	1.0	0.7	1.2	0.8	0.7	0.56	0.86	3.1	7.9	15	23	20

注) トリチウムの大気中水分濃度から大気中濃度への換算には、2011年度の年間平均空気中水分量を用いた。—は検出例がないもの。

海水中濃度から海産物経由のトリチウム(濃縮係数1)による内部被ばくを計算することができる。魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

表(4) 海水中トリチウム濃度と海産物摂取による預託実効線量

年度	海水中トリチウムの平均濃度(Bq/l)							預託実効線量 (×10 ⁻⁶ mSv)						
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均
2009	100	1.3	1.4	1.0	1.5	0.6	19	400	5.2	5.6	4.0	6.0	2.4	76
2010	3.0	1.0	2.5	1.2	1.2	—	1.8	12	4.0	10	4.8	4.8	—	7.2
2011	6.8	1.0	3.4	1.1	2.3	—	3.1	27	4.0	14	4.4	9.2	—	12

注) 海水中トリチウム濃度から海産物経由のトリチウムによる内部被ばくを計算することができる。
魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

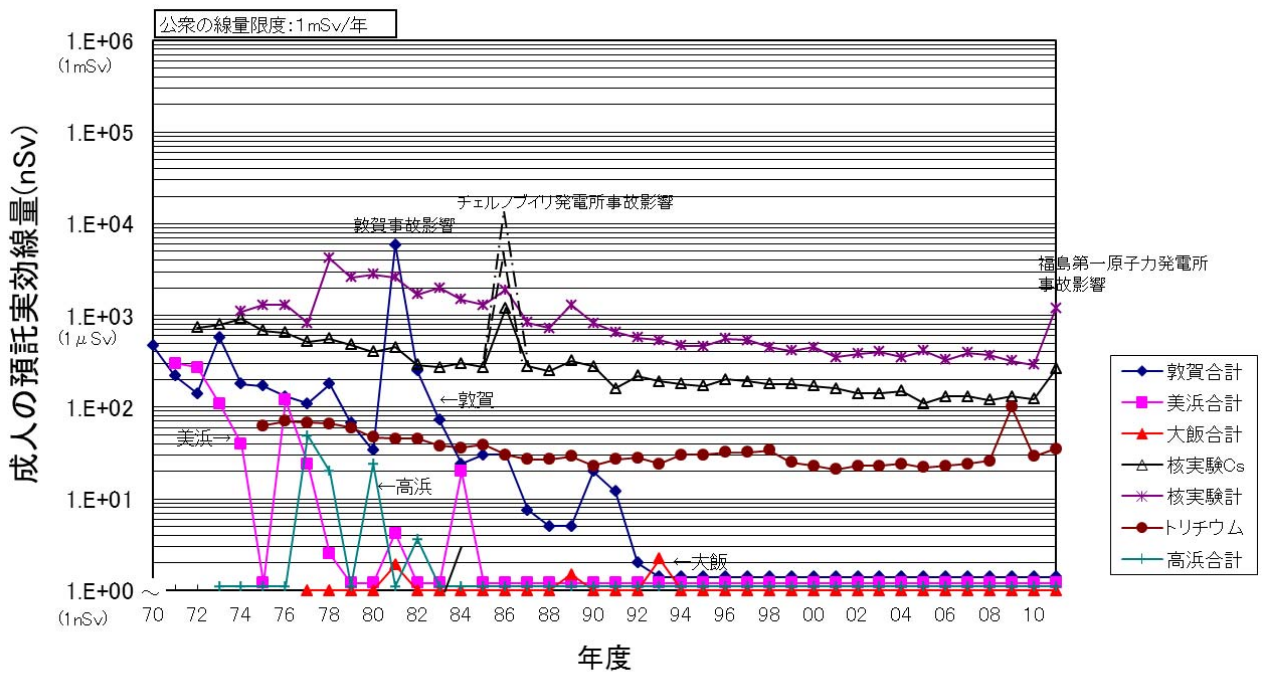


図-1 各種試料中核種濃度から計算した内部被ばく預託実効線量(nSv)

(図-1の注)

- (1)核実験 Cs: 過去の核実験フォールアウト核種である Cs-137 による預託実効線量評価結果。1986年のチェルノブイリ発電所事故影響では、Cs-137の他に I-131 や Ru-103、Ru-106、Cs-134 の評価を加えた結果(図中、破線部)と、陸土への各放射性核種の蓄積量から求めた外部被ばく線量の評価を加えた結果(図中、一点鎖線部)もあわせて示した。
2010年度結果に福島第一原子力発電所事故影響による Cs-137、Cs-134 寄与を含めた。
- (2)核実験計: 過去の核実験フォールアウト核種である Cs-137、Sr-90、Pu-239 による預託実効線量評価結果。2010年度および2011年度結果には福島第一原子力発電所事故影響による I-131、Cs-134 寄与を含めた。
- (3)トリチウム: 大気中トリチウムの吸入、水道水中トリチウムの飲用による預託実効線量評価結果の合計。1990年頃までは核実験影響が支配的であった。2009年度からは、これらに海産物摂取による預託実効線量評価結果を加えた(表(4)参照)。
- (4)各地区における過去の施設寄与は、主として Co-60 によるものであり、その他は Mn-54、Co-58 によるものであった。一部の試料には I-131、Fe-59 があった。

なお、線量評価に用いた「モニタリング指針」が示す摂取量モデル及び線量係数を以下に示す。

「環境放射線モニタリング指針」による摂取モデル（成人1人1日当たりの摂取量）

	呼吸	葉菜	牛乳	魚類	無脊椎類	海藻類	飲料水
成人	22.2 m ³	100 g	200 ml	200 g	20 g	40 g	2,650 ml

注) 穀類、肉・卵・その他の摂取量は記述なし。成人以外の乳児(3ヶ月児)・幼児(5才児)の年齢群の評価を行う場合は、「評価指針」の摂取量による。但し、線量係数も年齢群別のもを用いる必要があり、放射性ヨウ素はモニタリング指針の値を用いる。
 なお、乳幼児の飲料水摂取量は平成10年11月までの旧「防災指針」に1%と既述されていたが、現在は記述はない。

線量評価の対象とした核種の「モニタリング指針」が示す実効線量係数
 (mSv/Bq)

核種	吸入摂取	経口摂取
³ H	2.6×10 ⁻⁷ (エアロゾル)	4.2×10 ⁻⁸ (有機物)
	1.8×10 ⁻⁸ (水)	1.8×10 ⁻⁸ (水)
⁵⁴ Mn	1.5×10 ⁻⁶	7.1×10 ⁻⁷
⁵⁹ Fe	4.0×10 ⁻⁶	1.8×10 ⁻⁶
⁵⁸ Co	2.1×10 ⁻⁶	7.4×10 ⁻⁷
⁶⁰ Co	3.1×10 ⁻⁵	3.4×10 ⁻⁶
⁹⁰ Sr	1.6×10 ⁻⁴	2.8×10 ⁻⁵
¹³¹ I	1.5×10 ⁻⁵ * 1	1.6×10 ⁻⁵ * 1
¹³⁴ Cs	2.0×10 ⁻⁵	1.9×10 ⁻⁵
¹³⁷ Cs	3.9×10 ⁻⁵	1.3×10 ⁻⁵
²³⁹ Pu	1.2×10 ⁻¹	2.5×10 ⁻⁴

* 1 ヨウ素が体液から甲状腺へ達する割合を0.2として計算した値である。

5 参考資料

5. 1 平成23年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過
5. 2 (1)各発電所の設備の概要、建設経過
(2)主要設備の改造および新設工事
5. 3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止措置作業状況
(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況
5. 4 各発電所の運転実績
5. 5 各発電所の発電停止状況
5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）
5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）
5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比
5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量
5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

5. 1 福井県環境放射能測定技術会議議事経過

I 定例会議

第213回 平成23年8月25日

場所：日本原子力研究開発機構
アトムプラザ

議題 (1) 平成23年度第1四半期の定期調査結果について

- ①第1期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②空間線量率連続測定における降水影響以外の「平均値+3 σ 」オーバーについて（監視センター）
 - ③空間線量率連続測定における降水時以外の「M+3 σ 」超過について（原電）
 - ④今期の空間線量率について過去の変動範囲を下回った件について（原電）
 - ⑤空間線量率連続測定における降雨以外で「M+3 σ 」を超えた件について（関電）
 - ⑥今期の核種分析結果においてI-131、Cs-137、Cs-134等が過去3カ年実績を超えて検出された事例について（監視センター）
 - ⑦核種分析結果において今期、I-131等が検出された件について（原電）
 - ⑧核種分析結果において今期、I-131等が検出された事例について（関電）
 - ⑨陸土及び海洋試料からI-131、Cs-134、Cs-137が検出された件について（原子力機構）
 - ⑩美浜発電所周辺における海水中トリチウムの調査結果について（監視センター）
 - ⑪高浜発電所周辺における海水中トリチウムの調査結果について（監視センター）
 - ⑫高浜地区 大気中トリチウムの結果（5月分）の採取不具合について（関電）
 - ⑬高浜地区 海水トリチウムの結果（4月、5月）について（関電）
 - ⑭敦賀地区「猪ヶ池B」における大気中水分トリチウムの採取不具合について（原子力機構）
 - ⑮敦賀発電所2号機 排気筒モニタの一時的な指示値の上昇について（原電）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
(3) 平成23年度第1四半期報告書の検討
(4) その他

第214回 平成23年11月25日

場所：ニューサンピア敦賀

議題 (1) 平成23年度第2四半期の定期調査結果

- ①第2期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②空間線量率測定における最大値（1時間値）の観測について（関電）
 - ③今期の核種分析結果においてCs-137、Cs-134が過去3カ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
 - ④河川敷の野焼きが原因と思われる浮遊じんからの¹³⁷Csおよび¹³⁴Csの検出事例について（監視センター）
 - ⑤降下物の核種分析結果においてCs-137、Cs-134が検出された件について（日本原電）
 - ⑥核種分析結果において今期、Cs-134等が検出された事例について（関電）
 - ⑦陸上及び海洋試料からCs-137、Cs-134等が検出された件について（原子力機構）
 - ⑧白木地区「白木峠A」における大気中水分トリチウムの採取不具合について（原子力機構）
 - ⑨敦賀地区（立石A・猪ヶ池B）における大気中水分トリチウムの評価について（原子力機構）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況

- (3)平成 23 年度第 2 四半期報告書の検討
- (4)その他
 - ⑩県内産原乳における福島事故影響（監視センター）
 - ⑪陸土の核種分析結果において Cs-137 が過去 3 カ年の実績を下回った件について（原電）

第 2 1 5 回 平成 24 年 2 月 10 日

場所：福井県原子力環境監視センター

- 議題 (1)福島第一原子力発電所事故を踏まえた計画について
 (2)平成 24 年度の各機関の調査計画（案）について
 (3)平成 24 年度調査計画書の検討

第 2 1 6 回 平成 24 年 2 月 21 日

場所：ニューサンピア敦賀

- 議題 (1)平成 23 年度第 3 四半期の定期調査結果
- ①第 3 期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②音海 A における過去最大値（1 時間値）の観測について（監視センター）
 - ③空間線量率測定装置の更新について（監視センター）
 - ④空間線量率連続測定における最大値（1 時間値）の観測について（関電）
 - ⑤今期の核種分析結果において Cs-137、Cs-134 が過去 3 カ年実績を超えて検出された事例について（監視センター）
 - ⑥核種分析結果において Cs-137、Cs-134 が検出された件について（原電）
 - ⑦松葉の核種分析結果において Cs-134、Cs-137 を検出した件について（関電）
 - ⑧敦賀発電所 2 号放水口における海水中トリチウムの調査結果について（監視センター）
 - ⑨敦賀地区「猪ヶ池 B」における大気中水分トリチウムの採水不具合について（原子力機構）
 - ⑩敦賀地区（立石 A）における大気中水分トリチウムの評価について（原子力機構）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
 (3)平成 23 年度第 3 四半期報告書の検討
 (4)その他
- ①竹波 A および立石 A における空間線量率の一時的な上昇について（監視センター）
 - ②立石山頂 B、猪ヶ池 B、水試 B、浦底 B における空間線量率の一時的な上昇について（原電）
 - ③美浜地区 菅浜 C における空間線量率の一時的な上昇について（関電）
 - ④上中および新庄気象観測局の測定地点の変更について（関電）
 - ⑤敦賀及び白木地区における空間線量率の一時的な上昇について（原子力機構）
 - ⑥定時降下物から放射性セシウムが比較的高い濃度で検出された原因について（福島県災害対策本部（原子力班））
 - ⑦福島県が行っている定時降下物から放射性セシウムが比較的高い濃度で検出された要因について（福島県災害対策本部（原子力班））

講演会 演題 「東電福島事故に対する JAEA の技術支援活動とそれら活動を通じた緊急時モニタリング活動に関わる課題について」
 講師 片桐裕美（独）日本原子力研究開発機構 原子力緊急時支援・研修センター

第 2 1 7 回 平成 24 年 5 月 28 日

場所：福井県原子力環境監視センター

- 議題 (1)平成 23 年度第 4 四半期の定期調査結果

- ①第4期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
- ②空間線量率連続測定における3ヶ月平均値平常値範囲の逸脱について（監視センター）
- ③高浜地区における線量率過去最大値（1時間値）の観測について（監視センター）
- ④今期の核種分析結果においてCs-137、Cs-134が検出された件について（監視センター）
- ⑤白木地区白木Aにおける大気中水分トリチウムの調査結果について（監視センター）
- ⑥美浜地区・竹波（落合川取水場）および対照地区・原目町（福井分析管理室）における雨水中トリチウムの調査結果について（監視センター）
- ⑦今期の空間線量率において過去の変動範囲を下回った原因について（原電）
- ⑧モニタリングポスト・ステーション取替工事における更新前後のBG値について（原電）
- ⑨敦賀地区（浦底B）における大気中水分トリチウムの調査結果について（原電）
- ⑩沓B5における電子式積算線量計の移設予定について（原電）
- ⑪空間線量率連続測定における最大値（1時間値）の観測について（関電）
- ⑫空間線量率連続測定における今期の平均値が平常の変動幅を下回ったことについて（関電）
- ⑬核種分析結果において今期Cs-137が過去3カ年の実績を超えて検出された事例について（関電）
- ⑭大飯地区大気中水分トリチウムの結果（1月分）について（関電）
- ⑮大飯地区宮留C、美浜地区丹生寮Cにおける空間線量率の一時的な上昇について（関電）
- ⑯空間線量率の3ヶ月平均値が平常値の範囲を下回った件について（原子力機構）
- ⑰指標植物（松葉）からCs-134、Cs-137が検出された件について（原子力機構）
- ⑱敦賀及び白木地区における空間線量率の一時的な上昇について（原子力機構）
- ⑲敦賀地区「沓D」周辺の環境変化について（原子力機構）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
- (3)平成23年度第4四半期報告書の検討
- (4)その他
 - ①「山中A」等における積雪量減少期間のDBM通過率の上昇について（監視センター）
 - ②「敦賀A」、「立石A」における空間線量率の一時的な上昇について（監視センター）
 - ③立石山頂B、猪ヶ池Bにおける空間線量率の一時的な上昇について（日本原電）

II 小委員会

1 年報検討小委員会 平成24年7月31日

場所：福井県原子力環境監視センター

- 議題 (1)平成23年度放射化学分析結果の検討
(2)平成23年度年報の検討

III 臨時検討会

第1回 平成23年4月21日

場所：福井県原子力環境監視センター

- 議題 (1)平成23年3月分の環境試料調査結果について
(2)その他

第2回 平成23年5月27日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題(1) 平成23年4月分の環境試料調査結果について

(2) その他

第3回 平成23年6月27日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題(1) 平成23年5月分の環境試料調査結果について

(2) その他

第4回 平成23年7月21日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題(1) 平成23年6月分の環境試料調査結果について

(2) その他

第5回 平成23年8月25日

場所：日本原子力研究開発機構アトムプラザ

議題(1) 平成23年7月分の環境試料調査結果について

(2) その他

第6回 平成23年9月26日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題(1) 平成23年8月分の環境試料調査結果について

(2) その他

第7回 平成23年10月24日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題(1) 平成23年8月分の環境試料調査結果について

(2) 臨時放射能調査報告（3～9月分）について

(3) その他

福井県環境放射能測定技術会議規定

(会の名称)

第1条 本会議は、福井県環境放射能測定技術会議と称する。

(目的)

第2条 本会議は、福井県の関係機関ならびに原子力施設設置者が県内の施設周辺で実施する環境放射線モニタリングについて技術的に検討し、環境放射能の状況を常時確認することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 本会議は前条の目的を達成するため、次の事項を行う。

- 1 原子力施設の平常運転時における環境放射線モニタリング項目の調整
- 2 放射能測定の方法の検討および調査
- 3 環境放射線モニタリングの結果の評価
- 4 報告書の作成ならびに福井県原子力環境安全管理協議会への提出
- 5 その他環境放射線モニタリングに関する技術的事項

(構成)

第4条 本会議は、次の機関の専門技術者をもって構成する。

福井県安全環境部原子力安全対策課 日本原子力発電株式会社

福井県原子力環境監視センター 関西電力株式会社

福井県水産試験場 独立行政法人日本原子力研究開発機構

なお、オブザーバーとして文部科学省福井地方放射線モニタリング対策官の出席を得る。また、必要に応じて専門機関の意見を求めることができる。

(議長および事務局)

第5条 本会議の議長は、福井県原子力環境監視センター所長をもってあてる。本会議の事務局を、議長の属する機関に置く。

(会議の開催)

第6条 本会議は四半期ごとに定例会議を、また構成員が必要と認めた場合はその都度会議を開催する。

(定例会議以外の会議)

第7条 本会議には四半期ごとの定例会議以外に、必要に応じ小委員会、幹事会、作業部会を置くことができる。

(報告書の作成)

第8条 本会議は、年度開始に先立ち調査計画書を、また環境放射線モニタリングの結果に関し、四半期および年度ごとに報告書を作成する。

(規定の改廃)

第9条 この規定に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は議長が会議にはかって定める。

附則

この規定は、昭和44年2月12日から施行する。

昭和48年8月2日一部改定

平成7年5月31日一部改定

平成10年7月1日一部改定

平成10年10月1日一部改定

平成15年4月1日一部改定

平成17年4月1日一部改定

平成17年10月1日一部改定

平成24年5月28日一部改定

会議の出席者（平成23年度（2011年度））

議長	福井県原子力環境 監視センター	前川 素一	日本原子力発電株式会社 敦賀発電所	立松 篤
				福田 正幸
	原子力安全対策課	富田 純平		橋本 拓也
		清水 健彦	発電管理室	武田 敏之
		黒田 祐志		谷口 和史
			関西電力株式会社 環境モニタリングセンター	中山 芳昌
	福井県原子力環境 監視センター	田賀 幹生		谷口 豊
		青木 靖	美浜発電所	矢谷 浩康
		河寄 正利		西谷 英樹
		西村 祐子		生駒 英也
	福井分析管理室	大西 勝基	大飯発電所	上市 陽二
		山田 人也		藤田 博文
		高橋 暁美		中村 晃
		大久保 裕章	高浜発電所	松永 勇二
		大森 靖子		今村 啓介
		加藤 明日香		片岡 秀哉
				村川 実
	福井県水産試験場	杉本 剛士	日本原子力研究開発機構	
		木下 仁徳	安全品質推進部 環境監視課	大久保浩一
				国分 祐司
			高速増殖炉研究開発センタープラント管理部	
			安全管理課	前川 嘉治
			原子炉廃止措置研究開発センター	
			環境管理課	森田 聡

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過

		敦賀発電所		原子炉廃止措置研究 開発センター(ふげん)	高速増殖原型炉 (もんじゅ)
		1号機	2号機		
設備の概要	炉 型	BWR	PWR	ATR	FBR
	定格電気出力(万 kW)	35.7	116.0	16.5	28.0
	減 速 剤	軽 水	軽 水	重 水	—
	冷 却 剤	//	//	軽 水	ナトリウム
	燃 料 (材 料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	混合酸化物燃料体	混合酸化物燃料体
	燃料装荷量 (t)	約 60	約 89	39	約 23 * ³
	燃料集合体数	308	193	224	370 * ⁴
	蒸気発生器数	—	4	—	6 * ⁵
	復水器冷却水流量(t/秒)	21	83	11	15
建設経過	着 工	1966. 4	1982. 4	1970. 12	1985. 10
	格納容器組立開始	1967. 2	1983. 4	1972. 8	1986. 7
	燃料装荷開始	69. 9. 20	86. 4. 17	78. 3. 15	1993. 10
	初 臨 界	69. 10. 3	86. 5. 28	78. 5. 9	94. 4. 5
	営業運転開始	70. 3. 14	87. 2. 17	79. 3. 20* ²	性能試験中
定格熱出力一定運転運用開始		03. 3. 14	02. 7. 15		

*1 低濃縮二酸化ウランも使用 *2 本格運転開始

*3 炉心燃料集合体約10t, ブランケット燃料集合体約13t

*4 炉心燃料集合体 198体、ブランケット燃料集合体 172体

*5 蒸発器 3基、過熱器 3基

*6 新型転換炉ふげん発電所は、2008年2月12日に廃止措置計画の認可を受け、原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)に改組した。

		美 浜 発 電 所		
		1号機	2号機	3号機
設備の概要	炉 型	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万 kW)	34.0	50.0	82.6
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	//	//	//
	燃 料 (材 料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量 (t)	約 40	約 48	約 71
	燃料集合体数	121	121	157
	蒸気発生器数	2	2	3
	復水器冷却水流量(t/秒)	21	36	51
建設経過	着 工	1967. 8	1968. 12	1972. 7
	格納容器組立開始	1968. 11	1969. 1	1972. 12
	燃料装荷開始	70. 7. 4	72. 3. 6	75. 12. 11
	初 臨 界	70. 7. 29	72. 4. 10	76. 1. 28
	営業運転開始	70. 11. 28	72. 7. 25	76. 12. 1
定格熱出力一定運転運用開始		02. 11. 21	02. 7. 17	03. 6. 19

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過 (つづき)

		大 飯 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設備の概要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万 Kw)	117.5	117.5	118.0	118.0
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	〃	〃	〃	〃
	燃 料 (材 料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量 (t)	約 89	約 89	約 89	約 89
	燃料集合体数	193	193	193	193
	蒸気発生器数	4	4	4	4
	復水器冷却水流量(t/秒)	71	71	81	81
建設経過	着 工	1972. 10	1972. 11	1987. 5	1987. 5
	格納容器組立開始	1973. 1	1973. 5	1988. 6	1989. 4
	燃料装荷開始	77. 10. 14	78. 7. 28	91. 4. 1	92. 4. 13
	初 臨 界	77. 12. 2	78. 9. 14	91. 5. 17	92. 5. 28
	営業運転開始	79. 3. 27	79. 12. 5	91. 12. 18	93. 2. 2
定格熱出力一定運転運用開始		03. 6. 4	02. 12. 18	03. 2. 25	02. 4. 16

		高 浜 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設備の概要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万 Kw)	82.6	82.6	87.0	87.0
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	〃	〃	〃	〃
	燃 料 (材 料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量 (t)	約 71	約 71	約 72	約 72
	燃料集合体数	157	157	157	157
	蒸気発生器数	3	3	3	3
	復水器冷却水流量(t/秒)	51	51	63	63
建設経過	着 工	1970. 4	1971. 2	1980. 11	1980. 11
	格納容器組立開始	1970. 8	1971. 7	1981. 6	1981. 12
	燃料装荷開始	74. 2. 2	74. 11. 15	84. 3. 1	84. 8. 31
	初 臨 界	74. 3. 14	74. 12. 20	84. 4. 17	84. 10. 11
	営業運転開始	74. 11. 14	75. 11. 14	85. 1. 17	85. 6. 5
定格熱出力一定運転運用開始		03. 2. 15	02. 6. 6	02. 11. 6	03. 6. 17

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事

(日本原電(株) 敦賀発電所)

設 備 名	概 要	使用開始 年 月 日
希ガスホールドアップ装置	希ガスホールドアップ装置（活性炭を充填した放射能減衰装置）を設置、気体廃棄物の低減化	1971. 11. 30
ランドリードレンフィルター	洗濯排水処理系に活性炭式フィルターを新設 液体廃棄物の低減化	1975. 9. 9
放射性廃棄物処理設備	電磁濾過器，超濾過器，蒸発濃縮器，アスファルト固化装置， 雑固体焼却炉，サイトバンカーを増設，廃棄物発生量の低減化， 廃棄物の減容および長期貯蔵対策	1977. 9. 20 全 設 備 使用開始
低圧タービングランドシール	低圧タービン軸シール蒸気を主蒸気から蒸気発生器蒸気に変更 気体廃棄物の低減化	1977. 11. 15
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し，活性炭式フィルターを更新	1981. 12. 13
放射性液体廃棄物 放出ライン	敦賀発電所 1. 2 号の放射性液体廃棄物放出系の共用化に伴い 液体廃棄物放出を 2 号放水口に一元化	1996. 3. 14
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し，活性炭式ロータリーフィルターを設 置	1996. 9. 1
雑固体減容処理設備	雑固体減容処理設備（プラズマ熔融システム採用）を設置し、 放射性雑固体廃棄物量の低減化	2005. 4. 28
原子炉容器上部ふた保管庫	敦賀発電所 2 号機原子炉容器上部ふたの取替に伴い、原子炉容 器上部ふた保管庫を設置し、旧原子炉容器上部ふた保管を保管	2007. 9. 15

(日本原子力研究開発機構 原子炉廃止措置研究開発センター)

設 備 名	概 要	運用開始 年 月 日
固体廃棄物貯蔵庫	雑固体廃棄物貯蔵庫の設置	1977. 3. 20
重水精製装置	高濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1979. 5. 1
第 2 固体廃棄物貯蔵庫	増設	1985. 4. 1
重水精製装置 (II)	低濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1986. 12. 20
廃液フィルター	プレコートタイプから中空糸膜フィルターに変更 二次廃棄物発生量の低減化	1989. 8. 24
ドライクリーニング 装置	ドライクリーニング装置の容量増量。液体廃棄物の低減化	1989. 8. 24
廃棄物処理建屋	雑固体廃棄物焼却設備、廃樹脂貯蔵設備および収納建屋の設置	1989. 9. 22
放射線測定設備	モニタリングポストの 1 基増設	2002. 11. 29

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事 (つづき)

(関西電力, 美浜・大飯・高浜発電所)

設備名	概要	運用開始年月日		
		美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
廃液蒸発処理装置	廃液蒸発処理装置を増設し、処理能力を強化	1974. 12. 18 (1, 2号共用)		
雑固体焼却設備	雑固体焼却設備を設置し、固体廃棄物の低減化	1978. 10. 27 (1~3号共用)	1991. 12. 18 (1~4号共用)	1984. 8. 31 (1~4号共用)
アスファルト固化装置	アスファルト固化装置を設置し、固体廃棄物の低減化	1978. 10. 27 (1~3号共用)	1982. 1. 19 (1, 2号共用)	1984. 9. 5 (1, 2号共用) 1985. 1. 17 (3, 4号共用)
洗濯排水処理設備	洗濯排水処理設備を設置し、液体廃棄物量を低減化	1996. 5. 22 (1, 2号共用) 1997. 4. 16 (3号用)	1982. 1. 14 (1, 2号共用) 2009. 9. 18 (3, 4号共用)	1981. 7. 31 (1, 2号共用) 1985. 1. 17 (3, 4号共用)
液体廃棄物放出ライン	美浜 3号放射性液体廃棄物放出ラインの1, 2号機側への連絡配管設置	1984. 10. 25		
気体フィルタ圧縮用ベアラ	気体フィルタ圧縮用ベアラを設置し、固体廃棄物量の低減化	1987. 2. 27 (1~3号共用)	1991. 12. 18 (1~4号共用)	1985. 1. 17 (1~4号共用)
廃棄物庫	廃棄物庫を増設		1986. 9. 18 (C廃棄物庫) 1992. 11. 27 (C廃棄物庫2階部分)	1985. 1. 17 (D廃棄物庫)
ドライクリーニング装置	ドライクリーニング装置を設置し、液体廃棄物量の低減化			1987. 6. 24 (1, 2号共用) 1985. 3. 10 (3, 4号共用)
廃樹脂貯蔵タンク	廃樹脂貯蔵タンクの増設	1988. 1. 22 (1, 2号共用)		1985. 12. 18 (1, 2号共用)
乾燥造粒装置	乾燥造粒装置を設置し、固体廃棄物量の低減化		1991. 12. 18 (3, 4号共用)	
液体廃棄物放出ライン	美浜 1, 2号機放射性液体廃棄物放出ラインを3号機からも放出可能なように改造	1993. 4. 19		
蒸気発生器保管庫	蒸気発生器の取り替えに伴い、蒸気発生器保管庫を設置し、旧蒸気発生器を保管	1993. 12. 15 (2号用) 1995. 5. 31 (1~3号共用)	1994. 4. 25 (1, 2号共用) 1996. 11. 20 (1, 2号共用)	1994. 1. 25 (1, 2号共用) 1995. 12. 25 (1, 2号共用)
廃樹脂処理装置	廃樹脂処理装置を設置し、固体廃棄物量の低減化	2001. 4. 9 (1~3号共用)	1994. 9. 27 (1, 2号共用)	2000. 3. 10 (1, 2号共用)
雑固体固型化装置	雑固体固型化装置を設置し、固体廃棄物を固型化。	2001. 4. 9 (1~3号共用)	1999. 11. 12 (1~4号共用)	2004. 12. 20 (1~4号共用)
低線量使用済樹脂排出配管	排出配管を設置し、低線量の使用済樹脂の焼却減容処理		2005. 3. 30 (1, 2号共用)	2005. 3. 25 (1, 2号共用) 2004. 6. 15 (3, 4号共用)

5. 3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止

措置作業状況

廃止措置作業状況（廃止措置以降）

区分	年月日	概要説明
廃止措置	2008年2月12日～	廃止措置計画及び保安規定の認可を受け、廃止措置作業を開始した。
	2009年2月16日～	カランドリアタンク及び重水冷却系のトリチウム除去を開始し、継続中である。
	2010年11月24日～ 2011年5月20日	重水冷却系等の残留重水回収を開始し、終了した。
	2011年2月21日～ 2011年9月29日	ポイズン供給系等のトリチウム除去を開始し、終了した。
	2011年5月10日～ 2011年9月6日	劣化重水貯槽等の残留重水回収を開始し、終了した。
	2011年7月25日～ 2012年3月21日	重水貯層等の残留重水回収を開始し、終了した。
	2011年9月12日～ 2012年3月21日	復水器等の解体撤去を実施し、終了した。
	2012年2月27日	重水浄化系のトリチウム除去作業中である。
定期検査	2011年12月1日～ 2012年3月23日	第24回定期検査を実施し、終了した。

※「新型転換炉ふげん発電所」は、2003年3月29日に運転を終了し、2008年2月12日に廃止措置計画及び保安規定の認可を受け、「原子炉廃止措置研究開発センター」に改組した。

5. 3 (2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況

試験進捗状況

区分	年月日	概要説明	進捗率(%)
性能試験	2010年5月6日～	性能試験(40%出力プラント確認試験)の準備を開始し、継続中である。	10*
	2010年8月11日～	燃料交換作業を開始し、継続中である。(8月26日炉内中継装置落下のため、作業中断中)	
	2010年10月1日～	平成22・23年度設備点検を開始し、継続中である。 (1次系・2次系等)	
	2011年2月15日～	水・蒸気系設備機能確認試験を開始し、継続中である。	
	2011年2月21日～ 2011年10月15日	屋外排気ダクト取替工事を開始し、終了した。	
	2011年2月21日～	炉内中継装置引き抜き・復旧工事を開始し、継続中である。	

*本格運転開始までに実施される性能試験の試験項目数を考慮し算出したもの。
平成22年5月6日の性能試験再開以降の進捗率である。

5. 4 各発電所の運転実績（県内年間発電電力量総計 333.3 億 KWH）

敦賀発電所

2011年4月～2012年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2号機	発電電力量	8.7	1.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.6
	最大電力	1220	1219	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1220
	稼働率	100	21.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0
	発電日数	30	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37

高速増殖原型炉もんじゅ

2011年4月～2012年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
もんじゅ	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位（発電電力量：10⁵MWH、最大電力：MW、稼働率：%、発電日数：日）

美浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2号機	発電電力量	3.7	3.8	3.6	3.6	3.6	3.5	3.7	3.6	0.8	0	0	0	29.9
	最大電力	509	509	504	494	489	497	500	504	499	0	0	0	509
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	23.0	0	0	0	68.6
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	8	0	0	0	252
3号機	発電電力量	6.2	2.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9.0
	最大電力	869	869	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	869
	稼働率	100	43.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11.9
	発電日数	30	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44

大飯発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	8.5	8.8	8.5	4.4	0	0	0	0	0	0	0	0	30.3
	最大電力	1186	1186	1186	1180	0	0	0	0	0	0	0	0	1186
	稼働率	100	100	100	51.0	0	0	0	0	0	0	0	0	29.2
	発電日数	30	31	30	16	0	0	0	0	0	0	0	0	107
2号機	発電電力量	8.7	9.0	8.7	8.9	8.8	8.6	8.9	8.6	4.5	0	0	0	74.6
	最大電力	1208	1208	1207	1200	1192	1199	1202	1204	1204	0	0	0	1208
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	50.5	0	0	0	70.9
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	16	0	0	0	260
3号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4号機	発電電力量	8.6	8.9	8.6	6.2	0	0	0	0	0	0	0	0	32.4
	最大電力	1200	1201	1200	1197	0	0	0	0	0	0	0	0	1201
	稼働率	100	100	100	70.9	0	0	0	0	0	0	0	0	30.9
	発電日数	30	31	30	22	0	0	0	0	0	0	0	0	113

高浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2号機	発電電力量	6.3	6.5	6.3	6.4	6.4	6.2	6.5	5.1	0	0	0	0	49.6
	最大電力	875	873	872	868	863	867	870	870	0	0	0	0	875
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	83.2	0	0	0	0	65.3
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	25	0	0	0	0	239
3号機	発電電力量	6.7	6.9	6.7	6.8	6.7	6.6	6.9	6.7	6.9	6.9	4.4	0	72.2
	最大電力	933	933	931	922	915	922	926	928	930	930	932	0	933
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	68.8	0	89.1
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	20	0	326
4号機	発電電力量	6.6	6.9	6.7	4.6	0	0	0	0	0	0	0	0	24.7
	最大電力	923	930	930	922	0	0	0	0	0	0	0	0	930
	稼働率	100	100	100	67.6	0	0	0	0	0	0	0	0	30.6
	発電日数	30	31	30	21	0	0	0	0	0	0	0	0	112

(単位) 発電電力量：10⁵MWH，最大電力：MW，稼働率：%，発電日数：日

各発電所の発電停止状況

2011年04月～2012年03月 (年間)

施設名	項目	発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
日本原電(株) 敦賀発電所	1号機	11. 1. 26～	第33回定期検査作業実施中		
	2号機	11. 8. 29～	第18回定期検査作業実施中	11. 5. 7～ 11. 8. 28	1次冷却材中の放射能濃度の上昇に伴う原子炉手動停止
関西電力(株) 美浜発電所	1号機	10. 11. 24～	第25回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中		なし
	2号機	11. 12. 8	・A-加圧器スプレ弁グラウンド リークオフ流量増加による 原子炉手動停止	11. 11. 30～ 11. 12. 7	コストダウン運転
		11. 12. 18～	第27回定期検査作業実施中	12. 2. 18 12. 3. 4	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み
	3号機	11. 5. 14～	第25回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中		なし
関西電力(株) 大飯発電所	1号機	10. 12. 10～	第24回定期検査作業実施中	11. 3. 13～ 11. 7. 16	調整運転(中断)
		11. 7. 16～ 11. 9. 20	・C-アキュムレータ圧力低 下に係る原子炉手動停止 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中		
	2号機	11. 12. 16～	第24回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中		なし
	3号機	11. 3. 18～	第15回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中	11. 4. 7 11. 4. 21	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み
	4号機	11. 7. 22～	第14回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中		なし

施設名	項目	発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
関西電力㈱ 高浜発電所	1号機	11. 1. 10～	第27回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を 踏まえた安全対策対応中		なし
	2号機	11. 11. 25～	第27回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を 踏まえた安全対策対応中	11. 11. 19～ 11. 11. 25 11. 12. 6 11. 12. 19	コストダウン運転 原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み
	3号機	12. 2. 20～	第21回定期検査作業実施中		なし
	4号機	11. 7. 21～	第20回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を 踏まえた安全対策対応中	11. 7. 31 11. 10. 4	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2011年4月～2012年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
敦賀発電所 1号機	4月	—	—	6.6E-10 *	1.4E+05 *	—	—	5.8E+09
	5月	—	—	—	—	—	—	4.5E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	5.5E+09
	7月	—	—	—	—	—	—	7.4E+09
	8月	—	—	—	—	—	—	7.9E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	7.4E+09
	10月	—	—	—	—	—	—	5.0E+09
	11月	—	—	—	—	—	—	4.3E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	3.7E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	3.2E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	2.2E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	2.5E+09
	年間	—	—	—	—	—	—	5.9E+10
	敦賀発電所 2号機	4月	—	—	1.2E-09 *	5.4E+05 *	—	—
5月		1.4E-05	4.9E+09	—	—	—	—	1.1E+11
6月		—	—	—	—	—	—	4.3E+11
7月		—	—	—	—	—	—	1.0E+12
8月		—	—	—	—	—	—	4.8E+11
9月		—	—	—	—	—	—	6.6E+11
10月		—	—	—	—	—	—	5.3E+11
11月		—	—	—	—	—	—	4.4E+11
12月		—	—	—	—	—	—	4.4E+11
1月		—	—	—	—	—	—	3.5E+11
2月		—	—	—	—	—	—	2.7E+11
3月		—	—	—	—	—	—	2.1E+11
年間		—	4.9E+09	—	6.8E+05 *	—	—	5.0E+12
ふげん		4月	—	—	4.4E-10 *	2.0E+05 *	—	—
	5月	—	—	—	—	—	—	1.0E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	1.1E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	1.4E+10
	8月	—	—	—	—	—	—	1.2E+10
	9月	—	—	—	—	—	—	1.1E+10
	10月	—	—	—	—	—	—	1.0E+10
	11月	—	—	—	—	—	—	3.8E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	2.3E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	9.9E+08
	2月	—	—	—	—	—	—	3.4E+08
	3月	—	—	—	—	—	—	4.6E+08
	年間	—	—	3.6E-11 *	2.0E+05 *	—	—	8.0E+10

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

敦賀発電所1号機の気体廃棄物放出量については、焼却炉排気筒からの放出も含まれている。

敦賀発電所2号機の気体廃棄物放出量については、雑固体減容処理建屋排気口からの放出も含まれている。

ふげんの気体廃棄物放出量については、重水精製施設からの放出も含まれている。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

* 当該期間においてヨウ素が放出されるような操作を行っていないことから、各所に起因したものではなく福島第一原子力発電所事故による影響と推測される。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2011年4月～2012年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	5.8E-11 *	2.1E+03 *	—	—	1.4E+06
	5 月	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	—	—	—	—	—	—	—
	8 月	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	—	—	—	—	—	—	—
	10月	—	—	—	—	—	—	—
	11月	—	—	—	—	—	—	—
	12月	—	—	—	—	—	—	—
	1 月	—	—	—	—	—	—	—
	2 月	—	—	—	—	—	—	—
	3 月	—	—	—	—	—	—	3.2E+08
	年 間	—	—	6.7E-13 *	2.1E+03 *	—	—	3.2E+08
	美浜発電所 1号機	4 月	—	—	1.9E-09 *	3.4E+05 *	—	—
5 月		—	—	—	—	—	—	1.2E+11
6 月		—	—	—	—	—	—	1.2E+11
7 月		—	—	—	—	—	—	1.6E+11
8 月		—	—	—	—	—	—	1.7E+11
9 月		—	—	—	—	—	—	1.6E+11
10月		—	—	—	—	—	—	1.6E+11
11月		—	—	—	—	—	—	1.4E+11
12月		—	—	—	—	—	—	1.2E+11
1 月		—	—	—	—	—	—	9.9E+10
2 月		—	—	—	—	—	—	8.9E+10
3 月		—	—	—	—	—	—	7.7E+10
年 間		—	—	1.5E-10 *	3.4E+05 *	—	—	1.5E+12
美浜発電所 2号機		4 月	1.5E-05	1.9E+09	2.3E-09 *	3.0E+05 *	—	—
	5 月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	6 月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	7 月	—	—	—	—	—	—	2.8E+11
	8 月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	9 月	—	—	—	—	—	—	3.2E+11
	10月	1.5E-06	2.0E+08	—	—	—	—	2.5E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	12月	1.1E-06	1.7E+08	—	—	—	—	2.1E+11
	1 月	—	—	—	—	—	—	3.9E+11
	2 月	—	—	—	—	—	—	3.9E+11
	3 月	—	—	—	—	—	—	3.2E+11
	年 間	1.4E-06	2.3E+09	1.8E-10 *	3.0E+05 *	—	—	3.2E+12

(注) 1.0E-01は1.0×10⁻¹のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

* 当該期間においてヨウ素が放出されるような操作を行っていないことから、各所に起因したものではなく福島第一原子力発電所による影響と推測される。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
美浜発電所 3号機	4月	6.1E-07	9.3E+07	1.6E-09*	2.4E+05*	—	—	7.7E+10
	5月	4.7E-06	1.1E+09	—	—	—	—	3.6E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	4.9E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	8.3E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	8.4E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	5.2E+10
	年間	4.6E-07	1.1E+09	9.7E-11*	2.4E+05*	—	—	2.1E+12
	大飯発電所 1号機	4月	8.6E-05	1.4E+10	2.4E-09*	4.0E+05*	—	—
5月		2.4E-04	4.2E+10	—	—	—	—	2.2E+11
6月		5.2E-05	8.7E+09	—	—	—	—	1.9E+11
7月		—	—	—	—	—	—	3.0E+11
8月		—	—	—	—	—	—	4.8E+11
9月		1.5E-05	3.0E+09	—	—	—	—	4.0E+11
10月		—	—	—	—	—	—	3.9E+11
11月		—	—	—	—	—	—	4.0E+11
12月		—	—	—	—	—	—	3.3E+11
1月		—	—	—	—	—	—	6.7E+11
2月		—	—	—	—	—	—	5.7E+11
3月		—	—	—	—	—	—	4.4E+11
年間		2.9E-05	6.8E+10	1.7E-10*	4.0E+05*	—	—	4.6E+12
大飯発電所 2号機		4月	—	—	2.0E-09*	2.5E+05*	—	—
	5月	—	—	—	—	—	—	6.6E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	3.6E+09
	7月	—	—	—	—	—	—	4.8E+09
	8月	—	—	—	—	—	—	5.4E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	7.5E+09
	10月	—	—	—	—	—	—	1.1E+10
	11月	—	—	—	—	—	—	1.1E+10
	12月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	5.7E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	3.2E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	1.9E+10
	年間	—	—	1.5E-10	2.5E+05	—	—	1.2E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

* 当該期間においてヨウ素が放出されるような操作を行っていないことから、各所に起因したものではなく福島第一原子力発電所による影響と推測される。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2010年4月～2011年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
大飯発電所 3号機	4月	—	—	1.8E-09*	7.1E+05*	—	—	2.2E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	3.0E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	8.1E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	8.1E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	5.2E+10
	年間	—	—	1.5E-10*	7.1E+05*	—	—	2.3E+12
	大飯発電所 4号機	4月	—	—	2.1E-09*	5.8E+05*	—	—
5月		—	—	—	—	—	—	8.8E+10
6月		—	—	—	—	—	—	9.7E+10
7月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11
8月		—	—	—	—	—	—	3.9E+11
9月		—	—	—	—	—	—	4.3E+11
10月		—	—	—	—	—	—	2.7E+11
11月		—	—	—	—	—	—	2.6E+11
12月		—	—	—	—	—	—	1.6E+11
1月		—	—	—	—	—	—	9.3E+10
2月		—	—	—	—	—	—	8.3E+10
3月		—	—	—	—	—	—	8.1E+10
年間		—	—	1.6E-10*	5.8E+05*	—	—	2.2E+12
高浜発電所 1号機		4月	—	—	1.7E-09*	4.0E+05*	—	—
	5月	—	—	—	—	—	—	4.0E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	3.7E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	4.5E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	4.7E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	4.0E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	3.4E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	2.9E+11
	12月	7.7E-07	1.9E+08	—	—	—	—	2.1E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	3月	3.3E-07	6.8E+07	—	—	—	—	1.5E+11
	年間	9.1E-08	2.6E+08	1.4E-10	4.0E+05*	—	—	3.7E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

* 当該期間においてヨウ素が放出されるような操作を行っていないことから、各所に起因したものではなく福島第一原子力発電所による影響と推測される。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2011年4月～2012年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高浜発電所 2号機	4月	4.9E-07	5.1E+07	2.2E-09*	2.4E+05*	—	—	1.6E+11
	5月	6.2E-07	6.8E+07	—	—	—	—	1.6E+11
	6月	9.2E-07	9.7E+07	—	—	—	—	1.8E+11
	7月	7.4E-07	8.1E+07	—	—	—	—	2.2E+11
	8月	8.7E-07	9.4E+07	—	—	—	—	2.9E+11
	9月	1.2E-06	1.3E+08	—	—	—	—	2.3E+11
	10月	4.5E-07	4.9E+07	—	—	—	—	2.0E+11
	11月	3.4E-06	4.0E+08	—	—	—	—	2.2E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	5.4E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	年間	6.2E-07	9.6E+08	1.5E-10*	2.4E+05*	—	—	2.8E+12
	高浜発電所 3号機	4月	—	—	1.1E-09*	2.8E+05*	—	—
5月		—	—	—	—	—	—	1.1E+11
6月		—	—	—	—	—	—	8.8E+10
7月		—	—	—	—	—	—	1.5E+11
8月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11
9月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11
10月		—	—	—	—	—	—	1.4E+11
11月		—	—	—	—	—	—	1.5E+11
12月		—	—	—	—	—	—	1.4E+11
1月		—	—	—	—	—	—	1.3E+11
2月		—	—	—	—	—	—	2.0E+11
3月		—	—	—	—	—	—	3.6E+11
年間		—	—	8.5E-11*	2.8E+05*	—	—	1.9E+12
高浜発電所 4号機		4月	—	—	1.1E-09*	2.6E+05*	—	—
	5月	—	—	—	—	—	—	9.0E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	9.8E+10
	7月	1.7E-06	4.6E+08	—	—	—	—	2.7E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	6.0E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	5.8E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	3.0E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	7.6E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	6.3E+10
	年間	1.3E-07	4.6E+08	7.2E-11*	2.6E+05*	—	—	2.6E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

* 当該期間においてヨウ素が放出されるような操作を行っていないことから、各所に起因したものではなく福島第一原子力発電所による影響と推測される。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2011年4月～2012年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
敦賀発電所	4 月	—	—	2. 1E-03	4. 5E+11
	5 月	—	—	5. 9E-05	8. 1E+09
	6 月	—	—	4. 7E-02	3. 7E+11
	7 月	—	—	4. 9E-02	2. 5E+11
	8 月	—	—	5. 5E-02	4. 0E+11
	9 月	—	—	2. 5E-01	1. 3E+12
	1 0月	—	—	1. 8E-01	8. 2E+11
	1 1月	—	—	2. 4E-02	1. 0E+11
	1 2月	—	—	1. 1E-01	5. 1E+11
	1 月	—	—	2. 0E-02	8. 6E+10
	2 月	—	—	9. 1E-02	3. 7E+11
	3 月	—	—	3. 1E-01	1. 4E+12
	年 間	—	—	1. 5E-02	6. 0E+12
ふげん	4 月	—	—	1. 1E-02	2. 6E+10
	5 月	—	—	1. 5E-02	3. 2E+10
	6 月	—	—	2. 3E-02	5. 6E+10
	7 月	—	—	1. 4E-02	2. 8E+10
	8 月	—	—	1. 2E-01	2. 5E+11
	9 月	—	—	8. 1E-02	1. 9E+11
	1 0月	—	—	7. 1E-02	1. 7E+11
	1 1月	—	—	5. 6E-02	1. 2E+11
	1 2月	—	—	8. 7E-03	1. 5E+10
	1 月	—	—	4. 7E-04	6. 7E+08
	2 月	—	—	8. 1E-03	1. 2E+10
	3 月	—	—	5. 3E-03	1. 3E+10
	年 間	—	—	3. 7E-02	9. 1E+11
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	3. 7E-08	1. 2E+06
	5 月	—	—	1. 8E-08	8. 1E+05
	6 月	—	—	2. 0E-07	8. 5E+06
	7 月	—	—	1. 9E-07	8. 1E+06
	8 月	—	—	—	—
	9 月	—	—	8. 7E-07	3. 2E+07
	1 0月	—	—	5. 7E-07	1. 3E+07
	1 1月	—	—	8. 9E-07	2. 7E+06
	1 2月	—	—	—	—
	1 月	—	—	1. 8E-06	6. 6E+06
	2 月	—	—	6. 4E-07	2. 2E+06
	3 月	—	—	5. 1E-07	1. 8E+06
	年 間	—	—	2. 7E-07	7. 7E+07

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。
 敦賀発電所の液体廃棄物放出量については、雑固体減容処理設備からの放出も含まれている。
 ふげんの放射性廃棄物実績については、重水精製施設からの放出量も含めて記載した。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2011年4月～2012年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
美浜発電所 1, 2号機 ^{*1}	4 月	—	—	5. 2E-03	7. 9E+11
	5 月	—	—	1. 3E-02	2. 1E+12
	6 月	—	—	1. 5E-02	2. 2E+12
	7 月	—	—	2. 0E-03	3. 2E+11
	8 月	—	—	3. 5E-03	5. 6E+11
	9 月	—	—	2. 1E-02	2. 2E+12
	10月	—	—	6. 1E-03	6. 4E+11
	11月	—	—	7. 5E-03	7. 6E+11
	12月	—	—	2. 1E-07	1. 3E+07
	1 月	/	/	/	/
	2 月	/	/	/	/
	3 月	/	/	/	/
	年 間	—	—	8. 3E-03	9. 6E+12
	美浜発電所 3号機 ^{*2}	4 月	—	—	1. 1E-07
5 月		—	—	1. 3E-02	9. 1E+11
6 月		/	/	/	/
7 月		—	—	1. 1E-02	1. 6E+12
8 月		—	—	5. 3E-03	7. 4E+11
9 月		—	—	7. 4E-03	1. 0E+12
10月		—	—	5. 0E-03	7. 1E+11
11月		—	—	6. 2E-08	2. 2E+06
12月		—	—	4. 7E-03	6. 5E+11
1 月		—	—	2. 4E-02	3. 3E+12
2 月		—	—	9. 4E-03	1. 2E+12
3 月		—	—	1. 4E-02	1. 9E+12
年 間		—	—	8. 9E-03	1. 2E+13
大飯発電所 1, 2号機		4 月	—	—	1. 1E-02
	5 月	—	—	1. 5E-03	6. 0E+11
	6 月	—	—	1. 1E-03	4. 4E+11
	7 月	—	—	3. 4E-03	1. 4E+12
	8 月	—	—	1. 9E-02	4. 2E+12
	9 月	—	—	1. 4E-02	2. 9E+12
	10月	—	—	1. 3E-02	2. 7E+12
	11月	—	—	4. 5E-03	9. 2E+11
	12月	—	—	2. 7E-02	5. 9E+12
	1 月	—	—	4. 4E-02	4. 8E+12
	2 月	—	—	6. 3E-03	6. 4E+11
	3 月	—	—	6. 4E-03	7. 0E+11
	年 間	—	—	9. 9E-03	3. 0E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

*1 美浜1、2号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜3号機放水口から放出した。(12/9～3/31)

*2 美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜1、2号機放水口から放出した。(5/13～7/4、11/2～11/26)

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2011年4月～2012年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
大飯発電所 3, 4号機	4 月	—	—	1.7E-02	3.6E+12
	5 月	—	—	2.4E-02	5.5E+12
	6 月	—	—	9.5E-03	3.8E+12
	7 月	—	—	1.6E-02	6.4E+12
	8 月	—	—	1.2E-02	2.6E+12
	9 月	—	—	1.6E-02	3.3E+12
	10月	—	—	8.3E-04	1.8E+11
	11月	—	—	4.1E-04	8.4E+10
	12月	—	—	2.5E-03	5.2E+11
	1 月*	/	/	/	/
	2 月	—	—	2.0E-03	2.4E+11
	3 月	—	—	1.2E-04	2.5E+10
	年 間	—	—	9.3E-03	2.6E+13
	高浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	1.7E-03
5 月		—	—	3.9E-04	1.1E+11
6 月		—	—	1.4E-02	3.6E+12
7 月		—	—	1.3E-03	3.6E+11
8 月		—	—	1.1E-03	3.0E+11
9 月		—	—	1.8E-03	4.8E+11
10月		—	—	1.1E-03	3.0E+11
11月		—	—	1.2E-03	2.9E+11
12月		—	—	3.1E-03	3.9E+11
1 月		—	—	5.8E-02	5.5E+12
2 月		—	—	2.8E-02	1.7E+12
3 月		—	—	3.0E-03	1.9E+11
年 間		—	—	5.6E-03	1.4E+13
高浜発電所 3, 4号機		4 月	—	—	7.2E-03
	5 月	—	—	9.6E-03	3.2E+12
	6 月	—	—	9.0E-03	3.0E+12
	7 月	—	—	7.1E-03	2.2E+12
	8 月	—	—	1.1E-02	1.9E+12
	9 月	—	—	8.3E-03	1.5E+12
	10月	—	—	5.2E-03	1.7E+12
	11月	—	—	7.1E-03	1.3E+12
	12月	—	—	1.4E-02	2.3E+12
	1 月	—	—	1.7E-02	2.6E+12
	2 月	—	—	1.0E-02	1.8E+11
	3 月	—	—	6.0E-03	8.4E+11
	年 間	—	—	8.8E-03	2.5E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

* : 大飯発電所3, 4号機から1月に放出した実績無し。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2011年4月～2012年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²²	⁵¹	⁵⁴	⁵⁹	⁵⁸	⁶⁰	¹³¹	¹³⁴	¹³⁷	その他
		Na	Cr	Mn	Fe	Co	Co	I	Cs	Cs	
敦賀発電所	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ふげん	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高速増殖原型炉 もんじゅ	4 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2011年4月～2012年3月

単位：%

施設	核種 期 間	²²	⁵¹	⁵⁴	⁵⁹	⁵⁸	⁶⁰	¹³¹	¹³⁴	¹³⁷	その他
		Na	Cr	Mn	Fe	Co	Co	I	Cs	Cs	
美浜発電所 1, 2号機*1	4月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	3月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	年間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美浜発電所 3号機*2	4月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	7月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大飯発電所 1, 2号機	4月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

* 1 美浜1, 2号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜3号機放水口から放出した。(12/9~3/31)

* 2 美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜3号機放水口から放出した。(5/13~7/4, 11/2~11/26)

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2011年4月～2012年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²²	⁵¹	⁵⁴	⁵⁹	⁵⁸	⁶⁰	¹³¹	¹³⁴	¹³⁷	その他
		N a	C r	M n	F e	C o	C o	I	C s	C s	
大飯発電所 3, 4号機*	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

*大飯発電所3, 4号機から1月に放出した実績無し。

(液体廃棄物中のストロンチウム-89、90)

2011年4月～2012年3月

区分 施設		ストロンチウム-89		ストロンチウム-90	
		平均濃度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)	平均濃度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)
敦賀発電所	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
ふげん	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高速増殖 原型炉 もんじゅ	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 3号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
大飯発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
大飯発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq／年）

年度	気体廃棄物（希ガス）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	6.3×10^{13}					
70	4.8×10^{15}			3.3×10^{13}		
71	1.6×10^{15}			5.2×10^{13}		
72	1.8×10^{14}			3.3×10^{13}		
73	1.9×10^{14}			3.1×10^{13}		
74	2.1×10^{14}			1.5×10^{13}		3.6×10^{12}
75	4.4×10^{13}			1.1×10^{13}		7.8×10^{12}
76	6.7×10^{13}			4.9×10^{13}		7.6×10^{12}
77	7.4×10^{12}			1.5×10^{13}	1.1×10^{12}	5.6×10^{12}
78	2.0×10^{13}	3.1×10^{10}		5.5×10^{12}	9.5×10^{12}	5.1×10^{12}
79	5.6×10^{11}	8.9×10^{10}		2.1×10^{12}	5.0×10^{12}	5.3×10^{12}
80	1.9×10^{10}	4.1×10^{11}		3.0×10^{13}	1.4×10^{12}	7.7×10^{11}
81	1.4×10^{11}	2.2×10^{10}		3.1×10^{12}	2.7×10^{12}	9.6×10^{11}
82	2.1×10^{11}	9.6×10^{10}		1.1×10^{12}	2.2×10^{12}	2.9×10^{12}
83	4.7×10^{10}	2.4×10^{10}		2.4×10^{12}	1.7×10^{12}	3.7×10^{12}
84	2.5×10^9	—		1.9×10^{12}	1.9×10^{12}	1.4×10^{12}
85	1.6×10^9	—		1.4×10^{12}	1.3×10^{12}	2.0×10^{12}
86	8.9×10^{10}	—		1.5×10^{12}	3.8×10^{12}	6.4×10^{11}
87	2.6×10^9	—		9.1×10^{11}	1.5×10^{12}	4.8×10^{11}
88	5.8×10^9	—		2.8×10^{11}	9.1×10^{11}	1.1×10^{12}
89	8.9×10^9	1.2×10^9		2.5×10^{11}	1.0×10^{12}	3.5×10^{11}
90	1.0×10^{10}	—		2.7×10^{11}	6.8×10^{11}	3.5×10^{11}
91	1.0×10^{10}	2.2×10^{10}		2.8×10^{11}	5.6×10^{11}	1.8×10^{12}
92	2.9×10^9	—		1.1×10^{12}	5.3×10^{11}	4.4×10^{11}
93	2.7×10^9	—		2.0×10^{11}	4.7×10^{11}	6.2×10^{11}
94	3.6×10^9	—	—	1.1×10^{11}	6.0×10^{11}	2.0×10^{11}
95	3.8×10^8	—	—	1.6×10^{11}	5.1×10^{11}	2.1×10^{11}
96	3.8×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.3×10^{11}
97	3.0×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.7×10^{11}
98	8.4×10^8	—	—	1.7×10^{11}	6.1×10^{11}	4.2×10^{11}
99	—	—	—	2.3×10^{11}	1.2×10^{11}	4.0×10^{11}
00	2.6×10^9	—	—	1.6×10^{10}	5.7×10^{10}	1.6×10^{10}
01	8.8×10^8	—	—	1.4×10^{10}	1.5×10^{10}	1.8×10^{10}
02	9.1×10^8	1.2×10^{10}	—	1.1×10^{10}	2.8×10^{10}	1.2×10^{10}
03	1.6×10^9	—	—	6.1×10^9	1.8×10^{10}	1.1×10^{10}
04	7.4×10^8	—	—	1.9×10^9	4.1×10^{11}	1.6×10^{10}
05	—	—	—	1.2×10^9	6.2×10^9	1.2×10^{10}
06	—	—	—	2.3×10^9	2.9×10^9	1.5×10^{10}
07	—	—	—	4.6×10^9	2.2×10^9	1.8×10^{10}
08	—	—	—	2.8×10^9	1.9×10^{10}	9.3×10^{11}
09	7.4×10^8	—	—	4.7×10^9	5.0×10^{11}	3.3×10^{11}
10	—	—	—	3.8×10^{10}	9.0×10^{11}	9.6×10^9
11	4.9×10^9	—	—	3.4×10^9	6.8×10^{10}	1.7×10^9

（注）ふげんの希ガスはアルゴン-41である。美浜、大飯、高浜の各発電所では1979年度までは検出限界以下の場合、検出限界値を加算していたが、1980年度以降0として集計している（液体廃棄物も同じ）。

美浜、大飯、高浜発電所の気体廃棄物にはそれぞれの発電所の固体廃棄物処理建屋からの放出量も含まれている。1990年度の美浜発電所の希ガスの放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq／年）

年度	気体廃棄物のヨウ素-131					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	1.4×10^{10}					
71	4.1×10^{10}					
72	8.9×10^9					
73	7.4×10^9					
74	1.0×10^{10}					—
75	7.4×10^8			5.6×10^7		5.9×10^7
76	6.7×10^8			2.5×10^8		8.4×10^7
77	2.7×10^8			1.2×10^8	2.5×10^6	1.9×10^7
78	2.0×10^8			3.5×10^7	8.1×10^7	1.4×10^7
79	1.3×10^8	—		3.7×10^7	1.3×10^8	1.3×10^7
80	2.7×10^7	—		1.3×10^9	1.4×10^7	8.0×10^6
81	1.0×10^7	—		9.4×10^7	2.6×10^8	1.4×10^6
82	9.1×10^6	—		6.2×10^7	6.3×10^7	3.4×10^6
83	3.9×10^6	—		4.6×10^6	5.6×10^6	9.0×10^7
84	4.0×10^5	—		8.9×10^7	5.0×10^5	1.8×10^6
85	2.0×10^5	—		2.7×10^7	5.9×10^6	2.1×10^7
86	4.4×10^7 *(1)	5.6×10^7 *(1)		6.8×10^7 *(1)	2.2×10^8 *(1)	1.1×10^8 *(1)
87	1.3×10^6	—		3.8×10^6	1.6×10^6	2.7×10^6
88	—	—		1.3×10^6	5.7×10^7	2.0×10^7
89	—	—		2.5×10^6	1.2×10^6	2.2×10^5
90	4.8×10^5	—		3.5×10^8	8.8×10^5	2.9×10^5
91	5.7×10^4	—		6.1×10^6	1.1×10^6	2.2×10^8
92	—	—		1.9×10^7	3.4×10^6	4.3×10^7
93	—	—		1.0×10^7	2.8×10^5	4.4×10^5
94	—	—	—	2.7×10^5	2.2×10^5	3.1×10^5
95	—	—	—	1.6×10^5	—	2.4×10^5
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	1.8×10^6	8.6×10^5	3.8×10^6
98	—	—	—	2.4×10^6	1.2×10^5	9.9×10^6
99	—	—	—	3.2×10^5	1.6×10^5	2.7×10^5
00	3.8×10^5	—	—	—	1.1×10^6	—
01	—	—	—	9.9×10^4	2.7×10^5	1.9×10^5
02	—	—	—	3.8×10^5	—	3.4×10^5
03	—	—	—	2.3×10^5	—	—
04	—	—	—	—	1.9×10^8	—
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	1.2×10^5	1.7×10^6	—
09	—	—	—	8.4×10^4	—	—
10	—	—	9.8×10^4 *(2)	1.2×10^5	2.7×10^5 *(2)	1.4×10^4 *(2)
11	6.8×10^5 *(2)	2.0×10^5 *(2)	2.1×10^3 *(2)	1.2×10^6 *(2)	2.2×10^6 *(2)	1.4×10^6 *(2)

(注) * (1)印の1986年度の気体状ヨウ素-131の放出実績には、チェルノブイル原子力発電所の影響が含まれている。
* (2)当該期間においてヨウ素放出されるような作業・操作は行っていないことから、各所に起因したものではなく、福島第一発電所による影響と推測される。

1990年度の美浜発電所のヨウ素-131の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウムを除く液体廃棄物					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	1.1×10^{11}					
70	6.7×10^{10}			5.9×10^{10}		
71	6.3×10^9			5.6×10^9		
72	7.8×10^9			1.1×10^9		
73	7.4×10^9			1.1×10^9		
74	1.1×10^{10}			9.6×10^8		1.1×10^8
75	1.7×10^{10}			5.6×10^8		1.5×10^8
76	3.4×10^9			2.8×10^8		3.6×10^8
77	2.7×10^9			3.3×10^8	1.8×10^7	8.5×10^7
78	8.9×10^8	3.3×10^7		3.0×10^8	3.7×10^7	7.0×10^7
79	4.8×10^8	5.3×10^7		4.5×10^8	6.3×10^7	6.3×10^7
80	2.6×10^8	3.7×10^7		1.4×10^8	5.9×10^7	4.8×10^7
81	1.4×10^8	2.9×10^8		8.8×10^7	1.9×10^8	1.1×10^7
82	1.8×10^7	3.1×10^7		8.6×10^7	2.9×10^7	7.0×10^6
83	2.9×10^7	4.8×10^7		1.0×10^8	2.2×10^7	8.9×10^6
84	2.5×10^7	1.9×10^7		3.8×10^7	1.9×10^7	6.2×10^6
85	1.9×10^7	1.0×10^8		2.2×10^7	2.1×10^7	8.2×10^6
86	1.2×10^7	4.8×10^7		1.5×10^7	1.6×10^7	1.3×10^7
87	1.1×10^7	1.9×10^7		1.7×10^7	4.4×10^6	2.6×10^6
88	1.1×10^7	4.8×10^7		2.1×10^7	2.1×10^5	—
89	4.2×10^6	5.8×10^7		6.5×10^6	—	—
90	5.6×10^6	1.4×10^7		1.6×10^7	7.4×10^5	—
91	6.6×10^6	4.7×10^6		5.1×10^5	—	—
92	2.5×10^6	1.1×10^7		3.0×10^6	7.8×10^4	—
93	1.5×10^5	1.6×10^6		3.4×10^5	1.4×10^5	—
94	—	—	—	1.0×10^5	—	—
95	9.4×10^4	—	—	4.8×10^5	—	—
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	—	—	—
98	—	—	—	—	—	—
99	—	—	—	—	—	—
00	—	—	—	—	—	—
01	—	—	—	—	—	—
02	—	—	—	—	—	—
03	—	—	—	—	—	—
04	—	—	—	—	—	3.1×10^5
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—

（注）ふげんの液体廃棄物放出実績については、1984年度年報より重水精製施設からの放出量も含めて記載した。

1990年度的美浜発電所の「トリチウムを除く液体廃棄物」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。

2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出による。1981年の敦賀発電所の放出実績には、一般排水口からの放射能漏えい量は含まれていない。一般排水路の流出放射能は十数から数十mCi（1mCi=3.7×10⁷Bq）と推定されている。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウム（液体）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	5.2×10^{11}			1.2×10^{12}		
71	2.3×10^{11}			5.2×10^{12}		
72	2.0×10^{11}			8.9×10^{12}		
73	3.0×10^{11}			1.1×10^{13}		
74	7.8×10^{11}			1.0×10^{13}		4.8×10^{12}
75	1.6×10^{12}			2.4×10^{12}		1.3×10^{13}
76	1.9×10^{12}			8.4×10^{12}		1.3×10^{13}
77	8.5×10^{11}			7.8×10^{12}	6.3×10^{11}	1.1×10^{13}
78	1.1×10^{12}	2.6×10^{11}		1.4×10^{13}	4.8×10^{12}	1.7×10^{13}
79	1.2×10^{12}	2.7×10^{11}		1.2×10^{13}	1.5×10^{13}	1.1×10^{13}
80	1.3×10^{12}	7.7×10^{11}		1.3×10^{13}	2.2×10^{13}	1.1×10^{13}
81	1.2×10^{12}	8.5×10^{11}		1.4×10^{13}	1.1×10^{13}	1.4×10^{13}
82	5.0×10^{11}	1.2×10^{12}		9.8×10^{12}	3.1×10^{13}	1.4×10^{13}
83	4.3×10^{11}	1.3×10^{12}		1.0×10^{13}	3.4×10^{13}	1.6×10^{13}
84	4.2×10^{11}	2.6×10^{12}		1.9×10^{13}	3.0×10^{13}	2.1×10^{13}
85	3.5×10^{11}	3.6×10^{12}		1.6×10^{13}	2.9×10^{13}	3.7×10^{13}
86	5.9×10^{12}	2.2×10^{12}		2.2×10^{13}	4.1×10^{13}	4.3×10^{13}
87	2.4×10^{13}	1.9×10^{12}		2.4×10^{13}	3.3×10^{13}	4.9×10^{13}
88	4.5×10^{12}	4.4×10^{12}		2.1×10^{13}	3.0×10^{13}	7.0×10^{13}
89	1.2×10^{13}	7.0×10^{12}		1.3×10^{13}	2.6×10^{13}	4.0×10^{13}
90	2.3×10^{13}	3.3×10^{12}		2.0×10^{13}	1.6×10^{13}	3.5×10^{13}
91	3.1×10^{13}	1.8×10^{12}		1.3×10^{13}	2.0×10^{13}	3.0×10^{13}
92	7.9×10^{12}	3.9×10^{12}		1.2×10^{13}	2.8×10^{13}	5.5×10^{13}
93	1.6×10^{13}	3.5×10^{12}		1.8×10^{13}	4.2×10^{13}	6.9×10^{13}
94	1.3×10^{13}	4.7×10^{12}	—	1.1×10^{13}	6.3×10^{13}	3.3×10^{13}
95	1.9×10^{13}	4.1×10^{12}	3.9×10^9	1.7×10^{13}	6.1×10^{13}	3.7×10^{13}
96	1.4×10^{13}	5.9×10^{12}	9.7×10^7	1.7×10^{13}	5.9×10^{13}	5.7×10^{13}
97	2.1×10^{13}	5.5×10^{12}	1.3×10^9	1.6×10^{13}	4.6×10^{13}	6.4×10^{13}
98	2.0×10^{13}	3.5×10^{12}	4.7×10^8	1.6×10^{13}	5.7×10^{13}	6.2×10^{13}
99	1.1×10^{13}	4.1×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.9×10^{13}	7.1×10^{13}
00	1.4×10^{13}	3.8×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.6×10^{13}	4.1×10^{13}
01	1.0×10^{13}	4.1×10^{12}	6.2×10^5	1.7×10^{13}	1.3×10^{14}	5.3×10^{13}
02	1.4×10^{13}	1.8×10^{12}	9.3×10^6	1.8×10^{13}	6.4×10^{13}	6.3×10^{13}
03	2.2×10^{13}	4.3×10^{11}	4.9×10^8	2.3×10^{13}	9.0×10^{13}	5.9×10^{13}
04	2.6×10^{13}	1.0×10^{12}	1.3×10^8	1.6×10^{13}	9.8×10^{13}	6.3×10^{13}
05	9.2×10^{12}	1.2×10^{12}	4.7×10^8	1.5×10^{13}	6.6×10^{13}	6.9×10^{13}
06	1.5×10^{13}	1.6×10^{12}	2.0×10^8	1.4×10^{13}	7.7×10^{13}	6.8×10^{13}
07	1.3×10^{13}	1.0×10^{12}	2.1×10^7	2.0×10^{13}	8.9×10^{13}	6.0×10^{13}
08	4.9×10^{12}	2.7×10^{12}	2.1×10^8	1.8×10^{13}	7.4×10^{13}	4.0×10^{13}
09	1.5×10^{13}	2.1×10^{12}	2.7×10^8	2.3×10^{13}	8.1×10^{13}	4.3×10^{13}
10	1.2×10^{13}	8.7×10^{11}	1.5×10^8	1.3×10^{13}	5.7×10^{13}	6.5×10^{13}
11	6.0×10^{12}	9.1×10^{11}	7.7×10^7	2.2×10^{13}	5.6×10^{13}	3.8×10^{13}

（注）1990年度の美浜発電所の「トリチウム（液体）」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプル水モニタ指示上昇事象時の放出分 1.1×10^7 Bqを含む。

5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

1. 調査方法

(1) 調査期間

平成23年6月～11月

(2) 調査項目

空間 γ 線量率

(3) 測定器等

① 測定器

各機関が有するモニタリングカーに搭載の線量率計による。

機 関 名	検 出 器	検出器位置
県監視センター	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高 2.7m）
原 電	3"×3"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高 2.3m）
関 電	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高 3.5m）
原子力機構	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高 2.9m）

② 測定法

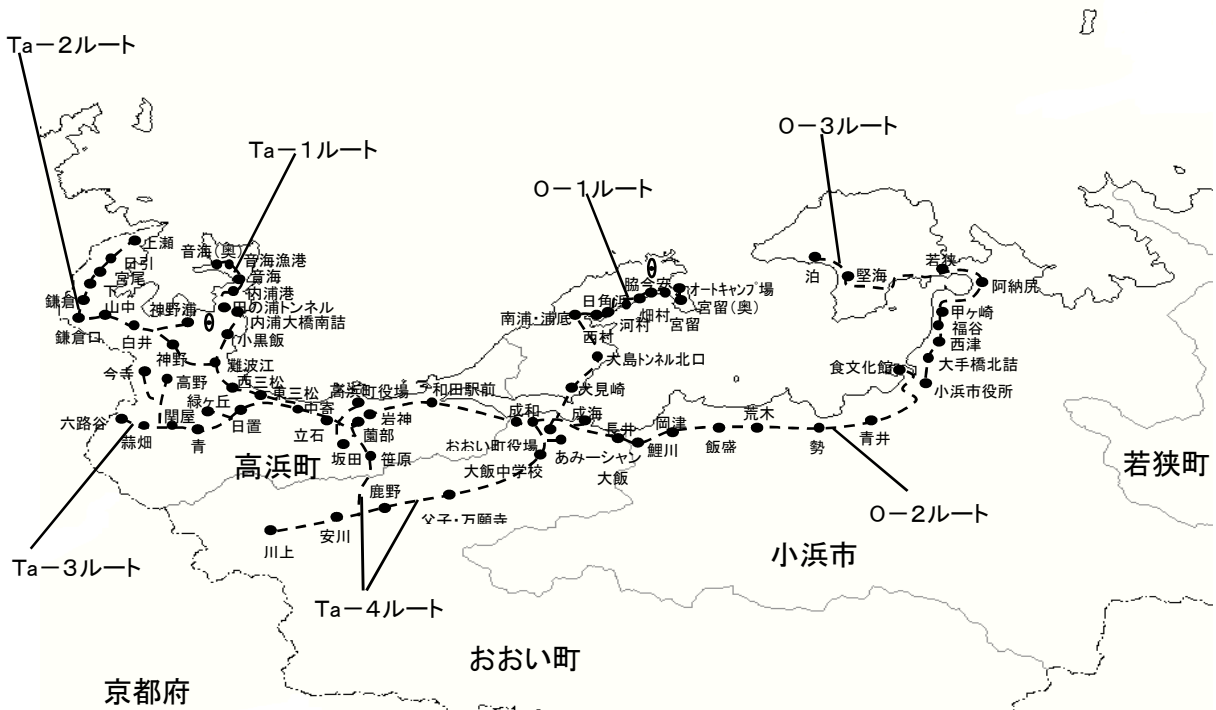
停車し、2分～5分間測定。

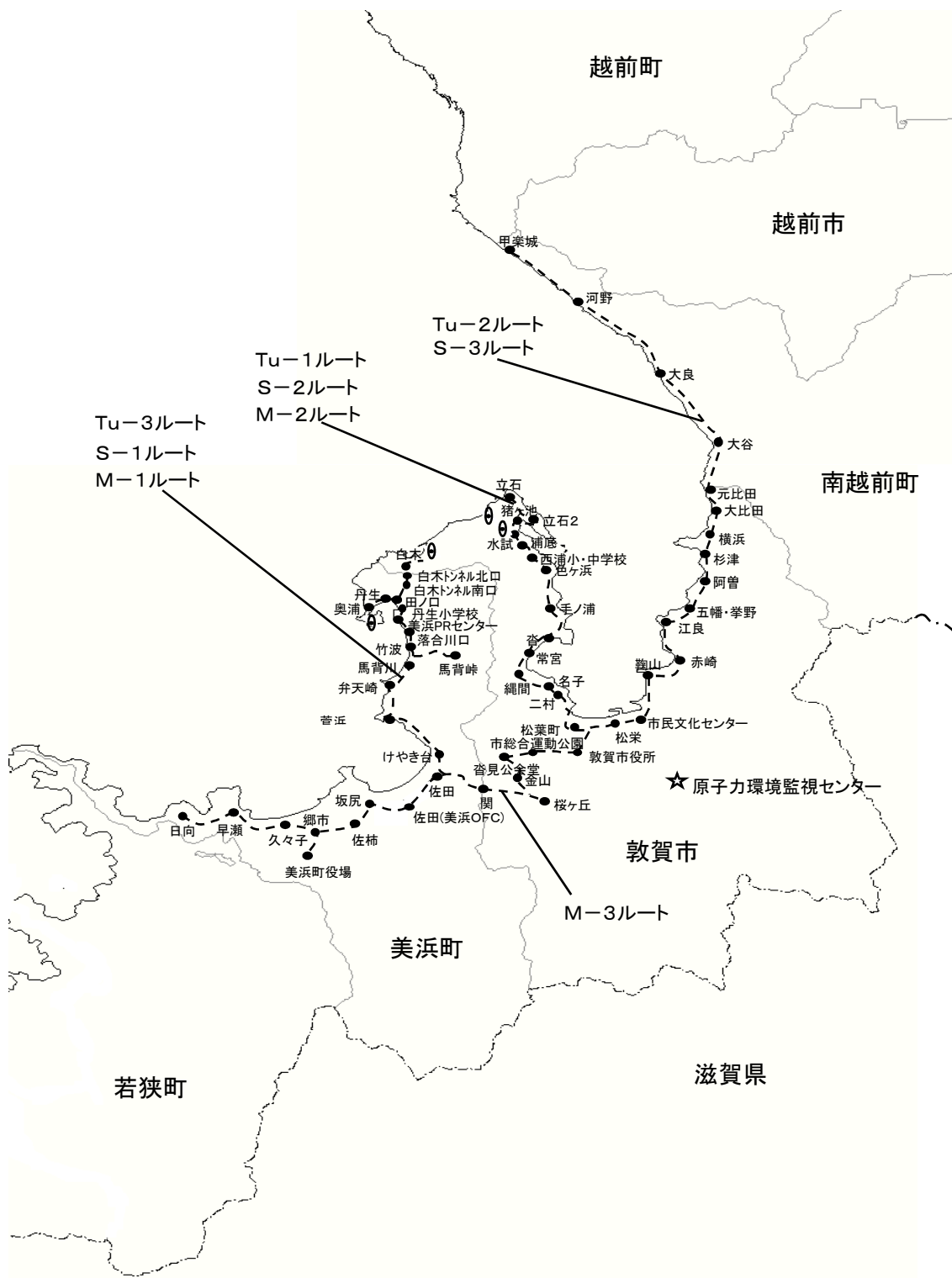
(4) 測定地点

第1図に、各ルートの測定地点を示す。

第1図 緊急時モニタリングルート調査地点

Tu-1ルート	立石	～	縄間	～	敦賀市役所	～	金山(敦賀OFC)
Tu-2ルート	松栄	～	杉津	～	大谷	～	甲楽城
Tu-3ルート	白木	～	竹波	～	馬背峠	～	菅浜
S-1ルート	白木	～	丹生小学校	～	竹波	～	馬背峠
S-2ルート	立石	～	縄間	～	敦賀市役所	～	金山(敦賀OFC)
S-3ルート	松栄	～	杉津	～	大谷	～	甲楽城
M-1ルート	白木	～	丹生	～	馬背峠	～	けやき台
M-2ルート	立石	～	縄間	～	敦賀市役所	～	市民文化センター
M-3ルート	敦賀市総合運動公園	～	佐田	～	郷市	～	日向
O-1ルート	赤礁崎オートキャンプ場	～	日角浜	～	犬見崎	～	大飯中学校
O-2ルート	高浜町役場	～	長井	～	荒木	～	食文化館
O-3ルート	小浜市役所	～	西津	～	阿納尻(内外海小学校)	～	泊
Ta-1ルート	音海(奥)	～	灘波江	～	東三松	～	高浜町役場
Ta-2ルート	灘波江	～	神野浦	～	下	～	上瀬
Ta-3ルート	六路谷	～	高野	～	青	～	坂田
Ta-4ルート	園部(高浜OFC)	～	川上	～	鹿野	～	おい町役場





調査結果その1 敦賀、白木、美浜地区

単位;nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	立石	立石	立石バス停(八坂神社前)	Tu-1-1	11月2日	晴れ	66.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	53.6	B
敦賀市	立石	立石Ⅱ	恵比寿神社前	Tu-1-2	11月2日	晴れ	86.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	72.8	B
敦賀市	浦底	猪ヶ池	原電・敦賀原子力館昇り口	Tu-1-3	11月2日	晴れ	72.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	55.2	B
敦賀市	浦底	水産試験場	県水産試験場玄関前	Tu-1-4	11月2日	晴れ	62.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	49.4	B
敦賀市	浦底	浦底	原電・明神寮昇り口	Tu-1-5	11月2日	晴れ	70.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	58.4	B
敦賀市	色浜	西浦小学校	西浦小・中学校正門前	Tu-1-6	11月2日	晴れ	62.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	50.8	B
敦賀市	色浜	色ヶ浜	旅館みずしま前	Tu-1-7	11月2日	晴れ	65.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	53.4	B
敦賀市	手	手ノ浦	あけぼの旅館前	Tu-1-8	11月2日	晴れ	65.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	49.2	B
敦賀市	沓	沓	ひがし旅館駐車場入口	Tu-1-9	11月2日	晴れ	64.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	60.6	B
敦賀市	常宮	常宮	常宮小学校校門	Tu-1-10	11月2日	晴れ	55.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	46.6	B
敦賀市	縄間	縄間	西浦児童館前	Tu-1 M-2・S-2	11月2日	晴れ	53.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	35.6	D
敦賀市	名子	名子	ファーストハーバーツルガ南駐車帯	Tu-1 M-2・S-2	11月2日	晴れ	58.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	50.4	D
敦賀市	二村	二村	二村バス停	Tu-1 M-2・S-2	11月2日	晴れ	61.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	48.0	D
敦賀市	松葉町	松葉町	市立体育館駐車場	Tu-1 M-2・S-2	11月2日	晴れ	57.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	38.2	D
敦賀市	中央2丁目	敦賀市役所	敦賀市役所正面玄関横	Tu-1 M-2・S-2	11月2日	晴れ	57.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	43.6	D
敦賀市	金山 (敦賀OFC)	金山	敦賀原子力防災センター駐車場	Tu-1 M-3・S-2	11月2日	晴れ	58.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	小雨	51.6	D
敦賀市	松栄町	松栄	漁連敦賀支所製氷冷蔵工場横	Tu-2 M-2・S-3	11月2日	晴れ	58.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	44.4	D
敦賀市	桜町	市民文化センター	市民文化センター北側駐車場	Tu-2 M-2・S-3	11月2日	晴れ	61.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	46.0	D
敦賀市	鞠山	鞠山	フェリー乗り場駐車場	Tu-2・S-3	11月2日	曇り	59.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	49.6	B
敦賀市	赤崎	赤崎	赤崎小学校入口	Tu-2-2	11月2日	曇り	64.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	46.2	B

調査結果その2 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	江良	江良	おもや旅館駐車場横	Tu-2-3	11月2日	曇り	58.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	49.0	B
敦賀市	五幡	五幡	東浦公民館前	Tu-2-4	11月2日	曇り	54.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	41.2	B
敦賀市	阿曾	阿曾	JA敦賀市北部営農センター	Tu-2-5	11月2日	曇り	55.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	42.8	B
敦賀市	杉津	杉津	杉津集落入口国道脇	Tu-2-6	11月2日	曇り	48.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	37.6	B
敦賀市	横浜	横浜	ドライブイン越前やべ清前駐車場	Tu-2-7	11月2日	曇り	48.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	38.4	B
敦賀市	大比田	大比田	大比田集落下非常用駐車帯	Tu-2-8	11月2日	曇り	49.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	41.0	B
敦賀市	元比田	元比田	非常用駐車帯	Tu-2-9	11月2日	曇り	47.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	41.8	B
南越前町	大谷	大谷	大谷集落北端(旧管理事務所)	Tu-2-10	11月2日	曇り	49.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	39.6	B
南越前町	大良	大良	河野洞門南駐車帯	Tu-2-11	11月2日	曇り	49.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	42.0	B
南越前町	河野	河野	南越前町役場河野総合事務所駐車場入口	Tu-2-12	11月2日	曇り	52.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	35.8	B
南越前町	甲楽城	甲楽城	下長谷洞門前駐車場	Tu-2-13	11月8日	曇り	44.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月1日	晴れ	39.4	B
敦賀市	白木1丁目	白木	白木区営駐車場	Tu-3 M-1・S-1	10月20日	晴れ	66.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	52.0	D
敦賀市	白木1丁目	白木	白木トンネル北口交差点	S-1	10月20日	晴れ	59.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	50.8	D
美浜町	白木1丁目	白木	白木トンネル南口	Tu-3 M-1・S-1	10月20日	晴れ	79.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	64.6	D
美浜町	丹生	奥浦	漁協飼料保管解凍施設前 (奥浦公園登り口)	M-1	10月20日	晴れ	65.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	46.4	D
美浜町	丹生	丹生	丹生バス停(県環境放射線監視テレメータ 丹生観測局前)	M-1	10月20日	晴れ	56.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	小雨	42.0	D
美浜町	丹生	田ノ口	丹生漁協ニューポト売店前 (県道丹生三叉路)	Tu-3 M-1・S-1	10月20日	晴れ	48.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	小雨	34.0	D
美浜町	丹生	丹生小学校	丹生小学校・美浜中学校丹生分校校門	Tu-3 M-1・S-1	10月20日	晴れ	57.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	53.2	D
美浜町	丹生	美浜PRセンター	関電・美浜原子力PRセンター玄関前	M-1・S-1	10月20日	晴れ	63.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	48.2	D
美浜町	竹波	落合川口	落合橋右岸たもと	M-1	10月20日	晴れ	56.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	46.2	D

調査結果その3 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
美浜町	竹波	竹波	庄屋旅館駐車場	Tu-3 M-1・S-1	10月20日	晴れ	50.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	37.8	D
美浜町	馬背峠	馬背峠	馬背峠トンネル西側旧道登り口	Tu-3 M-1・S-1	10月20日	晴れ	98.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	小雨	90.2	D
美浜町	竹波	馬背川(水晶浜)	関電・水晶浜クラブ前	Tu-3 M-1・S-1	10月20日	晴れ	59.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	48.2	D
美浜町	菅浜	弁天崎	弁天崎駐車場	Tu-3 M-1・S-1	10月20日	晴れ	58.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	47.0	D
美浜町	菅浜	菅浜	農業構造改善センター玄関	Tu-3 M-1・S-1	10月20日	晴れ	45.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	35.4	D
美浜町	佐田	けやき台	関電社宅前バス停	M-1・S-1	10月20日	晴れ	42.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	33.0	D
敦賀市	杓見	敦賀市総合運動公園	敦賀市総合運動公園体育館正門前	M-3	10月20日	晴れ	56.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月15日	晴れ	47.8	D
敦賀市	桜ヶ丘町	桜ヶ丘	桜ヶ丘団地入り口	M-3	10月20日	晴れ	53.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	51.6	D
敦賀市	杓見	杓見公会堂	杓見公会堂前駐車場	M-3	10月20日	晴れ	59.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	曇り	48.0	D
敦賀市	関	関峠	関峠散水融雪設備横(市町境)	M-3	10月20日	晴れ	54.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月20日	小雨	44.0	D
美浜町	佐田	佐田	山東郵便局前	M-3	10月20日	晴れ	46.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月17日	晴れ	43.1	C
美浜町	佐田	美浜OFC	美浜原子力防災センター駐車場	M-3	10月20日	曇り	52.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月17日	晴れ	40.4	C
美浜町	坂尻	坂尻	坂尻バス停	M-3	10月20日	晴れ	46.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月17日	晴れ	38.3	C
美浜町	佐柿	佐柿	山本工業所前(佐柿口バス停前)	M-3	10月20日	晴れ	42.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月17日	晴れ	30.1	C
美浜町	郷市	美浜町役場	美浜町役場駐車場	Tu-3 M-3・S-1	10月20日	晴れ	40.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月17日	晴れ	35.2	C
美浜町	郷市	郷市	関電原子力事業本部前	M-3	10月20日	晴れ	51.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月17日	晴れ	41.4	C
美浜町	久々子	久々子(松原)	美浜勤労者体育センター	M-3	10月20日	晴れ	42.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月17日	晴れ	36.1	C
美浜町	早瀬	早瀬	美浜漁協美浜漁業センター玄関前(早瀬港)	M-3	10月20日	晴れ	52.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月17日	晴れ	49.4	C
美浜町	日向	日向	日向バス停(ゲートホール場・排水処理場前)	M-3	10月20日	晴れ	46.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月17日	晴れ	36.5	C

調査結果その4 大飯地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	赤礁崎	赤礁崎オートキャンプ場	赤礁崎オートキャンプ場管理事務所前 関電・わかさ大飯あかぐり崎クラブ前	O-1	11月7日	曇り	36.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	26.7	C
おおい町	宮留	宮留(奥)	塩浜海水浴場入口 (海岸道路終端)	O-1	11月7日	曇り	26.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	20.6	C
おおい町	宮留	宮留	県環境放射線監視テレメータ 宮留観測局前	O-1	11月7日	曇り	32.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	25.6	C
おおい町	脇今安	脇今安	脇今安バス停	O-1	11月7日	曇り	30.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	22.9	C
おおい町	畑村	畑村	畑村バス停	O-1	11月7日	曇り	25.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	18.4	C
おおい町	日角浜	日角浜	日角浜バス停	O-1	11月7日	曇り	28.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	22.5	C
おおい町	河村	河村	河村バス停	O-1	11月7日	曇り	29.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	22.8	C
おおい町	西村	西村	西村バス停	O-1	11月7日	曇り	31.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	24.6	C
おおい町	南浦	南浦・浦底	南浦バス停	O-1	11月7日	曇り	27.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	23.6	C
おおい町	大島	大島トンネル北口	大島トンネル北口駐車場	O-1	11月7日	曇り	27.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	22.7	C
おおい町	犬見	犬見崎	犬見トンネル南口駐車帯	O-1	11月7日	曇り	42.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	34.6	C
おおい町	本郷	おおい町役場	おおい町役場玄関前	O-1・Ta-4	11月7日	曇り	49.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	31.9	C
おおい町	本郷	あみーシャン大飯	いきいき長寿村あみーシャン大飯 (本郷幼稚園)	O-1	11月7日	曇り	34.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	31.1	C
おおい町	野尻	大飯中学校	大飯中学校校門前バス停	O-1	11月7日	曇り	38.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	34.2	C
おおい町	成和	成和(大飯OFC)	大飯原子力防災センター駐車場	O-2・Ta-3	11月7日	雨	38.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	25.9	C
おおい町	成和	成和(プレーパーク大飯)	おおい町総合運動公園前体育館 フィットネスセンター、アクアマリン前駐車帯	O-2	11月7日	曇り	38.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	25.6	C
おおい町	成海	成海(こども家族館)	こども家族館(南側)駐車場	O-2	11月7日	曇り	33.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	25.9	C

調査結果その5 大飯地区(つづき)

単位:nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	長井	長井	長井バス停(東駐車帯)	O-2	11月7日	曇り	39.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	30.7	C
小浜市	鯉川	鯉川	鯉川海水浴場入口駐車場	O-2	11月7日	曇り	33.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	27.5	C
小浜市	岡津	岡津	ローソン岡津店駐車場	O-2	11月7日	曇り	35.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	29.6	C
小浜市	飯盛(荒木)	飯盛	加斗小学校前バス停 (飯盛信号東)	O-2	11月7日	曇り	35.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	24.8	C
小浜市	飯盛(荒木)	荒木	荒木バス停	O-2	11月7日	曇り	39.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	31.5	C
小浜市	勢	勢	西勢バス停	O-2	11月7日	曇り	33.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	26.2	C
小浜市	青井	青井	リパティールヒルズ浜美台横三叉路	O-2	11月7日	雨	36.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	27.8	C
小浜市	川崎	食文化館	食文化館(西側)海岸駐車場	O-2	11月7日	雨	30.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	22.2	C
小浜市	大手6	小浜市役所	小浜市役所玄関前	O-3	11月7日	雨	36.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	30.2	C
小浜市	城内	大手橋北詰	小浜簡易裁判所玄関前	O-3	11月7日	雨	41.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	31.9	C
小浜市	西津	西津	西津公民館・保育所前 (西津小学校)	O-3	11月7日	雨	36.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	28.1	C
小浜市	福谷	福谷	箸のふるさと館駐車場	O-3	11月7日	雨	29.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	24.6	C
小浜市	甲ヶ崎	甲ヶ崎	内外海郵便局前 (甲ヶ崎口バス停)	O-3	11月7日	雨	33.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	25.2	C
小浜市	阿納尻	阿納尻 (内外海小学校)	内外海小学校入口	O-3	11月7日	雨	35.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	22.3	C
小浜市	若狭	若狭	若狭土地改良事業記念碑前 (若狭バス停)	O-3	11月7日	曇り	37.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	28.6	C
小浜市	堅海	堅海	堅海バス停	O-3	11月7日	曇り	33.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	23.3	C
小浜市	泊	泊	集落西端県道終端 (漁業集落排水泊処理施設)	O-3	11月7日	曇り	34.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	24.4	C

調査結果その6 高浜地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	音海	音海(奥)	音海集落奥漁協倉庫横 (音海断崖遊歩道入口前)	Ta-1	11月22日	晴れ	33.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	27.0	C
高浜町	音海	音海漁港	漁協音海支所・音海郵便局前	Ta-1	11月22日	晴れ	37.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	30.0	C
高浜町	音海	音海	県環境放射線監視テレメータ 音海観測局前	Ta-1	11月22日	晴れ	37.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	30.5	C
高浜町	音海	内浦港	日本海港湾保稅上屋入口門付近	Ta-1	11月22日	晴れ	38.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	27.6	C
高浜町	田の浦	田の浦トンネル	高浜発電所北門前山側駐車帯 (田の浦トンネル北口)	Ta-1	11月22日	晴れ	35.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	28.5	C
高浜町	田の浦	内浦大橋南詰	高浜発電所正門前	Ta-1	11月22日	晴れ	30.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	24.6	C
高浜町	小黒飯	小黒飯 (白浜トンネル)	白浜トンネル北(海側)駐車帯	Ta-1	11月22日	晴れ	34.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	28.2	C
高浜町	難波江	難波江	難波江海水浴場(北側)銅像前	Ta-1・Ta-2	11月22日	晴れ	39.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	26.2	C
高浜町	西三松	西三松	三松センター 玄関前	Ta-1	11月22日	晴れ	47.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	32.1	C
高浜町	東三松	東三松	青郷農協三松支所駐車場	Ta-1	11月22日	晴れ	43.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	29.7	C
高浜町	中寄	中寄(中津海)	中津海山側バス停(中寄信号横)	Ta-1	11月22日	曇り	38.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	22.3	C
高浜町	宮崎	高浜町役場	高浜町役場前	O-2・Ta-1	11月22日	晴れ	37.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	29.0	C
高浜町	神野	神野	内浦電話交換所前駐車帯	Ta-2	11月22日	曇り	33.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	21.0	C
高浜町	神野浦	神野浦	気比神社前	Ta-2	11月22日	曇り	36.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	24.8	C
高浜町	白井	白井	山中集落排水処理場	Ta-2	11月22日	雨	32.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	22.5	C
高浜町	山中	山中	五色山公園入口看板前 (内浦保育所北三叉路)	Ta-2	11月22日	曇り	27.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	18.0	C
高浜町	鎌倉	鎌倉口	鎌倉・塩汲峠三叉路	Ta-2	11月22日	曇り	32.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	24.0	C
高浜町	鎌倉	鎌倉	鎌倉集落排水処理場	Ta-2	11月22日	曇り	31.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	24.0	C

調査結果その7 高浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	下	下	下集落入口三叉路(区標識)	Ta-2	11月21日	晴れ	29.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	20.3	C
高浜町	宮尾	宮尾	産霊神社参道前(大きな岩前)	Ta-2	11月21日	晴れ	29.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	21.4	C
高浜町	日引	日引	旧・日引小学校下駐車帯 (日引集落入口三叉路)	Ta-2	11月21日	晴れ	36.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	28.7	C
高浜町	上瀬	上瀬	山神社石段前(海門寺横) (県道終端)	Ta-2	11月21日	雨	29.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	21.0	C
高浜町	六路谷	六路谷	六路谷検問所(バス停)	Ta-3	11月22日	晴れ	27.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	21.0	C
高浜町	蒜畠	蒜畠	蒜畠バス停(喫茶らんぶる横)	Ta-3	11月22日	晴れ	27.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	19.7	C
高浜町	高野	高野	高野川青葉1号橋脇	Ta-3	11月22日	晴れ	24.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	16.8	C
高浜町	今寺	今寺	今寺集落生活改善センター	Ta-3	11月22日	晴れ	31.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	23.7	C
高浜町	関屋	関屋	関屋バス停	Ta-3	11月22日	晴れ	28.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	20.3	C
高浜町	青	青(青郷公民館)	青郷公民館駐車場	Ta-3	11月22日	晴れ	31.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	22.5	C
高浜町	緑が丘	緑が丘 (社会福祉センター)	高浜町社会福祉センター駐車場	Ta-3	11月22日	晴れ	36.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	26.4	C
高浜町	日置	日置	日置バス停(青梅神社参道)	Ta-3	11月22日	晴れ	30.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	晴れ	23.1	C
高浜町	立石	立石(文化会館)	高浜町中央図書館・文化会館前	Ta-3	11月21日	雨	47.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	30.0	C
高浜町	坂田	坂田	坂田グリーンタウンランド横 (駐車場)	Ta-3	11月21日	雨	40.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	24.8	C
高浜町	菌部	菌部(高浜OFC)	高浜原子力防災センター駐車場	Ta-3・Ta-4	11月21日	雨	41.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	24.3	C
高浜町	岩神	岩神	国土交通省高浜スノーベース 前	Ta-3	11月21日	雨	42.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	25.0	C
高浜町	和田	和田駅前	JR小浜線若狭和田駅前	O-2・Ta-3	11月21日	雨	43.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	26.3	C

調査結果その8 高浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	笠原	笠原	高浜町浄化ランド	Ta-4	11月22日	晴れ	44.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月15日	曇り	37.1	C
おおい町	川上	川上	川上公民館	Ta-4	11月22日	晴れ	42.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	37.0	C
おおい町	安川	安川	安川・久保バス停	Ta-4	11月22日	晴れ	30.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	25.7	C
おおい町	鹿野	鹿野	鹿野バス停	O-1・Ta-4	11月22日	晴れ	31.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	25.5	C
おおい町	父子	父子・万願寺	さぶり川公園前バス停	O-1・Ta-4	11月22日	晴れ	35.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月16日	曇り	28.6	C

平成23年度に刊行した福井県環境放射能測定技術会議報告書の訂正

報告書	ページ	項目または表題	行数または欄	誤	正
平成23年度第1報	88	第2表 核種分析結果 その1 浮遊じん	浦底A 11.06.02~11.07.07 ¹³⁴ Cs	0.0	—
			竹波A 11.06.02~11.07.06 ¹³⁴ Cs	0.0	—
平成23年度第3報	71	4-4 各発電所の 放射性廃棄物放出実績 (気体廃棄物)	敦賀発電所 2号機 11月 トリチウム放出量	6.2E+11	4.4E+11
			敦賀発電所 2号機 12月 トリチウム放出量	6.4E+11	4.4E+11
			敦賀発電所 2号機 3ヶ月 トリチウム放出量	1.8E+12	1.4E+12
平成23年度第4報	69	4-4 各発電所の 放射性廃棄物放出実績 (気体廃棄物)	敦賀発電所 2号機 1月 トリチウム放出量	5.1E+11	3.5E+11
			敦賀発電所 2号機 2月 トリチウム放出量	3.9E+11	2.7E+11
			敦賀発電所 2号機 3月 トリチウム放出量	3.1E+11	2.1E+11
			敦賀発電所 2号機 3ヶ月 トリチウム放出量	1.2E+12	8.3E+11

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成23年度（2011年度）年報

〔FERC第44巻 5号〕

福井県環境放射能測定技術会議

Fukui Environmental Radiation Monitoring Council
(FERC)

平成24年9月 発行

発行所 福井県環境放射能測定技術会議事務局
敦賀市吉河37-1 (〒914-0024)
福井県原子力環境監視センター
TEL. (0770) 25-6110

発行責任者 前川 素一